

**政府開発援助(O DA)**  
**国別データ集**  
**2021**

**外務省国際協力局 編**



東アジア・東南アジア地域に対する ODA.....	2
[1] インドネシア .....	4
[2] カンボジア.....	6
[3] タイ .....	8
[4] 中国 .....	10
[5] 東ティモール .....	12
[6] フィリピン.....	14
[7] ベトナム .....	16
[8] マレーシア.....	18
[9] ミャンマー.....	20
[10] モンゴル.....	22
[11] ラオス .....	24
大洋州地域に対する ODA .....	28
[1] キリバス .....	30
[2] クック .....	32
[3] サモア .....	34
[4] ソロモン .....	36
[5] ツバル .....	38
[6] トンガ .....	40
[7] ナウル .....	42
[8] ニウエ .....	44
[9] バヌアツ .....	46
[10] パプアニューギニア.....	48
[11] パラオ .....	50
[12] フィジー.....	52
[13] マーシャル .....	54
[14] ミクロネシア連邦.....	56
南西アジア地域に対する ODA.....	60
[1] インド .....	62
[2] スリランカ.....	64
[3] ネパール.....	66
[4] パキスタン.....	68
[5] バングラデシュ.....	70
[6] ブータン.....	72
[7] モルディブ.....	74
中央アジア・コーカサス地域に対する ODA .....	78
[1] ウズベキスタン.....	80
[2] カザフスタン .....	82
[3] キルギス.....	84
[4] タジキスタン .....	86
[5] トルクメニスタン .....	88
[6] アゼルバイジャン .....	90
[7] アルメニア.....	92
[8] ジョージア.....	94
中南米地域に対する ODA .....	98
[1] アルゼンチン .....	100
[2] アンティグア・バーブーダ.....	102
[3] ウルグアイ.....	104
[4] エクアドル.....	106
[5] エルサルバドル.....	108
[6] ガイアナ .....	110
[7] キューバ.....	112
[8] グアテマラ.....	114
[9] グレナダ.....	116
[10] コスタリカ .....	118

[11] コロンビア .....	120
[12] ジャマイカ .....	122
[13] スリナム .....	124
[14] セントクリストファー・ネービス.....	126
[15] セントビンセント.....	128
[16] セントルシア.....	130
[17] チリ .....	132
[18] ドミニカ国.....	134
[19] ドミニカ共和国.....	136
[20] トリニダード・トバゴ.....	138
[21] ニカラグア .....	140
[22] ハイチ.....	142
[23] パナマ.....	144
[24] バハマ.....	146
[25] パラグアイ .....	148
[26] バルバドス.....	150
[27] ブラジル .....	152
[28] ベネズエラ.....	154
[29] ベリーズ.....	156
[30] ペルー .....	158
[31] ボリビア.....	160
[32] ホンジュラス.....	162
[33] メキシコ .....	164
中東・北アフリカ地域に対する ODA.....	168
[1] アフガニスタン .....	170
[2] アルジェリア.....	172
[3] イエメン.....	174
[4] イラク .....	176
[5] イラン .....	178
[6] エジプト.....	180
[7] シリア.....	182
[8] チュニジア .....	184
[9] トルコ .....	186
[10] パレスチナ .....	188
[11] モロッコ .....	190
[12] ヨルダン .....	192
[13] リビア.....	194
[14] レバノン .....	196
サブサハラ・アフリカ地域に対する ODA .....	200
[1] アンゴラ.....	204
[2] ウガンダ.....	206
[3] エスワティニ.....	208
[4] エチオピア .....	210
[5] エリトリア .....	212
[6] ガーナ .....	214
[7] カーボベルデ.....	216
[8] ガボン .....	218
[9] カメルーン .....	220
[10] ガンビア .....	222
[11] ギニア.....	224
[12] ギニアビサウ.....	226
[13] ケニア .....	228
[14] コートジボワール.....	230
[15] コモロ .....	232
[16] コンゴ共和国.....	234
[17] コンゴ民主共和国.....	236

[18]	サントメ・プリンシペ	238
[19]	ザンビア	240
[20]	シエラレオネ	242
[21]	ジブチ	244
[22]	ジンバブエ	246
[23]	スーダン	248
[24]	セーシェル	250
[25]	赤道ギニア	252
[26]	セネガル	254
[27]	ソマリア	256
[28]	タンザニア	258
[29]	チャド	260
[30]	中央アフリカ	262
[31]	トーゴ	264
[32]	ナイジェリア	266
[33]	ナミビア	268
[34]	ニジェール	270
[35]	ブルキナファソ	272
[36]	ブルンジ	274
[37]	ベナン	276
[38]	ボツワナ	278

[39]	マダガスカル	280
[40]	マラウイ	282
[41]	マリ	284
[42]	南アフリカ	286
[43]	南スーダン	288
[44]	モーリシャス	290
[45]	モーリタニア	292
[46]	モザンビーク	294
[47]	リベリア	296
[48]	ルワンダ	298
[49]	レソト	300

欧州地域に対する ODA		304
[1]	アルバニア	306
[2]	ウクライナ	308
[3]	コンボ	310
[4]	セルビア	312
[5]	ベラルーシ	314
[6]	ボスニア・ヘルツェゴビナ	316
[7]	北マケドニア	318
[8]	モルドバ	320
[9]	モンテネグロ	322

# 解 説

## 1 概説

### (1)掲載基準

本書に掲載されている実績(案件や数値)は、原則として、2021年11月時点の記述となっている。ただし、一部の重要事項については必要に応じてその後の動きも記述している。

掲載対象としている国・地域は、原則として、2020年適用の「DAC 援助受取国・地域リスト(以下「DAC リスト」)」に依拠している。ただし、例外として、同「DAC リスト」から「卒業」した国・地域のうち、新規案件が実施されている「トリニダード・トバゴ」、「バルバドス」、「セントクリストファー・ネイビス」、「バハマ」、「チリ」、「セーシェル」「ウルグアイ」及び「クック諸島」については掲載を継続している。なお、我が国は2011年7月に南スーダンを国家承認しており、2011年度版データブックから南スーダンの掲載を開始した(ただし、2010年までの実績値については、「スーダン」に含まれている)。

なお、本文中のドル表示は、特別に記載のあるものを除いて全て米ドル換算である。

### (2)国及び地域の定義

国別の説明は、基本的に地域毎に50音順で掲載している。国名表記は、原則として、「在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律(令和3年3月31日法律第6号)」による。

### (3) 暦年統計(OECD/DAC 報告基準)

地域別経済協力実績及び各国の経済協力実績のうち「国別表-2、表-3、表-4(OECD/DAC 報告基準)」については以下の内容を記載している。

- ア 「暦年」(1月～12月)の実績を記載。
- イ 「支出総額ベース」(表-3及び4)とは、有償資金協力について貸付実行額を計上し、「支出純額ベース」(表-2)とは、同貸付実行額から回収額(返済額)を差し引いた額を計上していることを示している。なお、「支出純額ベース」での有償資金協力の実績は、回収額(返済額)が貸付実行額を上回ることによりマイナスとなることがある。
- ウ 無償資金協力については、表2から4全てにおいて、「交換公文ベース」で計上されており、債務救済及び国際機関を通じた贈与(国別に分類できるもの)を含む。「交換公文ベース」とは、被援助国との間で交わされた交換公文に記載されている支出総額として約束した金額(約束した事業が廉価に行われた場合等では、必ずしも全額が供与されない。また、諸般の事情で中止された事業もごく一部存在する。)を示している。したがって、複数年度にわたり行われるプロジェクトの金額は、「交換公文ベース」では交換公文が交わされた年に一括して計上している。
- エ 全ての図表において、四捨五入の関係上、累計が一致しないことがある。
- オ また、我が国の援助は基本的に円建てで行われている一方で、ドル表示の暦年実績については国際比較を目的として OECD/ DAC の定める各年の DAC レート(2018年1ドル=110.4378円、2019年1ドル=109.0459円、2020年1ドル106.7624円)で換算した値に基づいている。

### (4)年度統計

各国の経済協力実績のうち「国別表1-1、1-2及び国別表-5」については以下の内容を記載している。

- ア 「年度」(4月～翌年3月)の実績を記載。
- イ 各年度の円借款の記載は、原則として「交換公文ベース」とする。具体的には、当該年度に交換公文を締結した案件の供与限度額の総額を、当該年度の実績として記載している。ただし、円借款の累計(表-1-2)は、JICA 年次報告書のデータ(借款契約ベース)を使用している。
- ウ 無償資金協力は、原則として交換公文ベースとする。具体的には、①当該年度に交換公文を締結した単年度案件及び②過去の国庫債務負担行為案件の当該年度の年割額を、当該年度の実績として記載している。なお、無償資金協力のうち、草の根・人間の安全保障無償資金協力、日本 NGO 連携無償資金協力及び草の根文化無償資金協力については、当該年度に G/C(贈与契約)を締結した案件を、緊急無償資金協力は、当該年度に外務大臣(又は臨時代理)による閣議発言をもって支援の決定をした案件を記載している。  
※暦年統計における「交換公文ベース」とは異なる。
- エ 技術協力は JICA が実施している技術協力の経費の支出額を記載している。
- オ 全ての図表において、四捨五入の関係上、累計が一致しないことがある。

**(5)基本データの出典元**

主要経済指標等〈国別データ〉

人口	GNI 一人 あたり	経済 成長率	対外債務 残高	財政収支 /GDP比	債務 /GNI比
2020年 (百万人)	2020年 (ドル)	2020年 (%)	2020年 (億ドル)	2020年 (%)	2020年 (%)

**World Development Indicators (WDI) (世界銀行)**  
 (http://data.worldbank.org/data-catalog)  
 (2021年11月現在)

●DAC分類……………DAC 援助受取国・地域リスト(2020年実績に適用)参照

- ・後発開発途上国(LDC: Least Developed Countries)  
 国連開発政策委員会(CDP:UN Committee for Development Policy)が設定した基準に基づき、国連経済社会理事会の審議を経て、国連総会の決議により認定された国のこと。なお、LDCとしての認定には、当該国の同意を条件とする。
- ・低所得国(LIC (s): Low Income Countries)  
 2016年の一人あたりのGNIが1,005ドル以下の国・地域(LDCを除く)。
- ・低中所得国(LMIC (s): Lower Middle Income Countries and Territories)  
 2016年の一人あたりGNIが1,006ドル以上3,955ドル以下の国・地域(LDCを除く)。
- ・高中所得国(UMIC (s): Upper Middle Income Countries and Territories)  
 2016年の一人あたりGNIが3,956ドル以上12,235ドル以下の国・地域。

●世界銀行分類……………世界銀行 Operational Policies(2021年4月)  
 Country Classification(2021年7月)

Operational Policies による融資分類

- ・分類i国: IDA融資適格国(世銀が融資するプロジェクトにおける国際競争入札で現地企業が優先される国)  
 2020年の一人あたりGNIが1,045ドル以下の国
- ・分類ii国: IDA融資適格国  
 2020年の一人あたりGNIが1,205ドルより下の国
- ・分類iii国: IBRD融資適格国  
 2020年の一人あたりGNIが1,205ドル以上の国
- ・分類iv国: IBRD卒業プロセス開始国  
 2020年の一人あたりGNIが7,155ドル以上の国  
 ※一人あたりの所得ではIDA融資の適格国でありながらも、信用力が高くIBRD貸し付けを受ける資格を持つブレンド国になる例もある。

Country Classification による所得分類

- ・低所得国(low income countries): 2020年の一人あたりGNIが1,045ドル以下の国(分類i国)
- ・低中所得国(lower middle income countries): 2020年の一人あたりGNIが1,046ドル以上4,095ドル以下の国
- ・高中所得国(upper middle income countries): 2020年の一人あたりGNIが4,096ドル以上12,695ドル以下の国
- ・高所得国(high income countries): 2020年の一人あたりGNIが12,696ドル以上の国

※過去データ及び最新データについては、入手可能なデータによるものであり、各年は各国で異なっている。

**2 略語表記**

本書において使用されている略語は、以下のとおりである。

**A**—————

- ADB** Asian Development Bank アジア開発銀行
- ADF** Asian Development Fund アジア開発基金
- AfDB** African Development Bank アフリカ開発銀行
- AfDF** African Development Fund アフリカ開発基金
- AFESD** Arab Fund for Economic and Social Development アラブ経済社会開発基金
- AFTA** ASEAN Free Trade Area ASEAN自由貿易地域
- APEC** Asia-Pacific Economic Cooperation アジア太平洋経済協力
- ASEAN** Association of Southeast Asian Nations 東南アジア諸国連合
- AU** African Union アフリカ連合

**B**—————

- BADEA** Arab Bank for Economic Development in Africa アフリカ経済開発アラブ銀行

**C**—————

- CARICOM** Caribbean Community カリブ共同体(本文中では「カリコム」と表記)
- CIF** Climate Investment Funds 気候投資基金
- CDB** Caribbean Development Bank カリブ開発銀行
- EC** European Commission 欧州委員会
- CIS** Commonwealth of Independent States 独立国家共同体

**E**—————

- EBRD** European Bank for Reconstruction and Development 欧州復興開発銀行

**EPA** Economic Partnership Agreement 経済連携協定  
**EPSA** Enhanced Private Sector Assistance for Africa  
アフリカ民間セクター開発のための共同イニシアティブ  
**E/S** Engineering Service 調査・設計等のための役務  
**EU** European Union 欧州連合  
**F**—————  
**FAO** Food and Agriculture Organization of the United Nations 国  
連食糧農業機関  
**FTA** Free Trade Agreement 自由貿易協定  
**G**—————  
**GAVI** Gavi, the Vaccine Alliance Gavi アライアンス  
**GDP** Gross Domestic Product 国内総生産  
**GEF** Global Environment Facility 地球環境ファシリティ  
**GFATM** Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria  
世界エイズ・結核・マラリア対策基金  
**GGGI** Global Green Growth Institute  
グローバル・グリーン・成長機構  
**GNI** Gross National Income 国民総所得  
**I**—————  
**IAEA** International Atomic Energy Agency 国際原子力機関  
**IBRD** International Bank for Reconstruction and Development  
国際復興開発銀行(国際開発協会(IDA)と合わせて世界銀行  
(World Bank)とも呼称される。)  
**ICRC** International Committee of the Red Cross  
赤十字国際委員会  
**IDA** International Development Association  
国際開発協会(国際復興開発銀行(IBRD)と共に世界銀行とも呼  
称される。)  
**IDB** Inter-American Development Bank 米州開発銀行  
**IEA** International Energy Agency 国際エネルギー機関  
**IFAD** International Fund for Agricultural Development  
国際農業開発基金  
**IFC** International Finance Corporation 国際金融公社  
**ILO** International Labour Organization 国際労働機関  
**IMF** International Monetary Fund 国際通貨基金  
**IMF-CTF** IMF Concessional Trust Funds  
国際通貨基金(譲許的信託基金)  
**IOM** International Organization for Migration 国際移住機関  
**Isl.Dev Bank** Islamic Development Bank イスラム開発銀行  
**J**—————  
**JBIC** Japan Bank for International Cooperation 国際協力銀行  
**JETRO** Japan External Trade Organization 日本貿易振興機構  
**JICA** Japan International Cooperation Agency 国際協力機構  
**JOCV** Japan Overseas Cooperation Volunteers  
青年海外協力隊  
**JPF** Japan Platform ジャパン・プラットフォーム  
**L**—————  
**LDC** Least Developed Countries 後発開発途上国  
**N**—————  
**NATO** North Atlantic Treaty Organization 北大西洋条約機構  
**NGO** Non-Governmental Organization 非政府組織  
**NIEs** Newly Industrializing Economies 新興工業経済地域

**Nordic Dev.Fund** Nordic Development Fund 北欧開発基金  
**O**—————  
**OECD/DAC** Organization for Economic Co-operation and  
Development/ Development Assistance Committee  
経済協力開発機構 開発援助委員会  
**OFID** OPEC Fund for International Development  
石油輸出国機構国際開発基金  
**OSCE** Organization for Security and Co-operation in Europe 欧  
州安全保障協力機構  
**P**—————  
**PALM** Pacific Islands Leaders Meeting 太平洋・島サミット  
**PIF** Pacific Islands Forum 太平洋諸島フォーラム  
**PKO** Peacekeeping Operations 国連平和維持活動  
**S**—————  
**SICA** Sistema de la Integración Centroamericana  
中米統合機構  
**T**—————  
**TICAD** Tokyo International Conference on African Development  
アフリカ開発会議  
**U**—————  
**UN** United Nations 国際連合  
**UNCTAD** United Nations Conference on Trade and Development  
国連貿易開発会議  
**UNDP** United Nations Development Programme 国連開発計画  
**UNEP** United Nations Environment Programme 国連環境計画  
**UNESCO** United Nations Educational, Scientific and Cultural  
Organization 国連教育科学文化機関  
**UNFPA** United Nations Population Fund 国連人口基金  
**UN-HABITAT** United Nations Human Settlements Programme 国  
連人間居住計画  
**UNHCR** United Nations High Commissioner for Refugees  
国連難民高等弁務官事務所  
**UNICEF** United Nations Children's Fund 国連児童基金  
**UNIDO** United Nations Industrial Development Organization  
国連工業開発機関  
**UNODC** United Nations Office on Drugs and Crime  
国連薬物犯罪事務所  
**UNPBF** United Nations Peacebuilding Fund 国連平和構築基金  
**UNRWA** United Nations Relief and Works Agency for Palestine  
Refugees in the Near East  
国連パレスチナ難民救済事業機関  
**UNTA** United Nations Regular Program for Technical Assistance  
国連通常技術支援計画  
**UNU** United Nations University 国連大学  
**UNV** United Nations Volunteers 国連ボランティア計画  
**W**—————  
**WDI** World Development Indicators 世界開発指標  
**WFP** World Food Programme 国連世界食糧計画  
**WHO** World Health Organization 世界保健機関  
**WTO** World Trade Organization 世界貿易機関

### 3 用語解説

本書において使用されている用語の意味は以下のとおりである。

D—————

#### **DAC(Development Assistance Committee) 開発援助委員会**

OECD(経済協力開発機構)において、開発援助に関する事柄を取り扱う委員会。OECD加盟38か国のうち29か国及び欧州連合(EU)から成る。

E—————

#### **E/N(Exchange of Notes) 交換公文**

国家間の権利義務関係を規定する国際約束の一形態。

#### **EU Institutions 欧州連合諸機関**

欧州連合(EU: European Union)の諸機関(欧州委員会(EC: European Commission)、欧州投資銀行(EIB: European Investment Bank)等)の総称。

G—————

#### **G/C(Grant Contract) 贈与契約**

草の根・人間の安全保障無償資金協力、日本NGO連携無償資金協力及び草の根文化無償資金協力に関し、在外公館と被供与団体との間で結ばれる契約。ただし、日本NGO連携無償資金協力の場合は、外務本省と被供与団体の契約の場合もある。

O—————

#### **ODA(Official Development Assistance) 政府開発援助**

(1) ODAとは、一人当たりのGNIをもとにDACが作成する援助受取国のリストに掲載された開発途上国への贈与及び貸付のうち、次の3つの条件を充たすものを指す。

- ①公的機関によって供与されるものであること。
- ②開発途上国の経済開発や福祉の向上に寄与することを主たる目的としていること。
- ③有償資金協力については、その供与条件が緩和された条件のもの

(2) ODAは、無償資金協力、技術協力、有償資金協力及び国際機関への出資・拠出等から成る。

さ————

**支出純額(Net Disbursement)**

有償資金協力の実績として、貸付実行額から回収額(被援助国から援助供与国への返済額)を差し引いた額を使用した額。

**支出総額(Gross Disbursement)**

有償資金協力の実績として、貸付実行額を使用した額。

## DAC 援助受取国・地域リスト(2020 年実績に適用)

後発開発途上国 (LDCs)	低所得国(LICs) 一人当たり GNI \$ 1,005 以下	低中所得国(LMICs) 一人当たり GNI \$ 1,006- \$ 3,955 以下	高中所得国(UMICs) 一人当たり GNI \$ 3,956- \$ 12,235 以下
アフガニスタン アンゴラ バングラデシュ ベナン ブータン ブルキナファソ ブルンジ カンボジア 中央アフリカ チャド コモロ コンゴ民主共和国 ジブチ  エリトリア  エチオピア ガンビア ギニア  ギニアビサウ  ハイチ キリバス ラオス  レソト リベリア マダガスカル マラウイ マリ モーリタニア モザンビーク ミャンマー  ネパール  ニジェール ルワンダ サントメ・プリンシペ セネガル シエラレオネ ソロモン ソマリア 南スーダン スーダン タンザニア  東ティモール  トーゴ ツバル ウガンダ  バヌアツ  イエメン ザンビア	北朝鮮 ジンバブエ	アルメニア ボリビア カーボヴェルデ カメルーン コンゴ共和国 コートジボワール エジプト エルサルバドル ジョージア ガーナ グアテマラ  ホンジュラス インド インドネシア ヨルダン ケニア コンゴ キルギス ミクロネシア連邦  モルドバ  モンゴル モロッコ ニカラグア  ナイジェリア  パキスタン パプアニューギニア  フィリピン  スリランカ エスワティニ王国 シリア タジキスタン トケラウ チュニジア ウクライナ ウズベキスタン ベトナム パレスチナ自治区	アルバニア アルジェリア アンティグア・バーブーダ アルゼンチン アゼルバイジャン ベラルーシ ベリーズ ボスニア・ヘルツェゴビナ ボツワナ ブラジル  中国 コロンビア  コスタリカ  キューバ ドミニカ国 ドミニカ共和国 エクアドル 赤道ギニア フィジー 北マケドニア共和国 ガボン グレナダ ガイアナ イラン イラク ジャマイカ  カザフスタン レバノン リビア マレーシア  モルディブ マーシャル モーリシャス メキシコ モンテネグロ モンセラット ナミビア ナウル ニウエ パラオ パナマ パラグアイ ペルー セント・ヘレナ セントルシア セントビンセント サモア セルビア  南アフリカ スリナム タイ トンガ  トルコ トルクメニスタン  ベネズエラ ワリス・フテユナ

出典: DAC List of ODA Recipients(OECD/DAC)

注) 1. 2016 年の GNI 値を基準とするもの。

2. クックについては 2020 年に卒業。

# 東アジア・東南アジア地域

## 東アジア・東南アジア地域

表－1 東アジア・東南アジア地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	383.48 (13.7)	401.66 (15.4)	395.82 (15.0)	424.58 (16.6)	413.08 (13.5)	19,100.01
		(うち国際機関を通じた贈与)	51.06 (3.2)	49.54 (3.7)	36.00 (2.7)	63.81 (5.5)	107.71 (6.0)	660.62
		技術協力	459.50 (16.6)	438.69 (15.2)	413.28 (15.6)	418.44 (15.4)	301.82 (12.6)	25,878.95
		贈与計	842.98 (15.1)	840.35 (15.3)	809.10 (15.3)	843.02 (16.0)	714.90 (13.1)	44,978.97
	有償資金協力 支出総額	2,876.20 (36.6)	3,047.27 (31.8)	2,282.06 (28.5)	2,957.58 (31.5)	4,459.05 (39.1)	135,392.11	
	<有償資金協力 支出純額>	<-1,106.98>	<-883.42>	<-2,174.12>	<- 1,395.05>	<686.41>	<35,432.00>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		3,719.19 (27.7)	3,887.62 (25.8)	3,091.17 (23.3)	3,800.60 (25.9)	5,173.95 (30.6)	180,371.08	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<-263.99>	<-43.07>	<-1,365.01>	<- 552.03>	<1,401.31>	<80,410.97>	

注) 1. ( )内は各形態別の全世界合計(卒業国を除く)に占める東アジア地域の割合(%)

2.国際機関を通じた贈与は、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。

3.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

4.「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表－2 東アジア・東南アジア地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
政府開発援助計	2017	日本 3,887.62	ドイツ 1,456.28	米国 1,280.60	フランス 816.77	オーストラリア 550.19	3,887.62	9,623.08
	2018	日本 3,091.18	ドイツ 2,511.24	フランス 987.23	米国 970.45	オーストラリア 572.59	3,091.18	9,958.89
	2019	日本 3,800.59	ドイツ 1,455.28	米国 886.08	フランス 653.20	韓国 543.88	3,800.59	9,005.11
有償資金協力	2017	日本 3,047.28	ドイツ 748.37	フランス 595.15	韓国 308.31	デンマーク 15.21	3,047.28	4,723.35
	2018	日本 2,282.07	ドイツ 1,682.28	フランス 738.90	韓国 297.50	ポーランド 61.83	2,282.07	5,089.14
	2019	日本 2,957.58	ドイツ 618.49	フランス 459.35	韓国 284.71	ポーランド 10.63	2,957.58	4,344.64
無償資金協力	2017	米国 1,214.86	日本 401.66	オーストラリア 331.48	英国 177.07	スイス 156.30	401.66	3,014.73
	2018	米国 906.77	日本 395.82	オーストラリア 298.69	英国 262.97	ドイツ 194.00	395.82	2,905.00
	2019	米国 828.01	日本 424.61	オーストラリア 284.48	英国 245.07	ドイツ 171.58	424.61	2,689.10
技術協力	2017	ドイツ 560.76	日本 438.69	オーストラリア 218.71	フランス 179.89	英国 122.04	438.69	1,885.00
	2018	ドイツ 634.96	日本 413.27	オーストラリア 273.90	フランス 204.20	韓国 86.42	413.27	1,964.78
	2019	ドイツ 665.21	日本 418.42	オーストラリア 201.56	フランス 149.91	韓国 112.19	418.42	1,971.38

出典) OECD/DAC

表-3 東アジア・東南アジア地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2017	IDA 1,232.91	GFATM 611.44	AsDB 526.59	EU Institutions 476.02	GAVI 90.87	490.25	3,428.10
	2018	IDA 1,039.02	AsDB 725.01	EU Institutions 614.60	GFATM 252.91	GAVI 78.25	449.34	3,159.11
	2019	IDA 1,047.50	AsDB 631.05	EU Institutions 482.47	GFATM 366.66	GAVI 97.16	375.56	3,000.49
有償資金協力	2017	IDA 1,200.85	AsDB 451.77	EU Institutions 103.07	CIF 61.18	OPEC Fund 53.73	47.07	1,917.67
	2018	IDA 1,024.74	AsDB 610.87	EU Institutions 214.55	OPEC Fund 38.88	IFAD 32.32	14.54	1,935.91
	2019	IDA 1,045.44	AsDB 532.82	EU Institutions 95.69	IFAD 28.70	OPEC Fund 26.41	2.17	1,731.24
無償資金協力	2017	GFATM 611.44	EU Institutions 310.61	GAVI 90.87	GEF 63.06	UNICEF 55.19	272.46	1,403.59
	2018	EU Institutions 324.01	GFATM 252.91	AsDB 113.27	GAVI 78.25	GEF 76.30	283.01	1,127.73
	2019	GFATM 366.66	EU Institutions 321.12	AsDB 98.24	GAVI 97.16	WHO 56.65	263.70	1,203.58
技術協力	2017	EU Institutions 62.35	AsDB 34.85	FAO 7.21	ILO 1.43	GEF 1.04	-	106.84
	2018	EU Institutions 76.04	ILO 13.31	FAO 5.25	AsDB 0.86	OPEC Fund 0.02	-	95.47
	2019	EU Institutions 65.66	-	-	-	-	-	65.66

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

# [1] インドネシア

## 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2.74億人	3,870ドル	-2.1%	4,175.32億ドル	低中所得国	iii/低中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対インドネシア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	739.88	2.31	61.92
2017年度	1,272.15	6.77	63.67
2018年度	700.21	29.80	54.39
2019年度	1,551.10	88.26	56.58
2020年度	1,000.00	21.20	24.91

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対インドネシア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	53,235.78	2,930.53	3,710.35

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対インドネシア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-1,273.80	7.67	59.79	-1,206.34
2017年	-1,128.94	11.50 (3.87)	69.30	-1,048.13
2018年	-999.71	2.89	49.00	-947.82
2019年	-968.94	26.75 (1.80)	59.17	-883.02
2020年	-206.84	19.98 (11.50)	37.77	-149.09
累計	4,860.75	2,078.66 (42.58)	4,076.57	11,015.98

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対インドネシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 478.61	ドイツ 379.57	オーストラリア 372.96	フランス 214.43	米国 197.25	478.61	1,845.27
2016年	ドイツ 572.68	日本 399.92	米国 278.84	オーストラリア 252.10	フランス 167.42	399.92	1,905.39
2017年	日本 520.59	米国 414.16	フランス 347.50	ドイツ 332.81	オーストラリア 207.53	520.59	2,041.55
2018年	ドイツ 1,203.90	日本 637.77	フランス 455.49	オーストラリア 262.72	米国 252.38	637.77	3,080.35
2019年	日本 664.34	オーストラリア 187.52	米国 158.40	ドイツ 129.90	ノルウェー 48.17	664.34	1,380.87

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対インドネシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 50.07	-	GAVI 23.26	GEF 14.68	AsDB 10.19	41.64	189.89
	GFATM 50.07	-	-	-	-	-	-
2016年	GFATM 76.20	EU Institutions 55.14	GEF 18.19	AsDB 16.19	IFAD 13.24	31.49	210.45
2017年	GFATM 281.81	CIF 43.27	GAVI 35.29	EU Institutions 26.35	IFAD 11.61	30.52	428.86
2018年	GFATM 49.06	EU Institutions 19.49	GAVI 14.83	CERF 14.43	GEF 10.42	30.69	138.91
2019年	GFATM 74.23	GAVI 18.73	EU Institutions 15.18	GEF 7.34	UNICEF 5.38	25.20	146.07

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	1000.00億円 ・新型コロナウイルス感染症への積極的な対応及び支出支援プログラム・ローン(500.00) ・災害に対する強靱化促進・管理プログラム・ローン(第二期)(500.00)	21.20億円 ・経済社会開発計画(1件)(20.00) ・草の根・人間の安全保障無償(8件)(0.70) ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援(3件)(0.5)	・違法、無報告、無規制(IUU)漁業活動監視能力基盤強化のための衛星活用プロジェクト[21.03~24.03] ・有料道路開発管理能力強化プロジェクト[21.02~24.02] ・地熱開発における中長期的な促進制度設計支援プロジェクトフェーズ2[20.11~23.11]

注) 1. 表-1-1注釈同様。  
2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [2] カンボジア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,672万人	1,490ドル	-3.1%	175.62億ドル	後発開発途上国	iii/低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対カンボジア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	111.36	107.28	39.69
2017年度	235.02	42.53	36.23
2018年度	128.15	75.97	35.00
2019年度	294.17	96.69	34.63
2020年度	250.00	75.70	18.33

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対カンボジア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	2,073.10	2,263.29	950.54

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対カンボジア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	26.72	76.04 (3.14)	33.24	136.00
2017年	58.55	83.15 (4.34)	41.58	183.28
2018年	63.04	65.15 (1.44)	31.17	159.36
2019年	63.11	60.29 (0.75)	31.49	154.89
2020年	139.94	97.98 (10.69)	22.21	260.13
累計	565.33	1,859.33 (59.30)	986.70	3,411.36

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対カンボジア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 106.07	米国 86.62	フランス 69.60	韓国 69.50	オーストラリア 49.18	106.07	488.80
2016年	日本 140.92	米国 87.40	オーストラリア 57.75	韓国 57.32	ドイツ 41.97	140.92	498.48
2017年	日本 188.92	フランス 97.94	米国 91.43	韓国 71.13	オーストラリア 58.37	188.92	632.73
2018年	日本 169.07	米国 102.87	フランス 79.44	韓国 65.23	ドイツ 53.66	169.07	594.01
2019年	フランス 192.39	日本 176.43	米国 90.20	韓国 78.26	オーストラリア 43.87	176.43	688.66

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対カンボジア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	AsDB 117.01	EU Institutions 45.23	GFATM 31.54	IFAD 15.78	GAVI 14.27	42.09	265.92
2016年	AsDB 156.77	EU Institutions 62.74	GFATM 23.54	GAVI 10.88	IFAD 10.21	40.30	304.46
2017年	AsDB 138.74	EU Institutions 51.43	GFATM 32.58	OPEC Fund 17.46	IDA 15.77	53.19	309.19
2018年	AsDB 103.39	EU Institutions 89.78	IDA 23.60	GFATM 17.88	CIF 15.48	42.13	292.25
2019年	AsDB 163.36	EU Institutions 65.81	IDA 61.73	GFATM 24.97	GAVI 19.69	48.16	383.73

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	250.00億円 ・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款(250.00)	75.70億円 ・海洋プラスチックごみ対策計画(UNDP連携)(3.16) ・洪水被災コミュニティへの食料安全保障及びコミュニティに基づく復旧支援計画(WFP連携)(2.09) ・シハヌークビル港船舶航行安全システム整備計画(11.32) ・シムリアップ州病院改善計画(国債登録1/4)(1.69) ・第四次プノンペン洪水防御・排水改善計画(国債登録4/4)(6.26) ・洪水多発地域における緊急橋梁架け替え計画(国債登録4/4)(2.94) ・教員養成大学建設計画(国債登録4/4)(4.20) ・プノンペンにおける下水道整備計画(国債登録2/5)(3.66) ・プルサット上水道拡張計画(国債登録2/4)(4.51) ・タクマウ上水道拡張計画(国債登録2/5)(1.48) ・経済社会開発計画(2件)(23.00) ・人材育成奨学計画(4件)(3.40) ・草の根・人間の安全保障無償(18件)(2.40) ・日本NGO連携無償(10件)(5.49) ・草の根文化無償(1件)(0.10)	・幹線道路における道路交通安全改善プロジェクト[21.02~24.12.31] ・カンボジア地雷対策センター組織強化プロジェクト[20.10~24.10] ・残留農薬分析能力強化プロジェクト[20.11~22.11] ・持続的自然資源管理能力強化プロジェクト[20.10~23.10]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

### [3] タイ

#### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
6,980万人	7,050ドル	-6.1%	2,041.47億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対タイ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	1,668.60	2.38	25.62
2017年度	—	4.30	26.92
2018年度	—	1.57	26.78
2019年度	94.34	0.14	28.27
2020年度	—	1.74	16.74

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対タイ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	23,789.02	1,726.90	2,390.70

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対タイ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	75.79	11.10 (0.02)	24.77	111.66
2017年	53.40	9.89 (7.75)	28.38	91.67
2018年	-570.65	3.43 -	26.70	-540.52
2019年	-534.51	1.78 (0.14)	27.73	-505.01
2020年	-13.12	4.78 (3.49)	24.26	15.84
累計	784.96	1,056.27 (23.60)	2,983.59	4,824.82

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対タイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 172.76	米国 43.39	ドイツ 14.35	フランス 10.53	英国 5.77	172.76	266.55
2016年	日本 414.05	米国 53.63	ドイツ 15.94	フランス 10.64	英国 9.07	414.05	523.08
2017年	日本 388.61	米国 52.26	ドイツ 17.26	フランス 13.15	英国 9.29	388.61	497.88
2018年	日本 270.82	米国 42.21	フランス 20.61	ドイツ 18.59	英国 11.89	270.82	377.40
2019年	日本 259.38	米国 45.62	ドイツ 35.97	英国 17.80	フランス 8.58	259.38	385.67

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対タイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	GFATM 21.41	EU Institutions 12.76	GEF 6.37	UNHCR 5.47	Montreal Protocol 4.30	8.58	58.91
2016年	EU Institutions 17.42	GFATM 12.35	UNHCR 11.68	GEF 6.74	WHO 3.11	5.77	57.06
2017年	GFATM 23.08	EU Institutions 13.84	UNHCR 9.28	GEF 3.45	WHO 1.65	4.49	55.77
2018年	GFATM 11.45	EU Institutions 10.30	UNHCR 4.41	GEF 3.50	WHO 3.31	4.75	37.71
2019年	GFATM 12.28	EU Institutions 9.44	WHO 2.41	UNHCR 1.80	ILO 1.42	4.73	32.07

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	1.74億円 ・草の根・人間の安全保障無償(12件)(1.07) ・日本NGO連携無償(1件)(0.67)	・グローバルヘルスとユニバーサルヘルスカバレッジのためのパートナーシッププロジェクトフェーズ2[20.12~23.12] ・電子基準点に係る国家データセンター能力強化及び利活用促進プロジェクト[20.09~24.02] ・トンネルプロジェクト監理能力向上プロジェクト[21.01~24.12] ・交通安全に関する組織能力および実施能力向上プロジェクト[20.12~23.12]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [4] 中国

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
14.02億人	10,610ドル	2.3%	23,493.90億ドル	高中所得国	iv/高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1 我が国の対中国援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	0.29	5.00
2017年度	—	0.10	4.04
2018年度	—	0.23	4.00
2019年度	—	—	3.58
2020年度	—	—	1.56

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対中国援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	33,597.39	1,576.19	1,856.16

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対中国援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-956.15	0.98	6.03	-949.15
2017年	-954.74	0.26	5.44	-949.04
2018年	-936.53	0.09	4.56	-931.88
2019年	-866.98	0.21	3.39	-863.38
2020年	-858.89	-	1.92	-856.97
累計	4,636.96	1,224.24 (3.79)	6,727.00	12,588.20

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対中国经济協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 749.40	フランス 161.51	日本 151.44	英国 68.22	米国 33.44	151.44	1,240.20
2016年	ドイツ 836.32	フランス 160.15	英国 63.57	米国 46.12	日本 27.98	27.98	1,216.97
2017年	ドイツ 710.34	フランス 190.82	英国 58.53	米国 38.87	ノルウェー 10.16	10.05	1,066.54
2018年	ドイツ 806.29	フランス 159.13	英国 75.07	米国 31.43	ノルウェー 11.70	5.10	1,133.42
2019年	ドイツ 837.50	フランス 179.97	英国 88.13	米国 35.22	ノルウェー 11.40	3.60	1,201.04

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対中国经济協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 97.01	GEF 54.63	Montreal Protocol 37.48	AsDB 17.36	UNICEF 7.97	23.40	237.85
2016年	EU Institutions 125.84	GEF 54.51	OPEC Fund 18.27	AsDB 15.92	UNICEF 7.07	15.85	237.45
2017年	EU Institutions 100.84	OPEC Fund 30.45	GEF 19.42	AsDB 13.41	UNICEF 7.96	12.85	184.93
2018年	EU Institutions 194.88	GEF 32.07	OPEC Fund 21.79	AsDB 10.94	UNICEF 6.99	11.41	278.07
2019年	EU Institutions 97.68	GEF 12.12	AsDB 11.62	UNICEF 7.90	OPEC Fund 5.20	12.44	146.99

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [5] 東ティモール

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
132万人	1,830ドル	-8.7%	2.32億ドル	後発開発途上国	iii/低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対東ティモール援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	13.42	8.34
2017年度	—	34.23	7.83
2018年度	—	16.40	10.62
2019年度	—	3.17	8.56
2020年度	—	8.18	5.24

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対東ティモール援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	52.78	352.30	156.42

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対東ティモール援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	5.29	21.99 (6.27)	9.43	36.71
2017年	2.43	13.74 -	7.96	24.13
2018年	3.11	20.29 (2.47)	8.16	31.56
2019年	11.49	29.83 (2.08)	7.79	49.1
2020年	4.5	8.47 (0.99)	6.2	19.17
累計	29.51	287.16 (31.65)	147.58	464.25

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対東ティモール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	オーストラリア 62.98	日本 19.27	米国 17.80	ニュージーランド 14.91	ポルトガル 12.97	19.27	148.72
2016年	オーストラリア 56.78	日本 36.71	米国 19.99	ポルトガル 14.58	韓国 12.06	36.71	161.14
2017年	オーストラリア 69.06	日本 24.13	米国 22.86	ポルトガル 15.44	韓国 11.77	24.13	163.54
2018年	オーストラリア 59.20	日本 31.56	米国 22.65	ポルトガル 15.95	ニュージーランド 13.10	31.56	157.86
2019年	オーストラリア 52.64	日本 49.10	米国 28.08	ポルトガル 14.75	ニュージーランド 13.45	49.10	181.27

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対東ティモール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	AsDB 25.24	EU Institutions 11.51	IDA 11.17	GFATM 3.62	GEF 3.56	8.48	63.57
2016年	EU Institutions 20.28	IDA 14.40	AsDB 12.60	GFATM 5.66	GEF 3.73	6.07	62.74
2017年	EU Institutions 27.86	AsDB 12.80	IDA 10.37	GFATM 5.53	GEF 4.33	7.43	68.31
2018年	AsDB 15.33	EU Institutions 14.86	GFTAM 5.80	GEF 4.75	IDA 2.86	6.02	49.64
2019年	AsDB 16.41	EU Institutions 14.04	GFTAM 4.73	IDA 4.17	GEF 2.17	8.29	49.82

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	8.18億円 ・経済社会開発計画(1件)(5.00) ・人材育成奨学計画(3件)(1.26) ・草の根・人間の安全保障無償(5件)(0.49) ・日本NGO連携無償(3件)(1.44)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [6] フィリピン

### 主要経済指標等(2018年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.10億人	3,430ドル	-9.6%	984.80億ドル	低中所得国	iii/低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対フィリピン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	213.83	50.04	43.26
2017年度	1,298.57	112.56	122.50
2018年度	2,696.72	58.06	93.51
2019年度	44.09	9.78	86.71
2020年度	2,540.55	36.93	54.54

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2018年度実績には米ドル建て借款1件(当時の時勢レートで円貨換算)を含む。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対フィリピン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	33,725.49	3,068.16	2,657.92

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2018年度実績には米ドル建て借款1件(当時の時勢レートで円貨換算)を含む。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対フィリピン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-292.95	20.64 (0.05)	61.70	-210.60
2017年	-256.89	63.17 (10.20)	52.01	-141.71
2018年	-134.19	106.84 (10.36)	95.84	68.49
2019年	378.37	26.27 (4.82)	93.83	498.47
2020年	530.54	46.23 (14.16)	72.63	649.41
累計	4,885.68	2,719.64 (105.80)	2,740.75	10,346.07

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対フィリピン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 541.95	米国 274.93	オーストラリア 92.50	韓国 46.53	ドイツ 38.42	541.95	1,061.95
2016年	日本 301.51	米国 268.30	韓国 63.34	フランス 62.59	オーストラリア 53.83	301.51	841.87
2017年	日本 352.30	米国 157.83	オーストラリア 53.93	ドイツ 41.71	韓国 40.92	352.30	708.31
2018年	日本 562.50	フランス 123.59	米国 122.19	韓国 64.92	オーストラリア 53.62	562.50	1,026.02
2019年	日本 1,000.40	米国 145.99	韓国 76.34	オーストラリア 50.99	ドイツ 38.96	1,000.40	1,373.92

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対フィリピン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 57.24	GFATM 36.63	OPEC Fund 10.06	IFAD 6.67	GEF 5.62	20.55	136.76
2016年	EU Institutions 42.33	GFATM 38.14	OPEC Fund 8.72	GEF 7.01	IFAD 3.90	20.66	120.76
2017年	GFATM 53.10	EU Institutions 28.28	GEF 7.33	UNICEF 2.98	CERF 2.48	18.38	112.57
2018年	GFATM 40.41	EU Institutions 37.62	GEF 6.54	UNICEF 5.61	AsDB 5.17	26.11	121.46
2019年	GFATM 54.47	EU Institutions 36.48	AsDB 4.78	UNICEF 4.68	IFAD 4.44	22.95	127.80

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	2540.55億円 ・セブーマクタン橋(第四橋)及び沿岸道路建設計画(1192.25) ・ダバオ市バイパス建設計画(第二期)(348.30) ・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款(500.00) ・災害復旧スタンドバイ借款(フェーズ2)(500.00)	36.93億円 ・メトロセブ水道区汚泥管理計画(国債登録2/4)(3.88) ・経済社会開発計画(2件)(28.00) ・人材育成奨学計画(4件)(3.09) ・日本NGO連携無償(3件)(1.79) ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援(1件)(0.17)	・アグリビジネス振興・金融アクセス強化プロジェクト(フェーズ2)[21.01~23.0] ・企業信用リスクデータベース構築プロジェクト[20.04~23.03] ・高品質な気象観測・予報・警報情報能力強化プロジェクト[21.02~24.02]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

※本借款はは米ドル建て。供与限度額は202.04百万ドルであり、当時の時勢レートで円貨換算した。

## [7] ベトナム

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
9,734万人	2,660ドル	2.9%	1,250.45億ドル	低中所得国	iii/低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ベトナム援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	1,321.42	26.35	90.40
2017年度	1,003.04	30.43	67.10
2018年度	-	13.63	64.81
2019年度	118.91	30.40	50.15
2020年度	-	49.60	42.90

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ベトナム援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	27,733.70	1,630.50	1,734.91

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ベトナム援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	1,061.32	9.28 (2.76)	95.47	1,166.06
2017年	832.20	19.60 -	76.17	927.96
2018年	136.77	13.48 (0.63)	53.51	203.75
2019年	75.43	16.44 (0.73)	56.76	148.63
2020年	1.09	30.44 (5.19)	43.66	75.18
累計	15,250.02	1,218.03 (9.72)	2,128.91	18,596.96

出典)OECD/DAC

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 卒業国向け援助を除く。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ベトナム経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 1,418.88	韓国 225.93	フランス 160.64	ドイツ 156.28	オーストラリア 103.88	1,418.88	2,311.61
2016年	日本 1,583.47	ドイツ 213.84	韓国 185.40	フランス 128.93	米国 112.32	1,583.47	2,429.59
2017年	日本 1,389.60	韓国 187.73	ドイツ 179.57	フランス 135.71	米国 124.66	1,389.60	2,185.82
2018年	日本 673.85	ドイツ 220.27	韓国 157.99	米国 119.31	フランス 119.22	673.85	1,476.89
2019年	日本 650.57	フランス 225.69	ドイツ 192.54	韓国 108.53	米国 101.00	650.57	1,434.66

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ベトナム経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 908.55	AsDB 440.40	EU Institutions 72.38	GFATM 45.45	IFAD 30.81	77.16	1,574.77
2016年	IDA 753.62	AsDB 403.39	EU Institutions 60.12	GFATM 44.38	IFAD 21.26	46.84	1,329.62
2017年	IDA 744.34	AsDB 229.87	EU Institutions 77.07	GFATM 52.08	IFAD 18.49	53.87	1,175.72
2018年	IDA 733.76	AsDB 362.73	EU Institutions 83.59	GFATM 20.03	IFAD 15.29	39.17	1,254.57
2019年	IDA 622.93	AsDB 180.12	EU Institutions 38.14	GFATM 32.18	OPEC Fund 9.34	29.68	912.40

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	49.60億円 ・ホーチミン市非開削下水道管路更生計画(国債登録4/4)(4.16) ・農業・水産食品の安全確保のための検査・農産食品品質コンサルティングセンター能力強化計画(国債登録3/3)(9.58) ・経済社会開発計画(2件)(23.00) ・人材育成奨学計画(4件)(7.51) ・草の根・人間の安全保障無償(21件)(2.68) ・日本NGO連携無償(5件)(2.00) ・草の根文化無償(1件)(0.08) ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援(2件)(0.60)	・国際経験に基づく税務行政改善プロジェクト[20.10~25.06] ・法整備・執行の質及び効率性向上プロジェクト[21.01~25.12] ・日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト[20.04~25.03] ・工業所有権の審査能力強化プロジェクト[21.03~23.03] ・中小企業振興・産業基盤強化プロジェクト[20.10~23.10]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [8] マレーシア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,237万人	10,580ドル	-5.6%	—	高中所得国	iv/高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対マレーシア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	7.13	12.21
2017年度	—	0.04	9.73
2018年度	—	0.04	9.43
2019年度	—	0.10	8.41
2020年度	—	5.47	5.70

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対マレーシア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	9,238.10	152.45	1,201.38

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対マレーシア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-106.51	0.05	12.08	-94.38
2017年	-109.31	6.36	13.32	-89.63
2018年	-108.43	0.03	10.14	-98.25
2019年	-81.47	0.04	9.45	-72.24
2020年	-90.82	2.29 (2.20)	7.55	-80.98
累計	382.29	113.72 (5.75)	1,577.29	2,073.30

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対マレーシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 75.91	ドイツ 9.55	英国 8.69	フランス 6.08	米国 4.54	75.91	109.11
2016年	日本 47.46	ドイツ 11.36	英国 5.79	フランス 5.48	米国 4.65	47.46	78.44
2017年	日本 34.39	英国 16.93	ドイツ 12.99	フランス 5.73	米国 3.81	34.39	77.09
2018年	日本 19.09	ドイツ 15.19	英国 12.69	フランス 10.02	米国 5.35	19.09	65.32
2019年	日本 41.68	英国 14.93	ドイツ 14.69	米国 10.35	フランス 4.37	41.68	93.22

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対マレーシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	GEF 8.66	EU Institutions 1.90	GFATM 1.11	UNICEF 0.91	WHO 0.72	1.10	14.41
2016年	GEF 6.55	GFATM 1.03	EU Institutions 0.91	UNICEF 0.79	WHO 0.50	1.51	11.31
2017年	GEF 6.22	UNHCR 5.59	EU Institutions 1.38	UNICEF 1.06	WHO 0.74	1.92	16.90
2018年	UNHCR 5.64	GEF 2.99	EU Institutions 2.20	GFATM 1.04	UNICEF 0.95	2.52	15.34
2019年	UNHCR 3.09	EU Institutions 2.75	GEF 1.65	ILO 1.31	WHO 0.86	3.26	12.91

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	5.47億円 ・経済社会開発計画(1件)(5.00) ・草の根・人間の安全保障無償(5件) (0.27) ・日本NGO連携無償(1件)(0.21)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [9] ミャンマー

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
5,441万人	1,260ドル	-10.0%	133.48億ドル	後発開発途上国	iii/低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ミャンマー援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	1,358.08	156.14	98.12
2017年度	1,170.40	135.07	92.00
2018年度	-	190.68	104.09
2019年度	1,688.58	150.14	66.55
2020年度	727.79	185.38	48.79

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ミャンマー援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	13,784.72	3,565.18	1,099.49

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ミャンマー援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	199.28	209.58 (37.90)	97.96	506.82
2017年	151.96	135.96 (18.99)	91.15	379.07
2018年	312.06	136.56 (19.92)	88.28	536.90
2019年	496.57	179.85 (44.52)	80.51	756.93
2020年	943.13	103.29 (31.39)	47.10	1,093.52
累計	2,761.79	5,796.72 (315.55)	1,076.53	9,635.04

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ミャンマー経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 351.14	英国 174.02	米国 113.86	オーストラリア 55.43	スイス 40.48	351.14	893.74
2016年	日本 506.82	英国 144.59	米国 131.45	韓国 47.31	オーストラリア 46.47	506.82	1,082.44
2017年	日本 379.07	英国 155.71	米国 139.56	韓国 77.61	オーストラリア 68.24	379.07	1,075.87
2018年	日本 536.90	米国 143.96	英国 133.76	ドイツ 59.74	ポーランド 58.93	536.90	1,257.83
2019年	日本 756.93	米国 148.77	英国 144.25	韓国 90.64	ドイツ 74.20	756.93	1,516.31

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ミャンマー経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 120.10	IDA 69.97	GFATM 40.06	UNICEF 18.20	GAVI 16.26	40.70	305.29
2016年	IDA 144.81	EU Institutions 126.78	GFATM 113.88	AsDB 41.86	GAVI 19.66	48.33	495.34
2017年	IDA 220.55	GFATM 105.50	EU Institutions 77.69	AsDB 29.63	GAVI 22.91	44.81	501.09
2018年	IDA 208.87	EU Institutions 81.28	GFATM 45.80	AsDB 43.49	GAVI 39.05	54.81	473.30
2019年	IDA 232.74	EU Institutions 120.24	GFATM 69.49	GAVI 35.30	AsDB 30.13	60.66	548.59

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	727.79億円 ・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款(投資促進・金融セクター開発プログラム・ローン)(300.00) ・東西経済回廊幹線道路整備計画(バゴーチャイトー間新道路)(277.79) ・中小企業金融強化計画(フェーズ3)(150.00)	185.38億円 ・選挙支援計画(UNDP連携)(1.81) ・紛争の影響を受けた少数民族地域における国内避難民及び周辺コミュニティのための保健、水・衛生及び教育支援計画(UNICEF連携)(4.98) ・紛争の影響を受けた少数民族地域における国内避難民及び周辺コミュニティのための栄養改善計画(WFP連携)(4.97) ・ダウェイ合病院整備計画(国債登録4/4)(18.12) ・マンダレー港開発計画(国債登録4/4)(22.83) ・ヤンゴン新専門病院建設計画(国債登録4/4)(61.11) ・日本ミャンマー・アウンサン職業訓練学校整備計画(国債登録2/4)(9.27) ・ヤンゴン河航路標識改修計画(13.99) ・経済社会開発計画(3件)(28.00) ・人材育成奨学計画(4件)(6.14) ・草の根・人間の安全保障無償(16件)(2.92) ・日本NGO連携無償(16件)(11.23)	・MRTV能力強化プロジェクトフェーズ2 [20.10~24.10] ・通関電子化を通じたナショナル・シングル・ウィンドウ構築及び税関近代化のための能力向上プロジェクトフェーズ2 [20.07~23.06] ・工学教育産官学連携強化プロジェクト [21.01~25.01] ・園芸作物の安全向上によるバリューチェーン構築プロジェクト[21.01~24.12] ・道路橋梁維持管理能力強化プロジェクト[20.04~22.09]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [10] モンゴル

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
328万人	3,670ドル	-5.3%	332.36億ドル	低中所得国	iii/低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モンゴル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	46.70	25.11
2017年度	320.00	40.97	23.58
2018年度	—	12.50	22.59
2019年度	—	15.71	22.27
2020年度	250.00	32.44	12.93

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モンゴル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,829.44	1,238.94	533.91

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モンゴル援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	142.20	8.72 (0.09)	24.36	175.28
2017年	442.73	31.25 -	27.10	501.08
2018年	18.63	25.46 -	18.15	62.24
2019年	27.32	37.10 -	21.37	85.80
2020年	226.10	21.28 (2.09)	15.74	263.12
累計	1,399.18	1,035.90 (8.19)	640.02	3,075.10

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モンゴル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 100.72	韓国 26.14	ドイツ 25.23	スイス 25.22	オーストラリア 10.41	100.72	216.74
2016年	日本 191.43	韓国 42.88	ドイツ 23.43	スイス 21.85	米国 7.07	191.43	311.83
2017年	日本 516.73	韓国 25.60	ドイツ 23.05	スイス 18.85	米国 13.50	516.73	624.78
2018年	日本 88.18	韓国 80.10	ドイツ 33.38	スイス 16.45	米国 13.61	88.18	263.44
2019年	日本 114.88	韓国 57.23	ドイツ 30.13	米国 15.87	スイス 14.97	114.88	272.72

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モンゴル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	AsDB 32.40	IDA 12.76	EU Institutions 6.93	GEF 4.30	GFATM 3.78	10.98	71.15
2016年	AsDB 31.82	EU Institutions 13.41	IDA 11.07	GFATM 2.31	GEF 2.23	8.68	69.54
2017年	IDA 139.80	AsDB 38.03	EU Institutions 13.84	GFATM 4.50	GEF 1.81	10.97	208.97
2018年	AsDB 65.17	EU Institutions 30.20	IDA 15.73	GFATM 4.29	IFAD 1.78	9.75	126.92
2019年	AsDB 54.57	IDA 25.66	EU Institutions 19.55	GFATM 3.01	WHO 1.99	10.18	114.96

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	250.00億円 ・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款(250.00)	32.44億円 ・新型コロナウイルス感染症その他公衆衛生上の緊急事態へのモンゴル国の対処能力強化計画(UNICEF連携)(10.00) ・ウランバートル市初等・中等教育施設整備計画(国債登録4/4)(5.65) ・経済社会開発計画(1件)(10.00) ・人材育成奨学計画(4件)(3.04) ・草の根・人間の安全保障無償(13件)(2.63) ・NGO連携(2件)(1.08) ・草の根文化無償(1件)(0.04)	・国税庁改正税法執行能力強化支援プロジェクト[20.10~23.09] ・障害児のための教育改善プロジェクトフェーズ2[20.08~24.01] ・障害者就労支援制度構築プロジェクト[21.02~24.12] ・医師及び看護師の卒後研修強化プロジェクト[21.01~25.01] ・公務員獣医師及び民間獣医師実践能力強化プロジェクト[20.06~25.06] ・モンゴル日本人材開発センタービジネス人材育成・交流拠点機能強化プロジェクトフェーズ2[20.04~25.04]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

# [11] ラオス

## 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
728万人	2,480ドル	0.4%	171.64億ドル	後発開発途上国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ラオス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	33.10	28.23
2017年度	—	50.21	22.54
2018年度	—	44.68	23.30
2019年度	—	25.93	28.57
2020年度	—	44.51	13.69

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ラオス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	484.36	1,695.06	818.98

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ラオス援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	11.83	16.62	-	30.35
2017年	25.19	25.52 (3.12)	21.70	72.42
2018年	41.77	20.44	22.17	84.38
2019年	4.83	44.48 (7.79)	21.80	71.11
2020年	10.87	52.11 (4.02)	20.56	83.53
累計	214.52	1,413.56 (21.79)	831.67	2,459.75

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ラオス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 107.16	韓国 88.23	オーストラリア 36.38	ドイツ 27.82	米国 25.33	107.16	356.89
2016年	日本 63.78	韓国 37.66	米国 32.53	ドイツ 29.61	オーストラリア 29.19	63.78	256.91
2017年	日本 77.39	韓国 56.20	米国 44.65	ドイツ 25.30	スイス 24.82	77.39	301.08
2018年	日本 89.57	韓国 72.53	米国 55.48	ドイツ 33.35	ルクセンブルク 28.99	89.57	385.84
2019年	日本 76.60	韓国 65.09	米国 54.32	ドイツ 34.23	オーストラリア 24.72	76.60	340.27

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ラオス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	AsDB 67.91	IDA 28.81	EU Institutions 10.78	GFATM 8.23	IFAD 5.36	17.11	138.19
2016年	AsDB 53.75	IDA 53.34	EU Institutions 28.25	GFATM 13.64	GEF 5.11	21.93	176.01
2017年	IDA 100.14	AsDB 58.92	EU Institutions 29.81	GFATM 7.04	CIF 4.29	21.48	221.66
2018年	AsDB 114.89	IDA 52.82	EU Institutions 32.55	GAVI 5.11	GFATM 5.05	32.99	243.39
2019年	AsDB 154.23	IDA 100.27	EU Institutions 48.37	GAVI 6.57	IFAD 4.37	29.40	343.21

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	44.51億円 ・洪水被災地域における食料供給強化及び農業インフラ整備計画(WFP連携)(1.80) ・教員養成校改善計画(国債登録1/4)(3.01) ・技術改善及び女性のエンパワーメントを通じたラオスにおける国境管理能力向上計画(IOM連携)(2.20) ・中南部地域中等学校環境改善計画(国債登録4/4)(3.41) ・ルアンパバーン市上水道拡張計画(国債登録2/4)(6.17) ・経済社会開発計画(2件)(20.00) ・人材育成奨学計画(4件)(3.02) ・草の根・人間の安全保障無償(17件)(1.89) ・日本NGO連携無償(8件)(3.02)	・ビエンチャン国際空港の継続的改善に係る技術支援プロジェクト[21.02~22.03] ・産業発展のための工学人材強化プロジェクト[20.12~25.11] ・都市開発管理・促進能力強化プロジェクト[20.07~24.07] ・橋梁維持管理能力強化プロジェクト[20.11~23.11] ・グリッドコード整備及び運用体制強化による電力品質向上プロジェクト[21.02~24.01]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。



# 大洋州地域

# 大洋州地域

表－1 大洋州地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	80.48 (2.9)	79.58 (3.0)	140.38 (5.3)	139.62 (5.5)	133.73 (4.4)	2,596.95
		(うち国際機関を通じた贈与)	2.03 (0.1)	0.58 (0.0)	9.04 (0.7)	6.35 (0.5)	10.70 (0.6)	67.00
		技術協力	47.65 (1.7)	52.41 (1.8)	46.07 (1.7)	39.96 (1.5)	32.73 (1.4)	1,631.54
		贈与計	128.13 (2.3)	132.00 (2.4)	186.45 (3.5)	179.59 (3.4)	166.46 (3.0)	4,228.49
	有償資金協力 支出総額	52.64 (0.7)	189.24 (2.0)	32.75 (0.4)	41.45 (0.4)	162.14 (1.4)	1,175.85	
	<有償資金協力 支出純額>	<34.84>	<98.61>	<13.41>	<26.56>	<151.42>	<478.42>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		180.76 (1.3)	321.24 (2.1)	219.19 (1.6)	221.04 (1.5)	328.60 (1.9)	5,404.34	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<162.96> <(2.3)>	<230.61> <(2.9)>	<199.86> <(3.3)>	<206.15> <(2.8)>	<317.88> <(3.1)>	<4,706.91>	

注) 1. ( )内は各形態別の全世界合計(卒業国を除く)に占める大洋州地域の割合(%)

2.国際機関を通じた贈与は、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。

3.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

4.«政府開発援助計 支出純額»の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表－2 大洋州地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
政府開発援助計	2017	オーストラリア 814.16	日本 321.24	ニュージーランド 225.00	米国 157.80	フランス 104.76	321.24	1,677.86
	2018	オーストラリア 841.87	ニュージーランド 327.03	日本 219.20	米国 186.35	フランス 75.26	219.20	1,718.15
	2019	オーストラリア 819.50	ニュージーランド 313.90	日本 221.04	米国 140.08	フランス 131.26	221.04	1,700.59
有償資金協力	2017	日本 189.24	カナダ 5.72	-	-	-	189.24	194.96
	2018	日本 32.75	-	-	-	-	32.75	32.75
	2019	日本 41.46	カナダ 0.78	-	-	-	41.46	42.24
無償資金協力	2017	オーストラリア 406.61	ニュージーランド 165.75	米国 149.40	フランス 90.77	日本 79.57	79.57	926.43
	2018	オーストラリア 408.52	ニュージーランド 252.97	米国 179.16	日本 140.38	フランス 37.41	140.38	1,070.32
	2019	オーストラリア 397.90	ニュージーランド 248.10	日本 139.60	米国 133.20	フランス 99.54	139.60	1,074.32
技術協力	2017	オーストラリア 407.55	ニュージーランド 59.25	日本 52.42	フランス 13.99	ドイツ 8.94	52.42	556.49
	2018	オーストラリア 433.35	ニュージーランド 74.06	日本 46.07	フランス 37.85	ドイツ 9.76	46.07	615.08
	2019	オーストラリア 421.60	ニュージーランド 65.80	日本 39.98	フランス 31.72	米国 6.88	39.98	584.04

出典) OECD/DAC

表-3 大洋州地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2017	AsDB 119.57	IDA 111.75	EU Institutions 103.65	GEF 29.22	GFATM 27.79	83.53	475.45
	2018	IDA 314.99	EU Institutions 139.41	AsDB 92.93	GEF 29.66	GCF 24.07	103.35	704.44
	2019	IDA 166.33	EU Institutions 142.69	AsDB 111.30	GCF 86.04	GFATM 25.41	103.87	635.65
有償資金協力	2017	IDA 90.62	AsDB 59.43	IFAD 6.77	-	-	-	156.79
	2018	IDA 293.59	AsDB 48.69	IFAD 7.21	OPEC Fund 3.51	-	-	353.01
	2019	IDA 139.42	AsDB 53.23	IFAD 8.85	OPEC Fund 2.32	-	-	203.83
無償資金協力	2017	EU Institutions 92.55	AsDB 54.76	GEF 29.22	GFATM 27.79	IDA 21.13	72.95	298.35
	2018	EU Institutions 112.52	AsDB 44.24	GEF 29.66	GCF 24.07	GFATM 22.71	83.00	316.18
	2019	EU Institutions 127.84	GCF 86.04	AsDB 58.07	IDA 26.90	GFATM 25.41	92.71	416.98
技術協力	2017	EU Institutions 11.10	AsDB 5.39	FAO 3.01	ILO 0.80	-	-	20.32
	2018	EU Institutions 26.89	ILO 5.94	FAO 2.36	AsDB 0.02	-	-	35.24
	2019	EU Institutions 14.85	-	-	-	-	-	14.85

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

# [1] キリバス

## 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
11.9万人	3,010ドル	2.5%	-	後発開発途上国	iii/低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対キリバス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	2.88	2.24
2017年度	-	14.36	1.31
2018年度	-	24.56	1.27
2019年度	-	8.31	0.86
2020年度	-	4.19	0.36

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対キリバス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	261.72	50.12

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対キリバス援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	0.72	2.13	2.85
2017年	-	5.73	1.14	6.87
2018年	-	20.46	1.20	21.66
2019年	-	10.81	0.76	11.56
2020年	-	12.10 (0.18)	0.40	12.50
累計	-	223.23 (0.18)	64.57	287.79

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対キリバス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	オーストラリア 22.79	ニュージーランド 13.61	日本 1.85	韓国 0.34	米国 0.05	1.85	38.66
2016年	オーストラリア 19.18	ニュージーランド 11.18	日本 2.85	韓国 0.84	イタリア 0.54	2.85	34.78
2017年	オーストラリア 20.67	ニュージーランド 12.60	日本 6.87	韓国 0.53	ドイツ 0.06	6.87	40.81
2018年	日本 21.66	オーストラリア 20.79	ニュージーランド 13.66	韓国 0.80	ドイツ 0.29	21.66	57.45
2019年	オーストラリア 20.50	日本 11.56	ニュージーランド 10.61	韓国 0.93	イタリア 0.69	11.56	44.43

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対キリバス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 13.86	EU Institutions 3.64	AsDB 3.24	GEF 1.10	WHO 0.59	0.75	23.18
2016年	IDA 6.77	AsDB 5.22	EU Institutions 2.41	GEF 1.88	IFAD 0.67	0.88	17.83
2017年	AsDB 19.09	IDA 13.45	EU Institutions 2.49	IFAD 0.64	WHO 0.38	0.40	36.44
2018年	IDA 10.98	AsDB 5.25	EU Institutions 3.96	IFAD 0.93	GEF 0.82	0.95	22.87
2019年	IDA 7.28	AsDB 2.77	EU Institutions 2.39	WHO 0.33	IFAD 0.15	0.17	13.08

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	4.19億円 ・経済社会開発計画(2件)(3.98) ・草の根・人間の安全保障無償(1件) (0.21)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [2] クック

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.8万人	—	—	—	—	—

出典)アジア開発銀行等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対クック援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	0.34	0.11
2017年度	—	0.42	0.05
2018年度	—	2.54	0.08
2019年度	—	0.36	0.05
2020年度	—	1.19	0.01

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対クック援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	—	7.47	8.78

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対クック援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	0.17	0.06	0.23
2017年	-	0.42	0.09	0.51
2018年	-	2.07	0.04	2.11
2019年	-	0.39	0.07	0.46
2020年	-	0.49 (0.06)	0.02	0.51
累計	-	5.29	9.11	14.41

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対クック経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ニュージーランド 16.01	オーストラリア 3.15	日本 1.23	韓国 0.21	フランス 0.00	1.23	20.61
2016年	ニュージーランド 11.19	オーストラリア 3.10	日本 0.23	ドイツ 0.04	韓国 0.02	0.23	14.57
2017年	ニュージーランド 11.41	オーストラリア 2.36	日本 0.51	ドイツ 0.06	韓国 0.01	0.51	14.35
2018年	ニュージーランド 26.67	オーストラリア 2.11	-	韓国 0.16	ドイツ 0.01	2.11	31.06
	-	日本 2.11	-	-	-	-	-
2019年	ニュージーランド 24.89	オーストラリア 3.18	日本 0.46	韓国 0.02	ドイツ 0.00	0.46	28.55

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対クック経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 3.02	Adaptation Fund 1.38	GEF 1.24	WHO 0.34	AsDB 0.03	-	6.00
2016年	GEF 1.24	Adaptation Fund 1.17	EU Institutions 1.11	WHO 0.25	GCF 0.14	0.05	3.95
2017年	GEF 4.31	EU Institutions 2.05	GCF 0.29	WHO 0.17	UNDP 0.07	-	6.89
2018年	Adaptation Fund 1.34	GEF 1.33	EU Institutions 1.12	WHO 0.16	ILO 0.05	0.05	4.10
	-	-	-	-	UNDP 0.05	-	-
2019年	GEF 0.80	GCF 0.74	ILO 0.25	-	UNDP 0.02	-	2.06
	-	-	WHO 0.25	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	1.19億 円 ・経済社会開発計画(1件)(1.00) ・草の根・人間の安全保障無償(2件) (0.19)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

### [3] サモア

#### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
19.8万人	4,070ドル	-2.7%	4.37億ドル	高中所得国	iii/低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対サモア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	16.20	5.53
2017年度	—	4.63	4.46
2018年度	—	11.05	3.66
2019年度	—	34.48	3.68
2020年度	—	5.48	1.68

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対サモア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	45.98	382.00	156.62

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対サモア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	0.08	11.66	4.89	16.63
2017年	6.27	17.01	5.31	28.59
2018年	-1.80	24.72	3.32	26.24
2019年	-1.83	34.12	3.15	35.44
2020年	-0.93	7.55 (0.18)	1.97	8.59
累計	39.44	317.10 (0.18)	140.18	496.72

注)1. 無償資金協力の( )内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対サモア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	オーストラリア 28.55	ニュージーランド 13.80	日本 11.66	米国 0.86	アイルランド 0.11	11.66	55.09
	-	-	-	-	韓国 0.11	-	-
2016年	オーストラリア 25.90	日本 16.63	ニュージーランド 14.79	米国 1.41	韓国 0.11	16.63	58.87
2017年	オーストラリア 31.18	日本 29.48	ニュージーランド 15.50	米国 1.24	英国 0.23	29.48	77.77
2018年	日本 28.04	オーストラリア 25.28	ニュージーランド 20.24	米国 1.83	韓国 0.69	28.04	76.16
2019年	日本 37.26	オーストラリア 23.71	ニュージーランド 14.79	英国 2.39	米国 1.23	37.26	80.63

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対サモア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 18.97	EU Institutions 13.05	AsDB 7.30	GEF 4.10	OPEC Fund 1.48	2.07	46.97
2016年	IDA 13.13	AsDB 9.29	EU Institutions 6.24	GEF 3.46	OPEC Fund 2.93	4.75	39.80
2017年	IDA 27.03	AsDB 18.83	EU Institutions 8.12	GEF 6.33	GCF 4.77	3.86	68.94
2018年	IDA 19.24	EU Institutions 16.40	AsDB 11.52	GCF 7.38	GEF 5.66	5.84	66.06
2019年	IDA 32.36	EU Institutions 6.55	GEF 4.28	AsDB 4.26	CERF 2.71	3.75	53.91

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	5.48億 円 ・ヴァイシガノ橋架け替え計画(国債登録5/5)(0.26) ・経済社会開発計画(2件)(3.50) ・草の根・人間の安全保障無償(10件)(1.72)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [4] ソロモン

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
68.7万人	2,300ドル	-4.3%	4.29億ドル	後発開発途上国	iii/低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ソロモン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	20.64	4.20
2017年度	—	5.51	5.99
2018年度	—	8.25	6.85
2019年度	—	8.70	6.46
2020年度	25.00	27.91	3.80

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ソロモン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	25.00	349.75	138.21

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ソロモン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	15.25	3.87	19.13
2017年	-	7.88	4.81	12.69
2018年	-	18.66	5.51	24.18
2019年	-	1.84	6.31	8.15
2020年	-	9.89 (0.39)	3.61	13.51
累計	-2.83	275.67 (0.88)	146.05	418.89

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ソロモン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	オーストラリア 122.00	ニュージーランド 20.28	日本 16.82	韓国 2.83	米国 0.90	16.82	163.89
2016年	オーストラリア 108.56	日本 19.13	ニュージーランド 14.26	韓国 2.44	米国 0.88	19.13	146.24
2017年	オーストラリア 119.20	ニュージーランド 18.58	日本 12.69	韓国 4.45	米国 0.67	12.69	156.34
2018年	オーストラリア 113.40	日本 24.18	ニュージーランド 22.20	韓国 2.77	米国 1.60	24.18	166.09
2019年	オーストラリア 119.61	ニュージーランド 22.21	米国 21.40	日本 8.15	韓国 2.74	8.15	176.28

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ソロモン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 8.87	EU Institutions 5.65	GEF 4.43	AsDB 4.08	GAVI 1.46	4.44	28.94
2016年	AsDB 17.44	IDA 6.85	GEF 3.97	GFATM 3.29	EU Institutions 1.25	4.13	36.92
2017年	AsDB 11.04	EU Institutions 9.58	IDA 4.18	IFAD 3.19	GEF 2.47	7.81	38.27
2018年	AsDB 9.72	EU Institutions 8.44	IDA 5.76	GAVI 2.89	GFATM 2.78	7.02	36.60
2019年	EU Institutions 11.89	IDA 11.06	GCF 8.00	AsDB 6.72	CIF 4.33	9.55	51.55

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	25.00億 円 ・新型コロナウイルス感染症危機対応 緊急支援借款(25.00)	27.91億 円 ・汚職対策能力向上計画(UNDP連携) (1.89) ・第二次ククム幹線道路改善計画(国 債登録1/4)(2.39) ・ホニアラ国際空港整備計画(国債登録 3/4)(20.30) ・経済社会開発計画(1件)(3.00) ・草の根・人間の安全保障無償(4件) (0.33)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [5] ツバル

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.2万人	5,820ドル	4.4%	-	後発開発途上国	iii/高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ツバル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.15	1.91
2017年度	-	0.14	0.78
2018年度	-	6.83	1.48
2019年度	-	1.22	0.14
2020年度	-	1.00	0.02

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ツバル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	111.04	31.29

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ツバル援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	0.57	-	1.28
2017年	-	0.34	-	1.16
2018年	-	0.36	-	1.71
2019年	-	3.38	-	3.50
2020年	-	1.98 (0.02)	0.06	2.04
累計	-	101.21 (0.02)	29.17	130.38

注)1. 無償資金協力の( )内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ツバル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ニュージーランド 14.22	日本 13.18	オーストラリア 7.90	韓国 0.13	ドイツ 0.05	13.18	35.56
2016年	オーストラリア 5.53	ニュージーランド 4.98	日本 1.85	イタリア 0.29	韓国 0.24	1.85	12.91
2017年	オーストラリア 6.47	ニュージーランド 5.17	日本 1.50	韓国 0.10	イタリア 0.05	1.50	13.30
2018年	オーストラリア 6.43	ニュージーランド 3.48	日本 2.06	韓国 0.16	英国 0.06	2.06	12.20
2019年	オーストラリア 9.41	ニュージーランド 6.41	日本 3.50	韓国 0.21	イタリア 0.13	3.50	19.83

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ツバル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 7.76	AsDB 2.20	GEF 1.67	EU Institutions 0.45	ILO 0.12	0.13	12.33
2016年	IDA 7.98	GEF 1.67	AsDB 0.92	EU Institutions 0.75	ILO 0.10	0.07	11.49
2017年	IDA 8.21	AsDB 4.89	GCF 2.01	EU Institutions 0.26	ILO 0.20	0.06	15.64
2018年	IDA 10.52	EU Institutions 2.38	GEF 1.40	AsDB 1.17	UNDP 0.05	0.08	15.59
2019年	AsDB 7.97	GCF 4.69	IDA 2.53	EU Institutions 1.62	FAO 0.14	0.07	17.03

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	1.00億 円 ・経済社会開発計画(1件)(1.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [6] トンガ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
10.6万人	—	0.7%	1.94億ドル	高中所得国	iii/高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対トンガ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	15.94	3.52
2017年度	—	24.80	2.31
2018年度	—	29.14	2.34
2019年度	—	0.62	1.73
2020年度	—	3.02	0.89

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対トンガ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	—	290.09	119.32

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対トンガ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	10.41	2.50	12.91
2017年	-	19.44	3.48	22.92
2018年	-	11.46	2.07	13.54
2019年	-	15.23	1.55	16.78
2020年	-	16.66 (0.08)	0.96	17.62
累計	-	246.41 (0.08)	108.13	354.54

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対トンガ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	オーストラリア 19.77	ニュージーランド 14.11	日本 9.25	米国 1.61	イタリア 0.26	9.25	45.24
2016年	オーストラリア 19.68	ニュージーランド 16.99	日本 12.91	米国 1.35	イタリア 0.49	12.91	51.71
2017年	日本 22.92	オーストラリア 22.74	ニュージーランド 8.46	ドイツ 1.79	米国 1.55	22.92	57.61
2018年	オーストラリア 25.75	ニュージーランド 22.56	日本 13.54	米国 1.60	韓国 0.16	13.54	63.72
2019年	オーストラリア 19.00	日本 16.78	ニュージーランド 9.67	米国 1.28	ドイツ 0.30	16.78	47.50

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対トンガ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 15.17	AsDB 4.39	EU Institutions 4.32	WHO 0.81	GEF 0.59	0.48	25.76
2016年	AsDB 14.30	IDA 13.21	EU Institutions 3.27	GEF 1.15	IFAD 0.94	0.69	33.57
2017年	IDA 12.12	AsDB 9.84	CIF 6.56	EU Institutions 3.69	IFAD 0.94	0.82	33.96
2018年	IDA 16.51	AsDB 9.45	EU Institutions 5.08	CIF 3.92	IFAD 0.67	0.86	36.49
2019年	GCF 24.32	IDA 15.92	AsDB 14.87	CIF 4.13	EU Institutions 1.97	1.70	62.91

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	3.02億 円 ・経済社会開発計画(2件)(2.50) ・草の根・人間の安全保障無償(6件) (0.52)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [7] ナウル

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.1万人	—	0.0%	—	高中所得国	iv/高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1 我が国の対ナウル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	2.06	0.11
2017年度	—	—	0.15
2018年度	—	8.81	0.12
2019年度	—	2.19	0.06
2020年度	—	1.07	0.02

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ナウル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	—	32.17	2.91

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ナウル援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	2.06	0.13	2.19
2017年	-	0.31	0.13	0.44
2018年	-	0.23	0.07	0.30
2019年	-	8.33	0.06	8.39
2020年	-	2.22 (0.03)	0.04	2.26
累計	-	33.43 (0.03)	6.46	39.89

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ナウル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	オーストラリア 23.43	日本 2.69	ニュージーランド 1.73	-	-	2.69	27.85
2016年	オーストラリア 14.25	日本 2.19	ニュージーランド 0.98	韓国 0.35	イタリア 0.20	2.19	17.97
2017年	オーストラリア 21.35	ニュージーランド 1.61	日本 0.44	韓国 0.14	カナダ 0.01	0.44	23.54
2018年	オーストラリア 23.29	ニュージーランド 3.11	日本 0.30	イタリア 0.05	-	0.30	26.75
2019年	オーストラリア 17.84	日本 8.39	ニュージーランド 2.82	イタリア 0.28	スイス 0.11	8.39	29.59

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ナウル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	GEF 0.53	AsDB 0.37	EU Institutions 0.10	WHO 0.08	UNDP 0.02	-	1.10
2016年	AsDB 3.83	GEF 0.53	EU Institutions 0.01	-	-	-	4.38
	-	-	WHO 0.01	-	-	-	-
2017年	AsDB 1.73	EU Institutions 0.27	WHO 0.07	UNDP 0.06	-	-	2.14
2018年	GCF 5.51	AsDB 3.01	EU Institutions 1.51	GEF 0.65	WHO 0.01	-	10.70
2019年	GCF 18.84	AsDB 5.15	EU Institutions 0.65	WHO 0.06	FAO 0.03	-	24.74

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	1.07億円 ・経済社会開発計画(1件)(1.00) ・草の根・人間の安全保障無償(1件) (0.07)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [8] ニウエ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
0.15万人	—	—	—	高中所得国	—

出典)太平洋共同体事務局等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ニウエ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	0.20	0.10
2017年度	—	—	0.09
2018年度	—	1.17	0.05
2019年度	—	0.13	0.13
2020年度	—	1.13	—

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ニウエ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	—	2.63	2.13

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ニウエ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	0.18	0.05	0.24
2017年	-	-	0.10	0.10
2018年	-	0.91	0.05	0.96
2019年	-	0.16	0.10	0.26
2020年	-	0.15 (0.02)	0.03	0.17
累計	-	1.40 (0.02)	2.01	3.41

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ニウエ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ニュージーランド 16.72	オーストラリア 2.39	韓国 0.10	日本 0.07	-	0.07	19.28
2016年	ニュージーランド 9.71	オーストラリア 2.58	日本 0.24	米国 0.06	韓国 0.02	0.24	12.61
2017年	ニュージーランド 11.96	オーストラリア 1.75	日本 0.10	カナダ 0.01	韓国 0.00	0.10	13.83
2018年	ニュージーランド 16.11	日本 0.96	オーストラリア 0.45	-	-	0.96	17.51
2019年	ニュージーランド 15.50	オーストラリア 2.44	日本 0.26	韓国 0.02	-	0.26	18.22

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ニウエ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 0.19	WHO 0.06	GCF 0.04	UNDP 0.00	-	-	0.30
2016年	GEF 0.98	UNDP 0.05	WHO 0.04	EU Institutions 0.01	-	-	1.07
2017年	EU Institutions 0.43	GEF 0.39	UNDP 0.07	WHO 0.05	-	-	0.94
2018年	GEF 0.83	GCF 0.29	EU Institutions 0.18	UNDP 0.06	WHO 0.02	0.01	1.40
2019年	EU Institutions 0.38	FAO 0.09	WHO 0.07	GEF 0.06	UNDP 0.03	-	0.62

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	1.13億円 ・経済社会開発計画(1件)(1.00) ・草の根・人間の安全保障無償(1件) (0.13)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [9] バヌアツ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
30.7万人	2,780ドル	-9.2%	4.27億ドル	低中所得国	iii/低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対バヌアツ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	0.68	4.20
2017年度	—	0.51	4.37
2018年度	—	3.51	4.21
2019年度	—	8.07	5.29
2020年度	—	7.36	2.45

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対バヌアツ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	95.43	153.53	98.86

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対バヌアツ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	23.82	0.49	3.53	27.84
2017年	25.20	0.77	3.99	29.97
2018年	7.92	0.92	4.25	13.09
2019年	1.12	2.66	3.32	7.10
2020年	-0.02	6.74 (0.38)	3.23	9.95
累計	73.21	130.58 (1.02)	92.83	296.62

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対バヌアツ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	オーストラリア 89.98	ニュージーランド 26.88	日本 18.37	米国 4.93	英国 3.74	18.37	151.04
2016年	オーストラリア 40.36	日本 27.84	ニュージーランド 27.28	米国 3.46	フランス 2.74	27.84	103.72
2017年	オーストラリア 50.53	日本 29.97	ニュージーランド 16.42	米国 3.65	フランス 2.73	29.97	103.85
2018年	オーストラリア 42.94	ニュージーランド 17.08	日本 13.09	フランス 5.27	米国 3.63	13.09	83.31
2019年	オーストラリア 42.75	ニュージーランド 17.21	日本 7.10	フランス 3.74	米国 2.39	7.10	76.33

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対バヌアツ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IMF-CTF 11.89	EU Institutions 10.15	AsDB 3.60	GEF 2.92	IDA 1.27	2.67	32.49
2016年	EU Institutions 11.92	AsDB 5.05	IDA 3.96	GEF 3.95	WHO 0.87	1.38	27.13
2017年	IDA 18.19	AsDB 9.51	WHO 1.25	GGGI 0.83	EU Institutions 0.57	0.88	31.23
2018年	IDA 28.44	AsDB 10.36	GEF 6.55	EU Institutions 3.55	WHO 0.78	1.97	51.67
2019年	IDA 39.14	AsDB 11.44	EU Institutions 2.64	GCF 2.11	GEF 1.30	1.64	58.27

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	7.36億円 ・テオウマ橋災害復興計画(国債登録2/4)(3.18) ・サント島における水力発電施設建設計画(詳細設計)(0.63) ・経済社会開発計画(1件)(3.00) ・草の根・人間の安全保障無償(3件)(0.55)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [10] パプアニューギニア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
894.7万人	2,660ドル	-3.9%	179.7億ドル	低所得国	iii/低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1 我が国の対パプアニューギニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	18.78	12.29
2017年度	—	0.88	11.00
2018年度	—	17.33	13.68
2019年度	—	4.07	9.54
2020年度	300.00	29.27	5.74

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パプアニューギニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,357.28	491.30	377.05

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パプアニューギニア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	12.06	19.76 (1.10)	12.59	44.40
2017年	6.99	2.16 -	12.04	21.19
2018年	8.39	22.31 (0.91)	13.39	44.10
2019年	24.17	20.92 -	7.91	52.99
2020年	88.00	23.30 (1.16)	6.76	118.06
累計	143.39	425.39 (4.28)	351.74	920.52

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パプアニューギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	オーストラリア 416.45	ニュージーランド 19.64	日本 18.70	米国 8.04	ノルウェー 2.44	18.70	471.27
2016年	オーストラリア 338.53	日本 61.08	ニュージーランド 23.29	米国 11.88	ドイツ 1.96	61.08	441.06
2017年	オーストラリア 381.46	日本 37.37	ニュージーランド 22.54	米国 10.98	ドイツ 1.41	37.37	457.08
2018年	オーストラリア 418.60	日本 60.53	ニュージーランド 28.47	米国 8.75	ドイツ 2.82	60.53	525.57
2019年	オーストラリア 415.17	日本 64.94	ニュージーランド 28.72	米国 6.96	ドイツ 3.09	64.94	524.49

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パプアニューギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	AsDB 68.86	IDA 23.87	EU Institutions 21.87	GFATM 18.17	GAVI 8.87	16.37	158.00
2016年	AsDB 41.23	IDA 32.56	GFATM 19.96	EU Institutions 15.67	IFAD 3.52	18.93	131.87
2017年	AsDB 37.27	GFATM 21.77	IDA 20.20	EU Institutions 13.28	GEF 5.06	19.98	117.54
2018年	IDA 192.45	AsDB 38.15	EU Institutions 34.00	GFATM 15.06	CERF 9.19	28.65	317.50
2019年	EU Institutions 48.10	AsDB 41.95	IDA 32.13	GFATM 19.19	GAVI 13.26	29.72	184.36

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	300.00億円 ・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款(300.00)	29.27億円 ・地方電力供給網拡張計画(10.00) ・経済社会開発計画(2件)(19.00) ・人間の安全保障無償(3件)(0.27)	・初等理数科教員養成校強化プロジェクト [20.09~24.09] ・ココポ・ラバウルにおけるインフラ開発計画策定プロジェクト[21.02~23.02] ・道路整備能力強化プロジェクトフェーズ2 [21.03~24.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [11] パラオ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.8万人	—	-4.2%	—	高中所得国	iv/高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対パラオ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	8.12	4.03
2017年度	—	3.25	3.58
2018年度	—	18.59	1.73
2019年度	—	8.93	2.44
2020年度	—	12.79	1.03

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パラオ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	—	276.97	78.88

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パラオ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	8.20	2.28	10.48
2017年	-	8.32	4.66	12.97
2018年	-	12.84 (0.07)	1.99	14.82
2019年	4.22	11.84	2.34	18.40
2020年	15.48	16.39 (3.78)	1.23	33.10
累計	19.70	219.05 (3.85)	83.60	322.34

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パラオ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 3.51	米国 2.66	オーストラリア 2.02	イタリア 0.25	ドイツ 0.07	3.51	8.62
	-	-	-	-	韓国 0.07	-	-
2016年	日本 10.48	オーストラリア 1.22	米国 0.89	韓国 0.19	ニュージーランド 0.10	10.48	13.02
2017年	日本 12.97	米国 2.92	オーストラリア 1.49	ニュージーランド 0.19	ベルギー 0.15	12.97	17.77
2018年	米国 66.40	日本 14.82	オーストラリア 1.20	韓国 0.61	ニュージーランド 0.25	14.82	83.51
2019年	日本 18.40	オーストラリア 2.20	米国 1.36	ニュージーランド 0.51	韓国 0.41	18.40	23.34

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パラオ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	AsDB 0.45	GEF 0.18	WHO 0.09	IAEA 0.08	ILO 0.02	0.00	0.82
2016年	AsDB 3.41	GEF 1.21	IAEA 0.07	GCF 0.04	WHO 0.03	-	4.76
2017年	AsDB 3.56	EU Institutions 0.13	WHO 0.09	IAEA 0.04	UNDP 0.02	-	3.84
2018年	AsDB 0.59	GEF 0.20	ILO 0.08	FAO 0.05	UNDP 0.04	0.06	1.02
2019年	EU Institutions 0.70	AsDB 0.66	ILO 0.16	IAEA 0.12	FAO 0.08	0.07	1.79

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	12.79億円 ・経済社会開発計画(3件)(9.00) ・草の根・人間の安全保障無償(5件) (1.81) ・NGO連携(2件)(1.98)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [12] フィジー

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
89.6万人	4,720ドル	-19.0%	15.18億ドル	高中所得国	iii/高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対フィジー援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	6.15	6.72
2017年度	—	4.14	6.89
2018年度	—	4.08	8.10
2019年度	50.00	9.84	6.96
2020年度	100.00	8.65	4.01

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対フィジー援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	172.87	232.08	308.41

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対フィジー援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-1.12	3.97	-	6.80
2017年	-1.08	12.86 (0.01)	6.70	18.48
2018年	-1.10	1.81 (0.07)	5.45	6.16
2019年	-1.11	4.42 (0.10)	7.19	10.49
2020年	19.00	15.44 (0.59)	5.73	40.17
累計	19.35	205.56 (31.04)	296.23	521.13

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対フィジー経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	オーストラリア 42.75	日本 9.08	ニュージーランド 7.75	英国 1.93	米国 1.84	9.08	67.82
2016年	オーストラリア 57.63	ニュージーランド 16.42	日本 10.77	米国 3.52	ドイツ 2.35	10.77	95.42
2017年	オーストラリア 46.89	日本 19.56	ニュージーランド 16.77	韓国 3.72	米国 2.49	19.56	96.39
2018年	オーストラリア 47.07	ニュージーランド 17.00	韓国 7.44	日本 7.26	ドイツ 2.68	7.26	85.84
2019年	オーストラリア 41.54	ニュージーランド 14.81	日本 11.61	韓国 6.35	英国 4.72	11.61	84.52

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対フィジー経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 19.13	GFATM 7.24	GEF 2.12	WHO 1.31	AsDB 0.87	1.65	32.32
2016年	EU Institutions 11.36	AsDB 2.79	UNDP 2.32	WHO 2.24	GEF 1.52	2.35	22.58
2017年	EU Institutions 33.52	GEF 10.66	UNDP 1.64	WHO 1.25	AsDB 0.73	2.54	50.33
2018年	EU Institutions 11.84	UNICEF 8.84	GEF 5.23	GCF 4.50	GGGI 1.43	4.26	36.09
2019年	GCF 17.14	EU Institutions 11.66	UNICEF 9.94	GEF 2.05	UNDP 1.27	3.75	45.80

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	100.00億 円 ・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款(100.00)	8.65億円 ・タマプア・イ・ワイ橋架け替え計画(詳細設計)(0.60) ・経済社会開発計画(1件)(5.00) ・草の根・人間の安全保障無償(16件)(3.05)	・SDG14に基づく大洋州における海洋資源の持続可能な開発及び資源管理における能力強化プロジェクト[20.12~24.12] ・防災の主流化促進プロジェクト[20.11~24.10]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [13] マーシャル

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
5.9万人	—	6.5%	—	高中所得国	iii/高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対マーシャル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	0.48	2.13
2017年度	—	11.01	1.71
2018年度	—	10.18	1.15
2019年度	—	8.66	1.11
2020年度	—	5.05	0.92

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対マーシャル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	—	189.36	54.42

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対マーシャル援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	2.25	1.62	3.87
2017年	-	0.78	3.92	4.69
2018年	-	3.00	1.07	4.07
2019年	-	9.38	1.03	10.41
2020年	-	11.57 (0.09)	0.99	12.56
累計	-	136.83 (0.09)	65.18	202.01

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対マーシャル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 45.98	日本 5.52	オーストラリア 3.58	ドイツ 0.06	ニュージーランド 0.05	5.52	55.21
2016年	米国 6.90	日本 3.87	オーストラリア 1.34	ニュージーランド 0.27	韓国 0.17	3.87	12.89
2017年	米国 56.53	オーストラリア 9.58	日本 4.69	ドイツ 0.37	英国 0.31	4.69	72.05
2018年	米国 42.13	日本 4.07	ドイツ 1.32	オーストラリア 0.81	ニュージーランド 0.80	4.07	49.33
2019年	米国 42.08	日本 10.41	オーストラリア 2.05	ドイツ 0.82	ニュージーランド 0.70	10.41	56.64

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対マーシャル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 1.20	WHO 0.24	ILO 0.11	AsDB 0.08	-	-	1.71
	-	-	-	UNDP 0.08	-	-	-
2016年	AsDB 0.59	IDA 0.50	EU Institutions 0.24	IAEA 0.17	WHO 0.13	0.12	1.74
2017年	AsDB 1.53	IDA 1.03	ILO 0.18	WHO 0.15	IAEA 0.07	-	2.95
2018年	IDA 2.52	AsDB 2.46	EU Institutions 1.77	GCF 0.40	GEF 0.23	0.40	7.79
2019年	IDA 5.85	EU Institutions 3.56	AsDB 2.50	ILO 0.26	WHO 0.24	0.21	12.62

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	5.05億円 ・マジュロ環礁における貯水池整備計画 (国債登録1/4)(1.38) ・経済社会開発計画(1件)(3.31) ・草の根・人間の安全保障無償(4件) (0.36)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [14] ミクロネシア連邦

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
11.5万人	—	1.2%	—	低中所得国	iii/低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ミクロネシア連邦援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	14.33	2.70
2017年度	—	4.94	2.24
2018年度	—	3.65	2.42
2019年度	—	6.44	2.14
2020年度	—	5.35	1.79

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ミクロネシア連邦援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	—	248.32	97.41

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ミクロネシア連邦援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	3.56	2.17	5.74
2017年	-	2.77	2.38	5.15
2018年	-	12.33	2.15	14.49
2019年	-	9.29	2.12	11.41
2020年	-	5.59 (0.16)	1.95	7.53
累計	15.65	201.89 (0.16)	115.26	332.80

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ミクロネシア連邦経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 60.38	日本 12.69	オーストラリア 2.83	ニュージーランド 0.46	韓国 0.11	12.69	76.49
2016年	米国 29.56	日本 5.74	オーストラリア 1.24	韓国 0.32	ニュージーランド 0.28	5.74	37.34
2017年	米国 69.73	オーストラリア 13.63	日本 5.15	韓国 0.66	ニュージーランド 0.35	5.15	89.55
2018年	米国 55.43	日本 14.49	オーストラリア 2.80	ニュージーランド 0.91	韓国 0.73	14.49	74.47
2019年	米国 57.78	日本 11.41	オーストラリア 4.17	ニュージーランド 1.04	韓国 0.57	11.41	75.49

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ミクロネシア連邦経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 2.62	AsDB 2.26	GEF 1.01	WHO 0.60	EU Institutions 0.06	-	6.55
2016年	IDA 8.84	AsDB 3.15	GEF 0.94	WHO 0.49	GCF 0.20	0.01	13.63
2017年	IDA 5.20	EU Institutions 2.06	AsDB 1.55	Adaptation Fund 1.25	WHO 0.51	0.13	10.69
2018年	IDA 25.45	Adaptation Fund 0.48	WHO 0.42	AsDB 0.30	FAO 0.20	0.09	26.95
2019年	IDA 18.01	GCF 0.60	WHO 0.47	AsDB 0.32	FAO 0.29	-	19.70

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	5.35億円 ・経済社会開発計画(1件)(3.82) ・草の根・人間の安全保障無償(5件) (0.55) ・NGO連携(1件)(0.98)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。



# 南西アジア地域

## 南西アジア地域

表－1 南西アジア地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	135.78 (4.8)	188.59 (7.2)	191.05 (7.3)	217.67 (8.5)	174.79 (5.7)	12,560.27
		(うち国際機関を通じた贈与)	31.51 (2.0)	27.27 (2.0)	74.46 (5.7)	64.08 (5.5)	79.06 (4.4)	973.07
		技術協力	171.57 (6.2)	299.35 (10.4)	186.68 (7.1)	202.11 (7.4)	154.78 (6.4)	4,938.00
		贈与計	307.35 (5.5)	487.94 (8.9)	377.73 (7.2)	419.78 (8.0)	329.57 (6.0)	17,498.27
	有償資金協力 支出総額	2,607.79 (33.2)	3,844.07 (40.1)	3,618.48 (45.2)	4,076.16 (43.4)	4,134.77 (36.2)	62,769.35	
	<有償資金協力 支出純額>	<1,444.10>	<2,469.00>	<2,176.35>	<2,582.02>	<2,649.74>	<33,041.08>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		2,915.14 (21.7)	4,332.00 (28.7)	3,996.20 (30.1)	4,495.94 (30.6)	4,464.34 (26.4)	80,267.62	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<1,751.45> <(24.8)>	<2,956.94> <(36.6)>	<2,554.08> <(41.9)>	<3,001.80> <(40.1)>	<2,979.30> <(29.1)>	<50,539.35>	

注) 1. ( )内は各形態別の全世界合計(卒業国を除く)に占める南西アジア地域の割合(%)

2. 国際機関を通じた贈与は、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

4. 「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表－2 南西アジア地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
政府開発援助計	2017	日本 4,332.01	ドイツ 1,564.96	米国 1,180.84	英国 1,008.64	フランス 390.48	4,322.01	9,309.99
	2018	日本 3,996.20	ドイツ 1,212.12	米国 1,167.21	英国 979.74	フランス 517.14	3,996.20	8,758.58
	2019	日本 4,495.94	ドイツ 1,263.13	米国 1,068.50	英国 1,022.97	フランス 516.48	4,495.94	9,324.74
有償資金協力	2017	日本 3,844.06	ドイツ 958.83	フランス 347.19	英国 29.89	韓国 29.39	3,844.06	5,226.79
	2018	日本 3,618.47	ドイツ 613.78	フランス 460.52	韓国 72.26	英国 20.66	3,618.47	4,800.41
	2019	日本 4,076.16	ドイツ 679.55	フランス 476.17	韓国 208.82	英国 32.67	4,076.16	5,476.91
無償資金協力	2017	米国 1,157.08	英国 693.22	ドイツ 268.61	日本 188.58	スイス 120.88	188.58	2,948.43
	2018	米国 1,138.78	英国 887.60	ドイツ 213.29	日本 191.05	スイス 108.99	191.05	3,063.44
	2019	米国 1,050.70	英国 834.84	日本 217.67	ドイツ 160.98	スイス 100.00	217.67	2,848.48
技術協力	2017	ドイツ 337.52	日本 299.36	英国 285.53	オーストラリア 42.04	フランス 29.05	299.36	1,134.76
	2018	ドイツ 385.05	日本 186.67	英国 71.48	オーストラリア 49.00	カナダ 45.90	186.67	894.73
	2019	ドイツ 422.59	日本 202.11	英国 155.45	カナダ 40.71	オーストラリア 30.71	202.11	999.35

出典) OECD/DAC

表-3 南西アジア地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位		2位		3位		4位		5位		その他	合計
政府開発援助計	2017	IDA	3,871.06	AsDB	1,225.54	EU Institutions	887.75	GAVI	357.27	GFATM	201.24	623.00	7,165.87
	2018	IDA	3,845.63	AsDB	940.37	EU Institutions	837.22	GAVI	349.21	GFATM	233.99	633.08	6,839.48
	2019	IDA	4,061.09	AsDB	1,793.85	EU Institutions	569.06	GAVI	380.23	GFATM	258.38	606.17	7,668.78
有償資金協力	2017	IDA	3,832.90	AsDB	1,137.96	EU Institutions	429.18	IFAD	104.14	CIF	79.46	73.55	5,657.17
	2018	IDA	3,811.01	AsDB	867.98	EU Institutions	408.85	IFAD	106.36	CIF	83.51	81.72	5,359.41
	2019	IDA	4,024.26	AsDB	1,679.70	EU Institutions	248.33	IFAD	141.41	OPEC Fund	38.58	12.53	6,144.81
無償資金協力	2017	EU Institutions	378.57	GAVI	357.27	GFATM	201.24	UNICEF	131.99	AsDB	65.57	256.79	1,391.40
	2018	GAVI	349.21	EU Institutions	334.27	GFATM	233.99	UNICEF	129.63	AsDB	72.25	255.61	1,374.95
	2019	GAVI	380.23	GFATM	258.38	EU Institutions	212.69	UNICEF	144.35	AsDB	114.19	306.12	1,415.94
技術協力	2017	EU Institutions	80.01	AsDB	22.02	IDA	7.72	FAO	6.49	ILO	0.84	0.20	117.29
	2018	EU Institutions	94.11	ILO	8.72	FAO	2.10	AsDB	0.14	-	-	-	105.11
		-	-	-	-	-	OPEC Fund	0.14	-	-	-	-	-
2019	EU Institutions	108.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	108.04	

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

# [1] インド

## 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
13.80億人	1,900ドル	-8.0%	5,641.79億ドル	低中所得国	iii/低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対インド援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	3,713.45	1.10	159.50
2017年度	3,841.32	16.00	90.67
2018年度	4,219.55	17.57	106.62
2019年度	3,744.40	14.62	87.00
2020年度	3,562.96	51.20	73.14

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対インド援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	65,661.32	1,022.87	999.94

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対インド援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	951.28	7.89 -	48.62	1,007.78
2017年	1,390.52	1.35 -	162.76	1,554.63
2018年	1,280.92	8.34 -	86.15	1,375.40
2019年	1,681.14	7.48 -	106.15	1,794.77
2020年	597.77	12.55 (5.97)	81.51	691.82
累計	19,300.37	639.45 (20.96)	1,186.93	21,126.75

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対インド経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 1,538.26	ドイツ 1,194.16	英国 283.57	米国 92.57	フランス 85.79	1,538.26	3,290.10
2016年	日本 1,800.46	ドイツ 618.30	フランス 167.38	英国 127.71	米国 121.35	1,800.46	2,919.80
2017年	日本 2,376.10	ドイツ 1,181.84	フランス 214.78	米国 137.21	英国 118.33	2,376.10	4,112.84
2018年	日本 2,231.91	ドイツ 876.49	フランス 351.61	英国 133.92	米国 133.66	2,231.91	3,812.70
2019年	日本 2,699.94	ドイツ 947.84	フランス 272.70	英国 153.48	米国 99.02	2,699.94	4,271.56

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対インド経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 1,186.25	EU Institutions 304.87	GFATM 262.59	GAVI 133.34	UNICEF 54.46	105.30	2,046.81
2016年	IDA 1,610.17	EU Institutions 303.02	GAVI 135.09	GFATM 130.09	UNICEF 58.96	132.09	2,369.42
2017年	IDA 1,279.87	EU Institutions 466.37	GAVI 144.20	CIF 67.25	UNICEF 64.83	75.47	2,097.99
2018年	IDA 1,031.68	EU Institutions 402.73	GAVI 106.22	GFATM 103.21	CIF 70.71	138.60	1,853.14
2019年	IDA 1,024.02	EU Institutions 196.28	GFATM 130.83	GAVI 120.87	UNICEF 63.15	111.97	1,647.10

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	3,562.96億円 ・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款(500.00) ・社会保護のための新型コロナウイルス感染症危機対応支援借款(300.00) ・ベンガルール・メロ建設計画(フェーズ2)(520.36) ・デリー高速輸送システム建設計画(フェーズ4)(第一期)(1,199.78) ・ヒマーチャル・プラデシュ州作物多様化推進計画(フェーズ2)(113.02) ・コルカタ東西地下鉄建設事業(第四期)(90.91) ・北東州道路網連結性改善計画(フェーズ5)(152.85) ・全インド医科大学マドウライ校整備計画(227.88) ・ラジャスタン州地方給水・フッ素症対策計画(フェーズ2)(458.16)	51.20億円 ・経済社会開発計画(10.00) ・アンダマン・ニコバル諸島における電力供給能力向上計画(40.16) ・日本NGO連携無償(1件)(0.55) ・草の根・人間の安全保障無償(6件)(0.49)	・ヴァラナシ市衛生改善プロジェクト [20.06~23.06]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [2] スリランカ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,192万人	3,720ドル	-3.6%	563.42億ドル	低所得国	iii/低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対スリランカ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	331.37	17.05	21.12
2017年度	554.06	18.60	24.24
2018年度	300.40	14.04	18.18
2019年度	-	34.33	10.34
2020年度	-	23.85	9.93

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対スリランカ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	11,267.07	2,230.43	866.65

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対スリランカ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-38.00	13.83 (0.67)	20.57	-3.60
2017年	-20.64	26.28 (1.20)	25.93	31.58
2018年	-29.47	18.06 (1.27)	19.72	8.31
2019年	2.81	18.16 (5.27)	11.71	32.68
2020年	39.94	32.44 (8.02)	11.41	83.79
累計	2,936.85	1,633.94 (66.75)	890.03	5,460.82

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対スリランカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 207.00	英国 37.61	韓国 34.58	オーストラリア 25.49	米国 22.28	207.00	393.29
2016年	日本 199.03	韓国 38.06	米国 33.64	ドイツ 23.64	オーストラリア 10.70	199.03	351.89
2017年	日本 224.02	米国 33.83	オーストラリア 21.53	ドイツ 20.21	韓国 19.45	224.02	371.54
2018年	日本 200.63	米国 55.55	韓国 30.47	フランス 20.19	ドイツ 18.01	200.63	383.78
2019年	日本 225.85	フランス 50.00	韓国 43.23	米国 36.77	ドイツ 22.66	225.85	434.27

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対スリランカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	AsDB 151.38	EU Institutions 117.28	IDA 110.25	OPEC Fund 11.39	GFATM 6.77	23.08	420.13
2016年	IDA 235.59	AsDB 147.28	EU Institutions 36.58	IFAD 22.78	OPEC Fund 10.03	20.81	473.08
2017年	IDA 199.74	AsDB 102.64	EU Institutions 36.27	IFAD 12.32	OPEC Fund 10.13	34.60	395.70
2018年	IDA 124.83	AsDB 93.41	EU Institutions 27.34	OPEC Fund 22.32	GFATM 11.35	28.86	308.11
2019年	AsDB 126.27	IDA 114.04	EU Institutions 14.44	IFAD 12.17	GCF 10.00	27.37	304.29

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	23.85億円 ・食糧援助(WFP連携)(3.00) ・新型コロナウイルス感染症の流行により帰還したスリランカ人移民労働者の社会経済的再統合支援計画(IOM連携)(1.87) ・人材育成奨学計画(4件)(2.59) ・気象ドップラーレーダーシステム整備計画(国債4/4)(2.02) ・経済社会開発計画(2件)(10.00) ・日本NGO連携無償(2件)(1.17) ・草の根・人間の安全保障無償(10件)(3.20)	・効果的な公共投資管理のための能力強化プロジェクト [21.03~24.08] ・農薬・肥料の安全・適正利用促進プロジェクト [20.05~24.10]

### [3] ネパール

#### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,914万人	1,190ドル	-2.1%	79.05億ドル	後発開発途上国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ネパール援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	166.36	36.34	32.93
2017年度	-	27.12	20.42
2018年度	-	48.16	24.70
2019年度	-	31.34	21.10
2020年度	-	33.49	11.92

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ネパール援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,213.02	2,225.87	819.42

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ネパール援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	26.50	16.13 -	22.49	65.13
2017年	39.20	28.25 -	29.96	97.41
2018年	52.02	34.54 -	20.51	107.07
2019年	60.31	48.62 -	17.59	126.52
2020年	42.83	22.99 (6.32)	16.87	82.69
累計	227.17	1,904.18 (37.24)	793.70	2,925.05

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ネパール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 161.80	英国 134.77	ノルウェー 61.20	日本 56.70	スイス 53.44	56.70	680.78
2016年	米国 162.83	英国 140.66	日本 73.90	スイス 49.00	ドイツ 35.02	73.90	589.76
2017年	米国 189.09	英国 134.17	日本 105.91	ドイツ 44.64	スイス 39.31	105.91	651.03
2018年	米国 174.52	英国 127.74	日本 115.72	ドイツ 51.64	ノルウェー 34.85	115.72	622.11
2019年	米国 151.14	日本 137.23	英国 115.51	ドイツ 45.85	スイス 38.44	137.23	589.29

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ネパール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 297.95	AsDB 163.82	IMF-CTF 49.88	EU Institutions 47.96	GAVI 29.70	84.55	673.88
2016年	IDA 233.97	AsDB 209.37	EU Institutions 100.77	IFAD 16.88	GFATM 16.74	64.19	641.91
2017年	IDA 296.39	AsDB 279.09	EU Institutions 94.88	GFATM 23.68	OPEC Fund 16.29	72.82	783.14
2018年	IDA 597.67	AsDB 250.70	EU Institutions 54.35	GFATM 18.55	GAVI 15.07	66.98	1,003.31
2019年	IDA 485.34	AsDB 310.47	EU Institutions 49.35	GAVI 24.77	IFAD 15.65	62.41	948.02

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	33.49億円 ・母子保健及び栄養改善計画(WFP連携)(3.64) ・ポカラ上水道改善計画(国債5/5)(1.94) ・学校セクター開発計画(3.00) ・数値標高モデル及びオルソ画像整備計画(11.70) ・経済社会開発計画(3.00) ・人材育成奨学計画(4件)(3.49) ・草の根・人間の安全保障無償(9件)(1.11) ・日本NGO連携無償(9件)(5.61)	・カトマンズ盆地水道公社水道サービス向上プロジェクト[21.03~26.03] ・カトマンズ盆地強靱化のための防災行政能力強化プロジェクト[21.01~25.01]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [4] パキスタン

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2.21億人	1,280ドル	0.5%	1,085.30億ドル	低中所得国	iii/低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

### 表-1-1 我が国の対パキスタン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	62.90	78.99	25.08
2017年度	26.65	85.23	16.59
2018年度	—	23.78	21.31
2019年度	—	59.58	18.50
2020年度	—	48.91	13.56

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-1-2 我が国の対パキスタン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	8,174.75	2,945.93	632.01

### 表-2 我が国の対パキスタン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	110.55	58.38 (30.84)	23.72	192.65
2017年	-165.84	71.47 (17.82)	21.01	-73.36
2018年	-207.35	52.34 (29.34)	17.56	-137.45
2019年	-208.95	57.75 (21.11)	16.71	-134.49
2020年	-12.36	27.00 (17.91)	9.88	24.52
累計	3,890.87	2,562.13 (653.85)	611.36	7,064.36

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-3 主要ドナーの対パキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 773.29	英国 572.01	日本 175.49	ドイツ 103.12	オーストラリア 52.83	175.49	1,850.05
2016年	米国 638.61	英国 624.41	日本 244.70	ドイツ 134.99	カナダ 41.65	244.70	1,820.22
2017年	米国 538.12	英国 518.42	ドイツ 214.12	日本 168.28	フランス 134.81	168.28	1,710.53
2018年	米国 470.68	英国 444.43	ドイツ 132.58	日本 126.71	フランス 73.69	126.71	1,367.83
2019年	英国 390.00	米国 363.92	日本 132.11	フランス 100.90	ドイツ 99.30	132.11	1,255.34

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

### 表-4 国際機関の対パキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 1,618.14	AsDB 397.19	EU Institutions 123.49	GAVI 101.33	GFATM 42.12	95.92	2,378.19
2016年	IDA 856.85	AsDB 437.21	EU Institutions 141.22	GAVI 126.97	GFATM 64.85	111.36	1,738.45
2017年	IDA 722.57	AsDB 430.24	EU Institutions 133.45	GAVI 123.64	GFATM 98.86	88.00	1,596.76
2018年	IDA 487.71	GAVI 165.76	EU Institutions 136.03	GFATM 64.06	AsDB 62.93	97.10	1,013.57
2019年	AsDB 848.09	IDA 581.20	GAVI 141.60	EU Institutions 111.87	GFATM 58.98	110.63	1,852.35

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	50.14億円 ・アフガン難民及びホストコミュニティに対する保護、教育及び生計支援計画(UNHCR連携)(3.84) ・サッカル市における気象レーダー設置計画(国債1/4)(0.80) ・ファイサラバードにおける浄水場及び送配水管網改善計画(国債1/5)(2.11) ・ムルタン市気象レーダー整備計画(国債3/4)(5.27) ・パキスタン医科学研究所における母子保健センター及び小児病院の集中治療拡充計画(国債3/4)(8.14) ・ポリオ感染拡大防止・撲滅計画(UNICEF連携)(4.84) ・ハイバル・パフトウンハー州における災害に対して強靱な学校設備整備計画(UN連携/UN-HABITAT実施)(4.71) ・経済社会開発計画(2件)(15.00) ・人材育成奨学計画(3件)(2.49) ・日本NGO連携無償(2件)(1.49) ・草の根・人間の安全保障無償(3件)(0.22) ・ジャパンプラットフォームを通じた人道支援(3件)(1.23)	・オルタナティブ教育推進プロジェクトフェーズ2[21.02~25.01] ・ハイバル・パフトウンハー州畜産開発を通じた生計向上プロジェクト[21.01~25.01] ・国営送電会社(NTDC)研修センター訓練機能強化による送変電設備運用維持能力向上プロジェクト[21.03~23.12] ・パンジャブ州上下水道管理能力強化プロジェクトフェーズ2[21.02~24.02]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [5] バングラデシュ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.65億人	2,010ドル	2.4%	677.49億ドル	後発開発途上国	iii/低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対バングラデシュ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	1,735.38	35.77	41.55
2017年度	1,782.23	45.23	46.11
2018年度	2,003.71	54.21	41.89
2019年度	2,757.86	34.74	32.58
2020年度	3,732.47	41.34	26.24

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対バングラデシュ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	23,958.29	5,016.00	958.01

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対バングラデシュ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	394.13	24.65	42.50	461.27
2017年	1,227.67	40.32 (6.45)	44.67	1,312.66
2018年	1,082.25	65.62 (43.60)	31.41	1,179.28
2019年	1,046.06	55.15 (37.70)	37.98	1,139.18
2020年	1,935.50	50.05 (32.72)	24.66	2,010.21
累計	6,562.96	5,171.76 (178.50)	1,123.84	12,858.56

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対バングラデシュ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 465.37	英国 254.75	米国 229.97	ドイツ 82.83	韓国 57.73	465.37	1,346.44
2016年	日本 568.28	米国 255.22	英国 219.53	ドイツ 64.20	カナダ 45.92	568.28	1,377.86
2017年	日本 1,421.65	米国 279.45	英国 226.44	ドイツ 88.40	スウェーデン 53.53	1,421.65	2,370.69
2018年	日本 1,297.71	米国 327.50	英国 255.38	ドイツ 118.82	カナダ 89.28	1,297.71	2,497.06
2019年	日本 1,255.59	米国 409.08	英国 334.07	ドイツ 133.88	韓国 108.49	1,255.59	2,667.67

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対バングラデシュ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 890.14	AsDB 353.05	IMF-CTF 255.82	GAVI 86.35	EU Institutions 79.45	163.90	1,828.71
2016年	IDA 1,021.55	AsDB 385.74	EU Institutions 115.11	GAVI 76.38	OPEC Fund 54.45	163.96	1,817.20
2017年	IDA 1,332.21	AsDB 361.62	EU Institutions 141.44	GAVI 76.87	GFATM 60.32	152.06	2,124.53
2018年	IDA 1,564.58	AsDB 490.19	EU Institutions 168.62	GAVI 61.75	GFATM 34.50	145.45	2,465.11
2019年	IDA 1,794.45	AsDB 395.43	EU Institutions 160.71	GAVI 92.21	GFATM 47.87	167.36	2,658.02

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	3,732.47億円 ・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款(350.00) ・ジャムナ鉄道専用橋建設計画(第二期)(890.16) ・ダッカ都市交通整備計画(5号線北路線)(第一期)(556.96) ・ダッカ都市交通整備計画(IV)(721.94) ・ハズラット・シャージャラル国際空港拡張計画(第二期)(800.00) ・チョットグラム-コックスバザール幹線道路整備計画(調査・設計等のための役割)(19.06) ・フードバリューチェーン改善計画(112.18) ・都市開発及び都市行政強化計画(282.17)	41.35億円 ・コックスバザール県におけるミャンマーからの避難民及びホストコミュニティへの支援計画(WFP連携)(5.28) ・コックスバザール県テクナフ郡におけるホストコミュニティ及びミャンマーからの避難民のための水供給及び配水システム整備計画(UNHCR連携)(9.86) ・第四次初等教育開発計画(5.00) ・経済社会開発計画(1件)(10.00) ・人材育成奨学計画(4件)(4.35) ・日本NGO連携無償(9件)(4.42) ・草の根・人間の安全保障無償(4件)(0.30) ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援(8件)(2.14)	・MRT6号線安全マネジメントシステム構築支援プロジェクト[21.01~23.07] ・過積載車両管理・規制能力強化プロジェクト[20.08~24.07] ・地方防災計画策定・実施能力強化プロジェクト[21.03~25.03] ・包括的河川管理に係る計画策定能力強化及び技術適応サイクル構築プロジェクト[20.11~24.11]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [6] ブータン

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
77.2万人	2,860ドル	-6.8%	28.69億ドル	後発開発途上国	iii/低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ブータン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	14.04	14.98
2017年度	-	13.59	10.22
2018年度	-	5.16	12.80
2019年度	-	15.28	8.65
2020年度	-	7.35	7.98

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ブータン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	57.63	418.78	240.58

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ブータン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	0.19	9.29	10.31	19.79
2017年	-0.83	16.43	11.95	27.54
2018年	-0.91	9.18	9.57	17.84
2019年	1.76	17.99	9.50	29.25
2020年	-0.21	13.35 (2.51)	8.55	21.68
累計	51.83	360.32 (3.57)	225.18	637.32

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ブータン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 16.00	オーストラリア 7.12	スイス 4.16	ノルウェー 3.57	オーストリア 2.78	16.00	38.23
2016年	日本 19.79	オーストラリア 4.10	スイス 2.70	オーストリア 2.59	韓国 0.71	19.79	31.79
2017年	日本 28.49	オーストラリア 8.60	オーストリア 3.15	スイス 1.19	ドイツ 0.63	28.49	44.31
	-	-	-	-	韓国 0.63	-	-
2018年	日本 18.80	オーストラリア 4.40	オーストリア 2.45	スイス 1.42	米国 0.71	18.80	30.12
2019年	日本 30.22	オーストラリア 3.40	オーストリア 3.05	韓国 2.53	ドイツ 1.07	30.22	42.97

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ブータン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	AsDB 31.02	IDA 23.07	GEF 3.79	GFATM 2.41	EU Institutions 1.84	6.46	68.59
2016年	AsDB 10.43	EU Institutions 6.30	GEF 3.45	IFAD 2.07	IDA 2.00	5.73	29.99
2017年	AsDB 36.08	IDA 32.18	EU Institutions 5.73	GEF 5.14	WHO 1.83	5.26	86.22
2018年	IDA 34.44	AsDB 29.55	EU Institutions 15.04	GEF 5.26	IFAD 2.54	4.62	91.45
2019年	AsDB 83.94	IDA 33.14	EU Institutions 16.34	GCF 6.25	WHO 2.98	7.48	150.13

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	7.35億円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道四号線橋梁架け替え計画(国債5/5)(2.88)</li> <li>・経済社会開発計画(3.00)</li> <li>・人材育成奨学計画(3件)(1.38)</li> <li>・草の根・人間の安全保障無償(1件)(0.09)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルものづくり工房(ファブラボ)による技術教育・普及促進プロジェクト[20.12~23.12]</li> <li>・医学教育の質の強化プロジェクト[20.08~25.08]</li> <li>・灌漑計画・設計・施工管理能力強化プロジェクト[20.10~25.10]</li> <li>・国土空間データ基盤構築を通じた地理空間情報活用推進プロジェクト[20.12~24.01]</li> </ul>

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [7] モルディブ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
54.1万人	6,830ドル	-32.0%	34.04億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モルディブ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	36.42	2.67
2017年度	-	-	1.94
2018年度	-	6.19	0.81
2019年度	-	10.62	2.78
2020年度	50.00	23.89	1.43

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モルディブ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	77.33	362.96	82.82

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モルディブ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-0.55	5.61	2.49	7.54
2017年	-1.07	3.14 (0.46)	2.41	4.47
2018年	-1.09	2.97 (0.25)	1.14	3.02
2019年	-1.10	12.53	2.15	13.58
2020年	46.27	12.78 (1.99)	1.48	60.53
累計	71.61	274.05 (2.70)	77.28	422.94

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モルディブ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 7.27	フランス 5.06	オーストラリア 3.46	ドイツ 0.81	英国 0.28	7.27	17.47
2016年	日本 8.09	オーストラリア 2.98	米国 1.37	イタリア 0.88	フランス 0.52	8.09	14.48
2017年	日本 5.55	イタリア 1.22	オーストラリア 1.17	フランス 0.44	英国 0.30	5.55	9.00
2018年	日本 4.11	オーストラリア 1.62	イタリア 0.93	英国 0.38	韓国 0.15	4.11	7.45
2019年	日本 14.68	オーストラリア 1.53	-	英国 0.81	イタリア 0.56	14.68	19.89
	-	米国 1.53	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モルディブ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 6.27	AsDB 2.83	Isl.Dev Bank 2.08	OPEC Fund 1.96	WHO 1.73	5.09	19.97
2016年	AsDB 10.69	Isl.Dev Bank 4.34	IDA 4.28	WHO 1.55	IFAD 1.08	4.00	25.95
2017年	AsDB 12.38	IDA 8.10	OPEC Fund 7.59	Isl.Dev Bank 4.81	GCF 3.23	7.46	43.58
2018年	OPEC Fund 15.71	GCF 12.11	CIF 8.23	AsDB 7.47	IDA 4.72	5.77	54.01
2019年	IDA 28.90	AsDB 13.31	OPEC Fund 4.04	WHO 2.74	CIF 1.16	3.21	53.39

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位：億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	50.00億円 新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款(50.00)	23.89億円 ・海上救助コーディネーションセンター能力強化計画(UN連携/UNODC実施)(3.89) ・経済社会開発計画(3件)(19.00) ・人材育成奨学計画(1件)(0.31) ・草の根・人間の安全保障無償(5件)(0.69)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協カプロジェクトを掲載。[]内は協力期間。



# 中央アジア・コーカサス地域

## 中央アジア・コーカサス地域

表－1 中央アジア・コーカサス地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	46.25 (1.6)	46.95 (1.8)	58.54 (2.2)	63.29 (2.5)	66.52 (2.2)	1,208.01
		(うち国際機関を通じた贈与)	10.69 (0.7)	15.75 (1.2)	12.34 (0.9)	1.22 (0.1)	30.33 (1.7)	133.36
		技術協力	28.30 (1.0)	34.94 (1.2)	22.96 (0.9)	26.85 (1.0)	22.49 (0.9)	836.95
		贈与計	74.54 (1.3)	81.89 (1.5)	81.51 (1.5)	90.14 (1.7)	89.01 (1.6)	2,044.96
	有償資金協力 支出総額	252.53 (3.2)	326.41 (3.4)	253.29 (3.2)	426.00 (4.5)	311.46 (2.7)	4,885.38	
	<有償資金協力 支出純額>	<149.22>	<223.22>	<144.01>	<295.33>	<162.68>	<3,560.95>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		327.07 (2.4)	408.30 (2.7)	334.80 (2.5)	516.13 (3.5)	400.47 (2.4)	6,930.34	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<223.77>	<305.11>	<225.51>	<385.47>	<251.69>	<5,605.91>	

注) 1. ( )内は各形態別の全世界合計(卒業国を除く)に占める中央アジア・コーカサス地域の割合(%)

2. 国際機関を通じた贈与は、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

4. 「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表－2 中央アジア・コーカサス地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
政府開発援助計	2017	日本 408.28	ドイツ 310.55	米国 289.24	韓国 90.48	スイス 75.20	408.28	1,342.25
	2018	ドイツ 417.81	日本 334.80	米国 296.79	フランス 163.94	スイス 69.98	334.80	1,480.07
	2019	日本 516.14	ドイツ 423.93	フランス 402.88	米国 298.71	韓国 110.90	516.14	1,965.68
有償資金協力	2017	日本 326.41	ドイツ 127.75	韓国 47.58	フランス 36.74	オーストリア 0.31	326.41	538.78
	2018	日本 253.30	ドイツ 201.57	フランス 135.38	韓国 32.13	オーストリア 1.82	253.30	624.21
	2019	日本 426.00	フランス 377.54	ドイツ 192.41	韓国 58.02	オーストリア 0.55	426.00	1,054.51
無償資金協力	2017	米国 277.93	スイス 72.37	ドイツ 72.12	日本 46.95	韓国 30.5	46.95	573.50
	2018	米国 282.98	ドイツ 88.26	スイス 64.77	日本 58.55	韓国 24.15	58.55	608.32
	2019	米国 284.13	ドイツ 88.27	日本 63.30	スイス 51.67	英国 34.54	63.30	623.92
技術協力	2017	ドイツ 110.67	日本 34.93	フランス 18.97	オーストリア 13.31	韓国 12.40	34.93	229.96
	2018	ドイツ 127.98	フランス 22.99	日本 22.95	米国 13.81	韓国 12.91	22.95	247.56
	2019	ドイツ 143.25	日本 26.84	韓国 23.50	フランス 18.83	米国 14.58	26.84	287.25

出典) OECD/DAC

表-3 中央アジア・コーカサス地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2017	EU Institutions 515.51	AsDB 423.93	IDA 231.87	GFATM 80.08	OPEC Fund 40.13	200.83	1,492.34
	2018	IDA 837.17	EU Institutions 532.81	AsDB 237.16	GFATM 56.32	IFAD 30.07	146.31	1,839.82
	2019	EU Institutions 429.14	AsDB 424.06	IMF-CTF 399.77	IDA 299.56	GFATM 57.17	207.06	1,816.81
有償資金協力	2017	AsDB 278.36	IDA 203.38	EU Institutions 168.09	OPEC Fund 40.13	IMF-CTF 26.38	38.40	754.73
	2018	IDA 801.73	EU Institutions 156.72	AsDB 120.60	Isl.Dev Bank 21.55	IFAD 19.09	6.78	1,126.84
	2019	IMF-CTF 399.77	IDA 257.22	AsDB 255.33	EU Institutions 120.72	IFAD 25.74	34.23	1,093.01
無償資金協力	2017	EU Institutions 250.58	AsDB 135.38	GFATM 80.08	IDA 28.50	GEF 22.08	105.29	621.85
	2018	EU Institutions 277.91	AsDB 116.16	GFATM 56.32	IDA 35.43	OSCE 21.20	101.45	608.51
	2019	AsDB 168.74	EU Institutions 164.41	GFATM 57.17	IDA 42.34	GAVI 31.60	115.50	579.75
技術協力	2017	EU Institutions 96.83	AsDB 10.20	FAO 8.36	ILO 0.34	-	-	115.75
	2018	EU Institutions 98.16	ILO 4.50	FAO 1.77	AsDB 0.04	OPEC Fund 0.03	-	104.47
	2019	EU Institutions 144.02	-	-	-	-	-	144.02

出典) OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

# [1] ウズベキスタン

## 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,423万人	1,670ドル	1.6%	321.74億ドル	低中所得国	iii/低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ウズベキスタン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	5.61	6.66
2017年度	-	5.10	7.07
2018年度	-	11.17	5.26
2019年度	1,878.90	6.78	8.83
2020年度	150.00	8.16	4.71

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ウズベキスタン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	4,795.20	281.23	195.85

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ウズベキスタン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	149.90	9.77 (2.42)	6.84	166.51
2017年	235.51	3.65 -	5.86	245.01
2018年	179.85	3.35 (0.50)	6.17	189.38
2019年	366.83	11.24 -	6.09	384.16
2020年	255.37	7.97 (5.14)	7.83	271.17
累計	1,811.01	237.50 (9.23)	226.26	2,274.77

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ウズベキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 154.14	韓国 18.23	ドイツ 14.43	米国 10.36	フランス 6.98	154.14	212.82
2016年	日本 195.10	韓国 30.72	ドイツ 20.03	米国 11.00	フランス 6.02	195.10	271.03
2017年	日本 272.74	韓国 58.80	ドイツ 21.00	米国 10.62	スイス 8.11	272.74	378.60
2018年	日本 217.55	韓国 37.40	ドイツ 21.48	米国 10.94	フランス 4.11	217.55	299.24
2019年	日本 412.69	フランス 176.06	韓国 69.39	ドイツ 21.40	米国 18.95	412.69	710.93

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ウズベキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	AsDB 119.08	IDA 110.09	EU Institutions 11.80	GFATM 10.14	GAVI 8.99	20.08	280.19
2016年	IDA 106.43	AsDB 68.53	GFATM 18.06	EU Institutions 12.67	GAVI 11.74	17.32	234.73
2017年	AsDB 174.52	IDA 72.06	EU Institutions 19.82	GFATM 17.93	GAVI 4.73	22.75	311.80
2018年	IDA 665.86	AsDB 60.77	EU Institutions 27.79	GFATM 10.08	GAVI 7.63	18.12	790.25
2019年	AsDB 195.35	IDA 168.79	EU Institutions 27.32	GAVI 19.22	GFATM 15.49	26.44	452.59

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	150.00億円 ・新型コロナウイルス感染症危機対応 緊急支援借款(150.00)	8.16億円 ・経済社会開発計画(5.00) ・人材育成奨学計画(4件)(2.58) ・草の根・人間の安全保障無償(7件) (0.58)	・非感染性疾病予防対策プロジェクト [21.02~26.02]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [2] カザフスタン

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,875万人	8,680ドル	-2.6%	1,629.74億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対カザフスタン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.32	1.55
2017年度	-	0.43	1.11
2018年度	-	0.38	0.61
2019年度	-	0.33	1.13
2020年度	-	4.10	0.86

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対カザフスタン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	951.49	68.24	137.08

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対カザフスタン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-38.18	0.31	1.99	-35.88
2017年	-40.62	0.28	1.35	-38.89
2018年	-41.26	0.39	0.76	-40.10
2019年	-41.78	0.35	1.05	-40.38
2020年	-42.68	0.31	1.15	-42.22
累計	336.47	52.79 (1.17)	155.81	545.07

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対カザフスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 18.70	ドイツ 13.72	英国 8.45	フランス 5.24	オーストリア 1.76	1.70	53.25
2016年	米国 33.90	ドイツ 15.20	英国 4.73	フランス 4.18	日本 2.96	2.96	68.30
2017年	米国 20.18	ドイツ 18.04	フランス 4.29	オーストリア 2.60	韓国 1.88	1.63	53.71
2018年	米国 18.95	ドイツ 17.87	フランス 4.18	オーストリア 3.12	英国 2.43	1.15	54.33
2019年	ドイツ 17.90	米国 15.94	ハンガリー 3.97	英国 3.59	フランス 3.35	1.40	54.44

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対カザフスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	CIF 15.29	EU Institutions 14.24	GEF 9.04	GFATM 5.55	OSCE 2.17	5.20	51.48
2016年	EU Institutions 10.36	GEF 6.47	GFATM 4.49	OSCE 2.15	AsDB 2.12	4.95	30.55
2017年	EU Institutions 12.07	GFATM 7.86	GEF 5.73	OSCE 2.18	UNHCR 1.39	5.36	34.60
2018年	GFATM 6.25	EU Institutions 4.26	GEF 3.97	OSCE 2.37	AsDB 1.75	3.80	22.39
2019年	GFATM 7.24	GEF 3.98	AsDB 3.34	GCF 3.00	EU Institutions 2.56	6.61	26.74

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	4.10億円 ・経済社会開発計画(4.00) ・草の根・人間の安全保障無償(2件) (0.10)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

### [3] キルギス

#### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
659万人	1,160ドル	-8.6%	86.97億ドル	低中所得国	ii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対キルギス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	24.70	8.80
2017年度	-	24.98	11.65
2018年度	-	17.06	12.61
2019年度	-	17.47	10.36
2020年度	-	14.83	5.80

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対キルギス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	375.80	333.06	207.75

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対キルギス援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-0.48	4.48	8.33	12.34
2017年	-0.51	17.31 (7.13)	11.64	28.44
2018年	-3.82	16.98 (6.71)	8.20	21.35
2019年	-9.02	16.88	10.47	18.33
2020年	-9.53	15.64 (9.53)	6.75	12.86
累計	228.02	264.58 (50.14)	217.72	710.32

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対キルギス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 49.67	日本 42.51	ドイツ 37.12	スイス 26.97	韓国 7.97	42.51	175.48
2016年	米国 47.45	ドイツ 43.78	スイス 22.57	日本 12.81	韓国 9.32	12.81	142.16
2017年	米国 52.50	ドイツ 35.08	日本 28.95	スイス 26.17	韓国 12.02	28.95	163.33
2018年	米国 47.10	ドイツ 36.68	日本 26.34	スイス 20.18	韓国 5.83	26.34	145.41
2019年	米国 48.10	ドイツ 32.63	日本 27.91	スイス 22.54	韓国 9.37	27.91	152.11

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対キルギス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	AsDB 72.76	IDA 42.24	EU Institutions 33.51	IMF-CTF 26.62	GFATM 13.22	40.34	228.68
2016年	AsDB 62.17	EU Institutions 55.92	IDA 46.48	IMF-CTF 26.45	Isl.Dev Bank 10.76	40.10	241.88
2017年	AsDB 79.46	IDA 40.74	EU Institutions 31.87	IMF-CTF 26.38	Isl.Dev Bank 13.20	38.80	230.45
2018年	AsDB 59.88	IDA 57.33	EU Institutions 42.63	GFATM 12.84	IFAD 12.58	31.12	216.39
2019年	AsDB 87.60	IDA 48.13	EU Institutions 37.07	Isl.Dev Bank 16.03	IFAD 12.29	31.31	232.45

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	14.83億円 ・経済社会開発計画(5.00) ・人材育成奨学計画(3件)(2.38) ・人材育成奨学計画(三年型)(国債3/3)(0.48) ・タラス-タラズ道路ウルマルル川橋梁架け替え計画(国債3/4)(6.56) ・草の根・人間の安全保障無償(7件)(0.41)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [4] タジキスタン

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
954万人	1,060ドル	4.5%	67.98億ドル	低中所得国	ii / 低中所得国

ちち

表-1-1 我が国の対タジキスタン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	36.05	7.23
2017年度	-	8.11	5.07
2018年度	-	8.11	5.99
2019年度	-	35.59	5.40
2020年度	-	25.09	7.28

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対タジキスタン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	420.72	97.44

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対タジキスタン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	25.41 (8.27)	5.63	31.04
2017年	-	16.86 (1.78)	7.23	24.09
2018年	-	33.94 (4.58)	3.95	37.89
2019年	-	16.74 -	5.60	22.35
2020年	-	22.40 (0.31)	4.26	26.66
累計	-	338.18 (38.57)	94.08	432.26

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対タジキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	スイス 31.27	ドイツ 30.95	米国 28.94	英国 18.43	日本 17.82	17.82	137.29
2016年	米国 31.10	日本 31.04	ドイツ 23.79	スイス 20.58	英国 5.93	31.04	117.62
2017年	米国 36.33	ドイツ 24.31	日本 24.09	スイス 19.84	英国 2.96	24.09	113.49
2018年	日本 37.89	米国 36.43	ドイツ 33.02	スイス 24.04	英国 6.84	37.89	142.29
2019年	米国 33.57	ドイツ 27.19	日本 22.35	スイス 19.15	韓国 3.49	22.35	112.25

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対タジキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	AsDB 188.42	EU Institutions 28.35	IDA 27.71	Isl.Dev Bank 10.81	IFAD 8.75	36.39	300.42
2016年	AsDB 118.67	IDA 34.74	EU Institutions 24.56	Isl.Dev Bank 17.68	GFATM 10.19	31.88	237.72
2017年	AsDB 111.95	IDA 34.78	EU Institutions 22.94	GFATM 19.08	CIF 12.86	42.95	244.55
2018年	IDA 85.37	AsDB 71.68	EU Institutions 43.50	Isl.Dev Bank 15.01	IFAD 7.57	40.45	263.55
2019年	AsDB 92.50	IDA 71.02	EU Institutions 34.19	GFATM 8.06	Isl.Dev Bank 6.65	43.30	255.73

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	25.09億円 ・経済社会開発計画(6.00) ・人材育成奨学計画(4件)(1.80) ・ドゥシャンベ-ポフタル道路におけるキ ジルカラーポフタル間道路改修計画 (国債2/3)(16.34) ・草の根・人間の安全保障無償(5件) (0.50) ・日本NGO連携無償(1件)(0.45)	・橋梁維持管理能力向上プロジェクト [21.03~24.10] ・性能準拠型航法導入に係る能力開 発プロジェクト[20.08~23.08]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協カプロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [5] トルクメニスタン

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
603万人	-	6.3%	56.36億ドル	高中所得国	iv/ー

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対トルクメニスタン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	-	0.22
2017年度	-	0.16	1.83
2018年度	-	-	1.05
2019年度	-	-	0.72
2020年度	-	2.98	0.37

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対トルクメニスタン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	45.05	9.41	13.34

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対トルクメニスタン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-2.01	-	0.50	-1.51
2017年	-1.95	-	1.93	-0.02
2018年	-1.98	0.14	0.40	-1.43
2019年	-2.00	-	1.52	-0.48
2020年	-2.05	-	0.27	-1.78
累計	7.77	5.61 (0.40)	16.32	29.70

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対トルクメニスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 5.24	ドイツ 1.04	英国 0.70	日本 0.52	韓国 0.30	0.52	8.38
2016年	米国 4.32	ドイツ 1.26	日本 0.50	フランス 0.18	韓国 0.14	0.50	6.70
2017年	米国 2.99	日本 1.93	ドイツ 1.26	韓国 0.41	英国 0.29	1.93	7.39
2018年	米国 3.11	ドイツ 1.60	韓国 1.32	フランス 0.70	日本 0.55	0.55	8.01
2019年	米国 4.41	韓国 3.97	ドイツ 1.58	日本 1.52	英国 0.79	1.52	13.55

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対トルクメニスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 4.61	GFATM 2.54	GEF 1.74	OSCE 1.59	UNICEF 1.15	1.91	13.53
2016年	EU Institutions 8.06	OSCE 1.59	GEF 1.37	GFATM 1.28	UNICEF 1.09	2.62	16.01
2017年	EU Institutions 3.78	GEF 3.07	GFATM 2.28	OSCE 1.69	UNICEF 0.96	1.27	13.05
2018年	EU Institutions 6.32	GEF 2.57	GFATM 1.81	OSCE 1.77	UNICEF 0.83	1.65	14.95
2019年	EU Institutions 4.06	GFATM 2.25	OSCE 1.51	UNICEF 1.14	UNFPA 0.74	1.57	11.29

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	2.98億円 ・医療機材供与を通じた保健システム強化計画(UNOPS連携)(2.98)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [6] アゼルバイジャン

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,011万人	4,450ドル	-4.3%	158.12億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アゼルバイジャン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	1.19	0.55
2017年度	-	1.14	0.57
2018年度	-	1.31	0.33
2019年度	-	0.89	0.38
2020年度	-	2.66	0.20

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アゼルバイジャン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,011.62	105.13	36.16

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アゼルバイジャン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	36.81	0.46	0.92	38.18
2017年	28.56	1.15	0.43	30.14
2018年	21.17	1.17	0.43	22.77
2019年	-3.65	1.63	0.36	-1.66
2020年	-21.05	0.53	0.28	-20.24
累計	727.45	89.92	39.89	857.26

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アゼルバイジャン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 39.69	ドイツ 17.40	米国 13.50	韓国 6.71	英国 3.74	39.69	88.45
2016年	日本 58.63	ドイツ 22.02	韓国 12.36	米国 12.04	スイス 3.03	58.63	115.99
2017年	日本 49.97	ドイツ 28.64	韓国 14.67	米国 14.14	フランス 3.06	49.97	119.63
2018年	ドイツ 48.61	日本 42.91	フランス 25.84	韓国 21.79	米国 12.77	42.91	167.82
2019年	フランス 58.40	ドイツ 45.34	日本 31.53	韓国 20.63	米国 12.84	31.53	186.24

5

表-4 国際機関の対アゼルバイジャン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 27.47	IDA 16.88	GFATM 3.59	GAVI 3.57	GEF 3.32	7.67	62.51
2016年	EU Institutions 26.42	IDA 12.22	GFATM 6.51	GEF 2.70	AsDB 2.45	2.50	52.80
2017年	IDA 61.92	EU Institutions 24.73	GFATM 9.38	GEF 3.39	AsDB 1.13	4.99	105.54
2018年	EU Institutions 23.73	IDA 7.72	GFATM 4.85	GEF 3.26	AsDB 2.30	5.77	47.63
2019年	EU Institutions 19.16	GFATM 5.33	IFAD 2.39	UNHCR 1.82	OPEC Fund 1.77	7.08	37.58

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	2.66億円 ・経済社会開発計画(2.00) ・草の根・人間の安全保障無償(10件) (0.66)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [7] アルメニア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
296万人	4,220ドル	-7.6%	130.94億ドル	低中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アルメニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	3.58	3.28
2017年度	-	16.51	2.62
2018年度	-	1.73	0.48
2019年度	-	0.78	1.84
2020年度	-	4.52	0.37

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アルメニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	318.08	96.54	47.23

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アルメニア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-10.32	2.02	2.62	-5.67
2017年	-10.01	0.33	3.87	-5.80
2018年	-10.16	1.76 (0.03)	0.55	-7.85
2019年	-10.29	15.47 (1.07)	1.09	6.27
2020年	-10.51	0.99	0.93	-8.60
累計	238.83	83.43 (1.10)	44.50	366.76

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アルメニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 26.81	ドイツ 25.43	フランス 20.63	スイス 6.48	日本 3.97	3.97	93.54
2016年	フランス 81.99	ドイツ 43.80	米国 26.51	スイス 7.30	日本 4.64	4.64	171.92
2017年	ドイツ 95.65	フランス 40.71	米国 27.19	オーストリア 4.62	日本 4.21	4.21	182.36
2018年	ドイツ 100.08	米国 28.36	フランス 23.18	オーストリア 2.98	スイス 2.68	2.32	167.33
2019年	ドイツ 85.55	米国 28.33	日本 16.56	フランス 13.35	スイス 4.73	16.56	161.62

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アルメニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 148.96	AsDB 88.72	IDA 15.28	OPEC Fund 7.88	GEF 3.84	11.74	276.42
2016年	EU Institutions 111.31	AsDB 24.04	OPEC Fund 18.22	IDA 17.88	IFAD 6.26	15.78	193.50
2017年	EU Institutions 101.35	OPEC Fund 29.51	AsDB 16.70	IDA 10.07	GFATM 2.73	9.12	169.48
2018年	EU Institutions 62.49	IDA 11.25	AsDB 9.50	GFATM 5.17	OPEC Fund 2.31	9.82	100.55
2019年	IMF-CTF 368.21	EU Institutions 38.77	AsDB 7.57	IDA 5.19	GFATM 4.08	13.63	437.43

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	4.52億円 ・経済社会開発計画(4.00) ・草の根・人間の安全保障無償(7件) (0.52)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [8] ジョージア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
371万人	4,290ドル	-6.2%	200.89億ドル	低中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ジョージア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.90	1.03
2017年度	-	0.97	2.32
2018年度	387.35	0.59	0.83
2019年度	-	1.05	0.62
2020年度	-	3.71	0.40

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ジョージア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	661.99	120.73	25.29

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ジョージア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	13.50	1.07	0.84	15.42
2017年	12.23	0.88 (0.37)	0.96	14.08
2018年	0.21	0.80 (0.53)	1.92	2.93
2019年	-4.75	0.98 (0.15)	0.41	-3.36
2020年	-6.87	3.34	0.45	-3.07
累計	211.42	103.65 (3.20)	27.85	342.92

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ジョージア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 92.49	ドイツ 49.60	日本 41.87	スイス 14.61	スウェーデン 13.34	41.87	242.07
2016年	米国 83.72	ドイツ 45.73	日本 18.05	スウェーデン 12.20	スイス 11.71	18.05	205.73
2017年	米国 96.55	ドイツ 48.71	日本 16.63	スウェーデン 14.37	オーストリア 8.67	16.63	224.02
2018年	ドイツ 110.41	フランス 104.43	米国 100.94	スウェーデン 14.81	デンマーク 12.28	5.52	390.73
2019年	フランス 150.26	ドイツ 113.80	米国 95.87	スペイン 16.87	スウェーデン 14.83	1.93	431.58

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ジョージア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 149.29	AsDB 115.83	IDA 26.97	GFATM 9.85	GEF 2.54	6.80	311.28
2016年	EU Institutions 194.26	AsDB 121.71	IDA 18.32	GFATM 7.69	GEF 2.65	4.06	348.68
2017年	EU Institutions 269.07	AsDB 38.78	GFATM 10.22	IDA 9.07	OPEC Fund 6.00	7.74	340.88
2018年	EU Institutions 289.88	AsDB 31.10	GFATM 8.15	IDA 7.89	UNHCR 2.65	7.82	347.48
2019年	EU Institutions 207.65	IMF-CTF 31.56	AsDB 27.69	GFATM 8.86	IFAD 3.83	10.71	290.29

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	3.71億円 ・経済社会開発計画(3.00) ・草の根・人間の安全保障無償(9件) (0.71)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。



# 中南米地域

## 中南米地域

表－1 中南米地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	114.40 (4.1)	84.96 (3.2)	131.65 (5.0)	119.49 (4.7)	127.00 (4.1)	7,212.28
		(うち国際機関を通じた贈与)	14.90 (0.9)	3.02 (0.2)	23.56 (1.8)	15.03 (1.3)	28.74 (1.6)	211.61
		技術協力	165.09 (5.9)	155.98 (5.4)	120.39 (4.5)	115.04 (4.2)	89.26 (3.7)	8,416.64
		贈与計	279.49 (5.0)	240.94 (4.4)	252.04 (4.8)	234.53 (4.4)	216.25 (4.0)	15,628.92
	有償資金協力 支出総額	145.35 (1.9)	128.26 (1.3)	196.67 (2.5)	174.30 (1.9)	417.51 (3.7)	13,055.35	
	<有償資金協力 支出純額>	<-201.19>	<-588.11>	<-64.13>	<-77.06>	<164.21>	<331.72>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		424.85 (3.2)	369.20 (2.4)	448.70 (3.4)	408.83 (2.8)	633.77 (3.8)	28,684.27	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<78.30> <(1.1)>	<-347.17> -	<187.91> <(3.1)>	<157.47> <(2.1)>	<380.46> <(3.7)>	<15,960.64>	

注) 1. ( )内は各形態別の全世界合計(卒業国を除く)に占める中南米地域の割合(%)

2.国際機関を通じた贈与は、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。

3.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

4.「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表－2 中南米地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
政府開発援助計	2017	米国 2,110.91	ドイツ 1,463.83	フランス 832.18	英国 447.68	カナダ 393.94	369.19	7,076.54
	2018	米国 2,109.92	ドイツ 1,830.67	フランス 1,300.15	英国 474.74	日本 448.71	448.71	8,029.62
	2019	米国 2,089.95	ドイツ 1,610.93	フランス 957.58	カナダ 471.76	日本 408.87	408.87	7,205.35
有償資金協力	2017	ドイツ 684.22	フランス 520.74	日本 128.26	イタリア 102.54	韓国 87.96	128.26	1,563.81
	2018	フランス 1,042.34	ドイツ 972.94	日本 196.67	韓国 115.63	カナダ 44.79	196.67	2,395.11
	2019	ドイツ 760.82	フランス 748.96	日本 174.30	カナダ 96.83	韓国 94.85	174.30	1,909.87
無償資金協力	2017	米国 2,043.25	英国 358.45	ドイツ 316.66	カナダ 256.36	スペイン 252.57	84.95	4,252.84
	2018	米国 2,036.92	英国 436.18	ドイツ 351.59	スペイン 342.37	カナダ 226.28	131.61	4,367.74
	2019	米国 2,027.80	ドイツ 354.71	スペイン 301.12	カナダ 235.46	英国 225.74	119.52	4,049.96
技術協力	2017	ドイツ 462.93	フランス 162.97	日本 155.99	カナダ 137.58	英国 89.23	155.99	1,259.92
	2018	ドイツ 506.12	フランス 190.04	カナダ 152.27	日本 120.43	米国 73.00	120.43	1,266.80
	2019	ドイツ 495.38	フランス 140.92	カナダ 139.47	日本 115.04	英国 91.83	115.04	1,245.50

出典) OECD/DAC

表-3 中南米地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2017	EU Institutions 1,362.42	IDB 1,349.53	IDA 228.36	GFATM 151.81	OPEC Fund 99.34	544.10	3,735.58
	2018	EU Institutions 1,416.26	IDB 1,149.46	IDA 315.40	GFATM 123.73	OPEC Fund 107.27	545.82	3,657.84
	2019	EU Institutions 933.92	IDB 825.87	IDA 307.18	IMF-CTF 286.05	CDB 180.48	718.84	3,252.24
有償資金協力	2017	IDB 1,044.69	EU Institutions 633.29	IDA 168.72	OPEC Fund 98.46	IFAD 18.68	42.63	2,006.48
	2018	IDB 1,004.24	EU Institutions 583.14	IDA 252.04	OPEC Fund 105.63	CDB 36.94	34.51	2,016.45
	2019	IDB 759.85	IMF-CTF 286.05	IDA 278.13	EU Institutions 165.57	OPEC Fund 60.75	13.24	1,563.60
無償資金協力	2017	EU Institutions 572.64	GFATM 151.81	IDB 134.01	GEF 73.25	IDA 59.64	342.33	1,333.63
	2018	EU Institutions 699.79	IDB 145.20	GFATM 123.73	GEF 77.83	IDA 63.35	321.28	1,431.21
	2019	EU Institutions 607.25	CDB 180.48	GFATM 114.74	GEF 59.15	IDB 58.73	500.01	1,520.26
技術協力	2017	IDB 170.85	EU Institutions 156.50	FAO 46.05	GEF 18.73	ILO 3.28	0.03	395.44
	2018	EU Institutions 133.33	FAO 48.26	ILO 28.21	OPEC Fund 0.44	-	-	210.17
	2019	EU Institutions 161.11	IDB 7.27	-	-	-	-	168.37

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

## [1] アルゼンチン

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,538万人	8,930ドル	-9.9%	2,537.60億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アルゼンチン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.75	4.12
2017年度	-	0.38	5.59
2018年度	-	0.28	4.57
2019年度	-	0.30	4.70
2020年度	-	5.16	3.43

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アルゼンチン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	81.50	68.91	504.06

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アルゼンチン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-14.36	0.41	3.54	-10.42
2017年	-10.26	0.82	6.24	-3.21
2018年	-15.61	0.26	3.85	-11.50
2019年	-16.19	0.31	4.26	-11.62
2020年	-1.17	0.22	2.91	1.96
累計	14.13	47.34	511.43	572.90

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アルゼンチン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 53.01	日本 42.91	フランス 10.49	英国 2.41	イタリア 1.72	42.91	115.20
2016年	ドイツ 17.66	フランス 10.21	日本 3.95	米国 1.89	イタリア 1.51	3.95	40.31
2017年	イタリア 99.22	ドイツ 20.59	フランス 11.20	日本 7.05	英国 3.42	7.05	149.18
2018年	ドイツ 26.77	フランス 22.21	米国 4.54	日本 4.11	英国 3.17	4.11	68.03
2019年	ドイツ 24.59	フランス 10.56	英国 5.75	日本 4.56	米国 4.26	4.56	56.88

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アルゼンチン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 9.08	GEF 5.85	IDB 5.00	ILO 1.63	UNICEF 1.39	3.09	26.02
2016年	EU Institutions 6.79	GEF 6.29	IDB 3.75	Adaptation Fund 3.58	UNHCR 2.33	4.17	26.91
2017年	OPEC Fund 5.40	IDB 4.84	EU Institutions 4.06	UNHCR 3.80	GEF 2.36	5.20	25.66
2018年	EU Institutions 75.85	IDB 3.17	ILO 2.14	GEF 1.99	Adaptation Fund 1.58	3.64	88.36
2019年	IMF-CTF 183.54	EU Institutions 21.39	GCF 4.14	OPEC Fund 3.59	IDB 2.54	9.13	224.34

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	5.16億円 ・経済社会開発計画(5.00) ・草の根・人間の安全保障無償(2件) (0.16)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [2] アンティグア・バーブーダ

### 主要経済指標等(2019年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
9.8万人	14,250ドル	-16.0%	-	高中所得国	iv / 高所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アンティグア・バーブーダ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	2.10	0.30
2017年度	-	2.20	0.49
2018年度	-	2.08	0.12
2019年度	-	0.10	0.06
2020年度	-	2.00	0.05

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アンティグア・バーブーダ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	67.57	9.74

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アンティグア・バーブーダ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	4.93	0.21	5.14
2017年	-	1.78	0.43	2.22
2018年	-	1.99	0.18	2.17
2019年	-	1.91	0.02	1.93
2020年	-	0.09	0.05	0.15
累計	-	59.93	9.42	69.35

注) 1. 無償資金協力の〇内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アンティグア・バーブーダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 1.53	韓国 0.19	オーストラリア 0.06	イタリア 0.04	ニュージーランド 0.02	1.53	1.88
	-	-	-	-	米国 0.02	-	-
2016年	日本 5.14	韓国 0.08	オーストラリア 0.05	スペイン 0.02	オーストラリア 0.01	5.14	5.32
	-	-	-	-	フランス 0.01	-	-
	-	-	-	-	ドイツ 0.01	-	-
2017年	日本 2.22	オーストラリア 0.37	スイス 0.11	カナダ 0.07	韓国 0.05	2.22	2.95
2018年	日本 2.17	カナダ 0.16	英国 0.13	韓国 0.09	オーストラリア 0.05	2.17	2.64
2019年	日本 1.93	イタリア 0.50	英国 0.33	カナダ 0.04	オーストラリア 0.02	1.93	2.85
	-	-	-	-	フランス 0.02	-	-

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アンティグア・バーブーダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	GEF 0.62	EU Institutions 0.12	ILO 0.07	CDB 0.05	UNDP 0.00	-	0.86
2016年	GEF 1.73	GCF 0.12	ILO 0.09	UNDP 0.06	-	-	2.00
2017年	EU Institutions 2.48	CERF 2.15	Adaptation Fund 1.57	GCF 0.38	ILO 0.09	0.20	6.87
2018年	CDB 9.08	GCF 0.81	EU Institutions 0.79	ILO 0.08	IAEA 0.05	0.02	10.88
	-	-	-	-	GEF 0.05	-	-
2019年	CDB 8.30	Adaptation Fund 5.72	EU Institutions 4.43	GCF 1.57	ILO 0.44	0.51	20.96

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	2.00億円 ・経済社会開発計画(2.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

### [3] ウルグアイ

#### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
347万人	15,830ドル	-5.9%	-	(2018年卒業)	iv / 高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ウルグアイ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.59	1.74
2017年度	-	0.59	1.40
2018年度	-	0.42	0.99
2019年度	-	0.19	0.56
2020年度	-	0.23	0.16

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ウルグアイ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	71.66	23.59	156.41

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ウルグアイ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	0.67	1.62	2.29
2017年	-	0.58	1.29	1.87
2018年	-	0.30	0.93	1.23
2019年	-	0.39	0.59	0.98
2020年	-	0.08 (0.02)	0.13	0.21
累計	-2.96	22.62	137.65	157.30

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ウルグアイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 24.37	英国 2.33	日本 2.04	フランス 1.97	ニュージーランド 0.73	2.04	33.32
2016年	ドイツ 3.54	日本 2.29	フランス 2.06	英国 0.94	スペイン 0.88	2.29	12.14
2017年	ドイツ 28.17	フランス 2.27	日本 1.87	スペイン 1.12	イタリア 0.89	1.87	36.48
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ウルグアイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 5.96	IDB 2.78	Adaptation Fund 2.66	GEF 2.38	UNICEF 0.87	2.09	16.74
2016年	IDB 2.90	Adaptation Fund 2.81	EU Institutions 1.99	GEF 1.92	UNICEF 0.92	1.66	12.20
2017年	IDB 3.85	EU Institutions 1.14	ILO 1.00	-	GEF 0.89	1.53	9.40
	-	-	UNICEF 1.00	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	0.23億円 ・草の根・人間の安全保障無償(4件) (0.23)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [4] エクアドル

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,764万人	5,530ドル	-7.8%	561.91億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対エクアドル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	5.13	9.61
2017年度	-	1.46	4.70
2018年度	77.98	4.92	13.20
2019年度	-	5.44	5.46
2020年度	-	9.16	2.51

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対エクアドル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	714.16	384.44	281.40

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対エクアドル援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-9.14	9.78 (1.49)	9.40	10.04
2017年	-8.86	6.81 -	4.96	2.91
2018年	-6.74	2.65 -	4.46	0.37
2019年	-4.54	7.85 (3.21)	10.95	14.26
2020年	-4.63	2.02 -	4.05	1.44
累計	-80.49	323.40 (4.70)	255.49	498.40

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対エクアドル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	フランス 87.84	ドイツ 31.79	米国 17.13	日本 15.02	ベルギー 13.39	15.02	197.08
2016年	フランス 88.37	ドイツ 27.64	韓国 24.75	米国 20.64	日本 19.18	19.18	222.15
2017年	フランス 40.94	韓国 34.73	ドイツ 31.40	米国 19.19	日本 11.78	11.78	167.99
2018年	フランス 102.82	ドイツ 50.41	韓国 24.49	米国 18.45	スペイン 14.18	7.11	246.10
2019年	フランス 237.36	ドイツ 44.84	米国 32.46	韓国 24.12	日本 18.80	18.80	416.15

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対エクアドル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 157.06	UNHCR 8.37	GEF 6.17	IDB 5.98	GFATM 5.27	5.75	188.58
2016年	EU Institutions 51.62	UNHCR 11.33	GEF 6.25	IDB 4.78	UNICEF 2.09	6.71	82.78
2017年	EU Institutions 65.01	UNHCR 11.18	GCF 7.90	IDB 6.98	GEF 4.47	5.71	101.24
2018年	EU Institutions 179.87	IDB 7.38	UNHCR 6.66	GEF 5.07	WFP 2.17	8.30	209.46
2019年	EU Institutions 77.50	IMF-CTF 43.59	GCF 11.42	GEF 6.91	UNHCR 5.02	15.13	159.59

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	9.16億円 ・経済社会開発計画(7.00) ・草の根・人間の安全保障無償(22件) (2.16)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [5] エルサルバドル

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
649万人	3,650ドル	-7.9%	183.34億ドル	低中所得国	iii/低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対エルサルバドル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	1.25	9.32
2017年度	-	5.61	6.96
2018年度	-	1.19	9.72
2019年度	-	6.34	7.86
2020年度	-	4.10	5.51

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対エルサルバドル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	567.72	387.20	277.07

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対エルサルバドル援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-16.55	1.72	10.07	-4.77
2017年	-13.83	0.45	6.40	-6.97
2018年	-14.00	5.08	8.23	-0.68
2019年	-12.35	1.74	6.99	-3.62
2020年	32.88	5.13 (4.68)	3.70	41.71
累計	86.32	339.02 (4.68)	252.19	677.53

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対エルサルバドル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 55.39	スペイン 13.55	日本 12.88	ドイツ 10.16	韓国 3.62	12.88	114.97
2016年	米国 67.76	ドイツ 35.68	スペイン 19.15	日本 11.88	ルクセンブルク 5.07	11.88	157.14
2017年	米国 83.00	スペイン 27.29	ドイツ 23.35	日本 9.18	韓国 7.39	9.18	176.70
2018年	米国 137.50	スペイン 42.21	日本 15.73	ドイツ 14.17	フランス 13.57	15.73	254.87
2019年	米国 196.82	スペイン 42.02	フランス 19.85	ドイツ 13.64	日本 13.00	13.00	303.93

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対エルサルバドル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 16.39	GFATM 8.55	IDB 3.33	OPEC Fund 1.72	UNICEF 1.08	2.96	34.03
2016年	EU Institutions 21.09	GFATM 7.45	OPEC Fund 5.00	IDB 3.87	GEF 1.03	4.00	42.44
2017年	EU Institutions 17.80	GFATM 10.79	IDB 4.41	OPEC Fund 1.83	UNICEF 1.05	4.50	40.38
2018年	EU Institutions 41.10	GFATM 8.44	IDB 3.94	WFP 3.75	UNPBF 2.11	6.61	65.94
2019年	EU Institutions 32.04	GFATM 6.61	GCF 5.64	WFP 3.05	UNPBF 2.23	9.93	59.51

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	4.10億円 ・経済社会開発計画(3.00) ・人材育成奨学計画(国債1/5)(0.44) ・草の根・人間の安全保障無償(5件) (0.66)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [6] ガイアナ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
79万人	6,600ドル	43.5%	15.07億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

### 表-1-1 我が国の対ガイアナ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.08	0.67
2017年度	-	0.3	1.1
2018年度	-	18.48	1.48
2019年度	-	0.10	0.31
2020年度	-	-	0.03

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-1-2 我が国の対ガイアナ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	160.01	20.06

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-2 我が国の対ガイアナ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	0.08	0.59	0.66
2017年	-	-	1.13	1.13
2018年	-	0.27 (0.09)	1.40	1.66
2019年	-	2.70	0.13	2.83
2020年	-	9.70	0.19	9.90
累計	-0.39	119.01 (1.07)	19.17	137.80

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-3 主要ドナーの対ガイアナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 6.64	ノルウェー 5.60	英国 3.40	日本 1.11	カナダ 0.63	1.11	18.21
2016年	米国 7.78	ノルウェー 3.68	カナダ 0.91	英国 0.89	日本 0.66	0.66	14.49
2017年	米国 6.07	ノルウェー 5.04	英国 1.77	日本 1.13	カナダ 0.74	1.13	15.54
2018年	米国 5.26	ノルウェー 3.46	日本 1.66	英国 1.50	カナダ 1.48	1.66	14.05
2019年	ノルウェー 47.70	米国 3.78	日本 2.83	英国 2.58	カナダ 1.56	2.83	59.32

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

### 表-4 国際機関の対ガイアナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDB 21.52	IDA 7.19	CDB 6.03	GFATM 2.46	UNICEF 1.62	4.69	43.51
2016年	EU Institutions 42.17	IDB 10.68	CDB 6.76	IDA 5.64	UNICEF 2.26	5.85	73.36
2017年	IDB 18.86	EU Institutions 10.62	IDA 9.05	CDB 8.76	GFATM 2.75	4.99	55.03
2018年	IDA 41.45	EU Institutions 28.78	IDB 28.31	CDB 3.95	UNICEF 1.97	5.70	110.15
2019年	IDB 34.41	CDB 12.99	IDA 8.56	EU Institutions 3.83	UNICEF 2.35	6.12	68.26

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [7] キューバ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,133万人	-	-0.2%	-	高中所得国	-

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対キューバ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	36.21	4.35
2017年度	-	11.06	1.85
2018年度	-	35.03	7.25
2019年度	-	0.38	5.55
2020年度	-	5.00	1.88

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対キューバ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	111.49	82.72

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対キューバ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	16.40	4.08	20.48
2017年	-	32.34 (0.13)	3.37	35.72
2018年	-	41.02 (0.51)	6.46	47.48
2019年	-	10.72 (0.75)	3.50	14.22
2020年	-	6.75 (0.17)	3.57	10.32
累計	-	127.32 (2.44)	86.06	213.38

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対キューバ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	スペイン 125.63	スイス 11.42	米国 7.92	日本 4.96	ノルウェー 3.58	4.96	167.09
2016年	スペイン 2,117.63	フランス 78.57	日本 20.48	スイス 14.83	米国 9.99	20.48	2,278.23
2017年	フランス 101.82	イタリア 96.21	日本 35.72	スイス 14.61	オーストリア 10.21	35.72	314.38
2018年	フランス 134.23	日本 47.48	オーストリア 13.23	ベルギー 12.55	スイス 11.77	47.48	270.41
2019年	日本 14.22	フランス 13.76	米国 13.63	スイス 13.41	イタリア 11.99	14.22	97.06

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対キューバ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 14.81	GFATM 7.03	OPEC Fund 6.76	GEF 2.39	GAVI 1.76	2.55	35.31
2016年	OPEC Fund 15.26	EU Institutions 12.37	GFATM 6.23	GEF 2.46	Adaptation Fund 1.34	3.65	41.32
2017年	OPEC Fund 13.65	EU Institutions 11.17	CERF 8.00	GFATM 5.05	GEF 3.17	3.33	44.38
2018年	OPEC Fund 15.15	EU Institutions 12.47	GFATM 6.02	GEF 1.78	UNICEF 1.31	3.01	39.72
2019年	EU Institutions 20.15	GFATM 5.48	OPEC Fund 4.27	CERF 2.00	GEF 1.62	5.09	38.60

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	5.00億円 ・経済社会開発計画(5.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [8] グアテマラ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,686万人	4,490ドル	-1.5%	251.36億ドル	低所得国	iii / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対グアテマラ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.20	7.06
2017年度	-	0.95	6.17
2018年度	-	1.14	3.22
2019年度	-	0.62	5.93
2020年度	-	8.86	4.01

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対グアテマラ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	367.75	447.00	324.28

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対グアテマラ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-9.66	0.25	5.07	-4.34
2017年	-9.23	0.52 (0.09)	6.45	-2.27
2018年	6.38	0.95 (0.18)	3.69	11.03
2019年	4.06	1.39 (0.47)	4.85	10.31
2020年	21.29	2.89	3.24	27.42
累計	160.36	387.40 (1.09)	285.23	832.99

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対グアテマラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 124.72	スウェーデン 28.09	ドイツ 18.32	スペイン 13.25	カナダ 9.96	7.72	233.74
2016年	米国 134.92	スウェーデン 30.39	ドイツ 22.92	スペイン 17.07	カナダ 10.95	6.16	254.22
2017年	米国 211.37	スウェーデン 28.30	ドイツ 21.20	スペイン 18.91	カナダ 9.36	7.92	326.26
2018年	米国 200.97	スペイン 34.58	ドイツ 32.83	スウェーデン 32.24	日本 21.38	21.38	368.60
2019年	米国 187.75	ドイツ 26.96	スウェーデン 26.83	日本 23.33	スペイン 23.31	23.33	348.22

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対グアテマラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDB 166.99	EU Institutions 24.23	GFATM 15.33	GEF 3.03	UNPBF 2.45	9.44	221.48
2016年	EU Institutions 17.51	GFATM 12.82	IDB 9.56	WFP 3.31	GEF 3.04	9.66	55.90
2017年	EU Institutions 42.74	IDB 34.46	GFATM 9.86	GEF 7.18	WFP 3.13	11.70	109.07
2018年	EU Institutions 21.42	IDB 19.36	GFATM 11.75	UNPBF 5.79	GEF 2.85	11.06	72.23
2019年	EU Institutions 43.10	IDB 16.78	GFATM 6.51	UNPBF 3.29	WFP 3.10	13.62	86.37

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	8.86億円 ・潜在移民及び帰還移民の若年層に対する経済再統合支援計画(IOM連携)(4.83) ・経済社会開発計画(3.00) ・日本NGO連携無償(1件)(0.72) ・草の根文化無償(1件)(0.10) ・草の根・人間の安全保障無償(3件)(0.21)	・中小企業の品質・生産性向上に係るファシリテーター能力向上プロジェクト第2フェーズ[21.01～24.01] ・地域警察プロジェクト[21.03～26.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [9] グレナダ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
11万人	8,740ドル	-11.2%	7.00億ドル	高中所得国	iv/高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対グレナダ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.10	0.11
2017年度	-	0.09	0.12
2018年度	-	0.08	0.06
2019年度	-	2.00	0.05
2020年度	-	2.00	0.01

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対グレナダ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	65.79	11.94

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対グレナダ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	4.25	0.09	4.34
2017年	-	0.09	0.12	0.21
2018年	-	0.09	0.05	0.13
2019年	-	0.07	0.05	0.12
2020年	-	1.87	0.01	1.88
累計	-	58.82	10.33	69.15

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対グレナダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 2.03	日本 1.20	カナダ 0.18	オーストラリア 0.12	韓国 0.08	1.20	3.86
	-	-	-	-	ニュージーランド 0.08	-	-
2016年	日本 4.34	ドイツ 1.52	フランス 0.67	米国 0.50	オーストラリア 0.05	4.34	7.10
2017年	ドイツ 1.18	フランス 0.23	日本 0.21	カナダ 0.11	-	0.21	2.07
	-	-	-	英国 0.11	-	-	-
2018年	ドイツ 0.89	英国 0.24	カナダ 0.15	日本 0.13	ニュージーランド 0.07	0.13	1.53
2019年	ドイツ 0.61	イタリア 0.50	カナダ 0.34	韓国 0.18	英国 0.15	0.12	1.98

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対グレナダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 15.30	CDB 7.27	IMF-CTF 5.60	CIF 0.88	GEF 0.61	0.35	30.01
2016年	IMF-CTF 5.56	CDB 5.05	IDA 4.20	GEF 0.61	ILO 0.09	0.08	15.59
2017年	IDA 9.32	IMF-CTF 2.77	EU Institutions 1.54	CDB 1.42	GEF 1.01	0.71	16.78
2018年	IDA 33.28	CIF 2.86	CDB 1.16	GEF 0.63	EU Institutions 0.51	0.60	39.04
2019年	IMF-CTF 13.65	CDB 5.96	IDA 3.01	OPEC Fund 2.58	EU Institutions 1.82	2.21	29.23

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	2.00億円 ・経済社会開発計画(2.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。  
2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [10] コスタリカ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
509万人	11,460ドル	-4.5%	312.88億ドル	高中所得国	iv/高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

### 表-1-1 我が国の対コスタリカ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	3.40	4.74
2017年度	-	3.48	4.78
2018年度	-	0.38	3.30
2019年度	-	0.24	3.25
2020年度	-	3.38	1.54

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-1-2 我が国の対コスタリカ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,021.56	67.09	241.35

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-2 我が国の対コスタリカ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	21.13	2.98	4.33	28.44
2017年	34.25	0.35	4.37	38.97
2018年	25.95	3.15	2.99	32.09
2019年	14.93	0.52	3.24	18.69
2020年	-4.31	0.05	1.92	-2.34
累計	191.23	59.93	218.06	469.22

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-3 主要ドナーの対コスタリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 65.22	ドイツ 20.32	米国 9.18	フランス 4.94	英国 1.68	65.22	104.50
2016年	日本 45.73	ドイツ 29.56	米国 8.84	フランス 4.68	スペイン 1.36	45.73	94.07
2017年	日本 55.74	米国 9.92	ドイツ 9.36	フランス 4.45	韓国 1.84	55.74	86.52
2018年	日本 48.74	ドイツ 11.66	米国 10.53	フランス 4.38	カナダ 1.09	48.74	81.05
2019年	日本 35.16	米国 11.15	ドイツ 10.57	フランス 4.23	韓国 2.71	35.16	68.08

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

### 表-4 国際機関の対コスタリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 19.13	GEF 4.20	IDB 3.75	UNICEF 1.09	UNHCR 1.02	2.91	32.11
2016年	EU Institutions 21.40	GEF 3.65	IDB 3.43	GFATM 1.74	IAEA 0.70	2.09	33.01
2017年	EU Institutions 15.80	GEF 5.47	IDB 4.08	GFATM 1.16	UNICEF 0.93	2.56	30.00
2018年	EU Institutions 29.61	GEF 4.54	IDB 2.78	Adaptation Fund 2.39	UNICEF 1.46	4.26	45.05
2019年	EU Institutions 3.20	GEF 2.59	IDB 2.03	UNHCR 1.40	ILO 0.95	3.20	13.38

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	3.38億円 ・医療機材供与を通じた保健システム強化計画(UNOPS連携)(3.00) ・草の根・人間の安全保障無償(2件)(0.28) ・草の根文化無償(1件)(0.10)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [11] コロンビア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
5,088万人	5,780ドル	-6.8%	1,551.72億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コロンビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	4.03	8.43
2017年度	-	13.10	6.91
2018年度	-	2.34	7.47
2019年度	-	6.58	5.11
2020年度	-	6.13	1.74

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コロンビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	466.33	158.83	348.89

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コロンビア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	3.93 (1.75)	9.27	13.21
2017年	-	11.20 -	6.88	18.07
2018年	-	2.76 -	6.63	9.38
2019年	-	6.56 (4.62)	4.87	11.43
2020年	-	5.59 -	2.74	8.33
累計	-63.86	127.19 (7.92)	312.39	375.72

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コロンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	フランス 465.11	米国 386.54	ドイツ 242.75	英国 61.69	カナダ 38.47	7.69	1,319.79
2016年	米国 294.48	ドイツ 282.07	フランス 224.05	ノルウェー 38.99	カナダ 35.57	13.21	1,037.30
2017年	米国 307.57	ドイツ 171.82	ノルウェー 62.56	カナダ 45.07	スイス 38.62	18.07	810.75
2018年	ドイツ 558.04	フランス 508.53	米国 339.60	韓国 61.67	ノルウェー 50.64	9.38	1,758.66
2019年	米国 433.71	ドイツ 114.56	ノルウェー 76.23	英国 66.89	スペイン 55.41	11.43	957.50

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コロンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 58.70	GEF 14.34	IDB 7.85	GFATM 7.65	Adaptation Fund 3.05	8.36	99.98
2016年	EU Institutions 91.02	GEF 13.32	IDB 9.21	UNHCR 6.94	GFATM 3.04	5.15	128.68
2017年	EU Institutions 72.22	GEF 10.30	IDB 10.07	CIF 4.81	UNHCR 3.82	9.68	110.91
2018年	EU Institutions 84.27	UNPBF 9.94	UNHCR 9.67	GCF 8.77	IDB 8.01	33.23	153.90
2019年	EU Institutions 67.51	UNPBF 8.46	CERF 7.99	GEF 7.81	WFP 6.54	24.51	122.82

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	6.13億円 ・経済社会開発計画(5.00) ・草の根・人間の安全保障無償(13件) (1.13)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [12] ジャマイカ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
296万人	4,620ドル	-10.2%	180.35億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

### 表-1-1 我が国の対ジャマイカ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.80	4.08
2017年度	16.94	14.71	2.85
2018年度	-	0.47	3.17
2019年度	-	4.22	2.30
2020年度	-	2.09	1.07

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-1-2 我が国の対ジャマイカ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	551.26	42.28	106.40

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-2 我が国の対ジャマイカ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-14.52	0.55	2.59	-11.37
2017年	-9.94	1.28	4.50	-4.16
2018年	-10.09	1.04	3.05	-6.01
2019年	-4.18	0.48	2.11	-1.59
2020年	-4.75	5.69	1.28	2.22
累計	-103.77	24.99	99.03	20.24

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-3 主要ドナーの対ジャマイカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 21.83	英国 11.78	カナダ 9.58	日本 3.58	ベルギー 1.30	3.58	49.46
2016年	米国 22.41	英国 8.83	カナダ 5.84	日本 3.14	ベルギー 0.86	3.14	42.43
2017年	米国 32.39	英国 10.10	日本 5.78	カナダ 3.14	オーストラリア 0.63	5.78	53.93
2018年	米国 34.87	フランス 15.74	英国 10.73	カナダ 4.39	日本 4.09	4.09	71.36
2019年	フランス 33.53	米国 24.48	英国 12.72	日本 3.06	カナダ 2.83	3.06	77.88

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

### 表-4 国際機関の対ジャマイカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 29.64	CDB 12.96	GFATM 3.25	IDB 2.88	GEF 2.15	4.36	55.24
2016年	EU Institutions 23.11	GFATM 5.26	OPEC Fund 4.03	IDB 2.04	CIF 1.81	4.97	41.22
2017年	EU Institutions 19.17	GFATM 5.20	IDB 4.96	CIF 2.62	CDB 1.70	5.86	39.51
2018年	EU Institutions 43.70	CIF 5.43	GFATM 3.91	IDB 3.25	CDB 1.68	4.74	62.71
2019年	IMF-CTF 23.78	CDB 15.19	EU Institutions 12.59	GFATM 4.28	OPEC Fund 2.97	12.06	70.87

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	2.09億円 ・経済社会開発計画(2.00) ・草の根・人間の安全保障無償(1件) (0.09)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [13] スリナム

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
59万人	5,510ドル	-14.5%	-	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

### 表-1-1 我が国の対スリナム援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.10	0.13
2017年度	-	2.10	0.10
2018年度	-	4.09	0.09
2019年度	-	0.10	0.03
2020年度	-	0.13	-

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-1-2 我が国の対スリナム援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	56.32	7.67

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-2 我が国の対スリナム援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	0.18 (0.09)	0.09	0.27
2017年	-	-	0.11	0.11
2018年	-	1.90	0.07	1.97
2019年	-	3.75	0.00	3.76
2020年	-	-	0.03	0.03
累計	-2.70	44.60 (0.09)	8.60	50.51

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-3 主要ドナーの対スリナム経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	オランダ 5.72	フランス 2.36	ベルギー 1.32	カナダ 0.17	オーストラリア 0.13	0.09	9.98
2016年	オランダ 3.90	ベルギー 1.65	フランス 1.53	カナダ 0.46	日本 0.27	0.27	8.23
2017年	フランス 3.31	ベルギー 1.51	オランダ 0.75	カナダ 0.34	オーストラリア 0.28	0.11	6.58
2018年	オランダ 3.12	日本 1.97	ベルギー 1.12	フランス 1.11	カナダ 0.59	1.97	8.11
2019年	オランダ 4.31	日本 3.76	フランス 1.30	ベルギー 1.03	カナダ 0.67	3.76	11.42

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

### 表-4 国際機関の対スリナム経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	GFATM 2.71	EU Institutions 2.13	GEF 1.21	IDB 0.89	Isl.Dev Bank 0.25	0.27	7.44
2016年	EU Institutions 5.59	IDB 2.72	GEF 1.07	Isl.Dev Bank 0.73	GFATM 0.21	0.28	10.61
2017年	EU Institutions 9.83	GFATM 2.46	IDB 1.99	Isl.Dev Bank 0.91	OPEC Fund 0.60	1.68	17.47
2018年	EU Institutions 5.43	IDB 2.81	GFATM 1.61	GEF 1.12	Isl.Dev Bank 0.29	0.67	11.93
2019年	CDB 13.15	EU Institutions 3.60	OPEC Fund 1.84	GFATM 1.52	Isl.Dev Bank 0.90	1.82	22.83

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	0.13億円 ・草の根・人間の安全保障無償(1件) (0.13)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [14] セントクリストファー・ネービス

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
5.3万人	17,400ドル	-10.7%	-	(2014年卒業)	iv / 高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セントクリストファー・ネービス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	2.44	0.13
2017年度	-	-	0.09
2018年度	-	-	0.09
2019年度	-	2.18	0.08
2020年度	-	0.07	-

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セントクリストファー・ネービス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	33.14	5.26

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セントクリストファー・ネービス援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	1.59	0.08	1.67
2017年	-	2.18	0.09	2.27
2018年	-	-	0.09	0.09
2019年	-	0.16	0.02	0.19
2020年	-	1.87	0.05	1.92
累計	-	13.50	4.75	18.25

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セントクリストファー・ネービス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	-	-	-	-	-	-	-
2016年	-	-	-	-	-	-	-
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セントクリストファー・ネービス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	-	-	-	-	-	-	-
2016年	-	-	-	-	-	-	-
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	0.07億円 ・草の根・人間の安全保障無償(1件) (0.07)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [15] セントビンセント

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
11万人	7,340ドル	-2.7%	4.06億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セントビンセント援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	2.00	0.40
2017年度	-	-	0.43
2018年度	-	4.04	0.40
2019年度	-	-	0.32
2020年度	-	-	0.44

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セントビンセント援助形態実績(累計)

(単位:億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
-	-	68.84	19.11

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セントビンセント援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	3.43	0.32	3.74
2017年	-	1.78	0.45	2.23
2018年	-	-	0.31	0.31
2019年	-	3.70	0.33	4.03
2020年	-	-	0.45	0.45
累計	-	60.68	18.09	78.77

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セントビンセント経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 3.50	オーストラリア 0.20	英国 0.17	韓国 0.11	ニュージーランド 0.07	3.50	4.14
2016年	日本 3.74	韓国 0.14	オーストラリア 0.06	オーストリア 0.05	フランス 0.03	3.74	4.04
2017年	日本 2.23	オーストラリア 2.12	英国 0.21	ニュージーランド 0.10	オーストリア 0.06	2.23	4.85
	-	-	-	-	米国 0.06	-	-
2018年	カナダ 0.69	日本 0.31	韓国 0.11	英国 0.09	-	0.31	1.46
	-	-	-	米国 0.09	-	-	-
2019年	日本 4.03	カナダ 0.74	イタリア 0.15	韓国 0.11	-	4.03	5.39
	-	-	-	英国 0.11	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セントビンセント経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 8.72	CDB 3.30	IDA 1.62	GEF 0.58	CIF 0.28	0.07	14.56
2016年	EU Institutions 12.00	CDB 3.05	IDA 1.85	ILO 0.18	UNDP 0.07	-	17.15
2017年	CIF 4.39	EU Institutions 3.10	IDA 0.86	GEF 0.59	GCF 0.12	0.17	9.24
2018年	EU Institutions 6.30	CDB 5.45	CIF 3.00	IDA 1.24	GEF 0.63	0.23	16.85
2019年	IDA 38.80	CDB 35.62	EU Institutions 3.10	FAO 0.16	WHO 0.05	0.08	77.81

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	なし	漁民と行政の共同による沿岸水産資源の保全管理強化プロジェクト[20.10～24.09]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [16] セントルシア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
18万人	8,790ドル	-20.2%	7.34億ドル	高中所得国	iv/高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セントルシア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	2.19	1.76
2017年度	-	2.67	2.47
2018年度	-	8.38	1.68
2019年度	-	6.49	2.36
2020年度	-	0.04	1.07

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セントルシア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	92.49	38.50

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セントルシア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	4.16	1.43	5.59
2017年	-	1.96	2.24	4.19
2018年	-	0.28	1.55	1.83
2019年	-	1.83	1.70	3.53
2020年	-	0.15	1.10	1.24
累計	-	66.41	34.50	100.91

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セントルシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 3.06	フランス 0.69	英国 0.27	韓国 0.22	オーストラリア 0.17	3.06	4.69
2016年	日本 5.59	フランス 0.86	韓国 0.11	ニュージーランド 0.10	オーストラリア 0.09	5.59	6.86
2017年	日本 4.19	フランス 0.63	カナダ 0.28	ニュージーランド 0.15	-	4.19	5.58
	-	-	-	英国 0.15	-	-	-
2018年	日本 1.83	フランス 0.63	カナダ 0.34	ニュージーランド 0.21	イタリア 0.16	1.83	3.37
2019年	日本 3.53	フランス 0.98	英国 0.72	カナダ 0.65	イタリア 0.37	3.53	6.61

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セントルシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	CDB 8.35	EU Institutions 5.21	IDA 3.33	GEF 1.18	CIF 0.56	0.08	18.70
2016年	EU Institutions 15.34	CDB 6.03	IDA 3.90	GEF 1.00	ILO 0.10	0.09	26.46
2017年	EU Institutions 8.43	IDA 4.90	CIF 2.76	ILO 0.09	UNDP 0.07	0.02	16.28
2018年	IDA 4.98	EU Institutions 4.07	CIF 2.31	CDB 1.92	GCF 0.06	0.03	13.37
2019年	CDB 22.02	IDA 4.16	EU Institutions 2.40	GCF 0.25	UNDP 0.19	0.30	29.33

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	0.04億円 ・草の根・人間の安全保障無償(1件) (0.04)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [17] チリ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,912万人	13,470ドル	-5.8%	-	(2018年卒業)	iv/ 高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対チリ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.54	3.28
2017年度	-	0.36	2.56
2018年度	-	0.59	2.54
2019年度	-	0.43	3.78
2020年度	-	5.39	1.55

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対チリ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	243.70	111.06	441.90

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対チリ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-0.93	0.37	2.88	2.32
2017年	-0.90	0.43	3.26	2.79
2018年	-0.91	0.24	1.88	1.20
2019年	-0.93	0.46	2.31	1.84
2020年	-	5.09	3.26	8.35
累計	-9.04	82.92	401.98	475.86

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対チリ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 33.57	フランス 11.22	英国 7.19	日本 3.56	デンマーク 2.55	3.56	64.45
2016年	ドイツ 175.38	フランス 10.49	英国 9.07	日本 3.25	カナダ 2.46	3.25	205.41
2017年	ドイツ 60.91	フランス 9.81	デンマーク 4.58	日本 3.69	カナダ 3.14	3.69	89.67
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対チリ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	GEF 6.68	EU Institutions 6.52	IDB 2.91	Adaptation Fund 1.91	CIF 1.04	2.90	21.96
2016年	EU Institutions 5.46	GEF 4.79	IDB 4.71	ILO 0.95	-	1.56	18.43
	-	-	-	UNICEF 0.95	-	-	-
2017年	EU Institutions 5.12	IDB 5.01	GEF 1.88	ILO 1.22	UNICEF 0.98	1.83	16.03
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	5.39億円 ・経済社会開発計画(5.00) ・草の根・人間の安全保無償(5件) (0.39)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [18] ドミニカ国

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
7.2万人	6,870ドル	-16.7%	3.29億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ドミニカ国援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	-	0.07
2017年度	-	2.20	0.14
2018年度	-	0.15	0.42
2019年度	-	10.72	0.57
2020年度	-	0.20	-

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ドミニカ国援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	83.81	16.80

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ドミニカ国援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	2.90	0.01	2.91
2017年	-	-	0.16	0.16
2018年	-	2.06	0.27	2.23
2019年	-	0.06	0.48	0.54
2020年	-	0.47	0.17	0.64
累計	3.11	67.07	17.91	88.09

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ドミニカ国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	フランス 2.48	英国 0.75	日本 0.46	カナダ 0.24	韓国 0.18	0.46	4.45
2016年	日本 2.91	フランス 0.31	米国 0.15	韓国 0.12	ニュージーランド 0.08	2.91	3.78
2017年	カナダ 0.91	オーストラリア 0.53	米国 0.51	スイス 0.35	フランス 0.33	0.16	3.68
2018年	米国 4.76	カナダ 4.45	日本 2.33	オーストラリア 0.74	英国 0.53	2.33	13.32
2019年	米国 3.75	英国 1.35	カナダ 1.18	日本 0.54	フランス 0.52	0.54	7.95

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ドミニカ国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IMF-CTF 8.60	CDB 3.47	EU Institutions 2.32	GEF 1.29	IDA 1.00	0.36	17.05
2016年	EU Institutions 9.72	CDB 1.86	GEF 1.19	UNDP 0.14	ILO 0.08	-	13.00
2017年	EU Institutions 9.44	IDA 8.12	CERF 3.01	CDB 1.74	UNAIDS 0.35	1.11	23.77
2018年	EU Institutions 16.07	IDA 4.58	CDB 0.94	GEF 0.38	FAO 0.20	0.11	22.27
2019年	IMF-CTF 21.49	CDB 18.21	EU Institutions 13.11	IDA 11.48	GCF 0.41	0.42	65.13

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	0.20億円 ・草の根・人間の安全保障無償(2件) (0.20)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [19] ドミニカ共和国

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,085万人	7,260ドル	-6.7%	444.68億ドル	高中所得国	iv/高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ドミニカ共和国援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	0.68	8.44
2017年度	—	0.68	6.50
2018年度	—	0.71	4.96
2019年度	—	0.92	5.20
2020年度	—	3.58	4.21

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ドミニカ共和国援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	315.80	273.90	361.96

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ドミニカ共和国援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-9.26	0.81 (0.09)	9.32	0.88
2017年	-5.98	0.60 -	6.22	0.84
2018年	-3.97	0.57 -	4.70	1.30
2019年	-3.95	1.11 -	4.63	1.80
2020年	-4.03	3.30 -	4.72	4.00
累計	-38.22	223.08 (0.09)	318.59	503.45

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ドミニカ共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	フランス 205.23	米国 35.49	韓国 16.87	スペイン 11.59	日本 9.49	9.49	284.77
2016年	フランス 73.64	米国 61.12	スペイン 11.80	韓国 11.45	日本 10.14	10.14	172.52
2017年	米国 68.18	フランス 37.22	日本 6.82	スペイン 6.47	韓国 4.36	6.82	128.58
2018年	米国 58.98	スペイン 7.27	ドイツ 7.19	日本 5.27	韓国 4.68	5.27	89.38
2019年	米国 51.03	フランス 28.19	ドイツ 14.56	スペイン 8.85	韓国 8.31	5.75	118.87

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ドミニカ共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 33.28	OPEC Fund 13.05	GFATM 7.06	IDB 3.88	UNHCR 1.27	4.13	62.67
2016年	EU Institutions 48.83	OPEC Fund 14.17	GFATM 6.05	IDB 3.16	UNHCR 1.54	4.04	77.78
2017年	EU Institutions 40.51	GFATM 7.98	IDB 3.85	UNICEF 1.12	WHO 0.70	1.95	56.10
2018年	EU Institutions 29.03	OPEC Fund 21.79	GFATM 7.73	IDB 3.06	UNHCR 1.86	6.36	69.82
2019年	EU Institutions 50.38	OPEC Fund 8.01	GFATM 7.95	IDB 2.10	UNHCR 1.86	7.12	77.40

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	3.58億円 ・経済社会開発計画(3.00) ・草の根・人間の安全保障無償(7件) (0.58)	・全国総合廃棄物管理制度・能力強化プロジェクトフェーズ2[20.11～23.12]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [20] トリニダード・トバゴ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
140万人	15,410ドル	-7.8%	-	(2011年卒業)	iv / 高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対トリニダード・トバゴ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	-	0.02
2017年度	-	0.23	0.04
2018年度	-	-	0.02
2019年度	-	-	0.04
2020年度	-	-	0.02

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対トリニダード・トバゴ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	2.35	33.03

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対トリニダード・トバゴ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	0.46	0.02	0.48
2017年	-	-	0.04	0.04
2018年	-	0.21	0.02	0.23
2019年	-	-	0.03	0.03
2020年	-	-	0.02	0.02
累計	-	1.10	29.83	30.93

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対トリニダード・トバゴ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	-	-	-	-	-	-	-
2016年	-	-	-	-	-	-	-
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対トリニダード・トバゴ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	-	-	-	-	-	-	-
2016年	-	-	-	-	-	-	-
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [21] ニカラグア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
663万人	1,850ドル	-2.0%	120.50億ドル	低中所得国	iii/低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ニカラグア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	7.37	12.48
2017年度	49.40	11.76	9.08
2018年度	-	13.20	5.38
2019年度	-	0.60	6.71
2020年度	-	3.65	1.71

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ニカラグア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	275.15	826.32	274.22

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ニカラグア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	3.25	10.02	9.29	22.57
2017年	3.36	0.96	11.00	15.31
2018年	2.04	4.84	5.67	12.54
2019年	4.67	5.72	5.93	16.33
2020年	0.45	2.08	3.24	5.77
累計	0.62	812.08 (7.63)	257.54	1,070.25

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ニカラグア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 41.08	スイス 21.69	日本 16.47	カナダ 13.92	ドイツ 11.93	16.47	153.11
2016年	米国 43.25	韓国 26.24	スイス 25.56	日本 22.57	スペイン 13.32	22.57	180.89
2017年	米国 51.17	韓国 36.60	スイス 22.01	日本 15.31	スペイン 14.75	15.31	186.88
2018年	韓国 46.71	米国 45.16	スペイン 16.20	ドイツ 13.12	スイス 13.05	12.54	189.30
2019年	韓国 46.12	米国 31.40	スペイン 18.23	スイス 17.46	日本 16.33	16.33	166.86

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ニカラグア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDB 212.26	IDA 67.09	EU Institutions 47.98	OPEC Fund 6.88	IFAD 5.95	18.75	358.93
2016年	IDB 155.36	EU Institutions 58.39	IDA 55.53	GFATM 11.12	OPEC Fund 11.06	15.56	307.03
2017年	IDB 286.62	IDA 74.79	EU Institutions 23.53	OPEC Fund 21.33	IFAD 10.21	20.01	436.49
2018年	IDB 104.13	IDA 69.24	EU Institutions 40.75	GFATM 6.60	IFAD 5.83	11.63	238.18
2019年	IDB 121.45	IDA 94.04	EU Institutions 42.74	IFAD 6.15	GFATM 5.41	13.46	283.26

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	3.65億円 ・経済社会開発計画(3.00) ・草の根・人間の安全保障無償(6件) (0.65)	・家庭・地域保健モデル強化を通じたプライマリーヘルスケアの改善プロジェクト[20.12~25.05] ・中小零細企業の品質・生産性向上に係る能力強化プロジェクト[21.01~24.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [22] ハイチ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,140万人	1,250ドル	-3.4%	23.18億ドル	後発開発途上国	iii/低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ハイチ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	26.10	3.16
2017年度	-	57.44	3.08
2018年度	-	18.66	1.92
2019年度	-	8.97	0.81
2020年度	-	10.76	1.90

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対インドネシア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	591.04	43.14

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ハイチ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	18.95 (10.23)	2.51	21.45
2017年	-	11.70 (2.63)	3.68	15.38
2018年	-	41.56 (17.72)	1.77	43.33
2019年	-	21.99 (2.08)	0.82	22.81
2020年	-	23.93 (6.76)	1.77	25.71
累計	-	474.77 (128.61)	40.91	515.69

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ハイチ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 399.82	カナダ 74.28	フランス 28.72	日本 23.47	スイス 19.99	23.47	597.51
2016年	米国 431.21	カナダ 67.08	フランス 38.95	スイス 24.91	ドイツ 21.66	21.45	664.43
2017年	米国 426.40	カナダ 90.37	フランス 37.42	スイス 22.50	ドイツ 16.94	15.38	651.10
2018年	米国 339.20	カナダ 89.09	日本 43.33	フランス 41.81	スイス 19.66	43.33	590.79
2019年	米国 225.77	カナダ 64.53	フランス 41.05	日本 22.81	スイス 22.78	22.81	416.01

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ハイチ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDB 196.77	EU Institutions 133.87	IDA 44.70	GFATM 19.55	IMF-CTF 9.82	49.64	454.33
2016年	IDB 124.23	EU Institutions 120.45	IDA 62.42	IMF-CTF 42.69	GFATM 21.22	50.18	421.18
2017年	IDB 127.79	EU Institutions 73.76	IDA 65.25	GFATM 47.23	UNICEF 10.35	31.98	356.34
2018年	EU Institutions 134.70	IDB 119.23	IDA 112.84	GFATM 28.93	CERF 12.14	40.54	448.38
2019年	IDA 81.90	IDB 66.68	EU Institutions 57.08	GFATM 30.09	GAVI 12.16	45.04	292.95

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	10.76億円 ・食糧援助(4.00) ・定期拡大予防接種プログラム強化計画(UNICEF連携)(3.41) ・経済社会開発計画(3.00) ・草の根・人間の安全保障無償(2件)(0.35)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [23] パナマ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
432万人	11,880ドル	-17.9%	-	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対パナマ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	2,810.71	0.54	10.92
2017年度	-	0.59	2.74
2018年度	-	0.61	8.21
2019年度	-	0.45	14.41
2020年度	-	6.09	2.12

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パナマ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	618.96	45.32	332.61

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パナマ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-15.89	0.63	5.99	-9.28
2017年	-12.45	0.52	5.93	-6.00
2018年	-9.48	0.21	7.24	-2.03
2019年	-9.60	0.80	2.53	-6.27
2020年	-9.80	5.80	13.46	9.46
累計	141.59	39.44 (1.03)	292.96	473.99

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パナマ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 7.16	日本 3.18	英国 2.86	ドイツ 1.26	韓国 0.76	3.18	17.76
2016年	米国 8.14	日本 6.78	スペイン 2.13	英国 1.16	ドイツ 1.05	6.78	20.72
2017年	米国 17.48	日本 6.45	ドイツ 1.40	英国 1.36	スペイン 0.63	6.45	29.03
2018年	米国 9.97	日本 7.44	スペイン 1.20	英国 1.18	カナダ 0.94	7.44	23.80
2019年	フランス 40.78	米国 10.25	日本 3.33	英国 2.18	スペイン 1.06	3.33	60.08

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パナマ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 3.31	GEF 3.12	IDB 2.83	GFATM 1.93	UNICEF 0.77	1.98	13.93
2016年	EU Institutions 8.64	UNHCR 6.96	IDB 3.70	GEF 2.13	UNICEF 0.93	2.27	24.64
2017年	UNHCR 10.88	Adaptation Fund 5.53	EU Institutions 5.11	OPEC Fund 3.97	IDB 3.52	7.44	36.43
2018年	EU Institutions 23.00	IDB 3.88	GFATM 2.78	UNICEF 0.86	ILO 0.84	1.96	33.32
2019年	EU Institutions 14.63	OPEC Fund 4.68	WFP 3.23	IDB 1.39	GFATM 1.22	3.75	28.89

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	6.09億円 ・経済社会開発計画(6.00) ・草の根・人間の安全保障無償(1件) (0.09)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [24] バハマ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
39万人	-	-16.3%	-	(1996年卒業)	-

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対バハマ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	2.00	0.07
2017年度	-	-	0.06
2018年度	-	-	0.02
2019年度	-	-	-
2020年度	-	-	0.02

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対バハマ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	2.06	0.84

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対バハマ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	1.84	0.06	1.90
2017年	-	-	0.02	0.02
2018年	-	-	0.05	0.05
2019年	-	-	-	-
2020年	-	-	0.01	0.01
累計	-	0.05	0.37	0.41

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対バハマ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	-	-	-	-	-	-	-
2016年	-	-	-	-	-	-	-
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対バハマ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	-	-	-	-	-	-	-
2016年	-	-	-	-	-	-	-
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [25] パラグアイ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
713万人	5,140ドル	1.0%	197.63億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対パラグアイ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	2.87	11.83
2017年度	—	1.53	7.86
2018年度	—	12.82	7.45
2019年度	—	13.98	8.08
2020年度	91.30	10.65	4.25

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パラグアイ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,639.19	401.10	901.70

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パラグアイ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-27.04	12.54	10.80	-3.70
2017年	-24.71	4.06	9.29	-11.36
2018年	1.89	1.62	7.07	10.58
2019年	13.91	6.03	6.77	26.71
2020年	7.26	0.11	4.59	11.96
累計	67.71	287.21	725.11	1,080.03

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パラグアイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 18.78	米国 17.01	韓国 11.54	ドイツ 4.92	スペイン 3.65	18.78	63.24
2016年	日本 32.02	米国 19.03	韓国 8.09	スペイン 4.48	ドイツ 3.94	32.02	73.91
2017年	日本 23.29	米国 22.36	韓国 12.35	スペイン 10.90	ドイツ 5.35	23.29	80.49
2018年	日本 39.50	米国 18.51	韓国 14.05	スペイン 11.67	ドイツ 6.34	39.50	96.61
2019年	日本 56.00	米国 16.32	韓国 14.23	スペイン 10.56	ドイツ 5.05	56.00	109.37

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パラグアイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDB 32.11	EU Institutions 21.19	GFATM 6.02	GEF 2.02	OPEC Fund 1.35	3.63	66.32
2016年	EU Institutions 40.62	IDB 28.22	OPEC Fund 4.51	GFATM 3.41	GEF 2.92	4.16	83.84
2017年	EU Institutions 53.89	IDB 39.96	OPEC Fund 18.55	GFATM 3.86	GEF 2.49	4.88	123.63
2018年	IDB 52.39	EU Institutions 46.80	OPEC Fund 13.38	GFATM 4.71	GEF 2.40	5.17	124.85
2019年	IDB 44.28	EU Institutions 24.08	OPEC Fund 4.80	GCF 3.27	ILO 3.09	7.99	87.49

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	91.30億円 ・シウダ・デル・エステ都市圏水及び衛生計画(91.30)	10.65億円 ・経済社会開発計画(3.00) ・パラグアイ川浚渫機材整備計画(国債4/5)(6.80) ・草の根文化無償(1件)(0.10) ・草の根・人間の安全保障無償(9件)(0.75)	・農牧バリューチェーン強化プロジェクト[21.03~25.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [26] バルバドス

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
29万人	-	-17.6%	-	(2011年卒業)	-

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

### 表-1-1 我が国の対バルバドス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	-	0.03
2017年度	-	-	0.05
2018年度	-	-	0.05
2019年度	-	-	0.05
2020年度	-	-	0.01

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-1-2 我が国の対バルバドス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	1.10	13.00

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-2 我が国の対バルバドス援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	-	0.04	0.04
2017年	-	0.89	0.04	0.93
2018年	-	-	0.03	0.03
2019年	-	-	0.04	0.04
2020年	-	-	0.00	0.00
累計	-	1.13	6.64	7.77

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-3 主要ドナーの対バルバドス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	-	-	-	-	-	-	-
2016年	-	-	-	-	-	-	-
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

### 表-4 国際機関の対バルバドス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	-	-	-	-	-	-	-
2016年	-	-	-	-	-	-	-
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [27] ブラジル

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2.13億人	7,850ドル	-4.1%	5,492.34億ドル	高中所得国	iv/高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ブラジル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	1.56	18.10
2017年度	—	1.22	16.34
2018年度	—	0.85	13.77
2019年度	—	5.52	11.33
2020年度	—	5.84	8.28

表-1-2 我が国の対ブラジル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
	3,312.92	55.49	1,209.82

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ブラジル援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-35.08	2.76	18.17	-14.15
2017年	-58.68	1.15	19.35	-38.19
2018年	-30.31	1.14	16.11	-13.06
2019年	-46.48	5.04 (3.82)	12.57	-28.88
2020年	58.19	6.25 (0.82)	8.29	72.73
累計	380.69	59.26 (5.55)	1,330.13	1,770.08

注)1. 無償資金協力の〇内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ブラジル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 310.21	フランス 181.72	ノルウェー 157.20	日本 92.70	英国 32.81	92.70	818.86
2016年	ドイツ 314.46	フランス 125.69	ノルウェー 111.55	日本 84.86	英国 72.74	84.86	755.17
2017年	ドイツ 182.75	フランス 170.21	ノルウェー 54.80	日本 48.12	英国 28.57	48.12	530.89
2018年	ドイツ 228.94	フランス 116.94	ノルウェー 84.31	日本 67.73	英国 33.44	67.73	588.70
2019年	ドイツ 233.79	フランス 141.06	日本 61.78	英国 44.33	米国 39.08	61.78	573.12

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ブラジル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 316.31	GEF 26.91	IDB 10.18	UNICEF 2.51	ILO 2.35	3.28	361.55
2016年	EU Institutions 78.78	GEF 25.19	IDB 9.94	UNICEF 2.64	UNHCR 2.15	4.50	123.20
2017年	EU Institutions 306.14	IDB 14.31	GEF 13.35	CIF 6.80	UNICEF 2.50	7.68	350.79
2018年	EU Institutions 85.56	GEF 13.54	IDB 11.39	CIF 8.57	WHO 2.59	9.56	131.18
2019年	GEF 11.40	EU Institutions 10.31	IDB 4.91	UNFPA 2.37	ILO 2.36	6.63	37.97

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	5.84億円 ・医療機材供与を通じた保健システム強化計画(UNOPS連携)(5.03) ・草の根・人間の安全保障無償(7件)(0.58) ・草の根文化無償(3件)(0.23)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [28] ベネズエラ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,844万人	-	-3.9%	1,893.06億ドル	高中所得国	iii/-

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ベネズエラ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.17	0.39
2017年度	-	0.32	0.61
2018年度	-	0.18	0.11
2019年度	-	0.29	0.14
2020年度	-	5.26	0.09

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ベネズエラ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	19.76	107.87

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ベネズエラ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	0.12	0.51	0.63
2017年	-	0.10	0.82	0.92
2018年	-	0.25	0.49	0.74
2019年	-	0.25	0.23	0.49
2020年	-	0.18	0.13	0.31
累計	-0.55	13.45	113.61	126.51

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ベネズエラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 9.22	米国 8.03	フランス 5.89	英国 2.15	日本 0.53	0.53	27.42
2016年	米国 9.87	スペイン 9.70	フランス 6.25	ドイツ 5.86	英国 1.36	0.63	35.14
2017年	スペイン 44.71	米国 12.31	ドイツ 7.11	フランス 6.83	英国 1.76	0.92	76.60
2018年	スペイン 63.68	米国 15.14	ドイツ 8.83	フランス 8.75	ノルウェー 3.85	0.74	110.84
2019年	スペイン 69.10	米国 43.37	英国 11.18	ドイツ 11.06	スウェーデン 10.83	0.49	178.03

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ベネズエラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	UNHCR 3.41	GEF 3.00	EU Institutions 2.17	UNICEF 1.91	IDB 0.61	1.94	13.03
2016年	UNHCR 3.29	GEF 3.20	EU Institutions 2.06	UNICEF 0.95	IDB 0.71	1.34	11.56
2017年	UNHCR 3.37	EU Institutions 2.61	UNICEF 1.95	GEF 1.19	WHO 1.12	1.68	11.92
2018年	EU Institutions 18.77	CERF 9.20	UNHCR 2.50	UNICEF 1.96	GEF 1.88	3.31	37.62
2019年	EU Institutions 54.98	UNICEF 11.90	CERF 10.02	UNHCR 1.05	UNFPA 0.80	1.72	81.26
	-	-	-	-	WHO 0.80	-	-

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	5.26億円 ・予防接種拡大計画の下での必須ワクチンへのアクセス強化計画(UNICEF連携)(5.17) ・草の根・人間の安全保障無償(1件)(0.09)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [29] ベリーズ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
40万人	3,970ドル	-14.0%	15.26億ドル	高中所得国	iii/低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

### 表-1-1 我が国の対ベリーズ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.10	1.33
2017年度	-	0.21	1.32
2018年度	-	0.22	0.94
2019年度	-	0.44	0.90
2020年度	-	0.22	0.67

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-1-2 我が国の対ベリーズ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	10.25	26.20

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-2 我が国の対ベリーズ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	0.09	1.10	1.20
2017年	-	0.28	1.25	1.53
2018年	-	-	0.85	0.85
2019年	-	0.40	0.78	1.18
2020年	-	0.21	0.70	0.91
累計	-	10.21	24.57	34.78

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-3 主要ドナーの対ベリーズ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 1.88	米国 1.83	英国 1.75	カナダ 0.22	韓国 0.21	1.88	6.11
2016年	米国 1.84	日本 1.20	英国 0.57	イタリア 0.30	スペイン 0.14	1.20	4.39
2017年	米国 3.39	日本 1.53	英国 0.96	カナダ 0.27	オーストラリア 0.19	1.53	6.68
2018年	米国 2.96	英国 1.03	日本 0.85	カナダ 0.54	韓国 0.10	0.85	5.60
2019年	米国 2.86	英国 2.19	イタリア 1.34	日本 1.18	カナダ 0.72	1.18	8.64

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

### 表-4 国際機関の対ベリーズ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 11.47	OPEC Fund 4.30	CDB 4.22	GFATM 2.84	GEF 1.87	3.07	27.77
2016年	EU Institutions 17.16	CDB 5.44	OPEC Fund 4.54	IDB 3.44	GEF 2.82	4.64	38.02
2017年	EU Institutions 12.00	OPEC Fund 7.58	CDB 6.61	IDB 2.23	UNHCR 1.07	2.38	31.87
2018年	EU Institutions 10.81	CDB 3.42	OPEC Fund 2.81	IDB 1.44	GFATM 1.05	2.82	22.35
2019年	CDB 26.38	EU Institutions 4.31	OPEC Fund 2.97	UNICEF 1.25	Adaptation Fund 0.54	2.08	37.53

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	0.22億円 ・草の根・人間の安全保障無償(1件) (0.22)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [30] ペルー

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,297万人	6,010ドル	-11.1%	735.49億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

表-1-1 我が国の対ペルー援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	2.39	10.20
2017年度	-	0.81	8.84
2018年度	-	0.76	6.92
2019年度	-	1.52	10.49
2020年度	-	13.94	4.40

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ペルー援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	4,216.01	687.91	589.49

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ペルー援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-74.15	5.63	12.54	-55.97
2017年	-473.57	1.60	8.55	-463.43
2018年	-11.37	1.53	6.94	-2.89
2019年	-23.01	1.31	8.20	-13.49
2020年	-35.18	0.38	6.65	-28.16
累計	-170.20	555.32 (1.97)	543.77	928.88

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ペルー経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 138.13	ドイツ 109.67	フランス 56.46	日本 49.14	スイス 30.41	49.14	476.30
2016年	米国 115.76	ドイツ 71.33	日本 43.79	フランス 32.12	スイス 29.78	43.79	396.59
2017年	ドイツ 146.46	米国 105.37	日本 37.23	スイス 26.41	カナダ 23.95	37.23	425.38
2018年	ドイツ 107.15	フランス 100.41	米国 87.55	日本 58.89	スイス 25.15	58.89	484.56
2019年	ドイツ 213.44	米国 111.01	フランス 50.17	日本 32.50	スイス 28.83	32.50	540.96

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ペルー経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 27.40	GEF 7.31	IDB 6.42	UNFPA 1.37	UNICEF 1.28	2.93	46.71
2016年	EU Institutions 40.18	IDB 10.21	GFATM 9.67	GEF 8.16	Adaptation Fund 2.98	5.28	76.47
2017年	EU Institutions 116.96	GEF 7.79	IDB 7.70	CERF 5.17	GFATM 4.24	9.79	151.65
2018年	EU Institutions 70.37	GEF 7.12	IDB 5.92	GFATM 3.27	CERF 1.98	7.12	95.77
2019年	EU Institutions 16.21	GFATM 13.25	GEF 4.15	IDB 3.39	GCF 2.22	7.80	47.00

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	13.94億円 ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援(2件)(0.71) ・ベネズエラ移民・難民及び受入コミュニティのための人道支援及び持続的な解決計画(IOM連携)(3.01) ・経済社会開発計画(9.00) ・ピスカクチョ地区のマチュ・ピチュ歴史保護区ビジターセンター展示機材整備計画(0.75) ・草の根・人間の安全保障無償(5件)(0.47)	・地熱資源評価能力強化プロジェクト[20.10~23.04]

注) 1. 表-1-1注釈同様。  
 2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [31] ポリビア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,167万人	3,200ドル	-7.8%	154.21億ドル	低所得国	iii/低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ポリビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	614.85	1.29	9.16
2017年度	—	8.26	9.77
2018年度	—	4.67	8.40
2019年度	—	20.69	6.52
2020年度	—	29.13	6.06

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ポリビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,110.06	978.94	758.41

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ポリビア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	1.16	1.79	-	10.99
2017年	0.22	1.61 (0.17)	8.92	10.75
2018年	0.21	0.96	8.03	9.20
2019年	0.76	13.68	7.85	22.29
2020年	1.82	8.90	4.13	14.85
累計	-157.99	1,360.88 (4.99)	636.20	1,839.09

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ポリビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	スイス 42.40	ドイツ 31.80	デンマーク 24.04	スウェーデン 23.14	韓国 21.67	10.75	221.33
2016年	ドイツ 34.69	スイス 30.38	デンマーク 23.43	スウェーデン 22.14	ベルギー 20.76	10.99	213.19
2017年	フランス 120.16	ドイツ 44.71	デンマーク 41.41	スイス 27.68	スウェーデン 25.92	10.75	349.10
2018年	ドイツ 49.17	フランス 40.18	スウェーデン 30.13	スペイン 29.79	スイス 28.46	9.20	269.63
2019年	フランス 164.60	ドイツ 38.30	スウェーデン 26.93	韓国 23.45	日本 22.29	22.29	348.92

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ポリビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDB 341.63	IDA 169.82	EU Institutions 51.29	OPEC Fund 24.47	GFATM 7.62	26.03	620.86
2016年	IDB 362.46	EU Institutions 75.64	IDA 67.20	OPEC Fund 8.82	GFATM 8.09	16.34	538.54
2017年	IDB 508.23	EU Institutions 71.52	IDA 31.94	OPEC Fund 12.17	IFAD 12.03	24.65	660.57
2018年	IDB 377.55	EU Institutions 43.17	OPEC Fund 41.29	IDA 38.89	CIF 13.79	24.62	539.31
2019年	IDB 303.75	EU Institutions 66.56	IDA 44.86	CIF 14.83	GFATM 6.03	23.08	459.12

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	29.13億円 ・経済社会開発計画(2件)(8.00) ・オキナワ道路整備計画(国債3/4)(20.09) ・草の根・人間の安全保障無償(14件)(1.04)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [32] ホンジュラス

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
991万人	2,200ドル	-9.0%	110.17億ドル	低中所得国	iii/低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ホンジュラス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	9.83	9.15
2017年度	—	12.54	7.00
2018年度	—	5.74	5.77
2019年度	—	18.75	5.04
2020年度	—	14.44	3.71

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ホンジュラス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	507.74	827.34	457.51

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ホンジュラス援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	2.87 (0.20)	9.87	12.75
2017年	0.77	1.81	6.90	9.48
2018年	0.73	10.25	5.45	16.42
2019年	0.53	19.50	4.21	24.24
2020年	0.69	11.50 (0.10)	3.23	15.42
累計	-84.00	1,245.53 (1.40)	401.40	1,562.93

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ホンジュラス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 113.56	スイス 22.00	カナダ 20.97	ドイツ 17.99	日本 14.40	14.40	217.29
2016年	米国 107.57	ドイツ 23.61	カナダ 22.46	スイス 17.07	スペイン 13.39	12.75	221.21
2017年	米国 120.46	韓国 24.66	スペイン 21.84	カナダ 17.70	スイス 16.46	9.48	239.10
2018年	米国 161.78	フランス 37.93	スペイン 24.59	カナダ 23.12	スイス 18.33	16.42	319.68
2019年	米国 126.43	韓国 35.09	日本 24.24	スイス 22.26	スペイン 18.54	24.24	273.77

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ホンジュラス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDB 220.35	IDA 84.52	EU Institutions 46.79	OPEC Fund 10.31	GAVI 4.70	15.31	381.99
2016年	IDB 142.12	EU Institutions 47.78	IDA 24.43	OPEC Fund 9.14	GFATM 7.11	22.85	253.41
2017年	IDB 175.86	EU Institutions 67.99	IDA 23.88	GFATM 7.09	WFP 4.67	12.77	292.27
2018年	IDB 317.40	EU Institutions 93.72	IDA 8.60	GFATM 6.28	IFAD 4.00	13.10	443.11
2019年	IDB 168.24	EU Institutions 67.19	IDA 20.37	GFATM 8.13	CIF 4.29	23.31	291.51

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	14.44億円 ・経済社会開発計画(2件)(8.00) ・乾燥回廊における移住防止及び帰還移民の再統合のための食料安全保障に向けた生計の強靱性向上計画(WFP連携)(4.31) ・国道一号線橋梁架け替え計画(詳細設計)(0.62) ・NGO連携無償(2件)(0.64) ・草の根・人間の安全保障無償(9件)(0.87)	・社会経済開発人材育成のためのホンジュラス国立自治大学修士課程強化プロジェクト[21.02~25.02]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [33] メキシコ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.29億人	8,480ドル	-8.2%	4,675.12億ドル	高中所得国	iv/高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対メキシコ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	—	0.10	10.20
2017年度	—	0.25	9.28
2018年度	—	-	8.03
2019年度	—	2.05	7.25
2020年度	—	5.98	4.30

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対メキシコ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	2,054.41	70.71	785.10

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対メキシコ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-3.35	0.15	9.36	6.16
2017年	-3.25	0.17	11.90	8.82
2018年	-	0.14	7.33	7.46
2019年	-	0.07 (0.07)	8.65	8.72
2020年	100.00	7.61 (0.08)	5.17	112.78
累計	-19.66	52.20 (0.15)	762.94	795.48

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対メキシコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 254.04	ドイツ 116.91	フランス 22.04	英国 19.90	日本 7.72	7.72	441.02
2016年	ドイツ 349.41	フランス 184.25	米国 135.81	英国 15.55	日本 9.51	9.51	708.82
2017年	ドイツ 317.46	フランス 224.42	米国 189.37	英国 17.12	日本 12.07	12.07	779.74
2018年	ドイツ 274.31	米国 235.98	フランス 61.32	英国 22.18	日本 7.46	7.46	619.86
2019年	ドイツ 371.75	米国 161.02	フランス 102.51	英国 31.60	カナダ 12.39	8.72	701.52

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対メキシコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	GEF 26.09	IDB 13.75	EU Institutions 10.56	CIF 7.05	ILO 2.14	6.04	65.63
2016年	EU Institutions 121.24	GEF 21.61	IDB 10.19	CIF 7.28	ILO 1.59	3.91	165.80
2017年	EU Institutions 103.08	IDB 16.23	CIF 15.11	GEF 7.17	ILO 2.06	4.91	148.55
2018年	CIF 14.84	EU Institutions 10.57	IDB 8.51	GEF 8.26	UNHCR 2.46	6.74	51.37
2019年	GEF 6.86	EU Institutions 6.83	IDB 3.97	ILO 2.89	UNFPA 1.97	5.06	27.57

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	5.98億円 ・医療機材供与を通じた保健システム 強化計画(UNOPS連携)(5.98)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。



# 中東・北アフリカ地域

## 中東・北アフリカ地域

表－1 中東・北アフリカ地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	687.45 (24.5)	631.49 (24.1)	475.15 (18.1)	445.46 (17.4)	500.44 (16.3)	19,784.69
		(うち国際機関を通じた贈与)	595.12 (37.2)	508.03 (37.8)	411.56 (31.3)	384.64 (33.1)	424.34 (23.7)	6,831.18
		技術協力	124.72 (4.5)	130.50 (4.5)	82.48 (3.1)	88.73 (3.3)	57.60 (2.4)	4,580.42
		贈与計	812.18 (14.5)	762.00 (13.9)	557.64 (10.6)	534.20 (10.1)	558.03 (10.2)	24,365.11
	有償資金協力 支出総額	1,131.23 (14.4)	972.39 (10.2)	1,124.43 (14.0)	979.32 (10.4)	1,377.29 (12.1)	26,422.25	
	<有償資金協力 支出純額>	<474.41>	<316.56>	<376.06>	<246.10>	<592.82>	<9,786.54>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		1,943.41 (14.5)	1,734.39 (11.5)	1,682.07 (12.7)	1,513.51 (10.3)	1,935.32 (11.5)	50,787.36	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<1,286.58> <(18.3)>	<1,078.56> <(13.3)>	<933.70> <(15.3)>	<780.30> <(10.4)>	<1,150.85> <(11.2)>	<34,151.65>	

注) 1. ( )内は各形態別の全世界合計(卒業国を除く)に占める中東・北アフリカ地域の割合(%)

2. 国際機関を通じた贈与は、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

4. 「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表－2 中東・北アフリカ地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
政府開発援助計	2017	ドイツ 4,782.88	米国 4,465.77	フランス 2,455.13	日本 1,734.39	英国 1,727.61	1,734.39	19,106.31
	2018	米国 4,845.23	ドイツ 4,690.98	フランス 1,730.98	日本 1,682.05	英国 1,616.30	1,682.05	18,449.00
	2019	米国 5,234.90	ドイツ 4,716.20	英国 1,823.73	フランス 1,519.21	日本 1,513.51	1,513.51	18,362.53
有償資金協力	2017	フランス 1,697.38	ドイツ 998.57	日本 972.39	イタリア 163.35	韓国 17.98	972.39	3,854.29
	2018	日本 1,124.44	フランス 922.54	ドイツ 882.51	韓国 88.46	イタリア 30.07	1,124.44	3,053.60
	2019	ドイツ 1,091.32	日本 979.32	フランス 782.74	韓国 76.96	イタリア 64.13	979.32	2,997.06
無償資金協力	2017	米国 4,385.51	ドイツ 2,518.45	英国 1,605.68	日本 631.53	ノルウェー 529.37	631.53	12,920.54
	2018	米国 4,788.43	ドイツ 2,609.26	英国 1,574.74	カナダ 509.95	ノルウェー 505.30	475.14	13,184.46
	2019	米国 5,190.04	ドイツ 2,291.74	英国 1,744.48	ノルウェー 492.04	カナダ 456.81	445.46	13,005.96
技術協力	2017	ドイツ 1,265.85	フランス 450.26	日本 130.47	英国 121.93	米国 80.26	130.47	2,331.48
	2018	ドイツ 1,199.21	フランス 505.76	日本 82.49	カナダ 58.53	米国 56.80	82.49	2,210.93
	2019	ドイツ 1,333.13	フランス 441.81	日本 88.73	英国 79.25	カナダ 63.10	88.73	2,359.54

出典) OECD/DAC

表-3 中東・北アフリカ地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2017	EU Institutions 6,085.65	UNRWA 892.90	IDA 743.38	AFESD 590.24	AsDB 193.02	809.84	9,314.99
	2018	EU Institutions 5,451.67	UNRWA 759.27	IDA 622.02	AFESD 426.86	AsDB 219.30	833.46	8,312.58
	2019	EU Institutions 5,146.91	IDA 971.44	UNRWA 765.02	AFESD 502.76	AsDB 203.59	1,022.51	8,612.24
有償資金協力	2017	EU Institutions 2,729.02	IDA 708.04	AFESD 574.76	CEB 67.64	IFAD 27.80	72.07	4,179.33
	2018	EU Institutions 2,030.84	IDA 589.35	AFESD 409.28	CIF 81.16	OPEC Fund 59.79	76.12	3,246.52
	2019	EU Institutions 1,430.69	IDA 607.70	AFESD 485.03	IMF-CTF 180.11	CEB 67.17	90.09	2,860.80
無償資金協力	2017	EU Institutions 3,094.75	UNRWA 892.90	AsDB 191.83	Isl.Dev Bank 93.65	UNICEF 82.89	487.06	4,843.04
	2018	EU Institutions 3,064.50	UNRWA 759.27	AsDB 219.30	GAVI 91.83	UNICEF 91.42	450.30	4,676.64
	2019	EU Institutions 3,309.23	UNRWA 765.02	IDA 363.73	AsDB 203.59	Isl.Dev Bank 94.86	608.01	5,344.43
技術協力	2017	EU Institutions 261.87	FAO 26.13	ILO 1.82	IDA 1.62	AsDB 0.84	0.31	292.61
	2018	EU Institutions 356.34	ILO 12.68	FAO 11.41	AFESD 8.72	OPEC Fund 0.28	-	389.43
	2019	EU Institutions 407.01	-	-	-	-	-	407.01

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

# [1] アフガニスタン

## 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,893万人	500ドル	-1.9%	30.36億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アフガニスタン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	281.62	34.58
2017年度	-	144.61	22.54
2018年度	-	181.48	17.43
2019年度	-	46.34	14.48
2020年度	-	43.18	9.05

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース(ただし、アフガニスタンについては、国際機関を通じた贈与も含む)、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アフガニスタン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	7.20	6,001.18	651.30

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アフガニスタン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	267.94 (263.30)	32.89	300.83
2017年	-	208.58 (179.80)	25.11	233.69
2018年	-	173.48 (167.68)	14.55	188.03
2019年	-	116.46 (110.80)	14.98	131.44
2020年	-	116.97 (104.47)	9.26	126.23
累計	-0.17	5,315.79 (4,203.09)	651.88	5,967.50

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アフガニスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 1,639.58	英国 458.29	ドイツ 362.07	日本 317.20	カナダ 148.08	317.20	3,595.09
2016年	米国 1,386.20	ドイツ 502.84	英国 352.55	日本 300.83	スウェーデン 114.86	300.83	3,207.82
2017年	米国 1,218.64	ドイツ 478.43	英国 292.29	日本 233.69	スウェーデン 118.74	233.69	2,839.27
2018年	米国 922.05	ドイツ 438.05	英国 332.95	日本 188.03	スウェーデン 146.32	188.03	2,677.56
2019年	米国 1,443.16	ドイツ 409.23	英国 402.69	スウェーデン 137.94	日本 131.44	131.44	3,074.21

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アフガニスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 192.28	IDA 137.26	AsDB 125.93	UNICEF 35.93	GFATM 23.26	62.59	577.25
2016年	EU Institutions 399.81	AsDB 191.95	IDA 81.61	UNICEF 44.37	UNHCR 37.87	98.95	854.56
2017年	EU Institutions 414.86	AsDB 193.02	IDA 161.62	UNICEF 45.70	GAVI 28.28	97.92	941.40
2018年	EU Institutions 460.75	IDA 240.89	AsDB 219.30	GAVI 62.38	UNICEF 44.81	94.21	1,122.33
2019年	EU Institutions 415.51	IDA 379.93	AsDB 203.59	IMF-CTF 89.15	GAVI 48.78	114.98	1,251.93

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	43.17億円 ・ジャパンプラットフォームを通じた人道支援(6件)(1.78) ・草の根・人間の安全保障無償(1件)(0.56) ・学校における水・衛生環境改善計画(UNICEF連携)(4.22) ・小児感染症予防計画(UNICEF連携)(9.40) ・カブール国際空港航空交通管制サービス施設及び管制塔整備計画(UNOPS連携)(19.95) ・感染症対応能力強化計画(WHO連携)(1.84) ・日本NGO連携無償(8件)(5.42)	・性と性差に基づく暴力への取り組みのための警察組織体制強化プロジェクト[20.11~24.03] ・水文・気象情報管理能力強化プロジェクト(フェーズ2)[20.11~25.11]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [2] アルジェリア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,385万人	3,550ドル	-5.5%	54.92億ドル	高中所得国	ii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アルジェリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.05	1.02
2017年度	-	-	1.35
2018年度	-	0.06	0.25
2019年度	-	-	0.30
2020年度	-	0.05	0.15

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アルジェリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	139.43	14.01	78.03

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アルジェリア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-0.74	0.08	-	0.22
2017年	-0.72	0.24 (0.19)	0.61	0.14
2018年	-0.73	-	1.11	0.39
2019年	-0.74	0.23 (0.18)	0.23	-0.28
2020年	-0.75	1.50 (1.46)	0.15	0.90
累計	-29.45	11.48 (2.38)	76.10	58.13

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アルジェリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	フランス 97.60	ドイツ 6.96	米国 4.88	英国 4.09	韓国 3.97	1.44	132.09
2016年	フランス 104.96	ドイツ 8.72	スペイン 4.43	英国 4.39	米国 3.86	0.96	141.53
2017年	フランス 120.48	米国 13.87	オランダ 11.84	ドイツ 9.48	英国 8.64	0.85	183.07
2018年	フランス 140.52	ドイツ 11.84	英国 8.82	スペイン 6.12	ベルギー 5.30	1.11	188.40
2019年	フランス 127.18	ドイツ 14.85	英国 10.83	スペイン 8.77	ベルギー 8.57	0.46	185.50

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アルジェリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 48.36	UNHCR 4.04	UNICEF 1.50	WHO 1.26	UNDP 0.99	2.94	59.10
2016年	EU Institutions 56.52	UNHCR 2.67	GEF 2.01	WHO 1.33	UNICEF 1.09	2.79	66.42
2017年	EU Institutions 66.27	AfDB 2.99	UNICEF 1.17	WHO 1.11	GEF 0.91	3.68	76.13
2018年	EU Institutions 50.47	UNHCR 3.19	WFP 2.52	GFATM 2.22	AfDB 1.88	5.01	65.28
2019年	EU Institutions 52.00	UNHCR 2.72	GFATM 2.49	WFP 2.24	UNICEF 1.86	4.56	65.88

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	0.05億円 草の根・人間の安全保障無償(1件) (0.05)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

### [3] イエメン

#### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,983万人	-	0.8%	71.21億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

#### 表-1-1 我が国の対イエメン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	23.30	0.03
2017年度	-	12.82	0.49
2018年度	-	39.41	0.28
2019年度	-	1.07	0.60
2020年度	-	28.97	0.06

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

#### 表-1-2 我が国の対イエメン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	493.19	816.99	111.14

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

#### 表-2 我が国の対イエメン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-0.07	37.08 (31.34)	0.01	37.02
2017年	-0.07	50.58 (50.58)	0.06	50.57
2018年	-	33.81 (33.81)	0.30	34.11
2019年	-	59.97 (59.97)	0.45	60.42
2020年	-	47.54 (47.54)	0.21	47.75
累計	107.86	944.42 (358.79)	97.21	1,149.50

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

#### 表-3 主要ドナーの対イエメン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 198.03	英国 125.45	ドイツ 100.99	オランダ 29.21	日本 23.84	23.84	556.83
2016年	米国 302.15	英国 171.19	ドイツ 129.45	日本 37.09	オランダ 29.66	37.09	763.07
2017年	米国 440.44	英国 263.90	ドイツ 248.96	日本 50.64	オランダ 42.88	50.64	1,274.26
2018年	米国 599.34	ドイツ 233.28	英国 221.92	オランダ 48.41	スウェーデン 42.41	34.11	1,354.80
2019年	米国 638.24	英国 332.38	ドイツ 241.83	日本 60.42	デンマーク 41.19	60.42	1,534.41

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

#### 表-4 国際機関の対イエメン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 53.80	AFESD 48.36	IDA 36.61	GAVI 10.68	UNICEF 10.42	36.12	195.98
2016年	EU Institutions 99.33	IDA 38.43	WFP 24.05	GAVI 22.46	AFESD 17.72	33.24	235.21
2017年	IDA 547.90	EU Institutions 163.42	CERF 25.55	GAVI 21.86	WFP 17.89	33.85	810.48
2018年	IDA 366.08	EU Institutions 160.66	CERF 49.91	GAVI 29.45	AFESD 14.45	26.67	647.19
2019年	IDA 573.23	EU Institutions 208.29	CERF 31.67	AFESD 13.91	GAVI 11.30	36.98	875.36

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	28.97億円 ・アデン県及びハドラマウト県における紛争の影響を受けた小規模漁業世帯の生計及び能力再建計画(UNDP連携)(3.70) ・食糧援助(WFP連携)(3.00) ・イエメンの子供のための質の高い教育へのアクセス促進計画(UNICEF連携)(4.17) ・保健施設及び地域社会における精神的健康支援及び心理的支援改善計画(WHO連携)(3.28) ・ジャンプラットフォームを通じた人道支援(4件)(2.62) ・日本NGO連帯無償(1件)(1.20) ・イエメンにおける食料危機に対する緊急無償資金協力(WFP連携)(5.50) ・同上案件(UNICEF連携)(5.50)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [4] イラク

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,022万人	4,660ドル	-10.4%	-	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

### 表-1-1 我が国の対イラク援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	272.20	32.99	16.31
2017年度	515.56	14.14	11.35
2018年度	373.43	9.77	6.71
2019年度	1,100.00	7.81	6.72
2020年度	-	2.19	2.22

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-1-2 我が国の対イラク援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	8,303.22	1,931.71	222.39

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-2 我が国の対イラク援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	552.58	50.87 (48.67)	15.22	618.66
2017年	286.73	53.25 (50.41)	13.14	353.13
2018年	411.18	56.31 (54.44)	6.69	474.17
2019年	154.22	51.10 (50.60)	7.11	212.43
2020年	644.29	50.63 (48.76)	3.89	698.81
累計	4,058.50	8,159.91 (489.75)	204.40	12,422.81

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-3 主要ドナーの対イラク経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 347.54	日本 334.78	ドイツ 138.57	英国 84.80	カナダ 74.96	334.78	1,214.20
2016年	日本 628.92	米国 417.48	ドイツ 365.43	英国 160.74	カナダ 61.85	628.92	1,905.15
2017年	ドイツ 534.28	フランス 446.22	米国 413.76	日本 370.00	イタリア 128.15	370.00	2,297.86
2018年	米国 556.70	日本 555.01	ドイツ 502.49	英国 101.71	カナダ 76.44	555.01	2,046.84
2019年	米国 598.78	ドイツ 507.66	日本 304.40	英国 104.51	カナダ 66.05	304.40	1,815.93

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

### 表-4 国際機関の対イラク経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 112.19	IDA 27.99	WFP 9.22	UNICEF 8.86	GFATM 5.73	7.21	171.21
2016年	EU Institutions 200.62	WFP 11.28	IDA 6.61	UNICEF 2.89	Isl.Dev Bank 2.20	7.25	230.85
2017年	EU Institutions 188.24	WFP 10.63	CERF 10.00	UNICEF 4.13	WHO 2.82	6.38	222.18
2018年	EU Institutions 273.76	WFP 11.31	UNICEF 4.04	WHO 3.07	GFATM 2.76	5.06	300.02
2019年	EU Institutions 232.12	IMF-CTF 86.85	WFP 7.07	WHO 3.19	UNICEF 2.90	5.20	337.34

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	2.19億円 ・ジャパンプラットフォームを通じた人道支援(3件)(0.96) ・日本NGO連携無償(2件)(1.23)	なし

- 注) 1. 表-1-1注釈同様。  
 2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [5] イラン

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
8,399万人	2,870ドル	1.7%	54.51億ドル	高中所得国	ii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対イラン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	8.61	11.22
2017年度	-	28.38	12.44
2018年度	-	0.62	9.92
2019年度	-	2.75	8.28
2020年度	-	6.76	3.12

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対イラン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	461.08	110.18	309.85

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対イラン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-33.21	7.57 (7.01)	7.65	-17.99
2017年	-23.08	16.66 (5.42)	12.84	6.43
2018年	-11.98	9.61 (1.80)	6.83	4.46
2019年	-4.81	6.37 (5.81)	11.14	12.70
2020年	-3.79	11.12 (11.12)	4.09	11.42
累計	-110.77	134.07 (78.57)	333.27	356.57

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対イラン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 58.57	日本 13.13	フランス 10.17	オーストリア 9.12	ノルウェー 2.46	13.13	100.92
2016年	ドイツ 62.20	日本 15.22	オーストリア 10.37	フランス 9.79	米国 3.45	15.22	109.12
2017年	ドイツ 70.67	日本 29.51	オーストリア 11.11	フランス 10.28	ノルウェー 2.54	29.51	132.00
2018年	ドイツ 83.54	日本 16.43	オーストリア 12.06	フランス 11.24	米国 5.49	16.43	142.99
2019年	ドイツ 93.33	日本 17.51	フランス 12.20	オーストリア 10.90	韓国 5.64	17.51	158.38

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対イラン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	GFATM 8.22	GEF 2.32	WHO 1.82	EU Institutions 1.73	UNFPA 1.62	3.30	19.01
2016年	UNHCR 16.24	EU Institutions 13.09	GFATM 5.30	UNICEF 1.88	WHO 1.14	2.94	40.59
2017年	EU Institutions 15.96	GFATM 5.23	WHO 1.63	UNICEF 1.25	GEF 1.18	2.02	27.28
2018年	EU Institutions 16.61	UNHCR 9.29	GFATM 4.11	UNICEF 1.35	UNFPA 0.90	2.52	34.80
2019年	EU Institutions 21.54	UNHCR 9.96	WHO 2.36	GFATM 2.10	CERF 1.97	8.18	46.13

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	6.76億円 ・オルミエ湖その他湿原における環境管理及び持続可能な生計促進計画(UNDP連携)(3.13) ・チャーバハールにおける包括的で持続可能なキハダマグロ・バリューチェーン構築推進計画(UNIDO連携)(3.63)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [6] エジプト

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.02億人	3,000ドル	3.6%	1,315.80億ドル	低中所得国	ii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1 我が国の対エジプト援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	905.07	38.09	33.22
2017年度	288.18	10.32	23.95
2018年度	-	0.39	25.74
2019年度	-	0.37	20.75
2020年度	250.00	14.07	11.43

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対エジプト援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	7,386.33	1,593.29	875.66

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対エジプト援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	1.62	6.68 (6.10)	20.46	28.77
2017年	-83.10	7.62 (1.98)	32.24	-43.24
2018年	82.16	3.76 (0.70)	18.33	104.25
2019年	122.37	13.99 (1.16)	24.77	161.13
2020年	57.39	18.93 (6.49)	15.74	92.06
累計	1,310.23	1,435.98 (23.39)	860.49	3,606.70

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対エジプト経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 229.32	フランス 126.42	日本 110.18	米国 106.55	イタリア 30.93	110.18	680.76
2016年	フランス 253.35	日本 215.38	ドイツ 180.44	米国 151.48	イタリア 18.09	215.38	877.34
2017年	フランス 280.06	ドイツ 201.37	日本 139.97	米国 96.60	英国 29.82	139.97	804.76
2018年	ドイツ 504.43	日本 294.58	フランス 168.59	米国 158.53	韓国 77.90	294.58	1,290.23
2019年	ドイツ 423.66	日本 357.89	米国 223.79	フランス 175.10	韓国 63.91	357.89	1,345.66

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対エジプト経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 192.53	AFESD 74.90	CIF 27.58	OPEC Fund 19.14	IFAD 12.65	30.94	357.72
2016年	EU Institutions 341.10	AFESD 116.20	IFAD 20.77	OPEC Fund 11.86	UNHCR 6.51	24.67	521.13
2017年	EU Institutions 262.93	AFESD 118.29	IFAD 27.98	UNHCR 5.23	OPEC Fund 5.02	19.88	439.32
2018年	EU Institutions 381.78	AFESD 142.92	OPEC Fund 31.74	IFAD 18.60	CIF 17.74	40.39	633.13
2019年	EU Institutions 690.13	AFESD 230.85	OPEC Fund 29.39	Isl.Dev Bank 12.14	WFP 10.33	26.56	999.40

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	250.00億円 ・電力セクター改革のための開発政策借款(250.00)	14.07億円 ・使い捨てプラスチックのバリューチェーンに関する循環型経済の実践促進支援計画(UNIDO連携)(3.72) ・経済社会開発計画(10.00) ・草の根・人間の安全保障無償(2件)(0.35)	なし

注) 1. 表-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [7] シリア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,750万人	-	5.7%	47.63億ドル	低中所得国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対シリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	20.69	1.57
2017年度	-	23.35	2.16
2018年度	-	24.86	3.37
2019年度	-	39.50	4.91
2020年度	-	34.88	3.97

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対シリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,386.11	495.90	316.02

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対シリア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	42.73 (42.73)	0.80	43.52
2017年	-	52.43 (52.43)	2.51	54.95
2018年	-	55.72 (55.72)	1.98	57.70
2019年	-	65.33 (65.33)	3.74	69.07
2020年	-	72.17 (72.17)	3.98	76.15
累計	302.09	621.78 (339.87)	298.88	1,222.76

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対シリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 712.08	英国 395.15	ドイツ 277.10	カナダ 69.59	ノルウェー 64.08	25.76	1,830.03
2016年	ドイツ 824.18	米国 637.71	英国 474.76	ノルウェー 121.68	カナダ 52.32	43.52	2,468.41
2017年	ドイツ 879.79	米国 631.44	英国 410.63	ノルウェー 129.56	カナダ 107.91	54.95	2,578.72
2018年	ドイツ 768.77	米国 696.85	英国 319.88	ノルウェー 123.56	カナダ 109.15	57.70	2,520.58
2019年	ドイツ 765.12	米国 577.92	英国 289.99	ノルウェー 135.77	カナダ 93.93	69.07	2,337.10

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対シリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 222.32	UNRWA 35.99	WFP 21.10	UNICEF 1.95	UNFPA 1.82	3.55	286.73
2016年	EU Institutions 325.68	UNRWA 36.51	UNHCR 16.19	WFP 11.30	UNICEF 2.59	4.74	397.02
2017年	EU Institutions 354.22	UNRWA 39.97	WFP 7.52	UNHCR 6.33	UNICEF 2.75	4.79	415.57
2018年	EU Institutions 569.81	UNRWA 46.73	WFP 11.26	UNHCR 7.97	FAO 6.35	10.88	653.00
2019年	EU Institutions 443.07	UNRWA 60.13	WFP 10.59	UNICEF 4.65	UNFPA 2.55	6.17	527.16

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	34.88億円 ・ジャパン・プラットフォーム(JPF)を通じた人道支援(15件)(6.23) ・北東部における保健医療サービス強化計画(WHO連携)(6.34) ・東グータにおける水、衛生及び母子保健サービスへのアクセス強化計画(UNICEF連携)(4.89) ・北東部における食料安全保障及び生計強化計画(UNDP連携)(9.50) ・シリアにおける人道危機に対する緊急無償資金協力(WFP連携)(3.96) ・同上案件(OCHA連携)(0.06) ・同上案件(ICRC連携)(0.55) ・同上案件(UNHCR連携)(1.05) ・同上案件(UNRWA連携)(1.98) ・同上案件(UNICEF連携)(0.33)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [8] チュニジア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,182万人	3,100ドル	-8.6%	410.38億ドル	低中所得国	ii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対チュニジア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.19	4.17
2017年度	366.76	0.18	5.78
2018年度	-	0.16	3.93
2019年度	-	3.23	5.66
2020年度	-	17.43	1.52

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対チュニジア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	3,411.77	81.84	282.52

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対チュニジア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-14.52	3.94	-	4.85
2017年	35.39	2.71 (0.19)	4.67	42.78
2018年	67.79	0.35 (0.19)	2.66	70.79
2019年	96.59	0.71 (0.36)	4.89	102.19
2020年	-35.99	9.56 (1.75)	3.34	-23.10
累計	638.66	65.64 (5.79)	266.45	970.75

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対チュニジア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	フランス 120.41	ドイツ 110.83	日本 47.34	イタリア 29.47	スイス 26.87	47.34	391.46
2016年	フランス 151.45	ドイツ 150.58	日本 59.80	米国 30.95	イタリア 25.99	59.80	474.60
2017年	ドイツ 186.93	フランス 179.54	日本 110.18	イタリア 50.70	米国 29.64	110.18	616.03
2018年	ドイツ 268.96	日本 155.31	フランス 153.86	米国 45.50	イタリア 27.86	155.31	718.77
2019年	ドイツ 311.40	フランス 256.87	日本 179.57	米国 125.39	イタリア 44.86	179.57	1,011.52

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対チュニジア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 406.01	AFESD 49.64	OPEC Fund 5.88	GEF 4.16	UNHCR 2.35	7.18	475.23
2016年	EU Institutions 422.07	AFESD 102.52	OPEC Fund 4.43	GEF 4.07	UNHCR 1.90	5.52	540.49
2017年	EU Institutions 487.46	AFESD 138.09	AfDB 11.25	GFATM 2.90	GEF 1.95	5.83	647.47
2018年	EU Institutions 422.07	AFESD 116.15	GFATM 2.90	UNHCR 2.24	GEF 1.53	5.20	550.09
2019年	EU Institutions 376.42	AFESD 71.63	OPEC Fund 8.46	UNHCR 2.52	ILO 1.85	6.20	467.08

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	17.43億円 ・草の根・人間の安全保障無償(4件)(0.34) ・経済社会開発計画(5.00) ・漁業資源管理指導船建造計画(12.09)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [9] トルコ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
8,434万人	9,050ドル	1.8%	4,358.89億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対トルコ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	2.80	4.11
2017年度	-	3.79	2.81
2018年度	-	2.51	1.75
2019年度	-	1.51	1.58
2020年度	-	1.86	0.40

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対トルコ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	6,971.80	53.07	466.95

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対トルコ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-103.91	20.94 (20.65)	7.40	-75.57
2017年	-45.42	14.31 (13.89)	3.20	-27.91
2018年	-74.24	7.89 (7.50)	1.57	-64.79
2019年	-95.68	9.56 (8.95)	1.62	-84.49
2020年	-141.08	14.46 (13.78)	1.30	-125.32
累計	1,608.63	125.80 (91.89)	448.56	2,183.00

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対トルコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 418.06	日本 92.27	米国 48.07	フランス 35.92	オーストリア 24.69	92.27	686.74
2016年	ドイツ 361.75	フランス 225.27	英国 128.93	日本 118.29	オランダ 106.66	118.29	1,319.73
2017年	ドイツ 657.87	フランス 538.07	英国 177.61	日本 163.76	イタリア 111.75	163.76	1,948.84
2018年	ドイツ 439.79	フランス 294.10	日本 133.81	英国 96.74	イタリア 59.37	133.81	1,289.06
2019年	ドイツ 457.06	フランス 184.95	日本 87.42	英国 71.79	米国 64.34	87.42	1,049.16

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対トルコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 2,444.28	CEB 33.28	CIF 15.27	GEF 6.81	UNDP 2.71	4.78	2,507.13
2016年	EU Institutions 3,312.27	CEB 88.47	UNHCR 8.21	GEF 7.74	WFP 1.48	4.09	3,422.24
2017年	EU Institutions 2,597.52	CEB 67.64	UNHCR 13.41	CIF 9.37	GEF 4.20	4.59	2,696.71
2018年	EU Institutions 1,907.65	CEB 23.60	CIF 11.20	GEF 2.65	UNICEF 2.25	4.97	1,952.33
2019年	EU Institutions 1,447.28	CEB 67.17	OPEC Fund 8.26	UNHCR 5.14	GEF 2.88	9.17	1,539.90

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	1.86億円 ・ジャパンプラットフォームを通じた人道支援(3件)(1.00) ・草の根・人間の安全保障無償(10件)(0.86)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [10] パレスチナ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
480万人	4,120ドル	-11.5%	-	低中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対パレスチナ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	17.34	14.51
2017年度	-	32.83	11.38
2018年度	-	40.84	10.99
2019年度	-	34.48	8.30
2020年度	-	24.36	4.78

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パレスチナ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	1,093.49	180.21

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パレスチナ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	45.92 (32.28)	10.82	56.75
2017年	-	34.72 (31.59)	12.22	46.94
2018年	-	38.4 (31.54)	9.93	48.33
2019年	-	44.05 (35.69)	7.95	52.00
2020年	-	55.63 (52.91)	6.36	62.00
累計	-	973.91 (498.59)	184.88	1158.79

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パレスチナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 256.76	ドイツ 92.55	英国 78.59	ノルウェー 78.43	日本 66.47	66.47	921.17
2016年	米国 650.77	ドイツ 137.62	ノルウェー 69.14	スウェーデン 61.56	日本 56.75	56.75	1,305.08
2017年	米国 333.12	ドイツ 176.18	英国 79.74	ノルウェー 70.88	スウェーデン 66.64	46.94	1,072.11
2018年	米国 269.86	ドイツ 212.47	フランス 79.46	ノルウェー 78.59	英国 65.92	48.33	1,084.24
2019年	ドイツ 216.05	英国 103.06	ノルウェー 70.30	米国 70.12	フランス 57.97	52.00	905.73

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パレスチナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	UNRWA 452.81	EU Institutions 408.42	OPEC Fund 7.18	UNICEF 5.34	IFAD 2.65	8.57	884.97
2016年	UNRWA 423.23	EU Institutions 419.02	Isl.Dev Bank 85.01	OPEC Fund 5.38	UNICEF 3.41	5.21	941.26
2017年	UNRWA 521.73	EU Institutions 295.46	Isl.Dev Bank 89.66	WFP 5.36	CERF 4.24	10.98	927.45
2018年	UNRWA 438.29	EU Institutions 296.16	CERF 16.27	WFP 8.38	UNICEF 5.14	10.27	774.53
2019年	UNRWA 437.28	EU Institutions 237.95	Isl.Dev Bank 85.11	WFP 18.72	CERF 7.75	16.05	802.85

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	24.36億円 ・食糧援助(WFP連携)(3.00) ・教育の質及び環境改善のための学校 建設計画(国債1/4)(5.23) ・難民キャンプ改善計画(10.00) ・草の根・人間の安全保障無償(8件) (0.77) ・日本NGO連携無償(4件)(2.29) ・ジャパン・プラットフォームを通じた人 道支援(4件)(3.07)	・難民キャンプ改善プロジェクトフェー ズ2[20.09~24.09] ・廃棄物管理能力向上プロジェクト フェーズ3[20.07~23.06]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [11] モロッコ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,691万人	2,980ドル	-7.1%	656.83億ドル	低所得国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モロッコ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	53.71	4.29	11.50
2017年度	-	0.31	10.83
2018年度	-	0.15	8.57
2019年度	-	2.46	4.47
2020年度	208.49	5.16	3.21

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モロッコ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	3,324.49	378.88	409.95

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モロッコ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	71.20	1.22	10.37	82.79
2017年	59.38	7.47	10.32	77.18
2018年	-15.71	8.78 (0.22)	8.62	1.69
2019年	-65.40	1.38 (0.78)	4.80	-59.22
2020年	-41.41	8.22 (1.28)	3.35	-29.84
累計	1,062.81	320.22 (2.29)	377.91	1,760.94

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モロッコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 393.09	フランス 372.99	日本 90.26	米国 30.96	スペイン 25.78	90.26	981.29
2016年	ドイツ 566.34	フランス 474.13	日本 152.62	米国 43.32	スペイン 25.64	152.62	1,327.37
2017年	フランス 537.69	ドイツ 459.34	日本 158.44	米国 51.87	スペイン 30.61	158.44	1,297.92
2018年	フランス 373.28	ドイツ 265.26	日本 90.80	米国 58.96	スペイン 36.54	90.80	878.06
2019年	フランス 444.73	ドイツ 254.07	米国 63.43	スペイン 45.46	日本 32.71	32.71	904.62

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モロッコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 382.32	CIF 239.84	AFESD 154.17	OPEC Fund 15.60	GEF 5.92	19.93	817.77
2016年	EU Institutions 686.26	AFESD 103.38	CIF 17.48	OPEC Fund 15.34	GFATM 8.23	20.17	850.87
2017年	EU Institutions 710.79	AFESD 126.56	OPEC Fund 11.06	GCF 10.49	GFATM 7.46	18.00	884.35
2018年	EU Institutions 380.61	AFESD 85.44	CIF 53.06	OPEC Fund 27.28	GFATM 5.35	18.02	569.76
2019年	EU Institutions 531.21	AFESD 115.69	GCF 19.03	OPEC Fund 13.44	GFATM 7.36	16.99	703.74

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	208.49億 円 ・新型コロナウイルス感染症対応支援 プログラム・ローン(208.49)	5.16億円 ・経済社会開発計画(5.00) ・草の根・人間の安全保障無償 (2件)(0.16)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [12] ヨルダン

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,020万人	4,310ドル	-1.6%	380.16億ドル	低所得国	iii/ 高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ヨルダン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	300.00	55.60	10.51
2017年度	-	50.31	8.84
2018年度	336.60	24.44	8.92
2019年度	-	21.23	7.24
2020年度	-	5.86	5.17

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ヨルダン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
	3,024.19	971.88	385.58

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ヨルダン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	1.59	51.60 (23.18)	11.35	64.53
2017年	94.84	84.20 (54.14)	10.25	189.29
2018年	-76.98	16.81 (8.70)	8.09	-52.09
2019年	48.64	30.43 (15.99)	6.54	85.60
2020年	119.93	48.17 (21.24)	5.36	173.46
累計	854.85	933.77 (173.76)	361.12	2,149.75

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ヨルダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 817.30	日本 254.15	フランス 124.73	カナダ 97.41	英国 87.77	254.15	1,612.81
2016年	米国 880.94	フランス 298.99	英国 235.97	ドイツ 205.88	日本 154.85	154.85	1,985.56
2017年	米国 902.64	ドイツ 332.14	日本 272.46	フランス 176.84	カナダ 87.67	272.46	2,025.09
2018年	米国 1,141.32	ドイツ 367.07	英国 184.62	フランス 133.02	カナダ 87.96	33.87	2,139.79
2019年	米国 1,111.30	ドイツ 551.01	日本 170.72	英国 167.81	カナダ 72.85	170.72	2,280.06

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ヨルダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 212.10	UNRWA 180.70	AFESD 14.75	WFP 7.06	UNICEF 2.91	11.14	428.67
2016年	EU Institutions 252.60	UNRWA 154.36	IDA 48.33	AFESD 10.86	WFP 5.02	10.22	481.41
2017年	EU Institutions 228.82	UNRWA 218.56	AFESD 52.36	IDA 8.39	OPEC Fund 4.05	10.40	522.57
2018年	EU Institutions 178.83	UNRWA 176.69	AFESD 20.32	IDA 15.05	UNICEF 3.31	11.65	405.86
2019年	UNRWA 169.80	EU Institutions 166.91	AFESD 22.16	IDA 18.28	WFP 8.91	17.00	403.07

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	5.86億円 ・経済社会開発計画(4.00) ・ザイ給水システム改良計画(国債1/4) (0.47) ・草の根・人間の安全保障無償(1件) (0.10) ・ジャパンプラットフォームを通じた人道 支援(2件)(1.29)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [13] リビア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
687万人	4,850ドル	-31.3%	-	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対リビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	-	-
2017年度	-	-	-
2018年度	-	-	0.04
2019年度	-	-	0.02
2020年度	-	-	0.03

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。  
2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対リビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	6.48	2.21

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。  
2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対リビア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	-	-	-
2017年	-	2.64 (2.64)	-	2.64
2018年	-	1.30 (1.30)	0.03	1.33
2019年	-	3.21 (3.21)	0.02	3.24
2020年	-	9.47 (9.47)	0.02	9.49
累計	-	34.71 (34.71)	5.43	40.14

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。  
2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対リビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 20.76	英国 16.05	ドイツ 9.44	スイス 5.47	スウェーデン 2.78	-	63.94
2016年	ドイツ 30.99	米国 20.33	英国 19.37	イタリア 6.02	スウェーデン 5.73	-	102.87
2017年	ドイツ 172.07	イタリア 60.37	米国 44.64	英国 18.99	オランダ 6.61	2.64	338.04
2018年	米国 65.67	ドイツ 54.36	イタリア 25.61	英国 17.56	フランス 6.45	1.33	206.11
2019年	米国 64.39	ドイツ 32.74	英国 20.97	イタリア 17.54	スイス 7.83	3.24	185.73

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対リビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 25.64	WFP 1.89	UNICEF 1.19	UNFPA 0.52	UNDP 0.25	0.46	29.96
2016年	EU Institutions 23.76	WFP 6.55	Isl.Dev Bank 0.90	GEF 0.79	UNICEF 0.69	1.24	33.92
2017年	EU Institutions 64.53	CERF 6.36	WFP 1.76	UNICEF 1.05	UNPBF 1.01	1.59	76.30
2018年	EU Institutions 58.88	CERF 11.76	WHO 2.85	UNPBF 1.96	UNFPA 1.37	1.31	78.14
2019年	EU Institutions 84.86	WFP 7.65	CERF 3.76	UNFPA 2.34	WHO 2.23	5.36	106.20

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [14] レバノン

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
683万人	5,510ドル	-20.3%	688.65億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対レバノン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	6.96	0.63
2017年度	-	6.24	2.40
2018年度	-	3.31	1.14
2019年度	-	5.81	0.33
2020年度	-	13.11	0.36

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対レバノン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	130.22	91.34	19.40

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対レバノン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-6.40	27.80 (26.70)	0.81	22.20
2017年	-6.21	18.18 (17.38)	1.40	13.38
2018年	-6.31	11.10 (8.71)	1.75	6.55
2019年	-6.39	11.09 (9.59)	0.39	5.09
2020年	-6.52	24.51 (24.25)	0.29	18.28
累計	10.98	181.34 (145.96)	24.34	216.66

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対レバノン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 304.25	英国 152.08	カナダ 67.19	フランス 44.10	ドイツ 41.82	13.45	784.65
2016年	ドイツ 308.06	英国 167.39	米国 139.28	ノルウェー 65.05	オランダ 52.20	28.61	918.08
2017年	米国 203.82	ドイツ 192.58	英国 150.02	カナダ 69.01	ノルウェー 63.49	19.59	905.59
2018年	ドイツ 243.87	米国 182.55	英国 128.70	オランダ 82.33	カナダ 68.60	12.85	977.16
2019年	米国 238.74	ドイツ 220.83	英国 189.82	フランス 83.84	カナダ 59.70	11.48	1,002.00

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対レバノン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 171.79	UNRWA 101.87	AFESD 37.21	WFP 9.49	GEF 3.02	9.65	333.04
2016年	EU Institutions 175.91	UNRWA 102.44	AFESD 47.10	Isl.Dev Bank 3.14	GEF 2.63	8.82	340.02
2017年	EU Institutions 182.88	AFESD 145.90	UNRWA 112.64	IDA 25.47	UNHCR 12.45	7.94	487.28
2018年	EU Institutions 203.31	UNRWA 97.56	AFESD 36.71	UNHCR 8.93	UNICEF 4.72	10.44	361.67
2019年	EU Institutions 133.13	UNRWA 97.81	AFESD 41.56	UNHCR 11.62	UNICEF 5.24	10.25	299.61

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	13.11億円 ・草の根・人間の安全保障無償(9件) (2.97) ・ジャパンプラットフォームを通じた人道 支援(8件)(4.64) ・レバノン・ベイルートにおける大規模爆 発被害に対する緊急無償資金協力(W FP連携)(1.65) ・同上案件(UNHCR連携)(1.10) ・同上案件(UNICEF連携)(1.43) ・同上案件(ICRC連携)(1.32)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。



# サブサハラ・アフリカ地域

## サブサハラ・アフリカ地域

表－1 サブサハラ・アフリカ地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	550.67 (19.6)	549.50 (21.0)	542.30 (20.6)	657.84 (25.7)	711.65 (23.2)	31,014.03
		(うち国際機関を通じた贈与)	229.37 (14.3)	177.10 (13.2)	123.01 (9.4)	210.56 (18.1)	296.28 (16.5)	4,306.78
		技術協力	383.72 (13.8)	362.29 (12.6)	296.81 (11.2)	307.79 (11.3)	235.16 (9.8)	9,019.82
		贈与計	934.39 (16.7)	911.79 (16.6)	839.11 (15.9)	965.63 (18.3)	946.81 (17.3)	40,033.85
	有償資金協力 支出総額	275.65 (3.5)	379.22 (4.0)	430.59 (5.4)	475.82 (5.1)	373.70 (3.3)	9,994.78	
	<有償資金協力 支出純額>	<174.26>	<273.99>	<319.90>	<367.87>	<256.27>	<2,105.72>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		1,210.04 (9.0)	1,291.01 (8.6)	1,269.70 (9.6)	1,441.45 (9.8)	1,320.51 (7.8)	50,028.64	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<1,108.65> <(15.7)>	<1,185.78> <(14.7)>	<1,159.01> <(19.0)>	<1,333.50> <(17.8)>	<1,203.08> <(11.7)>	<42,139.57>	

注) 1. ( )内は各形態別の全世界合計(卒業国を除く)に占めるサブサハラ・アフリカ地域の割合(%)

2. 国際機関を通じた贈与は、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

4. 「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表－2 サブサハラ・アフリカ地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
政府開発援助計	2017	米国 11,312.88	英国 3,382.27	ドイツ 2,715.84	フランス 2,302.75	日本 1,291.00	1,291.00	27,458.44
	2018	米国 10,692.19	英国 3,192.67	ドイツ 3,095.09	フランス 2,696.06	日本 1,269.75	1,269.75	27,521.01
	2019	米国 9,493.45	ドイツ 3,332.77	英国 3,233.48	フランス 2,841.79	日本 1,441.44	1,441.44	26,714.40
有償資金協力	2017	フランス 1,088.00	日本 379.22	ドイツ 258.25	韓国 177.11	ポルトガル 22.17	379.22	2,001.57
	2018	フランス 1,280.88	日本 430.58	ドイツ 348.17	韓国 173.01	ポーランド 33.22	430.58	2,347.69
	2019	フランス 1,437.33	日本 475.82	ドイツ 371.16	韓国 151.74	イタリア 25.73	475.82	2,524.77
無償資金協力	2017	米国 11,092.75	英国 2,579.33	ドイツ 1,665.12	スウェーデン 852.26	フランス 807.76	549.49	21,985.51
	2018	米国 10,474.16	英国 2,948.28	ドイツ 1,797.80	スウェーデン 985.70	フランス 924.31	542.37	21,980.78
	2019	米国 9,302.95	英国 2,777.22	ドイツ 1,942.00	フランス 989.54	スウェーデン 928.48	657.81	20,884.45
技術協力	2017	英国 802.95	ドイツ 792.45	フランス 407.00	日本 362.29	米国 220.13	362.29	3,471.36
	2018	ドイツ 949.13	フランス 490.84	日本 296.78	カナダ 262.23	英国 244.39	296.78	3,192.56
	2019	ドイツ 1,019.62	英国 456.26	フランス 414.93	日本 307.81	カナダ 244.72	307.81	3,305.17

出典) OECD/DAC

表-3 サブサハラ・アフリカ地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2017	IDA 7,454.44	EU Institutions 4,699.11	GFATM 3,013.28	AfDF 2,041.65	IMF-CTF 1,155.33	3,846.38	22,210.25
	2018	IDA 8,821.37	EU Institutions 5,393.86	GFATM 2,429.69	AfDF 1,716.11	IMF-CTF 1,189.96	3,604.24	23,155.28
	2019	IDA 11,456.36	EU Institutions 5,147.18	GFATM 2,598.06	AfDF 1,631.20	GAVI 1,153.70	3,680.41	25,666.95
有償資金協力	2017	IDA 6,865.34	AfDF 1,565.08	IMF-CTF 1,155.33	IFAD 285.65	EU Institutions 189.87	526.32	10,587.62
	2018	IDA 8,370.65	AfDF 1,317.46	IMF-CTF 1,189.96	EU Institutions 325.00	IFAD 246.21	491.58	11,940.87
	2019	IDA 10,173.60	AfDF 1,085.68	IMF-CTF 486.57	EU Institutions 407.69	IFAD 267.59	434.07	12,855.16
無償資金協力	2017	EU Institutions 3,983.68	GFATM 3,013.28	GAVI 789.34	IDA 587.92	UNICEF 554.26	2,107.82	11,036.36
	2018	EU Institutions 4,544.14	GFATM 2,429.69	GAVI 819.22	UNICEF 542.27	IDA 450.73	1,850.15	10,636.27
	2019	EU Institutions 4,131.07	GFATM 2,598.06	IDA 1,282.78	GAVI 1,153.70	UNICEF 576.97	2,460.73	12,203.30
技術協力	2017	EU Institutions 525.56	FAO 55.16	ILO 4.13	IDA 1.21	OPEC Fund 0.21	-	586.23
	2018	EU Institutions 524.73	ILO 28.36	FAO 24.23	OPEC Fund 0.58	AFESD 0.22	-	578.14
	2019	EU Institutions 608.43	-	-	-	-	-	608.43

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

## アフリカ大陸全土地域

表－1 アフリカ大陸全土地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	700.62 (25.0)	658.42 (25.2)	597.54 (22.7)	695.24 (27.2)	769.09 (25.1)	33,612.96
		(うち国際機関を通じた贈与)	373.45 (23.4)	270.33 (20.1)	158.50 (12.1)	225.91 (19.5)	324.42 (18.1)	5,040.38
		技術協力	433.61 (15.6)	427.77 (14.8)	342.99 (13.0)	345.14 (12.7)	257.85 (10.7)	10,841.76
		贈与計	1,134.23 (20.3)	1,086.19 (19.7)	940.54 (17.8)	1,040.37 (19.7)	1,026.94 (18.8)	44,454.72
	有償資金協力 支出総額	784.60 (10.0)	1,029.40 (10.7)	928.79 (11.6)	1,086.86 (11.6)	746.30 (6.5)	22,337.59	
	<有償資金協力 支出純額>	<360.50>	<588.23>	<445.23>	<532.12>	<221.78>	<6,389.51>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		1,918.83 (14.3)	2,115.59 (14.0)	1,869.32 (14.1)	2,127.24 (14.5)	1,773.24 (10.5)	66,792.31	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<1,494.73> <(21.2)>	<1,674.42> <(20.7)>	<1,385.76> <(22.7)>	<1,572.50> <(21.0)>	<1,248.72> <(12.2)>	<50,844.23>	

注) 1. ( )内は各形態別の全世界合計(卒業国を除く)に占めるアフリカ大陸全土地域の割合(%)

2.国際機関を通じた贈与は、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。

3.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

4.«政府開発援助計 支出純額»の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表－2 アフリカ大陸全土地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
政府開発援助計	2017	米国 11,552.21	ドイツ 4,282.62	英国 3,877.79	フランス 3,492.85	日本 2,115.59	2,115.59	32,692.31
	2018	米国 11,023.62	ドイツ 4,925.75	英国 3,853.98	フランス 3,833.33	日本 1,869.36	1,869.36	33,266.02
	2019	米国 9,973.27	ドイツ 5,260.75	フランス 3,988.07	英国 3,855.07	日本 2,127.23	2,127.23	32,697.00
有償資金協力	2017	フランス 1,816.74	ドイツ 1,084.84	日本 1,029.40	韓国 177.11	イタリア 55.75	1,029.40	4,257.95
	2018	フランス 1,877.85	ドイツ 1,402.63	日本 928.78	韓国 249.09	カナダ 160.52	928.78	4,772.55
	2019	フランス 2,040.74	ドイツ 1,458.65	日本 1,086.86	韓国 209.17	イタリア 43.42	1,086.86	4,951.85
無償資金協力	2017	米国 11,312.36	英国 2,892.11	ドイツ 1,838.17	フランス 906.27	スウェーデン 904.43	658.43	23,621.80
	2018	米国 10,784.51	英国 3,528.31	ドイツ 2,070.32	スウェーデン 1,063.53	フランス 1,053.40	597.60	24,087.63
	2019	米国 9,759.78	英国 3,302.52	ドイツ 2,163.03	フランス 1,180.34	スウェーデン 1,005.04	695.21	23,121.43
技術協力	2017	ドイツ 1,359.59	英国 985.69	フランス 769.85	日本 427.76	カナダ 250.44	427.76	4,812.56
	2018	ドイツ 1,452.81	フランス 902.05	日本 342.96	英国 325.67	カナダ 300.20	342.96	4,405.85
	2019	ドイツ 1,639.08	フランス 766.99	英国 552.55	日本 345.15	カナダ 324.05	345.15	4,623.74

出典) OECD/DAC

表-3 アフリカ大陸全土地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2017	IDA 7,488.20	EU Institutions 6,796.06	GFATM 3,079.39	AfDF 2,561.09	IMF-CTF 1,155.33	4,512.90	25,593.02
	2018	IDA 8,841.85	EU Institutions 7,321.95	GFATM 2,471.42	AfDF 2,112.85	IMF-CTF 1,189.96	4,387.90	26,325.94
	2019	IDA 11,483.94	EU Institutions 7,449.74	GFATM 2,633.84	AfDF 1,943.63	GAVI 1,153.70	4,436.87	29,101.80
有償資金協力	2017	IDA 6,877.55	AfDF 1,574.96	EU Institutions 1,228.55	IMF-CTF 1,155.33	AFESD 555.21	726.96	12,118.59
	2018	IDA 8,383.60	AfDF 1,317.46	IMF-CTF 1,189.96	EU Institutions 1,138.57	AFESD 480.29	755.46	13,265.33
	2019	IDA 10,192.33	EU Institutions 1,681.70	AfDF 1,085.68	AFESD 631.35	IMF-CTF 486.57	560.93	14,638.53
無償資金協力	2017	EU Institutions 4,879.71	GFATM 3,079.39	AfDF 986.12	GAVI 789.34	IDA 609.46	2,346.69	12,690.76
	2018	EU Institutions 5,442.52	GFATM 2,471.42	GAVI 819.22	AfDF 795.38	UNICEF 551.09	2,094.34	12,174.00
	2019	EU Institutions 4,906.34	GFATM 2,633.84	IDA 1,291.63	GAVI 1,153.70	AfDF 857.99	2,757.96	13,601.48
技術協力	2017	EU Institutions 687.80	FAO 88.83	ILO 5.57	IDA 1.21	OPEC Fund 0.25	-	783.63
	2018	EU Institutions 740.88	FAO 102.82	ILO 40.59	OPEC Fund 1.85	AFESD 0.44	-	886.61
	2019	EU Institutions 861.73	-	-	-	-	-	861.73

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

# [1] アンゴラ

## 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,287万人	2,230ドル	-4.0%	672.87億ドル	後発開発途上国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アンゴラ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.88	4.55
2017年度	-	1.06	3.97
2018年度	-	0.98	5.01
2019年度	-	3.66	3.51
2020年度	-	5.46	1.51

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アンゴラ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	236.40	430.19	78.08

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アンゴラ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	0.39	4.15	4.54
2017年	-	0.79	2.92	3.71
2018年	-	12.07 (1.09)	5.09	17.16
2019年	-	5.90 (0.80)	2.81	8.71
2020年	-	3.98 (1.50)	3.28	7.27
累計	195.05	326.96 (44.19)	77.36	599.37

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アンゴラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 197.31	米国 63.74	ポーランド 14.80	韓国 13.61	ポルトガル 8.51	197.31	318.69
2016年	米国 54.22	韓国 12.12	ノルウェー 7.80	ポーランド 5.93	フランス 5.41	4.54	104.67
2017年	米国 59.28	韓国 15.73	ノルウェー 7.69	フランス 5.97	ポルトガル 4.71	3.71	107.05
2018年	米国 52.74	日本 17.16	韓国 11.81	ノルウェー 6.45	フランス 6.33	17.16	111.00
2019年	米国 46.69	フランス 17.01	日本 8.71	ポルトガル 5.85	ノルウェー 5.36	8.71	94.98

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アンゴラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 53.40	EU Institutions 26.90	AfDF 13.64	GAVI 10.39	UNICEF 7.74	22.22	134.28
2016年	IDA 58.26	EU Institutions 43.28	GFATM 20.13	AfDF 15.98	UNICEF 9.24	25.20	172.08
2017年	IDA 70.10	EU Institutions 39.79	GFATM 29.06	AfDF 11.80	CERF 10.55	28.94	190.26
2018年	IDA 35.91	EU Institutions 35.43	GFATM 25.24	AfDF 9.31	UNICEF 6.58	22.16	134.63
2019年	EU Institutions 40.15	IDA 23.95	GFATM 18.59	GAVI 8.56	AfDF 7.53	27.39	126.17

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	5.46億円 ・経済社会開発計画(2件)(5.10) ・草の根・人間の安全保障無償(2件)(0.36)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [2] ウガンダ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,574万人	800ドル	2.9%	172.07億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ウガンダ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	28.56	23.54
2017年度	-	42.00	15.57
2018年度	185.77	39.32	15.67
2019年度	-	15.96	13.69
2020年度	-	29.39	10.92

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ウガンダ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	662.96	711.37	360.98

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ウガンダ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	23.91	24.87 (11.19)	18.06	66.84
2017年	24.07	21.70 (15.41)	18.44	64.22
2018年	37.03	23.23 (4.59)	11.13	71.39
2019年	19.99	31.48 (9.88)	13.68	65.14
2020年	15.38	15.93 (4.09)	11.10	42.41
累計	229.56	694.28 (160.64)	346.83	1,270.67

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ウガンダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 414.12	英国 188.97	日本 70.48	ドイツ 52.84	ノルウェー 46.54	70.48	974.27
2016年	米国 540.32	英国 149.97	日本 66.85	ドイツ 47.14	スウェーデン 44.40	66.85	1,073.15
2017年	米国 641.35	英国 181.50	ドイツ 67.68	日本 64.58	スウェーデン 57.36	64.58	1,298.89
2018年	米国 616.95	英国 150.21	日本 72.13	フランス 71.85	スウェーデン 60.21	72.13	1,260.89
2019年	米国 520.38	英国 196.66	ドイツ 66.52	日本 65.89	スウェーデン 56.63	65.89	1,172.43

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ウガンダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 224.42	EU Institutions 122.33	AfDF 112.32	GFATM 110.93	GAVI 41.84	103.16	715.01
2016年	GFATM 195.57	IDA 179.17	AfDF 128.60	EU Institutions 74.89	GAVI 51.95	100.30	730.49
2017年	IDA 268.25	EU Institutions 155.29	GFATM 117.29	AfDF 74.87	GAVI 30.24	115.30	761.22
2018年	IDA 220.93	GFATM 167.04	AfDF 111.67	EU Institutions 107.71	GAVI 39.86	105.70	752.92
2019年	IDA 402.62	EU Institutions 147.14	GFATM 134.42	AfDF 86.03	GAVI 69.22	106.95	946.36

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	29.39億円 ・経済社会開発計画(4.00) ・西ナイル地域の難民受入地域における国道改修計画(国債1/5)(1.94) ・アタリ流域地域灌漑施設整備計画(国債3/5)(11.10) ・カンパラ市交通管制改善計画(国債2/4)(9.02) ・ジャンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援(10件)(4.51) ・日本NGO連携無償(4件)(2.62) ・草の根・人間の安全保障無償(8件)(0.71)	・アタリ流域地域灌漑施設維持管理能力強化プロジェクト[21.02~25.02] ・送電系統保護能力向上プロジェクト[21.03~24.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

### [3] エスワティニ(旧国名:スワジランド)

#### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
116万人	3,580ドル	-1.6%	7.66億ドル	低中所得国	ii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対エスワティニ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.15	0.70
2017年度	-	19.41	1.21
2018年度	-	2.20	0.73
2019年度	-	2.72	0.61
2020年度	-	5.19	0.23

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対エスワティニ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	44.12	127.47	47.36

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対エスワティニ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-1.85	0.13	1.06	-0.67
2017年	-1.80	2.94 (2.94)	0.80	1.94
2018年	-1.83	6.37 (2.31)	1.00	5.55
2019年	-1.85	6.10 (0.50)	0.50	4.76
2020年	-1.89	6.75 (2.47)	0.23	5.09
累計	19.02	107.63 (13.19)	37.39	164.04

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対エスワティニ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 36.10	日本 0.94	オーストラリア 0.80	韓国 0.72	ノルウェー 0.63	0.94	41.84
2016年	米国 56.42	日本 1.18	スウェーデン 0.88	ノルウェー 0.79	カナダ 0.56	1.18	62.21
2017年	米国 69.71	オーストラリア 6.36	日本 3.74	ドイツ 0.57	ノルウェー 0.46	3.74	82.73
2018年	米国 59.70	日本 7.37	スイス 1.02	ドイツ 0.50	-	7.37	70.83
	-	-	-	ノルウェー 0.50	-	-	-
2019年	米国 44.24	日本 6.61	ノルウェー 0.56	フランス 0.55	ドイツ 0.54	6.61	54.35

出典)OECD/DAC

表-4 国際機関の対エスワティニ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 36.22	GFATM 12.01	OPEC Fund 4.35	BADEA 2.11	GEF 1.48	7.18	63.37
2016年	GFATM 32.08	EU Institutions 31.69	OPEC Fund 11.32	UNICEF 1.41	GEF 1.08	5.06	82.63
2017年	EU Institutions 38.62	GFATM 22.93	GEF 2.64	UNICEF 1.18	WFP 1.02	4.42	70.81
2018年	GFATM 19.04	EU Institutions 13.99	OPEC Fund 6.30	UNICEF 1.29	WHO 1.08	4.76	46.46
2019年	EU Institutions 12.33	GFATM 12.09	OPEC Fund 3.46	UNICEF 1.51	UNFPA 0.99	5.23	35.61

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	5.19億円 ・経済社会開発計画(2件)(3.00) ・食糧援助(WFP連携)(2.00) ・草の根・人間の安全保障無償(3件)(0.19)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [4] エチオピア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.15億人	890ドル	6.1%	303.64億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対エチオピア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	55.00	10.59	31.09
2017年度	-	42.64	21.61
2018年度	-	18.49	22.33
2019年度	96.55	36.98	19.05
2020年度	-	46.99	14.18

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対エチオピア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	188.55	1,293.47	535.34

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対エチオピア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	38.76 (14.10)	23.85	62.61
2017年	-	11.25 (5.39)	27.66	38.90
2018年	35.83	15.14 (5.50)	18.45	69.41
2019年	14.15	31.24 (13.78)	19.05	64.45
2020年	-	63.31 (39.14)	11.92	75.23
累計	41.15	1,288.52 (262.21)	506.79	1,836.47

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対エチオピア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 747.62	英国 518.17	カナダ 103.24	オランダ 80.48	日本 54.20	54.20	1,881.14
2016年	米国 876.70	英国 451.32	ドイツ 141.73	カナダ 90.74	オランダ 73.85	62.61	2,085.99
2017年	米国 1,030.73	英国 422.41	ドイツ 155.14	カナダ 89.32	オランダ 82.37	38.90	2,257.23
2018年	米国 823.39	英国 403.39	ドイツ 175.11	カナダ 90.61	韓国 84.54	69.41	2,088.57
2019年	米国 870.27	英国 383.35	ドイツ 141.64	オランダ 97.56	デンマーク 97.52	64.45	2,198.45

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対エチオピア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 710.07	EU Institutions 166.83	GFATM 153.17	AfDF 151.94	GAVI 134.59	140.92	1,457.54
2016年	IDA 1,197.68	EU Institutions 339.66	AfDF 171.40	GFATM 158.65	GAVI 84.50	159.61	2,111.51
2017年	IDA 1,109.88	AfDF 247.54	EU Institutions 218.24	GFATM 182.08	GAVI 64.42	183.86	2,006.01
2018年	IDA 2,129.23	EU Institutions 273.23	AfDF 178.46	GFATM 131.22	GAVI 88.05	166.31	2,966.48
2019年	IDA 1,802.24	EU Institutions 203.05	AfDF 180.25	GFATM 115.83	GAVI 92.28	187.01	2,580.68

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	46.99億円 ・経済社会開発計画(2件)(20.00) ・バハルダール市上水道整備計画(国債4/4)(6.24) ・TICAD産業人材育成センター建設計画(国債4/4)(9.06) ・バハルダール市上水道整備計画【追加贈与】(2.36) ・ジャンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援(1件)(0.69) ・日本NGO連携無償(1件)(0.79) ・草の根・人間の安全保障無償(6件)(0.59) ・エチオピア・ティグライ州における武力衝突により発生した国内避難民等に対する緊急無償資金協力(WFP連携)(1.76) ・同上案件(UNHCR連携)(1.21) ・同上案件(IOM連携)(1.65) ・同上案件(OCHA連携)(0.66) ・同上案件(ICRC連携)(0.66) ・同上案件(UNICEF連携)(1.32)	・農業及び森林・自然資源管理を通じた気候変動レジリエンス強化プロジェクト[21.03~26.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [5] エリトリア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
-	-	8.7%	7.89億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

### 表-1-1 我が国の対エリトリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	3.00	1.51
2017年度	-	-	0.47
2018年度	-	2.72	0.48
2019年度	-	4.50	1.02
2020年度	-	-	0.40

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-1-2 我が国の対エリトリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	136.71	28.55

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-2 我が国の対エリトリア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	-	1.12	1.12
2017年	-	2.67	0.83	3.50
2018年	-	-	0.44	0.44
2019年	-	6.25 (3.49)	0.94	7.18
2020年	-	1.90 (0.50)	0.17	2.08
累計	-	117.06 (11.78)	28.14	145.20

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-3 主要ドナーの対エリトリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 2.74	フィンランド 2.65	ノルウェー 1.37	カナダ 1.18	アイルランド 0.77	2.74	11.51
2016年	ノルウェー 1.99	アイルランド 1.37	日本 1.12	カナダ 1.06	ドイツ 0.92	1.12	10.25
2017年	日本 3.50	スイス 3.37	スペイン 2.62	ドイツ 2.26	アイルランド 1.39	3.50	17.40
2018年	ドイツ 4.35	英国 3.67	スイス 1.81	アイルランド 1.46	スペイン 1.27	0.44	15.88
2019年	日本 7.18	英国 5.61	ドイツ 4.32	イタリア 1.90	スイス 1.61	7.18	23.87

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

### 表-4 国際機関の対エリトリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 13.63	GFATM 11.10	UNDP 5.95	IFAD 4.37	UNICEF 2.97	11.74	49.79
2016年	GFATM 17.18	EU Institutions 13.81	IFAD 6.61	UNDP 5.54	UNICEF 2.83	9.31	55.27
2017年	GFATM 21.40	UNDP 5.86	EU Institutions 5.41	GAVI 3.78	UNICEF 2.98	7.97	47.40
2018年	GFATM 17.09	GAVI 11.60	EU Institutions 9.26	UNDP 5.12	CERF 4.99	13.16	61.21
2019年	GFATM 16.92	AfDF 9.46	UNDP 5.74	EU Institutions 4.26	UNICEF 3.79	12.52	52.69

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [6] ガーナ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,107万人	2,230ドル	0.4%	311.79億ドル	低中所得国	ii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ガーナ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	112.39	112.50	20.96
2017年度	-	18.98	14.66
2018年度	-	14.14	16.89
2019年度	-	20.08	19.36
2020年度	-	28.53	12.24

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ガーナ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,363.30	1,227.55	637.62

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ガーナ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	12.23	21.19	33.42
2017年	-	34.57	16.63	51.20
2018年	-	57.65 (4.98)	12.48	70.13
2019年	-	30.24 (0.80)	17.85	48.09
2020年	1.57	35.86 (3.85)	13.90	51.32
累計	-101.60	2,007.74 (28.19)	591.46	2,497.60

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ガーナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 184.99	英国 96.83	カナダ 74.72	ドイツ 58.31	フランス 51.10	25.22	642.61
2016年	米国 228.91	フランス 82.29	英国 79.17	デンマーク 50.56	カナダ 46.22	33.42	636.71
2017年	米国 233.28	英国 72.84	ドイツ 57.92	日本 51.20	韓国 47.99	51.20	618.36
2018年	米国 218.67	ドイツ 73.72	日本 70.13	カナダ 69.71	フランス 54.71	70.13	655.54
2019年	米国 202.17	ドイツ 93.09	英国 61.69	日本 48.09	カナダ 43.37	48.09	572.39

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ガーナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 535.59	IMF-CTF 232.32	EU Institutions 157.99	AfDF 153.42	GFATM 81.59	74.60	1,235.53
2016年	IDA 304.41	IMF-CTF 230.80	AfDF 72.91	GFATM 65.70	EU Institutions 61.05	56.50	791.36
2017年	IDA 380.14	AfDF 135.71	GFATM 93.53	IMF-CTF 92.09	EU Institutions 32.10	52.49	786.09
2018年	IMF-CTF 188.07	IDA 141.60	EU Institutions 78.81	GFATM 66.10	AfDF 49.67	81.31	605.58
2019年	IDA 157.31	AfDF 87.89	GFATM 68.90	IMF-CTF 46.76	GAVI 43.83	84.90	489.59

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	28.53億円 ・経済社会開発計画(5.00) ・人材育成奨学計画(4件)(2.35) ・第二次国道八号線改修計画(国債3/5)(19.56) ・第二次テマ交差点改良計画(詳細設計)(1.09) ・草の根・人間の安全保障無償(5件)(0.53)	・カイゼンを用いた企業振興プロジェクト[21.01~26.01]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [7] カーボベルデ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
56万人	3,060ドル	-14.8%	20.70億ドル	低中所得国	ii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対カーボベルデ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	1.90	0.61
2017年度	-	3.60	0.08
2018年度	-	0.08	0.12
2019年度	-	6.60	0.08
2020年度	-	5.60	0.02

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対カーボベルデ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	259.46	181.32	24.63

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対カーボベルデ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	9.59	0.11	0.43	10.13
2017年	5.64	1.94	0.54	8.12
2018年	8.58	3.94	0.08	12.59
2019年	2.17	6.25	0.10	8.53
2020年	1.63	0.09	0.03	1.76
累計	103.26	148.04	24.55	275.85

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対カーボベルデ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ポルトガル 52.26	日本 18.19	ルクセンブルク 15.18	米国 11.76	フランス 8.34	18.19	109.24
2016年	ポルトガル 33.95	米国 18.93	ルクセンブルク 10.86	日本 10.13	フランス 5.67	10.13	81.71
2017年	フランス 27.53	ポルトガル 26.95	米国 24.90	ルクセンブルク 10.16	日本 8.12	8.12	100.18
2018年	ポルトガル 21.28	ルクセンブルク 14.73	日本 13.82	フランス 5.29	米国 4.01	13.82	63.00
2019年	ポルトガル 22.49	ルクセンブルク 17.13	日本 9.77	ベルギー 5.47	フランス 4.46	9.77	66.36

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対カーボベルデ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 24.74	IDA 17.19	BADEA 7.76	AfDF 3.48	GFATM 2.12	9.59	64.87
2016年	EU Institutions 38.82	IDA 2.16	AfDF 1.87	IFAD 1.47	GEF 1.43	5.48	51.24
2017年	EU Institutions 33.92	IFAD 2.02	UNICEF 1.70	GFATM 1.19	IDA 1.02	4.21	44.07
2018年	EU Institutions 13.24	IDA 7.56	IFAD 2.57	AfDF 2.42	GFATM 1.47	6.28	33.55
2019年	IDA 66.67	EU Institutions 33.58	IFAD 2.36	OPEC Fund 2.14	UNICEF 1.07	6.34	112.15

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	5.60億円 ・食糧援助(2.50) ・経済社会開発計画(3.00) ・草の根・人間の安全保障無償(1件)(0.10)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [8] ガボン

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
223万人	6,970ドル	-1.3%	76.16億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ガボン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.34	3.71
2017年度	-	0.47	4.24
2018年度	-	0.40	3.24
2019年度	-	1.38	4.30
2020年度	-	3.45	1.34

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ガボン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	53.63	63.16

注)1. 累計金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ガボン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-0.87	0.31 (0.06)	4.03	3.47
2017年	-0.88	0.42 -	3.16	2.69
2018年	-0.94	0.25 -	3.83	3.13
2019年	-0.49	1.81 (1.34)	3.77	5.08
2020年	-	0.41 (0.14)	1.87	2.28
累計	-19.40	52.08 (1.53)	66.32	98.99

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ガボン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	フランス 86.16	米国 8.64	日本 2.71	ドイツ 1.68	オーストリア 0.37	2.71	100.21
2016年	フランス 31.18	米国 4.37	日本 4.34	ドイツ 0.95	韓国 0.30	4.34	42.18
2017年	フランス 112.97	米国 5.29	日本 3.58	ドイツ 0.75	カナダ 0.29	3.58	123.34
2018年	フランス 125.11	日本 4.07	米国 2.23	ドイツ 0.68	カナダ 0.26	4.07	133.04
2019年	フランス 142.48	日本 5.58	ドイツ 0.65	スペイン 0.58	ポルトガル 0.49	5.58	151.71

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ガボン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 8.06	GEF 2.32	WHO 2.18	UNFPA 0.82	UNICEF 0.79	1.75	15.91
2016年	EU Institutions 9.20	GEF 2.27	WHO 1.56	GFATM 1.23	UNICEF 0.90	2.04	17.19
2017年	EU Institutions 11.77	AfDB 2.29	WHO 1.35	UNICEF 1.09	UNFPA 0.48	1.75	18.73
2018年	EU Institutions 4.49	AfDB 3.55	GFATM 1.53	WHO 1.38	UNICEF 0.86	2.08	13.88
2019年	EU Institutions 3.06	WHO 1.11	UNFPA 1.10	AfDB 1.02	UNICEF 0.89	2.67	9.85

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	3.45億円 ・経済社会開発計画(3.00) ・草の根・人間の安全保障無償(5件)(0.45)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [9] カメルーン

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,655万人	1,500ドル	0.7%	138.64億ドル	低所得国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対カメルーン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.12	10.08
2017年度	58.94	17.17	6.82
2018年度	-	3.17	9.89
2019年度	-	5.32	6.28
2020年度	-	9.20	6.03

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対カメルーン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	292.25	307.56	123.79

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対カメルーン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	7.83	7.97 (7.70)	7.93	23.72
2017年	12.76	7.80 (7.69)	8.64	29.19
2018年	12.94	4.06 (3.32)	5.26	22.26
2019年	16.87	8.02 (7.65)	8.99	33.88
2020年	10.42	10.90 (6.55)	3.57	24.89
累計	97.33	394.03 (78.16)	121.16	612.53

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対カメルーン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	フランス 164.20	米国 81.37	ドイツ 73.17	日本 33.38	韓国 16.70	33.38	398.14
2016年	フランス 266.58	ドイツ 88.53	米国 79.29	日本 23.72	韓国 11.25	23.72	504.76
2017年	フランス 312.41	ドイツ 104.71	米国 88.65	日本 29.19	韓国 25.57	29.19	600.61
2018年	フランス 366.79	米国 113.56	ドイツ 113.53	日本 22.26	カナダ 14.17	22.26	688.27
2019年	フランス 419.43	ドイツ 113.79	米国 91.56	日本 35.12	英国 14.30	35.12	734.43

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対カメルーン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 95.04	GFATM 62.47	EU Institutions 62.30	GAVI 30.29	AfDF 28.91	48.01	327.01
2016年	IDA 131.30	EU Institutions 78.29	AfDF 43.24	GFATM 34.99	UNICEF 11.55	38.48	337.85
2017年	IMF-CTF 287.01	IDA 135.36	EU Institutions 86.14	GFATM 77.45	AfDF 61.64	65.71	713.29
2018年	IMF-CTF 156.30	IDA 137.15	EU Institutions 74.69	GFATM 61.17	AfDF 52.44	87.60	569.36
2019年	IDA 320.70	EU Institutions 96.48	IMF-CTF 74.86	GFATM 72.78	AfDF 32.41	85.02	682.24

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	9.21億円 ・経済社会開発計画(2件)(4.00) ・食糧援助(WFP連携)(2.00) ・南西州における保健センター及び給水所の改修を通じた復興計画(UNDP連携)(2.91) ・草の根・人間の安全保障無償(2件)(0.20) ・草の根文化無償(1件)(0.10)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [10] ガンビア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
241万人	750ドル	0.0%	7.76億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ガンビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	1.30	0.48
2017年度	-	2.48	0.70
2018年度	-	2.49	1.16
2019年度	-	2.56	1.24
2020年度	-	18.41	0.28

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ガンビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	196.83	32.83

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ガンビア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	1.19 (1.19)	0.59	1.78
2017年	-	-	0.41	0.41
2018年	-	2.24	1.22	3.47
2019年	-	3.28 (1.00)	0.96	4.24
2020年	-	2.73 (0.33)	0.39	3.12
累計	-	156.88 (8.36)	29.19	186.07

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ガンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	英国 14.58	日本 2.64	米国 2.33	フランス 0.96	スウェーデン 0.70	2.64	23.31
2016年	英国 14.58	米国 2.42	日本 1.78	スペイン 0.48	スウェーデン 0.44	1.78	21.93
2017年	英国 19.98	米国 18.69	スペイン 3.24	ドイツ 1.36	スウェーデン 0.57	0.41	45.83
2018年	英国 21.52	フランス 5.97	イタリア 4.76	日本 3.47	ドイツ 3.01	3.47	47.31
2019年	英国 22.11	米国 5.59	日本 4.24	フランス 2.95	ドイツ 1.57	4.24	41.57

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ガンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	Isl.Dev Bank 11.95	OPEC Fund 11.21	IMF-CTF 10.88	IDA 10.56	EU Institutions 9.33	30.04	83.94
2016年	IDA 18.69	AfDF 15.69	GFATM 10.18	Isl.Dev Bank 7.04	EU Institutions 6.74	20.74	79.09
2017年	IDA 85.78	EU Institutions 49.91	OPEC Fund 21.34	GFATM 19.90	IMF-CTF 16.17	52.86	245.94
2018年	EU Institutions 50.34	IDA 33.96	AfDF 27.35	GFATM 11.60	OPEC Fund 10.43	30.60	164.28
2019年	EU Institutions 53.84	AfDF 32.87	IDA 15.31	IFAD 7.70	GFATM 7.52	33.05	150.30

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	18.41億円 ・食糧援助(2.50) ・第四次地方飲料水供給計画(15.91)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [11] ギニア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,313万人	1,020ドル	7.0%	41.75億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ギニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	13.30	4.64
2017年度	-	38.53	3.57
2018年度	-	5.69	3.12
2019年度	-	5.63	2.00
2020年度	-	12.29	2.98

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ギニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	160.08	617.30	90.93

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ギニア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	14.57 (11.09)	3.48	18.06
2017年	-	26.65 (7.78)	3.42	30.08
2018年	-	14.75 (6.72)	3.23	17.98
2019年	-	14.30 (3.00)	2.04	16.34
2020年	-	11.67 (1.63)	1.29	12.96
累計	-13.52	695.83 (76.95)	80.64	762.95

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 76.74	フランス 50.05	日本 26.25	カナダ 15.50	ドイツ 12.76	26.25	194.81
2016年	米国 126.09	フランス 51.51	ドイツ 23.25	イタリア 21.41	日本 18.06	18.06	255.92
2017年	米国 75.10	フランス 58.86	日本 30.08	ドイツ 12.18	スペイン 5.69	30.08	194.78
2018年	米国 82.52	フランス 64.95	ドイツ 18.56	日本 17.98	スペイン 16.05	17.98	216.89
2019年	フランス 63.94	米国 62.87	ドイツ 17.82	日本 16.34	スペイン 11.24	16.34	188.85

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IMF-CTF 93.12	EU Institutions 87.01	IDA 75.99	AfDF 34.75	GFATM 24.68	77.75	393.31
2016年	EU Institutions 77.48	IDA 74.23	GFATM 52.24	IMF-CTF 51.04	AfDF 21.38	46.62	322.99
2017年	EU Institutions 82.18	IDA 61.44	AfDF 31.04	GFATM 29.23	IMF-CTF 23.86	55.79	283.53
2018年	IDA 139.11	EU Institutions 105.61	IMF-CTF 48.74	GFATM 28.69	AfDF 23.36	78.64	424.15
2019年	IDA 165.22	EU Institutions 81.49	GFATM 48.19	AfDF 32.07	UNICEF 14.63	48.46	390.06

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	12.29億 円 ・経済社会開発計画(3.00) ・国道三号線スンバ橋架け替え計画(国債2/3)(6.14) ・国立公衆衛生研究所建設計画(詳細設計)(1.43) ・カポロ漁港整備計画【追加贈与】(1.72)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [12] ギニアビサウ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
197万人	760ドル	-2.4%	6.35億ドル	後開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ギニアビサウ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	1.40	0.10
2017年度	-	2.70	0.50
2018年度	-	3.60	0.27
2019年度	-	3.40	0.18
2020年度	-	5.19	0.06

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ギニアビサウ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	181.58	9.81

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ギニアビサウ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	1.19 (1.19)	0.09	1.28
2017年	-	2.41 (2.41)	0.41	2.82
2018年	-	0.18 -	0.23	0.41
2019年	-	4.95 (4.95)	0.19	5.14
2020年	-	5.27 (5.27)	0.05	5.32
累計	-	145.44 (46.61)	9.55	154.99

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ギニアビサウ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ポルトガル 13.85	日本 3.49	米国 3.40	スペイン 1.53	フランス 0.54	3.49	24.96
2016年	イタリア 101.89	ポルトガル 12.97	米国 8.69	ドイツ 2.88	スペイン 1.31	1.28	131.56
2017年	米国 10.69	ポルトガル 10.64	日本 2.82	イタリア 1.37	スペイン 1.13	2.82	29.26
2018年	ポルトガル 12.90	米国 3.46	スペイン 3.12	イタリア 1.98	フランス 1.05	0.41	24.75
2019年	ポルトガル 18.73	日本 5.14	スペイン 1.95	フランス 1.89	イタリア 1.05	5.14	31.16

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ギニアビサウ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 29.02	IDA 9.30	AfDF 9.06	GFATM 8.45	IMF-CTF 3.97	14.13	73.93
2016年	EU Institutions 23.24	GFATM 15.14	IDA 8.90	IMF-CTF 7.11	UNICEF 3.32	11.16	68.86
2017年	EU Institutions 23.64	IDA 17.38	GFATM 13.19	IMF-CTF 8.40	AfDF 8.20	17.03	87.84
2018年	IDA 54.71	EU Institutions 27.38	GFATM 16.49	AfDF 7.56	IFAD 5.16	21.33	132.64
2019年	EU Institutions 28.19	IDA 27.63	GFATM 9.79	AfDF 6.42	UNDP 3.80	15.87	91.68

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	5.19億円 ・食糧援助(WFP連携)(2.50) ・平和維持のための強靱な制度構築計画(UNDP連携)(2.59) ・草の根・人間の安全保障無償(1件)(0.10)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [13] ケニア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
5,377万人	1,760ドル	-0.3%	381.94億ドル	低所得国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ケニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	18.95	44.07
2017年度	225.43	37.29	32.93
2018年度	-	9.72	36.90
2019年度	848.90	65.69	46.18
2020年度	80.00	26.70	21.40

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ケニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	4,910.09	1,412.00	1,359.59

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ケニア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	4.62	33.51 (11.52)	44.97	83.10
2017年	26.60	17.39 (6.28)	36.75	80.73
2018年	79.02	28.55 (5.75)	30.42	137.99
2019年	166.17	19.02 (8.07)	28.71	213.90
2020年	67.99	30.63 (19.68)	40.48	139.10
累計	1,201.83	1,274.38 (280.96)	1,198.32	3,674.52

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ケニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 714.05	英国 238.48	日本 223.55	フランス 102.62	ドイツ 70.67	223.55	1,645.72
2016年	米国 810.60	英国 181.00	日本 164.95	フランス 88.18	ドイツ 86.45	164.95	1,592.29
2017年	米国 861.38	英国 199.25	日本 162.69	ドイツ 125.21	フランス 78.13	162.69	1,702.18
2018年	米国 834.70	日本 224.12	英国 157.17	フランス 115.12	ドイツ 96.95	224.12	1,710.74
2019年	米国 688.52	日本 290.08	英国 172.18	フランス 129.07	ドイツ 91.60	290.08	1,629.20

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ケニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 472.33	AfDF 260.01	EU Institutions 131.39	GFATM 114.62	GAVI 69.28	64.53	1,112.18
2016年	IDA 448.53	AfDF 198.19	EU Institutions 152.97	GFATM 106.39	GAVI 30.58	55.69	992.34
2017年	IDA 576.73	AfDF 199.02	EU Institutions 169.46	GFATM 168.63	GAVI 32.29	85.30	1,231.42
2018年	IDA 762.04	AfDF 189.33	EU Institutions 109.90	GFATM 86.85	GAVI 24.30	67.25	1,239.65
2019年	IDA 1,494.50	GFATM 114.25	EU Institutions 98.51	AfDF 88.51	GAVI 36.26	83.20	1,915.24

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	80.00億円 ・ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成のための保健セクター政策借款(フェーズ2)	26.70億円 ・日本NGO連携無償(3件)(1.73) ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援(4件)(1.63) ・難民キャンプ及び受入コミュニティにおける女性の強靱性強化計画(UN-Women連携)(4.85) ・経済社会開発計画(10.00) ・人材育成奨学計画(国債1/5)(0.50) ・ナクル市及びその周辺並びにモンバサ市周辺配電設備整備計画(国債3/4)(7.50) ・草の根・人間の安全保障無償(5件)(0.49)	・橋梁維持管理能力強化プロジェクト[20.10~25.10] ・IoT技術を活用したオルカリア地熱発電所の運営維持管理能力強化プロジェクト[20.08~23.08] ・アフリカ型イノベーション振興・JKUAT/PAU/AUネットワークプロジェクト(フェーズ2)[20.06~25.06] ・小規模農民組織強化・アグリビジネス振興プロジェクト[20.12~25.12] ・企業競争力強化プロジェクト[21.01~25.01]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [14] コートジボワール

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,638万人	2,280ドル	1.8%	250.73億ドル	低中所得国	ii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コートジボワール援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	108.69	30.71	11.76
2017年度	-	29.13	17.94
2018年度	161.37	30.61	20.14
2019年度	-	7.84	6.75
2020年度	-	32.86	5.90

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コートジボワール援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	392.06	651.34	214.65

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コートジボワール援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	9.62 (1.00)	12.93	22.55
2017年	-	22.44 (1.05)	15.98	38.43
2018年	-	11.90 (3.48)	12.74	24.64
2019年	14.22	25.55 (2.21)	13.08	52.85
2020年	34.33	25.21 (7.01)	5.97	65.51
累計	4.24	782.66 (86.92)	205.42	992.32

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コートジボワール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	フランス 278.71	米国 69.48	日本 22.03	ドイツ 15.85	カナダ 3.59	22.03	401.31
2016年	フランス 295.47	米国 146.11	日本 22.55	ドイツ 14.44	韓国 6.02	22.55	496.51
2017年	フランス 297.08	米国 156.71	スペイン 120.13	ドイツ 58.20	日本 38.43	38.43	688.70
2018年	フランス 384.99	米国 184.89	日本 24.64	カナダ 15.76	ドイツ 15.61	24.64	648.72
2019年	フランス 421.30	ドイツ 123.30	米国 76.33	日本 52.85	韓国 10.27	52.85	710.02

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コートジボワール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 248.31	IMF-CTF 136.50	EU Institutions 68.61	GFATM 34.18	AfDF 24.82	73.38	585.77
2016年	IDA 181.36	EU Institutions 109.86	GFATM 89.44	IMF-CTF 32.29	AfDF 25.85	44.38	483.19
2017年	IDA 230.98	EU Institutions 102.31	AfDF 96.81	IMF-CTF 89.46	GFATM 68.38	80.37	668.32
2018年	IDA 241.74	EU Institutions 103.46	IMF-CTF 91.35	GFATM 53.53	AfDF 29.69	74.18	593.96
2019年	IDA 241.23	EU Institutions 102.04	GFATM 81.44	IMF-CTF 45.76	AfDF 41.92	66.28	578.70

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	32.86億円 ・選挙支援計画(UNDP連携)(2.06) ・経済社会開発計画(4.00) ・大アビジャン圏母子保健サービス改善のためのココディ大学病院整備計画(国債2/3)(19.13) ・第二次日本・コートジボワール友好交差点改善計画(国債3/5)(7.32) ・草の根・人間の安全保障無償(4件)(0.35)	・国産米振興プロジェクトフェーズ2 [21.02~26.02]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [15] コモロ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
87万人	1,450ドル	4.9%	3.01億ドル	後発開発途上国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コモロ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	2.00	0.28
2017年度	-	0.08	0.39
2018年度	-	8.55	0.42
2019年度	-	5.17	0.22
2020年度	-	3.00	0.08

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コモロ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	97.72	14.29

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コモロ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	0.07	0.22	0.29
2017年	-	1.78	0.33	2.12
2018年	-	4.57 (1.67)	0.42	4.99
2019年	-	3.36	0.21	3.57
2020年	-	5.59 (0.81)	0.11	5.70
累計	-	75.78 (2.48)	12.78	88.56

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コモロ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		うち日本	合計
2015年	フランス	20.79	日本	4.36	米国	1.06	ニュージーランド	0.95	韓国	0.17	4.36	27.70
2016年	フランス	20.39	米国	1.03	日本	0.29	ベルギー	0.13	-	-	0.29	22.02
	-	-	-	-	-	-	韓国	0.13	-	-	-	-
2017年	フランス	21.42	日本	2.12	米国	1.43	オーストラリア	0.23	カナダ	0.16	2.12	25.60
2018年	フランス	19.81	日本	4.99	米国	1.26	韓国	0.21	カナダ	0.19	4.99	26.83
2019年	フランス	21.29	日本	3.57	米国	1.62	カナダ	0.27	英国	0.16	3.57	27.14

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コモロ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		その他	合計
2015年	EU Institutions	10.97	AfDF	10.20	IDA	8.31	GEF	2.71	UNICEF	1.36	6.89	40.43
2016年	EU Institutions	8.69	IDA	5.91	GFATM	5.16	GEF	3.14	AfDF	2.91	8.08	33.88
2017年	IDA	16.79	EU Institutions	9.03	GEF	4.30	AfDF	2.63	UNDP	2.10	8.03	42.88
2018年	EU Institutions	12.00	IDA	9.46	AfDF	7.86	GFATM	4.86	GEF	4.22	9.31	47.71
2019年	AfDF	12.27	IDA	5.94	GEF	5.49	EU Institutions	5.04	GFATM	3.07	10.99	42.79

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	3.00億円 ・食糧援助(2.00) ・経済社会開発計画(1.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [16] コンゴ共和国

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
552万人	1,830ドル	-7.9%	51.49億ドル	低中所得国	ii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コンゴ共和国援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	3.20	1.11
2017年度	-	0.10	1.20
2018年度	-	2.10	0.70
2019年度	-	2.09	0.88
2020年度	-	4.60	0.07

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コンゴ共和国援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	71.27	13.24

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コンゴ共和国援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	2.83 (2.50)	0.99	3.82
2017年	-	2.72 (0.93)	0.46	3.17
2018年	-	1.90 (1.81)	0.88	2.78
2019年	-	2.24 (2.15)	0.90	3.14
2020年	-	3.87 (1.92)	0.35	4.22
累計	-	62.41 (49.14)	15.09	77.50

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コンゴ共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	フランス 54.75	米国 2.54	アイルランド 1.92	日本 0.94	イタリア 0.88	0.94	62.99
2016年	フランス 44.16	米国 4.23	日本 3.82	ベルギー 1.21	イタリア 0.65	3.82	55.74
2017年	フランス 55.71	日本 3.17	米国 2.43	英国 2.38	スペイン 1.00	3.17	67.50
2018年	フランス 57.68	米国 9.77	日本 2.78	英国 2.39	スペイン 0.71	2.78	75.83
2019年	フランス 85.00	米国 10.87	英国 7.06	日本 3.14	デンマーク 2.25	3.14	111.26

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コンゴ共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 21.94	IDA 12.10	AfDF 4.17	UNHCR 3.93	OPEC Fund 3.92	20.71	66.76
2016年	EU Institutions 16.47	IDA 13.19	AfDF 8.95	GFATM 4.59	GAVI 4.35	16.06	63.60
2017年	IDA 20.69	EU Institutions 13.94	GFATM 10.14	AfDF 7.97	UNHCR 6.76	15.40	74.92
2018年	IDA 29.55	EU Institutions 22.94	GFATM 7.03	UNHCR 5.57	CERF 3.98	12.28	81.35
2019年	IDA 34.38	EU Institutions 17.42	GFATM 15.42	AfDF 6.68	UNPBF 4.09	21.11	99.11

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	4.60億円 ・経済社会開発計画(1.50) ・食糧援助(3.00) ・草の根・人間の安全保障無償 (1件)(0.10)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [17] コンゴ民主共和国

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
8,956万人	550ドル	0.8%	61.37億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コンゴ民主共和国援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	7.25	14.85
2017年度	-	33.24	11.32
2018年度	-	29.06	6.82
2019年度	-	18.24	12.10
2020年度	-	8.66	6.28

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コンゴ民主共和国援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	355.96	787.52	202.44

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コンゴ民主共和国援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	29.23 (17.59)	12.20	41.43
2017年	-	28.74 (9.20)	11.90	40.63
2018年	-	34.03 (7.38)	9.23	43.27
2019年	-	20.64 (7.65)	6.66	27.29
2020年	-	38.97 (18.18)	6.72	45.69
累計	-479.62	2,049.83 (344.01)	193.76	1,763.97

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コンゴ民主共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 769.69	英国 218.57	ベルギー 89.45	ドイツ 87.03	フランス 63.81	43.83	1,450.02
2016年	米国 340.63	英国 174.90	ベルギー 103.10	ドイツ 85.27	フランス 62.94	41.43	1,008.61
2017年	米国 445.66	英国 214.32	ドイツ 141.15	ベルギー 113.86	スウェーデン 67.25	40.63	1,226.36
2018年	米国 476.12	英国 271.72	ドイツ 142.66	ベルギー 128.28	スウェーデン 79.40	43.27	1,376.81
2019年	米国 647.87	英国 236.35	ドイツ 201.99	ベルギー 100.91	スウェーデン 76.51	27.29	1,519.94

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コンゴ民主共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 364.64	EU Institutions 206.02	GFATM 190.61	GAVI 154.42	AfDB 109.74	239.62	1,265.06
2016年	IDA 350.71	EU Institutions 213.92	GFATM 207.38	AfDB 146.44	AfDF 117.97	200.15	1,236.69
2017年	IDA 340.74	GFATM 225.59	EU Institutions 182.72	AfDF 109.12	AfDB 95.05	279.77	1,232.99
2018年	IDA 483.86	EU Institutions 217.93	GFATM 145.34	AfDF 94.48	AfDB 76.70	271.30	1,290.28
2019年	IDA 465.07	EU Institutions 213.23	GFATM 199.01	GAVI 163.96	AfDF 92.24	328.21	1,461.73

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	8.66億円 ・食糧援助(3.00) ・経済社会開発計画(5.00) ・草の根・人間の安全保障無償 (5件)(0.66)	市民と平和のための警察研修実施能力強化プロジェクトフェーズ2[21.03～25.04]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [18] サントメ・プリンシペ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
21.9万人	2,070ドル	3.1%	2.91億ドル	後発開発途上国	ii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対サントメ・プリンシペ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	2.59	0.13
2017年度	-	0.24	0.27
2018年度	-	4.86	0.27
2019年度	-	3.21	0.18
2020年度	-	4.19	0.01

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対サントメ・プリンシペ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	81.17	8.56

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対サントメ・プリンシペ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	2.25	0.13	2.37
2017年	-	2.31	0.23	2.54
2018年	-	2.63	0.23	2.86
2019年	-	1.93	0.17	2.10
2020年	-	3.00	0.04	3.04
累計	-	68.58 (1.10)	8.23	76.82

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対サントメ・プリンシペ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		うち日本	合計
2015年	ポルトガル	25.16	日本	1.53	米国	0.71	フランス	0.62	イタリア	0.29	1.53	28.47
2016年	ポルトガル	15.53	日本	2.37	フランス	0.47	英国	0.08	米国	0.07	2.37	18.58
2017年	ポルトガル	12.23	日本	2.54	フランス	0.55	カナダ	0.18	英国	0.13	2.54	15.72
2018年	ポルトガル	15.48	日本	2.86	フランス	0.59	英国	0.20	カナダ	0.19	2.86	19.41
2019年	ポルトガル	14.51	日本	2.10	フランス	0.33	カナダ	0.31	英国	0.07	2.10	17.44
	-	-	-	-	-	-	-	-	米国	0.07	-	-

表-4 国際機関の対サントメ・プリンシペ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		その他	合計
2015年	EU Institutions	6.01	GEF	3.59	BADEA	2.52	AfDF	2.38	GFATM	2.33	8.02	24.87
2016年	EU Institutions	6.08	IDA	5.86	GFATM	3.32	GEF	3.30	AfDF	3.24	9.15	30.96
2017年	EU Institutions	7.71	AfDF	4.03	GFATM	3.76	OPEC Fund	2.11	GEF	1.86	9.94	29.40
2018年	IDA	10.67	AfDF	7.80	EU Institutions	4.49	GFATM	2.78	GEF	2.06	7.63	35.42
2019年	IDA	17.04	AfDF	5.52	EU Institutions	4.89	GFATM	1.47	UNICEF	1.23	5.93	36.11

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	4.19億円 ・食糧援助(2.50) ・経済社会開発計画(1.50) ・草の根・人間の安全保障無償 (2件)(0.19)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [19] ザンビア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,838万人	1,190ドル	-3.0%	300.46億ドル	後発開発途上国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ザンビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	7.57	18.43
2017年度	-	41.18	18.69
2018年度	-	6.54	17.81
2019年度	-	4.57	12.68
2020年度	-	29.97	11.01

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ザンビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	464.75	1,203.80	678.45

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ザンビア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	1.78	21.14 (2.00)	16.03	38.94
2017年	1.22	5.77 (1.29)	18.36	25.35
2018年	4.63	14.37 (1.00)	15.42	34.43
2019年	6.90	24.50 (1.80)	13.68	45.08
2020年	2.98	7.18 (1.00)	10.00	20.16
累計	-265.94	1,780.32 (28.53)	605.75	2,120.13

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ザンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 267.93	英国 81.43	スウェーデン 51.22	ドイツ 31.99	フランス 29.15	24.34	571.74
2016年	米国 368.45	英国 78.06	スウェーデン 44.44	フランス 41.91	日本 38.95	38.95	646.50
2017年	米国 496.99	英国 68.33	スウェーデン 58.08	ドイツ 32.85	日本 25.35	25.35	744.56
2018年	米国 482.76	スウェーデン 58.73	英国 41.84	ドイツ 39.61	日本 34.43	34.43	695.99
2019年	米国 324.83	英国 65.40	スウェーデン 57.05	日本 46.74	ドイツ 33.52	46.74	566.65

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ザンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 76.80	IDA 66.91	AfDF 61.77	GFATM 38.29	GAVI 17.79	49.66	311.22
2016年	EU Institutions 126.89	IDA 93.53	GFATM 86.45	AfDF 34.25	GAVI 18.72	42.84	402.69
2017年	GFATM 127.44	IDA 94.38	EU Institutions 54.20	AfDF 24.06	IFAD 15.16	64.89	380.12
2018年	IDA 141.34	GFATM 98.46	EU Institutions 49.32	AfDF 19.35	GAVI 18.26	72.63	399.34
2019年	IDA 121.15	EU Institutions 97.72	GFATM 91.49	AfDF 35.72	GAVI 23.39	53.38	422.85

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	29.97億円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済社会開発計画(2.00)</li> <li>・コッパールベルト州における保健センターの郡病院への改善計画(26.54)</li> <li>・草の根・人間の安全保障無償(2件)(0.21)</li> <li>・日本NGO連帯無償(3件)(1.12)</li> </ul>	南北回廊における円滑なOSBP運営管理能力強化プロジェクト[20.12.~25.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [20] シエラレオネ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
798万人	490ドル	-2.2%	21.14億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対シエラレオネ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	3.59	6.42
2017年度	-	1.98	4.77
2018年度	-	2.17	5.37
2019年度	-	6.91	6.38
2020年度	-	38.20	1.75

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対シエラレオネ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	20.00	283.73	91.05

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対シエラレオネ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	7.75 (7.41)	5.65	13.39
2017年	-	5.07 (4.90)	5.58	10.65
2018年	-	6.02 (1.51)	3.18	9.20
2019年	-	11.69 (9.62)	6.94	18.63
2020年	-	9.10 (5.26)	2.90	12.00
累計	-36.97	378.84 (75.99)	87.77	429.63

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対シエラレオネ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	英国 340.03	米国 112.79	日本 29.18	ドイツ 25.28	カナダ 13.09	29.18	564.58
2016年	英国 227.16	米国 128.59	ドイツ 18.04	日本 13.39	アイルランド 11.91	13.39	421.52
2017年	英国 152.57	米国 83.07	ドイツ 17.22	アイルランド 13.80	日本 10.65	10.65	292.14
2018年	英国 128.38	米国 60.76	ドイツ 25.54	アイルランド 14.38	韓国 12.12	9.20	261.26
2019年	英国 98.72	米国 58.70	ドイツ 23.55	日本 18.63	韓国 17.90	18.63	255.69

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対シエラレオネ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IMF-CTF 160.64	IDA 79.94	EU Institutions 74.18	AfDF 44.18	IFAD 12.90	70.49	442.32
2016年	EU Institutions 87.33	IMF-CTF 67.94	GFATM 27.51	IDA 27.13	AfDF 18.39	59.65	287.95
2017年	IDA 67.90	IMF-CTF 54.30	EU Institutions 51.44	GFATM 41.94	AfDF 12.45	49.99	278.03
2018年	EU Institutions 74.19	GFATM 40.91	IDA 30.93	IMF-CTF 22.02	OPEC Fund 15.19	53.95	237.20
2019年	IDA 132.01	EU Institutions 72.89	AfDF 38.25	GFATM 30.80	UNICEF 10.61	41.46	326.04

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	38.20億円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・食糧援助(WFP連携)(2.50)</li> <li>・地方再生可能エネルギー効果向上計画(UNOPS連携)(3.76)</li> <li>・自動車整備技能訓練を通じた若者雇用促進計画(UNIDO連携)(4.05)</li> <li>・経済社会開発計画(4.00)</li> <li>・フリータウンにおける子ども病院強化計画(23.83)</li> <li>・草の根・人間の安全保障無償(1件)(0.06)</li> </ul>	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [21] ジブチ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
99万人	3,320ドル	0.5%	26.79億ドル	後発開発途上国	ii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ジブチ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	1.80	4.30
2017年度	-	4.84	3.69
2018年度	-	41.79	3.87
2019年度	-	3.65	7.12
2020年度	-	48.84	3.18

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ジブチ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	411.61	75.99

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ジブチ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	5.56 (5.39)	3.56	9.13
2017年	-	13.24 (1.10)	3.68	16.92
2018年	-	6.72 (1.50)	2.66	9.38
2019年	-	37.81 (1.77)	6.53	44.33
2020年	-	9.58 (1.94)	4.34	13.92
累計	-	377.51 (47.82)	72.74	450.25

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ジブチ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	フランス 57.46	日本 17.84	米国 5.66	イタリア 4.26	ドイツ 1.43	17.84	88.91
2016年	フランス 49.79	日本 9.13	米国 6.75	スウェーデン 1.47	ドイツ 1.14	9.13	70.28
2017年	フランス 44.11	日本 16.92	米国 11.62	カナダ 1.44	スウェーデン 0.93	16.92	76.21
2018年	フランス 47.88	米国 9.62	日本 9.38	スウェーデン 1.37	カナダ 1.24	9.38	70.63
2019年	日本 44.33	フランス 43.21	米国 24.88	カナダ 1.18	イタリア 0.92	44.33	117.18

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ジブチ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	AFESD 26.60	EU Institutions 11.50	IDA 8.84	Isl.Dev Bank 6.30	AfDF 5.35	14.34	72.92
2016年	AFESD 25.00	EU Institutions 13.17	GFATM 9.01	IDA 8.41	GEF 3.86	15.40	74.84
2017年	EU Institutions 14.69	IDA 14.28	AFESD 11.83	GFATM 5.31	AfDF 4.37	13.46	63.95
2018年	EU Institutions 32.48	AFESD 24.89	IDA 17.28	OPEC Fund 12.09	GFATM 2.67	15.73	105.17
2019年	EU Institutions 37.63	IMF-CTF 27.63	AfDF 18.65	IDA 17.69	AFESD 11.27	29.53	142.41

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	48.84億円 ・経済社会開発計画(5.00) ・タジュラ湾海上輸送能力強化計画 (国債2/3)(21.86) ・バルバラ地区ナシップにおける小中学校 建設計画(20.92) ・草の根・人間の安全保障無償(1件) (0.10) ・日本NGO連携無償(1件)(0.97)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [22] ジンバブエ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,486万人	1,090ドル	-8.0%	127.41億ドル	低所得国	ii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ジンバブエ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	4.16	6.17
2017年度	-	2.97	5.35
2018年度	-	29.63	2.37
2019年度	-	8.89	2.43
2020年度	-	5.89	1.67

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ジンバブエ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	380.65	608.41	201.08

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ジンバブエ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	9.27 (2.76)	5.79	15.05
2017年	-	9.83 (2.46)	5.00	14.84
2018年	-	10.10 (1.09)	2.57	12.68
2019年	-	21.97 (4.97)	1.72	23.69
2020年	-	30.80 (16.21)	1.89	32.69
累計	143.79	557.13 (111.25)	184.29	885.21

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ジンバブエ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 155.85	英国 142.36	スウェーデン 32.21	ドイツ 28.32	デンマーク 26.79	6.68	450.62
2016年	米国 216.53	英国 134.63	ドイツ 36.94	スウェーデン 30.05	日本 15.05	15.05	491.06
2017年	米国 228.31	英国 120.57	スウェーデン 37.62	ドイツ 30.25	日本 14.84	14.84	475.38
2018年	米国 203.14	英国 125.25	ドイツ 45.31	スウェーデン 42.79	日本 12.68	12.68	471.23
2019年	米国 258.04	英国 126.84	スウェーデン 48.74	ドイツ 27.27	日本 23.69	23.69	526.27

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ジンバブエ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	GFATM 220.72	EU Institutions 80.27	GAVI 24.76	UNICEF 8.40	AfDF 6.20	24.08	364.44
2016年	GFATM 144.51	EU Institutions 50.82	WFP 15.57	GAVI 9.53	AfDF 9.33	30.00	259.77
2017年	GFATM 127.06	EU Institutions 61.88	GAVI 16.11	AfDF 13.01	UNICEF 8.82	25.85	252.74
2018年	GFATM 200.92	EU Institutions 65.39	GAVI 11.85	AfDF 11.59	OPEC Fund 8.54	31.61	329.88
2019年	GFATM 141.55	EU Institutions 53.00	GAVI 30.88	IDA 30.76	AfDF 20.94	51.90	329.03

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	5.89億円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済社会開発計画(4.00)</li> <li>・草の根・人間の安全保障無償(7件) (1.28)</li> <li>・日本NGO連携無償(1件)(0.61)</li> </ul>	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [23] スーダン

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,385万人	650ドル	-1.6%	229.54億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対スーダン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	7.44	14.50
2017年度	-	20.27	15.27
2018年度	-	17.61	11.74
2019年度	-	1.53	9.82
2020年度	-	33.00	6.84

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対スーダン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	105.00	1,334.92	265.14

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対スーダン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	22.28 (9.30)	14.54	36.82
2017年	-	11.34 (4.59)	12.34	23.68
2018年	-	14.88 (6.77)	14.77	29.65
2019年	-	20.14 (10.10)	7.99	28.13
2020年	-	11.22 (10.63)	5.63	16.86
累計	17.02	1,228.86 (573.50)	254.76	1,500.64

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対スーダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 274.09	英国 83.61	日本 40.82	スウェーデン 23.03	ノルウェー 17.23	40.82	530.19
2016年	米国 228.62	英国 92.06	日本 36.82	ドイツ 32.00	スウェーデン 23.94	36.82	503.28
2017年	米国 118.26	英国 81.15	ドイツ 46.86	スウェーデン 26.19	日本 23.68	23.68	378.00
2018年	米国 229.49	英国 119.97	ドイツ 60.77	スウェーデン 38.48	日本 29.65	29.65	564.95
2019年	米国 276.07	英国 118.98	ドイツ 77.14	スウェーデン 42.65	日本 28.13	28.13	639.05

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対スーダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	AFESD 97.95	EU Institutions 64.36	GFATM 57.31	GAVI 44.03	UNICEF 15.54	39.32	318.52
2016年	EU Institutions 94.75	GFATM 82.25	AFESD 44.78	GAVI 34.24	IFAD 14.42	26.82	311.68
	-	-	-	-	UNICEF 14.42	-	-
2017年	EU Institutions 112.77	AFESD 57.03	CERF 29.63	GAVI 28.42	GFATM 24.25	63.12	315.23
2018年	EU Institutions 166.65	GAVI 50.01	GFATM 46.57	CERF 20.00	AfDF 12.53	38.40	334.17
2019年	EU Institutions 55.90	GFATM 53.03	GAVI 49.02	AFESD 45.16	CERF 43.37	63.47	309.93

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	33.00億円 ・経済社会開発計画(3.00) ・上水道施設運営維持管理改善計画(10.04) ・きれいな街のための廃棄物管理機材改善計画(12.41) ・コステイ市浄水場施設改善計画【追加贈与】(2.41) ・草の根・人間の安全保障無償(2件)(0.30) ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援(2件)(0.79) ・日本NGO連携無償(1件)(0.42) ・スーダンに流入したエチオピアからの難民に対する緊急無償資金協力(WFP連携)(0.88) ・同上案件(UNHCR連携)(2.75)	・ユニバーサルヘルズカバレッジ達成のための国民健康保険人材開発プロジェクト[21.03~24.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [24] セーシェル

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
9.8万人	12,720ドル	-10.7%	-	2018年卒業	iv / 高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セーシェル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.09	0.44
2017年度	-	0.09	0.14
2018年度	-	-	0.10
2019年度	-	8.00	0.06
2020年度	-	1.00	0.08

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セーシェル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	64.29	19.60

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セーシェル援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	0.07	0.91	0.98
2017年	-	5.35	0.13	5.49
2018年	-	7.12 (0.20)	0.10	7.22
2019年	-	0.01	0.08	0.09
2020年	-	8.43	0.06	8.49
累計	-	46.66	23.29	69.95

1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セーシェル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		うち日本	合計
2015年	フランス	2.07	日本	0.84	オーストラリア	0.74	英国	0.49	ニュージーランド	0.06	0.84	4.26
2016年	フランス	2.85	日本	0.98	オーストラリア	0.27	英国	0.17	ベルギー	0.16	0.98	4.57
2017年	日本	5.49	フランス	2.30	オーストラリア	1.28	英国	0.44	カナダ	0.16	5.49	9.71
2018年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セーシェル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		その他	合計
2015年	GEF	2.31	EU Institutions	0.99	AfDB	0.71	WHO	0.65	IAEA	0.26	0.35	5.28
2016年	EU Institutions	7.47	AfDB	1.56	GEF	1.17	Adaptation Fund	1.14	WHO	0.67	0.43	12.44
2017年	EU Institutions	4.43	AfDB	0.59	WHO	0.50	IAEA	0.26	ILO	0.22	0.08	6.08
2018年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	1.00億円 ・経済社会開発計画(1.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [25] 赤道ギニア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
140万人	5,810ドル	-4.9%	-	高中所得国	iii / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対赤道ギニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	-	0.09
2017年度	-	-	0.17
2018年度	-	-	0.18
2019年度	-	0.10	0.12
2020年度	-	0.10	0.04

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対赤道ギニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	11.90	3.85

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対赤道ギニア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	-	0.06	0.06
2017年	-	-	0.15	0.15
2018年	-	-	0.17	0.17
2019年	-	-	0.11	0.11
2020年	-	-	0.08	0.08
累計	-	8.26	4.03	12.29

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対赤道ギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	フランス 3.37	スペイン 2.17	米国 0.19	イタリア 0.13	カナダ 0.10	0.02	6.14
2016年	フランス 3.07	スペイン 2.18	米国 2.13	韓国 0.18	ポルトガル 0.09	0.06	7.85
2017年	フランス 3.22	米国 2.22	スペイン 1.51	カナダ 0.18	日本 0.15	0.15	7.38
2018年	フランス 2.02	スペイン 2.01	米国 1.22	カナダ 0.19	日本 0.17	0.17	5.79
2019年	フランス 2.00	スペイン 1.95	米国 0.48	カナダ 0.31	韓国 0.13	0.11	5.12

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対赤道ギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	WHO 1.11	UNICEF 1.07	UNFPA 0.97	GEF 0.92	UNDP 0.51	0.23	4.81
2016年	UNICEF 1.20	GEF 0.70	UNFPA 0.54	WHO 0.52	UNDP 0.34	0.48	3.78
2017年	UNICEF 1.17	WHO 0.69	ILO 0.65	UNFPA 0.51	GEF 0.45	0.88	4.36
2018年	UNICEF 0.98	GCF 0.70	GEF 0.67	EU Institutions 0.53	-	0.79	4.72
	-	-	-	UNFPA 0.53	-	-	-
2019年	-	-	-	WHO 0.53	-	-	-
	IMF-CTF 69.55	UNFPA 1.71	-	WHO 1.42	GEF 0.67	1.93	76.98
	-	UNICEF 1.71	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	0.10億円 ・草の根 人間の安全保障無償 (1件)(0.10)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [26] セネガル

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,674万人	1,430ドル	0.9%	172.39億ドル	後発開発途上国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セネガル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	359.03	9.14	24.17
2017年度	-	60.39	18.35
2018年度	-	14.94	21.69
2019年度	-	21.38	17.28
2020年度	71.69	7.98	13.14

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セネガル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	585.92	1,244.17	561.53

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セネガル援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-0.28	4.71 (0.09)	23.33	27.76
2017年	74.89	7.43 (0.09)	22.47	104.79
2018年	2.66	4.56 (0.50)	18.21	25.43
2019年	1.19	11.18 -	16.13	28.50
2020年	2.86	25.40 (2.85)	11.74	40.00
累計	65.05	1,091.35 (22.16)	521.81	1,678.21

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セネガル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 268.66	フランス 130.24	カナダ 57.81	日本 37.62	ルクセンブルク 20.25	37.62	599.69
2016年	米国 125.13	フランス 107.22	カナダ 48.26	韓国 36.57	日本 28.04	28.04	438.83
2017年	米国 159.63	フランス 148.70	日本 105.06	カナダ 42.05	韓国 23.31	105.06	577.49
2018年	フランス 246.77	米国 181.45	カナダ 72.00	ドイツ 47.30	日本 25.71	25.71	671.26
2019年	フランス 290.12	米国 177.07	ドイツ 43.53	韓国 36.45	カナダ 29.43	28.78	692.42

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セネガル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 172.84	EU Institutions 56.22	AfDF 36.14	GFATM 29.74	UNHCR 12.55	53.12	360.61
2016年	IDA 137.10	EU Institutions 79.85	AfDF 78.17	GFATM 23.72	GAVI 13.75	40.90	373.49
2017年	IDA 241.47	EU Institutions 51.68	OPEC Fund 43.53	AfDF 27.29	GFATM 20.51	62.09	446.56
2018年	IDA 142.35	EU Institutions 123.34	AfDF 31.63	GFATM 26.04	GAVI 20.62	60.35	404.32
2019年	IDA 626.29	EU Institutions 90.76	AfDF 28.15	GFATM 24.47	GAVI 19.05	55.07	843.77

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	71.69億円 ・セネガル川流域灌漑稲作計画	7.98億円 ・食糧援助(2.50) ・経済社会開発計画(5.00) ・日本NGO連帯無償(1件)(0.48)	・初等教育算数能力向上プロジェクト フェーズ2[20.11~25.11]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [27] ソマリア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,589万人	310ドル	-1.5%	46.60億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ソマリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.10	0.72
2017年度	-	-	0.39
2018年度	-	0.10	0.99
2019年度	-	7.00	3.02
2020年度	-	4.40	0.39

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ソマリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	64.70	213.49	14.93

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ソマリア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	20.90 (20.80)	0.65	21.55
2017年	-	21.17 (21.08)	0.32	21.49
2018年	-	9.30 (9.30)	0.87	10.17
2019年	-	13.19 (13.10)	1.18	14.38
2020年	-	15.89 (10.95)	1.89	17.77
累計	38.70	463.33 (378.54)	10.96	512.99

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ソマリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 207.20	英国 186.14	スウェーデン 61.17	ノルウェー 42.72	ドイツ 29.15	26.46	662.17
2016年	米国 214.58	英国 205.25	ドイツ 82.77	スウェーデン 66.46	ノルウェー 40.52	21.55	764.32
2017年	英国 363.44	米国 332.40	ドイツ 222.86	スウェーデン 85.00	ノルウェー 66.11	21.49	1,258.04
2018年	米国 383.85	英国 258.48	ドイツ 190.39	スウェーデン 107.26	ノルウェー 66.79	10.17	1,147.26
2019年	米国 470.82	英国 227.76	ドイツ 157.98	スウェーデン 88.93	ノルウェー 64.41	14.38	1,228.30

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ソマリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 173.20	GFATM 27.32	UNICEF 15.97	WFP 15.68	UNDP 8.96	19.93	261.08
2016年	EU Institutions 158.63	GFATM 24.08	UNICEF 18.42	WFP 18.01	UNDP 8.48	17.75	245.35
2017年	EU Institutions 260.83	GFATM 37.16	CERF 32.99	UNICEF 19.50	WFP 12.18	50.01	412.70
2018年	EU Institutions 266.71	GFATM 23.65	UNICEF 21.04	CERF 17.27	UNDP 12.07	35.49	376.22
2019年	EU Institutions 165.44	CERF 49.87	IDA 29.87	AfDF 24.78	GAVI 23.67	86.87	380.50

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	4.40億円 ・ソマリア警察の爆発物処理能力強化を通じた安全促進計画(UN連携/UNMAS実施)(4.40)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [28] タンザニア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
5,973万人	1,080ドル	2.0%	255.38億ドル	後発開発途上国	ii / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対タンザニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	28.70	33.94
2017年度	-	3.67	22.72
2018年度	-	10.48	24.88
2019年度	-	22.47	21.67
2020年度	-	12.63	12.24

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対タンザニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	800.84	1,849.33	972.68

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対タンザニア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	111.07	46.33 (4.30)	35.26	192.65
2017年	31.70	20.68 -	21.83	74.21
2018年	32.42	20.95 (0.50)	22.07	75.44
2019年	19.82	15.07 (0.86)	20.03	54.92
2020年	11.15	27.94 (6.38)	12.72	51.82
累計	346.90	2,972.12 (46.08)	867.14	4,186.16

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対タンザニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 453.43	英国 313.03	スウェーデン 109.24	日本 94.84	ドイツ 93.15	94.84	1,459.18
2016年	米国 501.00	英国 251.98	日本 192.65	スウェーデン 94.29	韓国 64.28	192.65	1,465.98
2017年	米国 600.80	英国 214.79	スウェーデン 137.59	カナダ 90.30	日本 77.09	77.09	1,440.82
2018年	米国 661.56	英国 204.81	スウェーデン 127.11	日本 78.67	韓国 73.27	78.67	1,516.73
2019年	米国 477.44	英国 175.12	カナダ 79.74	スウェーデン 70.78	日本 59.09	59.09	1,173.30

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対タンザニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 602.31	AfDF 217.07	GFATM 156.52	EU Institutions 127.93	GAVI 43.58	95.03	1,242.45
2016年	IDA 429.72	GFATM 224.84	AfDF 119.48	EU Institutions 101.01	GAVI 34.18	67.98	977.21
2017年	IDA 543.17	GFATM 247.06	AfDF 231.78	EU Institutions 134.11	GAVI 48.23	106.43	1,310.79
2018年	IDA 567.45	EU Institutions 165.15	AfDF 151.78	GFATM 99.76	GAVI 49.84	90.88	1,124.87
2019年	IDA 553.52	GFATM 180.62	AfDF 124.83	EU Institutions 93.83	GAVI 60.76	79.35	1,092.91

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	12.63億円 ・第二次ニューバガモヨ道路拡幅計画(国債4/4)(7.81) ・ザンジバル・マリンディ港魚市場改修計画【追加贈与】(3.50) ・草の根・人間の安全保障無償(3件)(0.33) ・日本NGO連携無償(1件)(0.99)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [29] チャド

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,643万人	660ドル	-0.9%	36.54億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対チャド援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	5.50	0.21
2017年度	-	3.00	0.27
2018年度	-	3.00	0.24
2019年度	-	6.00	0.26
2020年度	-	3.00	0.08

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対チャド援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	78.00	10.36

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対チャド援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	4.89 (4.89)	0.19	5.08
2017年	-	10.99 (5.19)	0.23	11.21
2018年	-	5.37 (5.37)	0.22	5.58
2019年	-	5.55 (5.55)	0.21	5.76
2020年	-	7.45 (4.64)	0.10	7.55
累計	-	160.52 (151.34)	11.15	171.67

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対チャド経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	フランス 81.41	米国 79.08	スイス 26.82	ドイツ 15.14	日本 11.53	11.53	232.19
2016年	米国 75.78	フランス 35.38	スイス 26.24	ドイツ 18.72	スウェーデン 7.05	5.08	180.81
2017年	フランス 95.57	米国 35.22	スイス 26.57	ドイツ 26.55	イタリア 12.75	11.21	231.87
2018年	フランス 102.98	米国 93.53	ドイツ 39.26	スイス 31.37	カナダ 14.64	5.58	311.66
2019年	フランス 102.95	米国 65.56	ドイツ 41.06	スイス 27.89	カナダ 10.86	5.76	278.62

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対チャド経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 604.16	EU Institutions 172.56	IMF-CTF 68.70	AfDF 32.92	UNICEF 19.50	43.44	941.29
2016年	EU Institutions 149.69	IDA 91.40	IMF-CTF 61.73	AfDF 57.28	GFATM 42.41	54.64	457.15
2017年	EU Institutions 131.46	IDA 87.98	AfDF 79.23	IMF-CTF 48.60	GFATM 27.44	63.97	438.67
2018年	EU Institutions 169.41	IMF-CTF 148.87	IDA 125.01	GFATM 31.01	AfDF 28.39	73.62	576.33
2019年	EU Institutions 90.95	IMF-CTF 76.27	IDA 69.66	GFATM 51.84	UNICEF 19.80	85.87	394.38

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	3.00億円 ・食糧援助(WFP連携)(3.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [30] 中央アフリカ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
483万人	510ドル	0.0%	9.76億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対中央アフリカ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	1.80	-
2017年度	-	3.50	0.04
2018年度	-	5.93	0.08
2019年度	-	3.50	0.11
2020年度	-	5.48	0.03

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対中央アフリカ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	6.00	404.93	28.27

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対中央アフリカ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	15.70 (15.70)	-	15.70
2017年	-	10.86 (10.86)	0.03	10.90
2018年	-	6.37 (6.37)	0.07	6.44
2019年	-	5.71 (5.71)	0.10	5.81
2020年	-	10.79 (10.79)	0.05	10.84
累計	-2.01	438.09 (146.21)	24.74	460.82

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対中央アフリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 68.13	フランス 37.99	ドイツ 37.67	英国 27.94	日本 18.17	18.17	278.45
2016年	米国 79.65	フランス 32.56	英国 25.53	ドイツ 18.31	スウェーデン 15.86	15.70	259.92
2017年	米国 61.88	ドイツ 48.25	フランス 33.20	英国 17.60	スウェーデン 13.60	10.90	251.67
2018年	米国 56.87	ドイツ 49.45	フランス 42.11	英国 34.93	スウェーデン 24.14	6.44	283.38
2019年	米国 104.13	ドイツ 54.84	フランス 44.60	英国 31.82	スウェーデン 17.95	5.81	322.29

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対中央アフリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 122.46	IDA 26.95	IMF-CTF 19.48	AfDF 13.45	UNICEF 11.42	31.40	225.18
2016年	EU Institutions 126.19	IDA 38.22	IMF-CTF 34.82	GFATM 17.60	AfDF 9.52	38.55	264.90
2017年	EU Institutions 94.12	IMF-CTF 55.61	AfDF 29.46	GFATM 29.18	CERF 16.00	53.75	278.12
2018年	EU Institutions 127.62	IDA 98.04	IMF-CTF 64.67	GFATM 25.16	AfDF 15.80	57.09	388.39
2019年	IDA 169.58	EU Institutions 115.50	GFATM 30.60	UNPBF 15.18	GAVI 13.29	46.44	390.58

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	5.48億円 ・選挙支援計画(UNDP連携)(2.48) ・食糧援助(WFP連携)(3.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [31] トーゴ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
828万人	920ドル	1.8%	25.46億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

### 表-1-1 我が国の対トーゴ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	40.11	0.54
2017年度	-	11.54	0.64
2018年度	-	14.28	0.72
2019年度	-	3.15	0.88
2020年度	-	3.08	0.98

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-1-2 我が国の対トーゴ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	93.46	273.29	28.42

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-2 我が国の対トーゴ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	1.63	1.71	3.34
2017年	-	16.27	0.39	16.66
2018年	-	26.48	0.63	27.12
2019年	-	17.52 (0.30)	0.80	18.31
2020年	-	4.92 (1.85)	0.93	5.85
累計	-44.04	364.85 (9.91)	29.25	350.07

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-3 主要ドナーの対トーゴ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 34.21	フランス 31.74	ベルギー 10.59	日本 4.24	米国 3.04	4.24	92.72
2016年	フランス 25.37	ドイツ 19.71	米国 4.98	日本 3.34	スイス 2.14	3.34	63.16
2017年	ドイツ 25.86	フランス 24.48	日本 16.66	米国 5.07	カナダ 1.83	16.66	81.01
2018年	フランス 32.43	ドイツ 30.43	日本 27.12	米国 4.26	カナダ 1.82	27.12	102.98
2019年	ドイツ 30.47	フランス 24.39	日本 18.31	米国 4.03	カナダ 2.91	18.31	90.06

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

### 表-4 国際機関の対トーゴ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 26.01	EU Institutions 25.21	AfDF 21.61	GFATM 11.75	Isl.Dev Bank 8.97	32.60	126.14
2016年	EU Institutions 40.35	IDA 22.94	GFATM 21.30	Isl.Dev Bank 12.85	AfDF 10.33	23.38	131.14
2017年	EU Institutions 80.82	IMF-CTF 69.80	IDA 66.42	GFATM 32.46	GAVI 12.25	38.43	300.19
2018年	IMF-CTF 71.27	IDA 69.82	EU Institutions 45.41	AfDF 20.88	GFATM 17.34	29.83	254.56
2019年	IDA 207.10	EU Institutions 45.71	GFATM 16.04	AfDF 15.63	GAVI 9.17	27.68	321.34

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	3.08億円 ・食糧援助(3.00) ・草の根・人間の安全保障無償(1件) (0.08)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [32] ナイジェリア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2.06億人	2,000ドル	-1.8%	703.18億ドル	低所得国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

### 表-1-1 我が国の対ナイジェリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.55	12.07
2017年度	-	2.50	7.28
2018年度	-	5.67	10.81
2019年度	-	39.62	5.02
2020年度	-	20.11	4.20

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-1-2 我が国の対ナイジェリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	633.97	581.92	224.54

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-2 我が国の対ナイジェリア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	0.15	4.27 (3.91)	11.57	16.00
2017年	-0.11	13.38 (4.84)	9.67	22.94
2018年	-	7.77 (1.95)	5.47	13.25
2019年	-	6.97 (5.52)	8.20	15.17
2020年	-5.34	9.43 (8.39)	4.11	8.20
累計	-119.34	2,567.49 (98.82)	216.36	2,664.51

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-3 主要ドナーの対ナイジェリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 492.84	英国 401.84	日本 85.33	ドイツ 34.24	フランス 32.63	85.33	1,127.45
2016年	米国 530.19	英国 431.96	ドイツ 72.30	フランス 58.98	カナダ 35.04	16.00	1,228.81
2017年	米国 729.22	英国 421.79	ドイツ 290.39	フランス 77.04	カナダ 56.47	23.06	1,745.95
2018年	米国 845.80	英国 399.30	ドイツ 240.10	フランス 89.35	カナダ 45.14	13.25	1,736.37
2019年	米国 654.80	英国 330.38	ドイツ 163.39	フランス 50.98	カナダ 41.95	15.17	1,363.89

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

### 表-4 国際機関の対ナイジェリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 774.59	GFATM 176.92	GAVI 130.34	EU Institutions 103.24	AfDF 102.91	97.31	1,385.31
2016年	IDA 787.56	GFATM 193.66	EU Institutions 156.50	GAVI 128.42	UNICEF 57.93	109.79	1,433.87
2017年	IDA 820.61	GFATM 287.36	EU Institutions 278.17	GAVI 121.98	UNICEF 55.19	160.21	1,723.53
2018年	IDA 951.80	EU Institutions 300.98	GFATM 194.00	GAVI 89.38	AfDF 71.36	122.39	1,729.91
2019年	IDA 1,332.70	GFATM 215.67	GAVI 188.98	EU Institutions 186.61	AfDF 75.85	117.56	2,117.37

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	20.11億円 ・経済社会開発計画(10.00) ・ラゴス変電設備緊急復旧・増強計画 (国債4/5)(9.71) ・草の根・人間の安全保障無償 (4件)(0.40)	生計向上のための市場志向型農業 普及振興プロジェクト[20.08~24.08]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [33] ナミビア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
254万人	4,520ドル	-8.0%	-	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

### 表-1-1 我が国の対ナミビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.69	3.24
2017年度	-	0.46	2.74
2018年度	-	0.53	2.38
2019年度	-	0.71	1.67
2020年度	-	9.50	1.34

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-1-2 我が国の対ナミビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
	100.91	78.55	61.41

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-2 我が国の対アンゴラ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-8.63	-	2.99	-5.64
2017年	-8.37	0.68	3.09	-4.60
2018年	-8.50	0.35	1.60	-6.55
2019年	-8.61	1.73 (1.00)	2.05	-4.82
2020年	-8.79	1.34 (0.93)	1.31	-6.14
累計	23.40	67.22 (4.23)	69.28	159.91

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-3 主要ドナーの対ナミビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 63.99	米国 62.31	フィンランド 4.27	日本 3.91	ノルウェー 1.41	3.91	139.63
2016年	ドイツ 85.86	米国 57.82	日本 2.99	フィンランド 2.80	スウェーデン 1.09	2.99	154.16
2017年	米国 58.65	ドイツ 53.47	フランス 33.69	日本 3.77	フィンランド 2.40	3.77	156.53
2018年	米国 66.64	ドイツ 65.40	日本 1.95	フィンランド 1.58	スウェーデン 1.02	1.95	140.51
2019年	ドイツ 93.46	米国 33.80	日本 3.78	英国 1.44	フランス 1.43	3.78	138.60

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

### 表-4 国際機関の対ナミビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 21.77	GFATM 8.13	GEF 3.35	WHO 1.95	UNICEF 1.24	3.61	40.05
2016年	GFATM 24.85	EU Institutions 16.30	GEF 3.10	UNICEF 1.27	WHO 1.23	3.35	50.10
2017年	GFATM 47.74	EU Institutions 5.42	Adaptation Fund 4.12	GCF 3.76	GEF 2.55	6.00	69.60
2018年	EU Institutions 19.11	GFATM 18.59	GCF 7.52	Adaptation Fund 4.12	GEF 1.87	6.25	57.47
2019年	EU Institutions 17.55	GFATM 12.74	GCF 7.43	GEF 2.22	ILO 1.43	6.10	47.48

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	9.50億円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・食糧援助(3.00)</li> <li>・経済社会開発計画(2件)(6.00)</li> <li>・草の根・人間の安全保障無償(8件)(0.50)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部ナミビア小規模農家生計向上プロジェクト[21.03~27.03]</li> <li>・国際物流ハブ構築促進プロジェクトフェーズ2[20.09~24.06]</li> </ul>

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [34] ニジェール

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,421万人	540ドル	1.5%	45.91億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ニジェール援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	5.84	1.86
2017年度	-	5.18	2.53
2018年度	-	5.16	3.99
2019年度	-	18.24	1.90
2020年度	-	8.00	3.65

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ニジェール援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	32.00	612.90	221.52

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ニジェール援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	8.68 (8.50)	2.06	10.74
2017年	-	12.63 (9.61)	1.92	14.55
2018年	-	8.85 (4.10)	3.51	12.36
2019年	-	11.51 (4.08)	1.88	13.39
2020年	-	9.14 (1.25)	2.04	11.18
累計	-28.61	588.71 (108.10)	214.58	774.69

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ニジェール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 112.03	フランス 55.44	スイス 31.18	日本 27.69	ドイツ 24.42	27.69	344.93
2016年	米国 106.15	フランス 76.13	ドイツ 42.44	スイス 31.96	ルクセンブルク 24.04	10.74	376.76
2017年	イタリア 79.17	米国 77.22	フランス 68.37	ドイツ 38.32	スイス 34.08	14.55	431.35
2018年	米国 159.33	ドイツ 103.14	フランス 53.28	ルクセンブルク 43.89	スイス 30.47	12.36	532.74
2019年	米国 159.36	ドイツ 102.15	フランス 86.71	ルクセンブルク 42.62	スイス 32.91	13.39	555.93

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ニジェール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 227.20	IDA 96.76	IMF-CTF 54.57	AfDF 46.79	GAVI 30.52	89.44	545.29
2016年	EU Institutions 231.03	IDA 205.88	GAVI 23.32	GFATM 22.00	UNICEF 20.29	101.25	603.75
2017年	IDA 318.20	EU Institutions 241.34	IMF-CTF 39.10	GFATM 38.15	AfDF 28.66	149.99	815.43
2018年	IDA 285.98	EU Institutions 239.20	AfDF 73.54	GFATM 42.33	IMF-CTF 39.93	111.01	791.99
2019年	IDA 508.79	EU Institutions 173.09	AfDF 63.94	GAVI 36.58	GFATM 35.77	95.65	913.82

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	8.00億円 ・食糧援助(4.00) ・経済社会開発計画(2件)(4.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [35] ブルキナファソ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,090万人	790ドル	2.0%	44.93億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ブルキナファソ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	4.14	12.93
2017年度	56.59	23.18	8.90
2018年度	-	26.79	6.01
2019年度	-	28.99	5.42
2020年度	-	40.49	5.08

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ブルキナファソ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	56.59	577.81	199.42

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ブルキナファソ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	20.44 (2.50)	9.80	30.25
2017年	-	8.87 (4.20)	10.50	19.37
2018年	-	9.48 (1.00)	6.34	15.82
2019年	-	20.78 (5.70)	6.01	26.78
2020年	9.78	39.73 (9.49)	3.69	53.20
累計	9.78	491.17 (52.70)	195.29	696.25

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ブルキナファソ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	フランス 81.33	米国 58.63	ドイツ 47.39	デンマーク 41.57	スイス 38.78	23.56	375.75
2016年	フランス 79.87	米国 62.53	デンマーク 47.58	ドイツ 43.60	スイス 36.98	30.25	382.92
2017年	フランス 108.87	米国 72.61	ドイツ 41.01	スイス 34.62	デンマーク 33.41	19.37	434.24
2018年	フランス 106.38	米国 65.16	ドイツ 54.39	カナダ 43.94	デンマーク 39.57	15.82	463.83
2019年	フランス 121.29	米国 101.26	ドイツ 77.73	スウェーデン 48.98	カナダ 39.71	26.78	569.19

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ブルキナファソ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 269.09	EU Institutions 189.14	AfDF 72.19	GFATM 45.75	IMF-CTF 32.22	80.28	688.66
2016年	IDA 339.20	EU Institutions 157.86	GFATM 49.73	AfDF 46.11	IMF-CTF 32.02	79.94	704.88
2017年	IDA 207.27	EU Institutions 187.54	AfDF 45.14	GFATM 38.10	GAVI 20.61	71.35	570.01
2018年	IDA 407.56	EU Institutions 196.78	GFATM 48.53	AfDF 42.04	GAVI 27.05	112.15	834.12
2019年	IDA 305.35	EU Institutions 151.45	GFATM 49.74	AfDF 41.88	GAVI 36.51	92.09	677.01

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	40.49億円 ・食糧援助(3.00) ・経済社会開発計画(2件)(6.00) ・ワガドゥグ東南部タンソババイパス道路改善計画(国債4/5)(17.45) ・中央地方及び中央南部地方における中学校建設計画(UNICEF連携)(13.50) ・草の根・人間の安全保障無償(7件)(0.54)	・学校とコミュニティ協働強化による教育の質改善プロジェクト[21.03～25.03] ・農業を通じた栄養改善プロジェクト[21.01～26.01]

注) 1. 表-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [36] ブルンジ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,189万人	270ドル	0.3%	6.26億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

### 表-1-1 我が国の対ブルンジ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	7.21	0.87
2017年度	-	4.68	1.03
2018年度	-	6.00	0.68
2019年度	-	3.30	1.00
2020年度	-	3.50	1.05

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-1-2 我が国の対ブルンジ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	33.00	300.41	50.31

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-2 我が国の対ブルンジ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	2.65 (2.65)	0.99	3.64
2017年	-	1.73 (1.47)	0.86	2.58
2018年	-	9.21 (4.97)	0.64	9.86
2019年	-	10.83 (3.83)	0.77	11.60
2020年	-	4.79 (1.35)	0.88	5.66
累計	-11.22	299.93 (86.31)	50.13	338.84

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-3 主要ドナーの対ブルンジ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ベルギー 49.14	米国 42.01	オランダ 27.03	ドイツ 17.42	フランス 7.49	2.55	169.60
2016年	米国 389.58	ベルギー 52.15	ドイツ 46.09	オランダ 33.90	スイス 7.49	3.64	560.54
2017年	米国 64.09	ベルギー 36.38	ドイツ 32.87	オランダ 30.97	スイス 9.29	2.58	211.66
2018年	米国 50.03	ベルギー 41.51	オランダ 37.06	ドイツ 33.34	日本 9.86	9.86	216.27
2019年	米国 63.69	ドイツ 37.39	オランダ 30.82	ベルギー 28.51	日本 11.60	11.60	208.44

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

### 表-4 国際機関の対ブルンジ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 49.14	EU Institutions 48.63	AfDF 39.26	GAVI 12.05	UNICEF 11.86	66.38	227.31
2016年	EU Institutions 58.19	IDA 33.61	GFATM 23.22	GAVI 17.42	OPEC Fund 16.58	72.61	221.63
2017年	GFATM 59.86	IDA 49.29	EU Institutions 44.19	AfDF 21.12	IFAD 17.30	52.95	244.70
2018年	IDA 85.34	EU Institutions 48.97	GAVI 33.71	IFAD 20.81	UNICEF 11.38	60.52	260.73
2019年	IDA 126.50	EU Institutions 110.52	GFATM 49.27	AfDF 31.72	IFAD 18.53	40.20	395.28
	-	-	-	-	GAVI 18.53	-	-

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	3.50億円 ・食糧援助(3.50)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [37] ベナン

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,212万人	1,280ドル	3.8%	52.50億ドル	後発開発途上国	ii / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

### 表-1-1 我が国の対ベナン援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	3.12	4.36
2017年度	-	6.37	4.93
2018年度	-	7.23	6.10
2019年度	-	14.24	7.33
2020年度	-	7.10	2.94

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-1-2 我が国の対ベナン援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	37.62	450.54	105.05

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-2 我が国の対ベナン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	6.97	3.95	10.92
2017年	-	15.86	4.49	20.35
2018年	-	9.10	5.16	14.26
2019年	-	5.11 (0.50)	5.27	10.39
2020年	-	13.62 (0.14)	4.79	18.41
累計	-3.14	433.88 (15.41)	102.75	533.48

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-3 主要ドナーの対ベナン経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 38.38	米国 35.73	フランス 32.52	スイス 26.01	ベルギー 19.64	12.90	194.11
2016年	米国 58.20	ドイツ 39.84	フランス 31.72	オランダ 29.73	スイス 24.54	10.92	227.21
2017年	米国 120.49	フランス 46.41	ドイツ 37.27	オランダ 31.73	スイス 27.18	20.35	330.42
2018年	米国 58.13	フランス 51.27	ドイツ 42.10	スイス 28.40	ベルギー 27.68	14.26	272.34
2019年	米国 100.92	ドイツ 45.14	フランス 40.41	オランダ 31.60	スイス 25.29	10.39	299.79

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

### 表-4 国際機関の対ベナン経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 110.44	EU Institutions 48.92	AfDF 34.15	GFATM 20.25	Isl.Dev Bank 12.04	39.27	265.07
2016年	IDA 128.47	AfDF 50.79	EU Institutions 50.12	GFATM 22.70	GAVI 7.20	37.03	296.30
2017年	IDA 112.30	EU Institutions 84.41	AfDF 69.09	GFATM 50.51	IMF-CTF 44.14	40.25	400.70
2018年	IDA 110.51	EU Institutions 94.45	IMF-CTF 45.07	AfDF 32.16	GFATM 23.34	44.16	349.70
2019年	IDA 226.88	EU Institutions 49.99	AfDF 25.07	GFATM 24.95	GAVI 11.12	34.87	372.88

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	7.10億円 ・経済社会開発計画(3.00) ・コトヌ市ベドコ交差点立体交差建設計 画(国債1/4)(1.78) ・クフォ県及びプラトー県における飲料 水供給システム強化計画(詳細設計) (1.29) ・草の根・人間の安全保障無償(7件) (1.03)	なし

注) 1. 表-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [38] ボツワナ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
235万人	6,640ドル	-7.9%	15.97億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ボツワナ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.33	8.21
2017年度	-	0.34	3.67
2018年度	-	0.27	4.22
2019年度	-	0.25	3.36
2020年度	-	9.68	2.68

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ボツワナ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	219.81	53.90	95.94

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ボツワナ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	0.25	0.33	-	7.41
2017年	3.22	0.31	-	4.20
2018年	6.10	0.35	-	3.13
2019年	-1.28	0.72	(0.50)	3.32
2020年	-0.48	4.47	(0.18)	2.63
累計	9.29	78.19	(0.68)	90.57

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ボツワナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 50.43	日本 4.43	英国 1.61	オーストラリア 1.15	カナダ 0.63	4.43	60.51
2016年	米国 67.42	日本 12.14	オーストラリア 0.63	ニュージーランド 0.46	カナダ 0.43	12.14	83.00
2017年	米国 55.45	日本 11.76	英国 1.38	韓国 1.02	オーストラリア 0.91	11.76	72.38
2018年	米国 54.66	日本 12.77	英国 1.52	オーストラリア 1.01	ドイツ 0.67	12.77	71.74
2019年	米国 44.65	日本 9.41	英国 2.54	ドイツ 1.53	韓国 1.13	9.41	61.22

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ボツワナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 10.54	GEF 1.88	GFATM 1.65	WHO 1.32	UNICEF 0.92	3.85	20.15
2016年	GFATM 5.90	EU Institutions 3.31	GEF 2.13	UNHCR 2.11	UNICEF 0.92	3.85	18.24
2017年	EU Institutions 18.94	GFATM 12.32	GEF 1.82	UNHCR 1.77	WHO 1.00	3.55	39.41
2018年	GFATM 11.75	GEF 3.26	EU Institutions 2.14	UNHCR 1.28	UNICEF 1.18	3.34	22.94
2019年	GFATM 7.50	EU Institutions 5.18	OPEC Fund 3.73	GEF 2.72	UNICEF 1.01	4.94	25.09

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	9.68億円 ・経済社会開発計画(3件)(9.50) ・草の根・人間の安全保障無償(2件)(0.18)	・マスタープラン策定を通じた森林・草原資源の保全と持続可能な利用のための能力強化プロジェクト[21.02~25.01]

注) 1. 表-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [39] マダガスカル

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,769万人	480ドル	-4.2%	48.73億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対マダガスカル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	452.14	8.81	8.17
2017年度	-	9.48	9.38
2018年度	-	19.64	11.59
2019年度	-	10.94	8.37
2020年度	-	23.07	9.59

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対マダガスカル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	559.14	721.96	237.22

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対マダガスカル援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	3.24 (2.21)	5.25	8.48
2017年	-	5.43 (4.46)	8.45	13.88
2018年	19.86	12.09 -	10.38	42.34
2019年	13.39	10.53 (2.60)	8.62	32.55
2020年	40.16	16.66 (2.73)	7.64	64.46
累計	-89.05	1,030.93 (20.15)	231.47	1,173.34

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対マダガスカル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 153.11	フランス 102.21	ドイツ 19.98	日本 17.17	スイス 8.14	17.17	320.95
2016年	米国 116.22	フランス 53.49	ドイツ 51.30	韓国 9.37	スイス 8.67	8.48	266.30
2017年	米国 89.40	フランス 57.47	ドイツ 41.51	韓国 19.56	日本 13.88	13.88	253.11
2018年	米国 98.34	フランス 73.88	ドイツ 52.00	日本 42.34	ノルウェー 10.09	42.34	301.07
2019年	米国 108.39	フランス 78.98	ドイツ 35.07	日本 32.55	ノルウェー 9.09	32.55	284.51

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対マダガスカル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 121.04	EU Institutions 84.32	AfDF 60.04	IMF-CTF 42.74	GFATM 29.10	70.07	407.32
2016年	IDA 145.45	EU Institutions 77.25	IMF-CTF 43.68	AfDF 32.53	GFATM 21.77	71.71	392.40
2017年	IDA 204.57	IMF-CTF 129.51	EU Institutions 76.11	AfDF 60.06	GFATM 21.52	75.05	566.82
2018年	IDA 196.99	EU Institutions 90.13	GFATM 47.91	IMF-CTF 44.50	AfDF 38.15	84.80	502.46
2019年	IDA 210.89	EU Institutions 74.50	IMF-CTF 44.77	AfDF 33.40	IFAD 26.79	93.37	483.72

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	23.07億円 ・経済社会開発計画(2件)(9.00) ・マルチセクターアプローチを通じた栄養改善計画(FAO連携)(1.52) ・アロチャ湖南西地域灌漑施設改修計画(国債4/4)(6.60) ・国道二号線(アンタナナリポートアマシナ間)におけるマングル橋及びアンツァパザナ橋改修計画(国債2/4)(5.59) ・草の根・人間の安全保障無償(4件)(0.36)	・みんなの学校:住民参加による教育開発プロジェクト(フェーズ2)[20.06~24.03] ・コメセクター生産性向上及び産業化促進支援プロジェクト[20.12~26.05]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [40] マラウイ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,913万人	580ドル	0.8%	29.43億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対マラウイ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	24.11	13.52
2017年度	-	74.65	13.65
2018年度	-	4.37	11.57
2019年度	-	1.53	10.16
2020年度	-	12.00	6.29

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対マラウイ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	331.49	792.69	485.99

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対マラウイ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	6.92 (5.00)	13.60	20.52
2017年	-	29.44 (2.79)	11.67	41.10
2018年	-	10.64 (1.30)	10.35	20.99
2019年	-	40.21 (0.97)	10.63	50.84
2020年	-	22.55 (2.32)	5.67	28.22
累計	-35.41	918.00 (29.39)	430.73	1,313.32

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対マラウイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 249.17	英国 136.12	ノルウェー 73.39	ドイツ 41.38	日本 26.63	26.63	589.33
2016年	米国 371.44	英国 140.48	ノルウェー 62.94	ドイツ 50.18	アイルランド 21.59	20.52	704.28
2017年	米国 449.92	英国 115.46	ドイツ 67.38	ノルウェー 58.86	日本 41.10	41.10	793.52
2018年	米国 449.54	英国 112.25	ノルウェー 58.86	ドイツ 56.95	アイルランド 24.76	20.99	764.05
2019年	米国 269.66	英国 103.99	ドイツ 66.11	ノルウェー 56.58	日本 50.84	50.84	609.55

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対マラウイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 160.05	GFATM 125.86	EU Institutions 74.56	AfDF 43.70	UNICEF 22.36	84.43	510.96
2016年	IDA 153.29	GFATM 130.88	EU Institutions 84.40	IMF-CTF 75.36	AfDF 46.74	83.12	573.80
2017年	IDA 328.33	GFATM 172.06	EU Institutions 112.63	AfDF 55.48	IMF-CTF 27.04	76.79	772.31
2018年	GFATM 139.95	IDA 132.44	EU Institutions 87.50	AfDF 49.76	IMF-CTF 31.57	98.89	540.09
2019年	GFATM 162.69	IDA 156.24	EU Institutions 130.87	AfDF 40.30	GAVI 18.64	85.26	593.99

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	12.00億円 ・経済社会開発計画(3.00) ・リロングウェ市幹線道路改修計画(国債1/4)(4.59) ・リロングウェ市における変電所改修計画(詳細設計)(0.18) ・ドマシ教員養成大学拡張計画【追加贈与】(3.62) ・日本NGO連帯無償(1件)(0.21) ・草の根・人間の安全保障無償(4件)(0.40)	なし

注) 1. 表-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [41] マリ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,025万人	830ドル	-1.6%	60.81億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

### 表-1-1 我が国の対マリ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	8.30	3.90
2017年度	-	4.70	2.29
2018年度	-	6.87	0.54
2019年度	-	6.19	1.95
2020年度	-	15.94	0.75

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-1-2 我が国の対マリ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	87.02	691.88	108.09

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-2 我が国の対マリ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	8.29 (4.70)	0.95	9.24
2017年	-	16.17 (4.58)	3.83	19.99
2018年	-	5.17 (2.00)	1.30	6.47
2019年	-	7.09 (4.00)	1.50	8.59
2020年	-	8.16 (2.36)	0.71	8.88
累計	-8.30	691.15 (106.35)	103.82	786.68

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

### 表-3 主要ドナーの対マリ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	フランス 163.83	米国 162.77	カナダ 87.99	ドイツ 43.45	オランダ 37.47	20.96	692.81
2016年	米国 210.04	カナダ 87.42	フランス 73.89	ドイツ 68.64	デンマーク 39.68	9.24	687.97
2017年	米国 218.89	フランス 108.24	カナダ 94.51	ドイツ 74.15	スウェーデン 39.39	19.99	736.08
2018年	米国 216.61	ドイツ 126.27	フランス 94.14	カナダ 86.30	オランダ 48.93	6.47	815.32
2019年	米国 223.01	フランス 113.05	ドイツ 107.48	カナダ 72.20	スウェーデン 45.39	8.59	805.78

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

### 表-4 国際機関の対マリ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 239.45	EU Institutions 150.80	AfDF 60.09	GAVI 20.96	GFATM 19.88	83.68	574.89
2016年	EU Institutions 247.18	IDA 104.24	IMF-CTF 52.82	GAVI 34.71	AfDF 34.61	94.62	568.19
2017年	EU Institutions 210.44	IDA 193.66	AfDF 86.32	GFATM 44.22	IMF-CTF 43.88	90.92	669.45
2018年	IDA 247.09	EU Institutions 235.00	IMF-CTF 134.43	AfDF 48.65	GFATM 44.11	122.07	831.34
2019年	IDA 415.01	EU Institutions 207.37	GFATM 43.34	AfDF 36.07	GAVI 27.66	90.36	819.80

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	15.94億円 ・食糧援助(WFP連携)(3.00) ・経済社会開発計画(3.00) ・バマコ特別区における技術・職業教育 校機材整備計画(9.94)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [42] 南アフリカ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
5,931万人	5,410ドル	-7.0%	1,707.67億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対南アフリカ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	1.37	12.05
2017年度	-	1.16	11.88
2018年度	-	0.89	9.63
2019年度	-	2.91	7.70
2020年度	-	0.60	4.19

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対南アフリカ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	140.61	144.77	170.05

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対南アフリカ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-0.86	1.29	9.76	10.18
2017年	-0.84	0.92	11.02	11.10
2018年	-0.85	1.03	8.96	9.14
2019年	-0.86	2.69 (1.85)	8.20	10.03
2020年	-0.88	4.51 (3.68)	5.27	8.90
累計	-2.23	131.98 (8.44)	187.43	317.17

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対南アフリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 421.95	米国 336.77	フランス 202.25	英国 30.37	スイス 15.30	10.26	1,073.95
2016年	米国 491.27	ドイツ 398.01	フランス 117.36	ベルギー 19.20	英国 16.60	11.05	1,097.43
2017年	米国 597.65	ドイツ 134.58	フランス 65.43	英国 24.68	スイス 14.70	11.94	893.14
2018年	米国 578.72	ドイツ 141.70	フランス 66.80	英国 39.84	スイス 15.75	10.00	893.83
2019年	米国 392.07	ドイツ 207.30	フランス 123.05	英国 43.87	スイス 11.40	10.89	831.28

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対南アフリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 266.39	GFATM 99.37	CIF 72.54	UNHCR 12.32	GEF 8.57	10.88	470.07
2016年	EU Institutions 107.84	GFATM 68.15	UNHCR 12.22	GEF 10.75	CIF 6.93	9.46	215.34
2017年	EU Institutions 132.66	GFATM 81.19	UNHCR 15.42	GEF 5.44	WHO 1.92	7.57	244.19
2018年	EU Institutions 132.66	GFATM 115.10	GEF 6.27	WHO 1.82	AfDB 1.48	4.79	262.12
2019年	EU Institutions 151.42	GFATM 83.17	Adaptation Fund 2.43	UNAIDS 2.23	GEF 2.06	9.67	250.97

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	0.61億円 ・草の根・人間の安全保障無償(7件) (0.39) ・日本NGO連携無償(2件)(0.22)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [43] 南スーダン

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,119万人	-	-10.8%	-	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対南スーダン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	5.01	7.02
2017年度	-	8.86	5.36
2018年度	-	39.60	9.01
2019年度	-	24.85	4.95
2020年度	-	10.67	2.99

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対南スーダン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	322.03	109.78

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対南スーダン援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	48.24 (21.65)	6.91	55.15
2017年	-	35.74 (20.34)	6.48	42.22
2018年	-	26.80 (19.11)	5.57	32.37
2019年	-	35.97 (20.08)	6.77	42.74
2020年	-	19.22 (10.11)	3.12	22.34
累計	-	392.43 (258.02)	117.83	510.27

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対南スーダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 598.06	英国 318.13	日本 91.23	カナダ 88.05	ノルウェー 62.24	91.23	1,399.01
2016年	米国 544.80	英国 224.11	ドイツ 123.86	ノルウェー 68.73	カナダ 67.46	55.15	1,277.26
2017年	米国 887.08	英国 217.68	ドイツ 151.55	カナダ 109.94	ノルウェー 73.04	42.22	1,697.81
2018年	米国 683.60	英国 202.88	ドイツ 137.02	ノルウェー 76.26	オランダ 70.40	32.37	1,393.43
2019年	米国 559.56	英国 264.73	ドイツ 143.09	ノルウェー 68.96	スウェーデン 56.21	42.74	1,320.48

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対南スーダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 134.41	GFATM 51.29	WFP 30.05	IDA 27.79	GAVI 18.59	31.16	293.29
2016年	EU Institutions 224.02	UNHCR 26.85	WFP 16.60	IDA 14.11	UNICEF 10.70	28.97	321.26
2017年	EU Institutions 240.41	IDA 61.46	UNHCR 56.68	GFATM 48.14	AfDF 20.17	61.42	488.27
2018年	EU Institutions 101.53	GFATM 27.82	IDA 24.81	AfDF 13.24	UNICEF 11.16	28.66	207.22
2019年	IDA 79.71	EU Institutions 68.50	UNHCR 47.82	GAVI 34.64	GFATM 31.72	95.04	357.43

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	10.67億円 ・ジュバ市水供給改善計画【追加贈与】(6.36) ・草の根・人間の安全保障無償(1件)(0.10) ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援(8件)(4.21)	・税関コード導入による税関能力強化プロジェクトフェーズ2[20.04~23.03]

注) 1. 表-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [44] モーリシャス

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
127万人	10,230ドル	-14.9%	-	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モーリシャス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	-	1.06
2017年度	-	-	0.69
2018年度	-	0.10	0.13
2019年度	-	3.10	0.95
2020年度	300.00	15.00	2.76

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モーリシャス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	461.46	78.54	65.42

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モーリシャス援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-2.44	2.81	-	1.01
2017年	-2.75	1.92	-	0.59
2018年	-2.80	6.05	-	0.49
2019年	-2.97	3.84	-	0.20
2020年	6.60	3.78	-	1.43
累計	6.40	57.72	-	56.56
				120.68

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モーリシャス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	フランス 57.02	日本 2.13	フィンランド 1.48	英国 1.19	オーストラリア 0.59	2.13	63.13
2016年	フランス 33.79	日本 4.28	オーストラリア 0.66	ドイツ 0.45	英国 0.26	4.28	39.64
2017年	フランス 32.57	オーストラリア 2.94	日本 2.57	ドイツ 0.71	スウェーデン 0.50	2.57	40.08
2018年	フランス 80.19	日本 6.60	ドイツ 1.26	英国 0.68	オーストラリア 0.58	6.60	90.04
2019年	フランス 21.63	日本 4.10	フィンランド 2.62	英国 2.56	ドイツ 1.82	4.10	34.40

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モーリシャス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 52.02	Adaptation Fund 1.88	GEF 1.02	WHO 0.76	AfDB 0.63	1.69	58.01
2016年	EU Institutions 38.77	GEF 1.63	GFATM 0.77	UNDP 0.60	WHO 0.41	0.54	42.73
2017年	EU Institutions 5.89	GEF 4.79	GCF 2.97	GFATM 2.19	WHO 0.89	1.15	17.90
2018年	EU Institutions 26.76	GEF 2.00	Adaptation Fund 1.67	AfDB 1.07	WHO 0.72	2.11	34.34
2019年	EU Institutions 14.74	GCF 4.35	Adaptation Fund 4.19	GEF 1.53	OPEC Fund 0.80	4.01	29.63

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	300.00億円 ・新型コロナウイルス感染症危機対応 緊急支援借款	15.00億円 ・経済社会開発計画(3件)(15.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [45] モーリタニア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
465万人	1,640ドル	-1.5%	57.10億ドル	後発開発途上国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モーリタニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	17.59	1.77
2017年度	-	5.06	1.63
2018年度	-	18.00	1.90
2019年度	-	5.84	0.46
2020年度	-	4.10	0.31

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モーリタニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	110.84	571.46	70.43

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モーリタニア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	14.77 (5.50)	0.81	15.58
2017年	-	10.95 (6.04)	1.78	12.73
2018年	-	11.90 (2.00)	2.25	14.16
2019年	-	8.47 (3.86)	0.65	9.12
2020年	-	11.27 (2.28)	0.43	11.71
累計	-11.71	616.41 (70.31)	69.71	674.42

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モーリタニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	フランス 24.31	-	日本 19.92	ドイツ 17.06	スペイン 16.09	19.92	108.17
	米国 24.31	-	-	-	-	-	-
2016年	フランス 26.10	ドイツ 16.49	日本 15.58	米国 12.24	スペイン 5.24	15.58	78.78
2017年	フランス 27.00	ドイツ 18.65	日本 12.73	米国 10.42	スペイン 5.79	12.73	78.82
2018年	フランス 28.17	ドイツ 26.56	日本 14.16	米国 13.11	スペイン 8.35	14.16	102.10
2019年	フランス 38.31	ドイツ 21.92	米国 17.92	日本 9.12	スペイン 6.93	9.12	97.65

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モーリタニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	AFESD 109.03	EU Institutions 44.57	IDA 17.90	Isl.Dev Bank 7.47	GAVI 5.58	27.95	212.51
2016年	AFESD 77.90	IDA 65.37	EU Institutions 27.96	UNHCR 9.04	Isl.Dev Bank 8.57	35.73	224.53
2017年	AFESD 107.07	IDA 53.43	EU Institutions 30.19	IMF-CTF 22.96	AfDF 13.90	59.24	286.78
2018年	AFESD 110.75	EU Institutions 60.72	IMF-CTF 46.89	IDA 36.79	WFP 9.59	48.24	312.99
2019年	AFESD 162.81	IDA 95.38	EU Institutions 74.38	AfDF 6.19	UNHCR 5.52	29.63	373.90

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	4.10億円 ・食糧援助(3.00) ・経済社会開発計画(1.00) ・草の根・人間の安全保障無償(1件) (0.10)	なし

注) 1. 表-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [46] モザンビーク

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,126万人	460ドル	-1.3%	209.32億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モザンビーク援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	17.63	25.53
2017年度	-	41.81	23.38
2018年度	-	21.78	20.18
2019年度	47.88	76.68	18.67
2020年度	-	43.81	10.31

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モザンビーク援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	752.14	1,246.04	340.24

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モザンビーク援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	30.01	34.06 (0.47)	25.41	89.47
2017年	100.86	22.52 -	25.23	148.61
2018年	83.96	40.02 -	18.96	142.94
2019年	53.80	19.51 (3.86)	18.47	91.79
2020年	34.41	26.60 (8.48)	10.32	71.32
累計	377.31	1,147.20 (35.03)	337.47	1,861.98

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モザンビーク経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 302.68	スウェーデン 94.60	ドイツ 78.98	英国 77.19	フランス 71.04	62.65	1,107.79
2016年	米国 390.18	日本 89.48	ドイツ 81.56	スウェーデン 76.76	英国 73.60	89.48	1,099.27
2017年	米国 507.55	日本 149.52	英国 74.65	ドイツ 64.28	スウェーデン 59.29	149.52	1,255.87
2018年	米国 520.38	日本 143.87	英国 95.04	スウェーデン 79.38	ドイツ 72.78	143.87	1,322.11
2019年	米国 354.72	英国 132.63	日本 92.72	スウェーデン 88.54	ノルウェー 57.90	92.72	1,145.64

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モザンビーク経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 361.65	IMF-CTF 119.20	GFATM 98.68	EU Institutions 84.35	AfDF 54.61	117.62	836.11
2016年	IDA 248.64	GFATM 182.04	EU Institutions 96.76	AfDF 67.54	GAVI 27.56	75.59	698.13
2017年	IDA 232.62	GFATM 163.30	EU Institutions 93.95	AfDF 53.72	GAVI 37.38	89.35	670.30
2018年	IDA 276.18	GFATM 113.30	EU Institutions 65.48	AfDF 45.96	GAVI 33.32	88.16	622.43
2019年	IDA 282.21	GFATM 168.49	EU Institutions 105.78	IMF-CTF 77.48	AfDF 64.65	143.50	842.10

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	43.81億円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援(4件)(1.12)</li> <li>・食糧援助(WFP連携)(2.00)</li> <li>・経済社会開発計画(4件)(14.00)</li> <li>・ニアッサ州における地方給水施設建設計画(20.76)</li> <li>・草の根・人間の安全保障無償(8件)(0.67)</li> <li>・日本NGO連携無償(1件)(0.64)</li> <li>・モザンビーク・カーボデルガード州及びその周辺地域における人道危機に対する緊急無償資金協力(IOM連携)(1.57)</li> <li>・同上案件(WFP連携)(1.56)</li> <li>・同上案件(UNHCR連携)(0.99)</li> <li>・同上案件(ICRC連携)(0.44)</li> <li>・同上案件(OCHA連携)(0.06)</li> </ul>	・新しい学校教育制度に対応したカリキュラム普及プロジェクト[21.03~27.04]

注) 1. 表-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [47] リベリア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
506万人	530ドル	-2.9%	14.81億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対リベリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	17.08	3.15
2017年度	-	7.17	1.91
2018年度	-	17.60	2.24
2019年度	-	21.19	1.53
2020年度	-	20.17	2.07

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対リベリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	40.00	376.11	66.75

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対リベリア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	23.72 (6.37)	2.55	26.27
2017年	-	22.95 (3.66)	2.52	25.47
2018年	-	17.18 -	1.69	18.87
2019年	-	23.76 (1.50)	1.83	25.59
2020年	-	19.93 (0.27)	2.03	21.96
累計	-55.17	542.44 (114.64)	53.46	540.73

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対リベリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 514.22	ノルウェー 36.08	スウェーデン 27.59	日本 17.20	英国 16.30	17.20	653.17
2016年	米国 400.35	ドイツ 44.73	スウェーデン 27.55	日本 26.27	ノルウェー 20.60	26.27	534.07
2017年	米国 288.18	ドイツ 33.07	日本 25.47	スウェーデン 25.06	ノルウェー 22.96	25.47	409.63
2018年	米国 231.47	スウェーデン 40.14	ドイツ 33.28	日本 18.87	ノルウェー 10.86	18.87	351.17
2019年	米国 186.04	ドイツ 50.73	スウェーデン 34.70	日本 25.59	英国 11.99	25.59	322.48

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対リベリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 184.54	IMF-CTF 91.67	AfDF 77.32	EU Institutions 71.70	GFATM 13.27	42.98	481.50
2016年	IDA 118.88	EU Institutions 48.57	IMF-CTF 38.49	AfDF 19.32	GFATM 18.89	34.08	278.23
2017年	IDA 56.79	EU Institutions 44.54	AfDF 33.89	GFATM 24.94	IMF-CTF 20.47	38.32	218.99
2018年	IDA 91.18	AfDF 46.14	EU Institutions 35.36	GFATM 31.70	UNDP 7.00	30.76	242.13
2019年	IDA 108.37	AfDF 41.82	EU Institutions 40.94	GFATM 15.83	GAVI 14.26	42.72	263.95

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	20.17億円 ・食糧援助(2.50) ・経済社会開発計画(1.00) ・第二次モンロビア首都圏ソマリアドライブ復旧計画(国債5/5)(16.58) ・草の根・人間の安全保障無償(1件)(0.09)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [48] ルワンダ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,295万人	780ドル	-3.4%	81.93億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ルワンダ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	68.89	5.66	14.12
2017年度	76.70	1.37	14.82
2018年度	-	38.53	13.21
2019年度	100.00	20.73	11.17
2020年度	-	14.89	8.59

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ルワンダ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	292.08	517.10	190.55

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ルワンダ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	14.02 (3.79)	13.38	27.40
2017年	7.80	20.34 (1.47)	15.18	43.32
2018年	11.79	13.19 (2.30)	12.76	37.75
2019年	55.26	13.52 (2.27)	9.91	78.69
2020年	32.48	16.10 (3.82)	7.43	56.01
累計	112.87	378.10 (44.61)	177.01	667.98

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ルワンダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 198.46	英国 154.79	オランダ 40.83	ベルギー 35.88	ドイツ 35.38	16.39	558.35
2016年	米国 177.91	英国 92.90	オランダ 55.89	ドイツ 47.85	スウェーデン 29.17	27.40	501.48
2017年	米国 177.36	英国 76.58	オランダ 48.07	ドイツ 45.24	日本 43.32	43.32	511.55
2018年	米国 170.00	英国 73.05	オランダ 47.12	ドイツ 45.58	ベルギー 41.86	37.75	500.25
2019年	米国 185.84	英国 80.92	日本 78.69	オランダ 47.22	ドイツ 44.53	78.69	563.07

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ルワンダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	IDA 297.06	GFATM 105.73	AfDF 44.14	EU Institutions 24.08	IFAD 15.71	60.30	547.04
2016年	IDA 229.44	EU Institutions 110.84	IMF-CTF 100.20	AfDF 93.89	GFATM 70.61	65.26	670.23
2017年	IDA 296.12	EU Institutions 149.28	GFATM 84.69	IMF-CTF 74.97	AfDF 47.31	78.10	730.46
2018年	IDA 253.24	AfDF 119.77	EU Institutions 93.57	GFATM 69.40	IMF-CTF 25.52	59.82	621.32
2019年	IDA 309.02	GFATM 94.53	EU Institutions 72.99	AfDF 63.54	IFAD 22.82	62.30	625.19

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	14.89億円 ・経済社会開発計画(3.00) ・キガリ市ンゾベートラ間送水幹線強化計画(国債3/4)(11.43) ・日本NGO連携無償(1件)(0.37) ・草の根・人間の安全保障無償(1件)(0.09)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [49] レット

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
214万人	1,100ドル	-11.1%	10.52億ドル	後発開発途上国	ii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対レット援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.17	0.29
2017年度	-	2.88	0.43
2018年度	-	20.38	0.46
2019年度	-	2.25	0.78
2020年度	-	3.74	0.46

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対レット援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	149.34	14.73

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対レット援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	0.15	0.25	0.40
2017年	-	1.32 (1.17)	0.32	1.64
2018年	-	3.05 (0.30)	0.42	3.48
2019年	-	4.01 (3.71)	0.58	4.59
2020年	-	3.65 (2.59)	0.45	4.09
累計	-	119.32 (28.09)	14.24	133.56

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対レット経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 26.52	ドイツ 4.74	日本 1.90	オーストラリア 1.04	ノルウェー 0.73	1.90	37.30
2016年	米国 46.87	英国 7.68	ドイツ 2.86	スイス 1.66	カナダ 1.46	0.40	63.19
2017年	米国 73.52	日本 1.64	オーストラリア 1.39	ドイツ 1.20	スイス 0.66	1.64	80.27
2018年	米国 86.13	日本 3.48	ドイツ 1.14	スイス 0.63	オーストラリア 0.44	3.48	93.62
2019年	米国 54.96	日本 4.59	ドイツ 0.82	スイス 0.74	オーストラリア 0.44	4.59	63.29

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対レット経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	GFATM 17.92	IDA 13.22	EU Institutions 9.54	GEF 3.31	BADEA 2.63	10.47	57.10
2016年	IDA 18.74	GFATM 17.24	EU Institutions 13.70	GEF 4.10	AfDF 3.46	12.27	69.50
2017年	IDA 31.83	GFATM 25.81	EU Institutions 9.95	AfDF 6.87	OPEC Fund 5.18	12.89	92.52
2018年	IDA 36.57	GFATM 19.34	EU Institutions 12.60	AfDF 10.32	IFAD 4.02	10.38	93.24
2019年	IDA 40.21	GFATM 19.30	EU Institutions 8.39	CERF 7.85	AfDF 7.60	23.39	106.76

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	3.74億円 ・食糧援助(WFP連携)(2.50) ・経済社会開発計画(1.00) ・草の根・人間の安全保障無償(3件)(0.24)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。



# 欧州地域

## 欧州地域

表－1 欧州地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	13.95 (0.5)	10.43 (0.4)	9.57 (0.4)	13.12 (0.5)	12.92 (0.4)	882.82
		(うち国際機関を通じた贈与)	8.67 (0.5)	1.96 (0.1)	2.91 (0.2)	3.43 (0.3)	5.61 (0.3)	38.75
		技術協力	17.56 (0.6)	20.47 (0.7)	17.42 (0.7)	13.60 (0.5)	10.17 (0.4)	460.01
		贈与計	31.51 (0.6)	30.90 (0.6)	26.99 (0.5)	26.71 (0.5)	23.09 (0.4)	1,342.84
	有償資金協力 支出総額	366.09 (4.7)	61.53 (0.6)	53.26 (0.7)	49.93 (0.5)	64.24 (0.6)	1,220.28	
	<有償資金協力 支出純額>	<347.85>	<43.33>	<31.39>	<24.85>	<29.25>	<996.76>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		397.60 (3.0)	92.42 (0.6)	80.26 (0.6)	76.64 (0.5)	87.33 (0.5)	2,563.11	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<379.36> <(5.4)>	<74.23> <(0.9)>	<58.39> <(1.0)>	<51.56> <(0.7)>	<52.34> <(0.5)>	<2,339.59>	

注) 1. ( )内は各形態別の全世界合計(卒業国を除く)に占める欧州地域の割合(%)

2.国際機関を通じた贈与は、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。

3.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

4.「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表－2 欧州地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
政府開発援助計	2017	ドイツ 778.44	米国 576.43	スイス 172.50	スウェーデン 156.61	英国 109.29	92.42	2,440.22
	2018	ドイツ 847.24	米国 507.33	スイス 173.80	英国 164.40	スウェーデン 160.09	80.25	2,555.91
	2019	ドイツ 663.22	米国 450.44	スウェーデン 186.16	スイス 185.27	英国 172.14	76.66	2,397.51
有償資金協力	2017	ドイツ 309.31	日本 61.52	オーストリア 1.04	ポーランド 0.20	-	61.52	372.07
	2018	ドイツ 290.90	日本 53.26	フランス 30.30	カナダ 14.93	イタリア 8.50	53.26	399.26
	2019	ドイツ 240.78	日本 49.93	フィンランド 10.87	イタリア 8.91	カナダ 8.29	49.93	330.50
無償資金協力	2017	米国 503.02	ドイツ 164.67	スイス 149.48	スウェーデン 92.90	英国 81.31	10.45	1,312.69
	2018	米国 454.27	ドイツ 207.21	英国 149.21	スイス 146.86	スウェーデン 99.11	9.57	1,380.43
	2019	米国 427.24	英国 159.79	スイス 151.39	スウェーデン 124.79	ドイツ 109.10	13.14	1,310.03
技術協力	2017	ドイツ 304.45	ポーランド 75.02	米国 73.41	オーストリア 68.95	スウェーデン 63.71	20.45	755.46
	2018	ドイツ 349.15	ポーランド 81.07	オーストリア 71.90	スウェーデン 60.98	米国 53.06	17.42	776.21
	2019	ドイツ 313.34	ポーランド 99.65	オーストリア 74.88	スウェーデン 61.37	スイス 33.88	13.58	756.98

出典) OECD/DAC

表-3 欧州地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2017	EU Institutions 2,275.61	IDA 68.55	GFATM 57.00	OSCE 53.15	WHO 37.07	143.02	2,634.38
	2018	EU Institutions 2,537.71	IDA 71.90	GFATM 58.99	OSCE 55.41	GEF 26.80	148.25	2,899.00
	2019	EU Institutions 2,376.27	IMF-CTF 120.35	GFATM 65.28	IDA 52.22	OSCE 47.72	170.05	2,831.94
有償資金協力	2017	EU Institutions 655.63	IDA 67.52	CEB 19.40	IMF-CTF 14.42	OPEC Fund 8.82	13.74	779.53
	2018	EU Institutions 933.49	IDA 71.70	OPEC Fund 18.02	CEB 15.97	IMF-CTF 11.33	16.31	1,066.79
	2019	EU Institutions 757.21	IMF-CTF 120.35	IDA 52.22	CEB 17.17	OPEC Fund 12.69	5.38	965.01
無償資金協力	2017	EU Institutions 1,239.17	GFATM 57.00	OSCE 53.15	WHO 37.07	UNHCR 18.77	64.30	1,469.43
	2018	EU Institutions 1,170.07	GFATM 58.99	OSCE 55.41	GEF 26.80	WHO 25.90	53.31	1,390.42
	2019	EU Institutions 1,304.30	GFATM 65.28	OSCE 47.72	WHO 31.66	UNHCR 13.93	89.20	1,552.16
技術協力	2017	EU Institutions 380.81	FAO 3.92	ILO 0.50	IDA 0.19	-	-	385.41
	2018	EU Institutions 434.16	ILO 4.23	FAO 3.39	-	-	-	441.77
	2019	EU Institutions 314.76	-	-	-	-	-	314.76

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

# [1] アルバニア

## 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
284万人	5,210ドル	-3.3%	108.59億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アルバニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	-	2.12
2017年度	-	0.09	3.74
2018年度	-	0.24	2.89
2019年度	-	1.03	2.67
2020年度	-	1.89	1.99

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アルバニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	180.92	55.81	40.53

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アルバニア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	12.92	0.09	1.76	14.77
2017年	12.30	-	3.75	16.04
2018年	-1.16	0.08	0.84	-0.24
2019年	-5.17	0.63	3.41	-1.13
2020年	-6.60	0.65	1.17	-4.78
累計	79.03	41.68	41.81	162.53

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アルバニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 79.82	イタリア 25.07	スイス 22.61	米国 16.30	日本 15.51	15.51	191.70
2016年	ドイツ 67.80	スイス 21.66	米国 18.04	日本 17.89	スウェーデン 10.29	17.89	164.13
2017年	ドイツ 52.84	スイス 22.33	米国 21.48	日本 19.07	スウェーデン 11.49	19.07	155.25
2018年	ドイツ 85.94	スイス 22.19	米国 21.20	イタリア 16.14	スウェーデン 11.46	6.13	188.61
2019年	ドイツ 64.42	スイス 30.67	イタリア 19.10	米国 17.07	スウェーデン 13.75	5.33	177.47

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アルバニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 111.85	IDA 5.71	Isl.Dev Bank 4.13	OSCE 2.95	OPEC Fund 2.76	7.08	134.48
2016年	EU Institutions 92.76	Isl.Dev Bank 3.60	OSCE 2.91	IDA 2.61	GEF 1.88	5.62	109.37
2017年	EU Institutions 79.28	Isl.Dev Bank 4.29	OSCE 2.93	IDA 1.86	OPEC Fund 1.49	5.30	95.15
2018年	EU Institutions 219.25	OPEC Fund 4.02	OSCE 3.10	GFATM 2.47	GEF 1.45	6.62	236.91
2019年	EU Institutions 79.57	OPEC Fund 4.83	GFATM 3.30	OSCE 2.67	UNICEF 0.94	5.42	96.75

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	1.89億円 ・経済社会開発計画(1.00) ・草の根・人間の安全保障無償(9件)(0.89)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [2] ウクライナ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,414万人	3,540ドル	-4.0%	1,298.99億ドル	低所得国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1 我が国の対ウクライナ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	1.14	4.88
2017年度	-	0.89	14.70
2018年度	-	0.89	3.46
2019年度	-	3.22	3.34
2020年度	-	2.90	2.00

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ウクライナ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,742.54	62.63	56.76

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ウクライナ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	331.22	6.82 (5.94)	4.19	342.24
2017年	-8.30	2.43 (1.52)	8.31	2.44
2018年	-6.00	2.60 (1.77)	8.69	5.29
2019年	-7.40	5.65 (2.82)	2.32	0.58
2020年	-14.71	5.09 (4.31)	2.98	-6.64
累計	604.40	62.13 #####	59.16	725.69

注) 1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ウクライナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 374.04	米国 246.00	カナダ 219.88	英国 43.77	ノルウェー 40.39	19.91	1,139.93
2016年	日本 350.80	ドイツ 176.57	米国 175.43	カナダ 51.01	英国 42.66	350.80	985.34
2017年	米国 233.43	ドイツ 203.11	ポーランド 60.86	カナダ 38.03	スウェーデン 35.20	10.75	764.64
2018年	ドイツ 234.51	米国 193.09	ポーランド 67.23	英国 39.10	スウェーデン 36.62	13.72	790.64
2019年	ドイツ 205.72	米国 200.01	ポーランド 81.41	カナダ 46.91	スウェーデン 37.53	9.12	777.98

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ウクライナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 239.93	GFATM 48.31	GEF 6.02	OSCE 2.96	CIF 2.29	7.76	307.27
2016年	EU Institutions 485.64	GFATM 58.08	WFP 8.73	GEF 8.24	OSCE 3.50	5.33	569.53
2017年	EU Institutions 364.68	GFATM 31.47	OSCE 3.50	CIF 3.48	WFP 2.12	8.28	413.53
2018年	EU Institutions 376.56	GFATM 42.13	CIF 8.41	CERF 5.90	OSCE 3.64	8.91	445.55
2019年	EU Institutions 436.01	GFATM 47.85	CERF 6.00	UNHCR 4.52	OSCE 3.10	10.09	507.57

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	2.90億円 ・経済社会開発計画(2.00) ・草の根・人間の安全保障無償(9件)(0.8) ・草の根文化無償(1件)(0.09)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

### [3] コンボ

#### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
178万人	4,440ドル	-6.9%	31.08億ドル	低中所得国	iii/高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コンボ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.43	2.18
2017年度	-	2.05	1.61
2018年度	-	2.99	3.09
2019年度	-	0.46	3.40
2020年度	-	1.39	1.07

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コンボ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
-	-	15.19	25.70

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コンボ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	0.33	0.97	1.30
2017年	-	0.39	2.69	3.08
2018年	-	1.85	2.61	4.46
2019年	-	2.74 (0.09)	1.42	4.16
2020年	-	2.08 (0.72)	2.09	4.17
累計	-	14.78 (0.81)	23.04	37.81

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コンボ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 55.19	米国 46.19	スイス 27.47	スウェーデン 13.62	ノルウェー 12.32	3.96	189.98
2016年	米国 63.20	ドイツ 47.82	スイス 24.84	スウェーデン 13.42	オーストリア 8.67	1.30	183.90
2017年	ドイツ 50.93	米国 50.28	スイス 24.07	スウェーデン 15.48	ルクセンブルク 8.63	3.08	182.04
2018年	米国 48.52	ドイツ 36.22	スイス 17.96	スウェーデン 16.36	オーストリア 8.62	4.46	158.19
2019年	米国 39.12	ドイツ 33.72	スイス 19.67	スウェーデン 16.45	オーストリア 12.28	4.16	154.99

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コンボ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 205.19	OSCE 19.02	IDA 8.08	UNHCR 3.18	GFATM 1.26	1.98	238.71
2016年	EU Institutions 141.34	OSCE 17.90	IDA 9.45	UNHCR 3.49	GFATM 1.84	1.82	175.83
2017年	EU Institutions 171.76	OSCE 17.93	IDA 9.85	UNHCR 3.29	GFATM 1.29	2.03	206.15
2018年	EU Institutions 148.68	OSCE 18.59	IDA 8.90	UNHCR 1.49	GFATM 1.37	2.08	181.10
2019年	EU Institutions 156.40	OSCE 15.98	IDA 12.17	UNPBF 2.06	UNHCR 1.59	4.33	192.53

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	1.39億円 ・経済社会開発計画(1.00) ・草の根・人間の安全保障無償 (5件)(0.39)	・コソボ公共放送局能力向上プロジェクトフェーズ2[21.01~24.01] ・国家森林火災情報システム(NFFIS)とEco-DRRによる災害リスク削減のための能力強化プロジェクト[21.03~26.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協カプロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [4] セルビア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
691万人	7,400ドル	-1.0%	442.76億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セルビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	1.23	4.55
2017年度	-	1.26	1.90
2018年度	-	0.94	2.52
2019年度	-	0.37	3.85
2020年度	-	1.65	1.90

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セルビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	282.52	231.08	58.31

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セルビア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-0.05	4.05 (2.73)	3.85	7.85
2017年	29.87	0.62 -	3.45	33.94
2018年	1.27	1.77 (0.63)	2.48	5.52
2019年	24.10	0.41 -	2.58	27.09
2020年	43.67	1.00 -	2.15	46.82
累計	112.01	200.48 (4.84)	51.73	364.22

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セルビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 90.98	米国 22.39	スイス 18.79	スウェーデン 12.37	オーストリア 10.54	5.46	199.09
2016年	ドイツ 134.42	スイス 24.08	米国 16.56	スウェーデン 12.26	オーストリア 11.73	8.37	229.75
2017年	ドイツ 214.02	日本 34.93	スイス 25.65	米国 16.96	スウェーデン 14.46	34.93	342.55
2018年	ドイツ 192.98	フランス 32.61	米国 24.68	スイス 24.51	スウェーデン 14.60	6.62	332.87
2019年	ドイツ 160.66	日本 28.31	米国 25.60	チェコ 23.68	スイス 21.50	28.31	332.15

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セルビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 474.85	OSCE 6.45	UNHCR 2.98	GEF 1.85	CEB 1.72	2.53	490.39
2016年	EU Institutions 479.12	OSCE 6.40	UNHCR 5.75	GEF 2.08	CEB 1.79	3.85	498.97
2017年	EU Institutions 501.47	OSCE 6.40	UNHCR 5.73	GEF 1.52	UNICEF 0.98	2.00	518.09
2018年	EU Institutions 687.23	OSCE 6.70	UNHCR 2.43	GEF 2.28	WHO 1.28	2.66	702.57
2019年	EU Institutions 404.43	OSCE 5.69	UNHCR 3.23	UNICEF 1.08	UNPBF 0.91	4.41	419.78

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	1.65億円 ・経済社会開発計画(1.00) ・草の根・人間の安全保障無償(7件)(0.65)	・ベオグラード市公共交通改善プロジェクト[20.11~23.11] ・廃棄物管理能力向上プロジェクト[21.03~24.01]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [5] ベラルーシ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
940万人	6,330ドル	-0.9%	424.91億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ベラルーシ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.28	-
2017年度	-	0.41	-
2018年度	-	0.36	-
2019年度	-	0.31	-
2020年度	-	0.24	-

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ベラルーシ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	4.57	-

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ベラルーシ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	0.16	0.06	0.22
2017年	-	0.17	0.07	0.23
2018年	-	0.59	0.08	0.67
2019年	-	0.34	0.04	0.39
2020年	-	0.29	0.00	0.29
累計	-	4.56	3.79	8.35

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ベラルーシ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ポーランド 18.77	米国 14.26	ドイツ 11.95	スウェーデン 9.50	デンマーク 2.63	0.16	66.54
2016年	ポーランド 19.18	ドイツ 13.48	米国 12.40	スウェーデン 9.80	フランス 1.90	0.22	62.36
2017年	ポーランド 33.01	ドイツ 14.55	米国 8.46	スウェーデン 8.25	フランス 2.02	0.23	71.35
2018年	ポーランド 34.15	ドイツ 14.92	米国 9.09	スウェーデン 6.85	フランス 1.96	0.67	73.46
2019年	ポーランド 39.14	ドイツ 13.53	スウェーデン 8.94	米国 7.89	英国 2.58	0.39	78.66

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ベラルーシ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 25.29	GFATM 5.65	GEF 3.36	UNICEF 0.79	IAEA 0.64	1.08	36.82
2016年	EU Institutions 31.15	GFATM 8.37	GEF 3.82	UNICEF 0.87	WHO 0.72	1.11	46.04
2017年	EU Institutions 39.42	GFATM 7.23	GEF 2.56	UNICEF 0.87	UNDP 0.42	1.04	51.54
2018年	EU Institutions 29.59	GFATM 6.29	GEF 2.13	UNICEF 0.70	-	2.36	41.79
	-	-	-	WHO 0.70	-	-	-
2019年	EU Institutions 109.54	GFATM 5.79	GEF 2.20	UNICEF 0.83	UNHCR 0.78	1.62	120.75

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	0.24億円 ・草の根・人間の安全保障無償(4件)(0.24)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [6] ボスニア・ヘルツェゴビナ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
328万人	6,090ドル	-4.3%	142.63億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ボスニア・ヘルツェゴビナ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.88	2.47
2017年度	-	1.35	0.73
2018年度	-	0.89	0.74
2019年度	-	0.51	0.82
2020年度	-	1.49	0.57

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ボスニア・ヘルツェゴビナ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	167.43	314.83	72.76

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ボスニア・ヘルツェゴビナ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計	
2016年	7.96	0.55	-	2.42	10.94
2017年	14.14	1.31	(0.44)	0.95	16.40
2018年	41.95	0.69	-	0.55	43.20
2019年	18.12	1.04	-	0.79	19.96
2020年	11.80	0.25	-	0.87	12.92
累計	122.50	272.88	(1.14)	70.56	465.94

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ボスニア・ヘルツェゴビナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 53.97	米国 33.50	スイス 25.51	オーストリア 20.22	スウェーデン 18.11	12.09	197.07
2016年	ドイツ 43.47	米国 42.90	スイス 24.36	オーストリア 20.09	スウェーデン 16.79	12.17	185.90
2017年	ドイツ 94.52	米国 56.15	スイス 22.77	スウェーデン 20.88	オーストリア 20.84	17.60	257.31
2018年	米国 49.69	日本 44.42	ドイツ 38.27	スイス 23.52	オーストリア 22.18	44.42	226.55
2019年	米国 45.78	ドイツ 44.06	スウェーデン 24.66	日本 24.02	スイス 22.82	24.02	224.11

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ボスニア・ヘルツェゴビナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 218.67	IDA 29.36	OSCE 11.39	CEB 9.25	OPEC Fund 5.52	16.81	290.99
2016年	EU Institutions 235.16	IDA 50.30	OPEC Fund 21.96	OSCE 11.45	UNHCR 4.47	12.54	335.87
2017年	EU Institutions 221.36	IDA 36.14	CEB 11.88	OSCE 11.60	OPEC Fund 7.33	12.46	300.78
2018年	EU Institutions 140.33	IDA 25.06	CEB 15.87	OPEC Fund 14.00	OSCE 12.49	17.03	224.79
2019年	EU Institutions 202.61	IMF-CTF 117.72	IDA 27.71	OSCE 10.62	CEB 10.15	18.50	384.31

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	1.49億円 ・経済社会開発計画(1.00) ・草の根・人間の安全保障無償(6件)(0.49)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [7] 北マケドニア

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
208万人	5,720ドル	-4.5%	106.07億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対北マケドニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.53	0.32
2017年度	-	0.52	0.36
2018年度	-	0.54	3.57
2019年度	-	1.49	0.23
2020年度	-	1.66	0.93

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対北マケドニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	96.89	277.25	51.04

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対北マケドニア援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-4.81	0.39	0.53	-3.90
2017年	-4.67	0.45	0.36	-3.85
2018年	-4.74	0.47	0.83	-3.44
2019年	-4.80	0.84	2.65	-1.30
2020年	-4.90	1.32	0.09	-3.49
累計	44.31	98.16	50.14	192.61

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対北マケドニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 19.81	スイス 16.82	ドイツ 7.68	英国 3.28	スロベニア 2.53	1.61	60.29
2016年	米国 22.85	スイス 22.10	ドイツ 9.45	スロベニア 3.00	オーストリア 2.60	0.91	70.35
2017年	米国 24.94	スイス 20.86	ドイツ 9.35	スロベニア 3.54	英国 2.52	0.81	70.88
2018年	米国 26.96	スイス 24.30	ドイツ 9.17	スロベニア 4.57	スウェーデン 4.53	1.30	84.35
2019年	スイス 26.81	米国 22.53	ドイツ 11.72	スウェーデン 5.32	-	3.50	89.01
	-	-	-	英国 5.32	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対北マケドニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 179.71	OSCE 6.31	CEB 4.88	GFATM 4.13	GEF 1.05	3.09	199.18
2016年	EU Institutions 136.25	OSCE 6.36	CEB 1.60	UNHCR 1.35	GFATM 1.19	3.01	149.76
2017年	EU Institutions 126.65	CEB 6.92	OSCE 6.60	UNHCR 1.36	UNICEF 1.03	2.91	145.47
2018年	EU Institutions 145.15	OSCE 6.95	UNICEF 1.01	CEB 0.96	IAEA 0.80	3.08	157.93
2019年	EU Institutions 104.20	CEB 6.96	OSCE 5.91	UNICEF 0.92	UNHCR 0.83	2.33	121.14

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	1.66億円 ・経済社会開発計画(1.00) ・草の根・人間の安全保障無償(10件)(0.66)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [8] モルドバ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
262万人	4,570ドル	-7.0%	84.76億ドル	低中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モルドバ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	5.53	0.83
2017年度	-	0.55	0.75
2018年度	-	0.56	0.11
2019年度	-	0.71	0.23
2020年度	20.59	2.10	0.87

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モルドバ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	79.85	85.91	25.93

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モルドバ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	0.60	1.09	-	1.03
2017年	-	4.93	-	0.59
2018年	0.07	0.77	-	0.36
2019年	-	0.76	-	0.20
2020年	-	0.72	-	0.55
累計	49.40	74.19	-	25.53

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モルドバ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	米国 91.39	日本 37.01	スイス 15.46	スウェーデン 11.77	ドイツ 11.54	37.01	202.78
2016年	米国 29.69	スイス 14.42	スウェーデン 13.99	ドイツ 13.16	ノルウェー 5.52	2.72	98.85
2017年	米国 30.45	スイス 15.99	スウェーデン 14.22	ドイツ 12.96	日本 5.53	5.53	100.65
2018年	米国 38.37	スウェーデン 16.04	ドイツ 13.01	スイス 11.49	チェコ 3.67	1.21	100.61
2019年	米国 39.11	スウェーデン 16.37	スイス 15.98	ドイツ 13.96	チェコ 4.53	0.96	107.34

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モルドバ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 86.44	IDA 36.36	GFATM 5.98	IFAD 3.72	CEB 3.14	9.04	144.66
2016年	EU Institutions 121.12	IDA 47.89	IMF-CTF 12.09	GFATM 7.63	CEB 3.47	10.35	202.56
2017年	EU Institutions 128.14	IDA 20.70	IMF-CTF 14.42	GFATM 10.82	IFAD 3.42	9.77	187.27
2018年	EU Institutions 120.26	IDA 36.58	IMF-CTF 11.33	GFATM 6.73	IFAD 3.82	8.09	186.79
2019年	EU Institutions 177.75	IDA 14.98	GFATM 6.71	IFAD 4.88	IMF-CTF 2.63	11.00	217.95

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	20.59億円 ・農業機械・設備近代化計画(20.59)	2.10億円 ・経済社会開発計画(1.00) ・国立図書館デジタル化機材整備計画(0.44) ・草の根・人間の安全保障無償(7件)(0.66)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

## [9] モンテネグロ

### 主要経済指標等(2020年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
62万人	7,900ドル	-15.2%	97.23億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モンテネグロ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	-	0.30	0.24
2017年度	-	0.27	0.04
2018年度	-	0.10	0.06
2019年度	-	0.10	0.12
2020年度	-	1.09	0.54

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モンテネグロ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	41.10	9.36

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モンテネグロ援助形態別実績(OECD/DAC報告基準)

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	有償資金協力(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2016年	-	0.46	0.66	1.12
2017年	-	0.13	0.02	0.16
2018年	-	0.24	0.04	0.28
2019年	-	0.18	0.05	0.24
2020年	-	0.94	0.09	1.03
累計	-1.28	12.10	8.69	19.50

注)1. 無償資金協力の()内は国際機関経由の贈与の実績。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モンテネグロ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	ドイツ 22.61	米国 1.77	スロベニア 1.73	英国 1.54	オーストリア 0.93	0.40	32.26
2016年	ドイツ 30.47	米国 2.86	スロベニア 1.36	日本 1.12	オーストリア 1.08	1.12	40.41
2017年	ドイツ 13.80	米国 1.90	スロベニア 1.40	英国 1.34	オーストリア 1.14	0.16	22.70
2018年	ドイツ 19.84	米国 2.29	ノルウェー 1.97	スロベニア 1.61	英国 1.35	0.28	30.27
2019年	ドイツ 14.62	英国 4.86	ノルウェー 2.30	スロベニア 1.72	米国 1.70	0.24	30.36

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モンテネグロ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2015年	EU Institutions 81.91	OSCE 2.11	UNHCR 1.84	UNICEF 0.93	GEF 0.78	1.14	88.71
2016年	EU Institutions 68.00	OSCE 2.08	UNHCR 1.67	GEF 0.98	UNICEF 0.96	0.71	74.42
2017年	EU Institutions 123.03	OSCE 1.98	GEF 1.63	UNHCR 1.50	UNICEF 0.85	1.25	130.22
2018年	EU Institutions 166.30	OSCE 1.73	GEF 1.36	UNICEF 0.94	UNHCR 0.76	1.53	172.62
2019年	EU Institutions 119.50	OSCE 1.67	UNHCR 1.31	UNICEF 0.88	UNPBF 0.66	2.22	126.25

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2020年度	なし	1.09億円 ・経済社会開発計画(1.00) ・草の根・人間の安全保障無償(1件)(0.09)	・国家森林火災情報システム(NFFIS)とEco-DRRによる災害リスク削減のための能力強化プロジェクト[21.03~26.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。